

Digital Printing System

取扱説明書（基本編） 2 ページ	_____	JP
Bedienungsanleitung (Grundfunktionen) Seite 79	_____	DE
Istruzioni per l'uso (operazioni preliminari) pagina 153	_____	IT



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い
かたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全
にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必
ず保管してください。



UPX-C200

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～8 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
68 ページの「本システムの性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ❶ 電源を切ります。
- ❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れにより死亡や大けがになります。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



破裂

行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

お使いになる前に

各種 CD、TV 映像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合は、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機についての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

認証機器名は次のとおりです。

認証機器名：DKC-C200X、UP-DX100



ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解／改造すること
- ・ 本機の裏面にある証明番号を消すこと

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.400 GHz から 2.4835 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。

お客様ご相談センター

ナビダイヤル 0570-00-3311

携帯電話・PHS でのご利用は 03-5448-3311

受付時間 月～金 9:00～20:00

（土・日・祝日および年末年始は除く）

2.4 FH 2



この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 20 m です。

JP

目次

△ 警告	5	サイズ表示の単位を選択する (SIZE UNIT)	52
カメラ (DKC-C200X)、プリンター		出力信号を選択する (VIDEO OUT)	52
(UP-DX100) 共通	5	サウンドを選択する (SOUND)	53
カメラ (DKC-C200X) のみ	5	USB のクラスを選択する (USB)	53
Bluetooth™ 機能使用上の注意	6	9 コマ画面の画像の位置を移動する	
△ 注意	6	(MOVE)	54
カメラ (DKC-C200X)、プリンター		カメラのメニューをロックする	55
(UP-DX100) 共通	6	レンズを輸送状態に設定する	
プリンター (UP-DX100) のみ	7	(TRANSPORT SETTING)	55
カメラ (DKC-C200X) のみ	7	プリント画質を調整する	
電池についての安全上のご注意	8	(COLOR ADJUST)	56
万一、異常が起きたら	8	プリント位置を調整する	
本システムの特長	9	(PRINT SETTING)	58
主な構成例	9	カメラの Bluetooth ランプが消灯している	
本システムで作成できるプリント画	10	とき	58
フラッシュモードと撮影環境例	12	Bluetooth について	59
付属品について	13	Bluetooth 機能について	59
付属品を確認する	13	「Basic Imaging Profile」について	59
付属の CD-ROM マニュアルを読む	13	Bluetooth 機能を使った接続	59
準備	14	各部の名称と働き	62
カメラの準備をする	14	カメラ	62
プリンターの準備をする	16	プリンター	66
操作	20	本システムの性能を保持するために	68
準備する	20	カメラ	68
撮影する	21	プリンター	68
撮影した画像をプリントする	22	お手入れ	68
プリンターのメモリーに保存した画像を		警告	68
再プリントする (COPY PRINT)	24	主な仕様	69
撮影した画像を再生する	25	故障とお考えになる前に	71
画像を消去する	26	カメラ	71
消去を禁止する (プロテクト)	27	撮影	71
電源を切る	29	カメラの液晶画面	71
メニュー	30	撮影画像	72
メニューの構成	30	プリンター	72
メニュー項目の機能	33	Bluetooth	74
Setup 画面を表示する	38	バッテリーチャージャー	74
CAMERA モードの Menu 画面を表示する	38	エラーメッセージ	75
こんなことができます	39	索引	76
カメラを電池で動かす	39		
日時を設定する (CLOCK)	41		
記録解像度を設定する (RESOLUTION)	41		
ズームの倍率を設定する (ZOOM)	42		
撮影条件を設定する	43		
表示するプリントサイズを設定する			
(PRINT SIZE LIST)	45		
フレームを設定する (FRAME)	46		
パワーセーブ (節電) モードを設定する			
(POWER SAVE)	51		



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

カメラ (DKC-C200X)、プリンター (UP-DX100) 共通



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所や、この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を落さない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏蓋などを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因になります。

カメラ (DKC-C200X) のみ



禁止

カメラを人の目（特に乳幼児）に近づけて撮影しない

目の近くで FLASH を発光させると視力障害を起こす原因となります。

特に乳幼児を撮影するときは、ご注意ください。



禁止

太陽や輝度の高い光源にレンズを向けてファインダーを覗かない

目を傷める恐れがあります。



禁止

指定の電源で使用する

取扱説明書に記されているバッテリーまたは AC アダプターでお使いください。指定製品以外での使用は、火災の原因となります。



禁止

カメラを太陽に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

Bluetooth™ 機能使用上の注意



指示

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

病院などの医療機関内、医療用電気 機器の近くでは Bluetooth 機能を使 用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内では Bluetooth 機能を使 用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障 害などが発生した場合は、 Bluetooth 機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。



注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

カメラ (DKC-C200X)、プリン ター (UP-DX100) 共通



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



スラグをコン
セントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源 プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動の際は電源コードや接続コード を抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードが傷がついて、火災や感電の原因となることがあります。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続・配置してください。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

落雷すると、誘電雷により、火災や感電の原因になります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

カメラ (DKC-C200X) のみ



指示

三脚・雲台を確実に固定する

三脚・雲台を確実に固定せずにカメラから離れると、不意にカメラが動いてけがをすることがあります。



指示

長時間機器を使用しないときは電池を抜いておく

電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、やけどや周囲を汚す原因となります。

プリンター (UP-DX100) のみ



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物 (じゅうたんや布団など) の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

本体内部の部品をさわらない

本体内部の機構部品をさわるとけがの原因となることがあります。また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。



高温

プリントカートリッジの装着口の内部に手を入れない

中にあるプリントヘッドが熱くなっている場合があります、やけどの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは本機での使用が可能なソニー製リチウム電池およびニッケル水素電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

• 煙がでたら

- ① 機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
- ② ソニーのサービス担当者に連絡する。

• 電池の液が目に入ったら

すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。

• 電池の液が皮膚や衣服に付いたら

すぐにきれいな水で洗い流す。

• バッテリー収納部内で液が漏れたら

よくふきとってから、新しい電池を入れる。



破裂



高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れにより死亡や大けがになることがあります。

- 充電には、付属のバッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用、放置、充電をしない。
- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 接点部や⊕極と⊖極をショート（短絡）させたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。



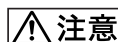
破裂



高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあつたときは、すぐに使用や充電をやめる。



破裂



高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

- 投げつけない。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。



Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JRBC ホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

本システムの特長

本システムは、証明書写真などの撮影用に、デジタルカメラで画像を撮影し、その画像データを高画質、高解像度（403dpi）、フルカラーあるいは白黒でプリントするためのデジタルプリントシステムです。

プリントできる用紙は UPC-X46 シリーズと UPC-X34 シリーズです。別売りのペーパートレイ UPA-DX100TR を使うと、UPC-X45 シリーズを使うこともできます。

本システムでは Bluetooth 機能を採用し、ケーブルなしでカメラとプリンター間の通信を可能にしています。

別売りアクセサリーについてのお知らせ

下記の別売りアクセサリーについては、国 / 地域によってはお取り扱いしていない場合があります。

- ペーパートレイ UPA-DX100TR
- ラミネートプリントパック 10UPC-X45 シリーズ

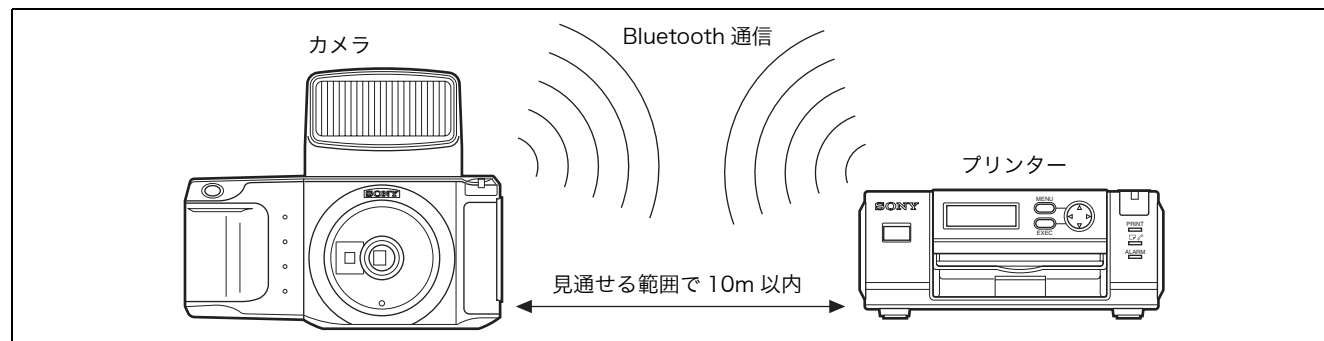
◆ 詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

主な構成例

Bluetooth 機能を使った構成

カメラで撮影した画像を、ケーブルを使わずにプリンターに転送することができます。

◆ Bluetooth 機能については、「Bluetooth について」（59 ページ）をご覧ください。



コンピューターを使った構成

付属の CD-ROM に入っているユーティリティソフトウェアを使うと、カメラ画像のコンピューターへの一括保存や、コンピューターに保存した画像を読み込み、再プリントすることができます。また、1枚のシートに複数の画像をプリントする、カラーと白黒の画像を一緒にプリントする、異なるサイズの画像をプリントするなどを簡単に実行することができます。

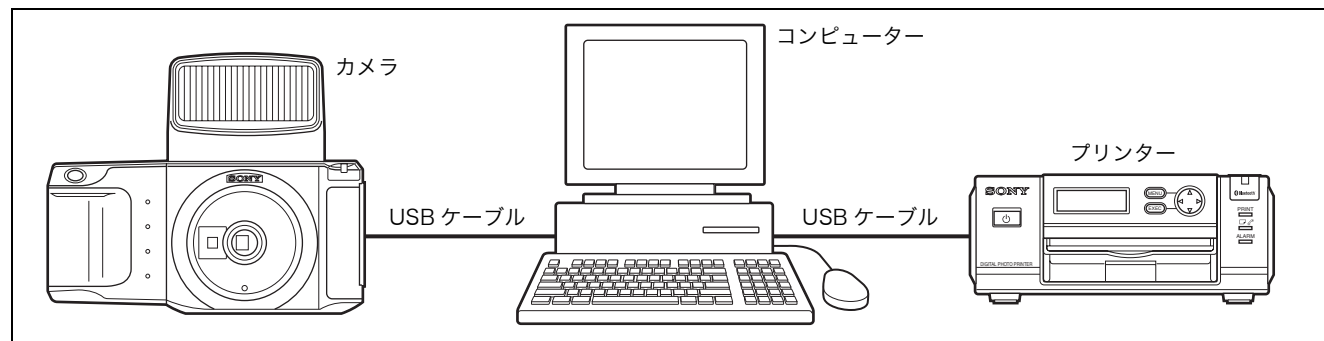
コンピューターでの使用方法についての詳細は、付属の CD-ROM の「ユーティリティソフトの操作ガイド」をご

覧ください。

プリンタードライバーに関する注意事項は、付属の CD-ROM の「Readme (Japanese)」をご覧ください。

ご注意

USB ケーブルを使ってコンピューターと接続すると、コンピューターによっては正常に動作しない場合があります。このような場合は、市販の USB ハブを使用してください。



本システムで作成できるプリント画

本システムでは、22種類のさまざまなサイズのプリント画と2種類のガイド画面をプリントすることができます。UPC-X46シリーズを使用するとすべてのサイズをプリントできますが、UPC-X34シリーズを使用した場合は、プリントできるサイズが制限されます。

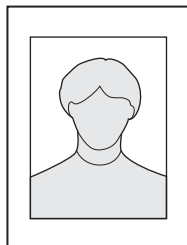
下の図は、1枚のプリントペーパーにプリントされる画像の数、方向、種類を示すイメージ図です。実際にプリ

ントされる画像とは寸法などが異なる場合があります。各画像の下には、サイズを選択したときにカメラの液晶画面に表示されるサイズ番号と寸法が表示されます。D2、D4、D6、D8は、寸法が同じでプリント内容が異なるものがある場合の表示です。また、X46表示のあるサイズはUPC-X46シリーズ使用時のみ選択することができます。

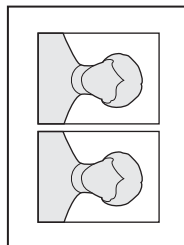
UPC-X46 シリーズ使用時



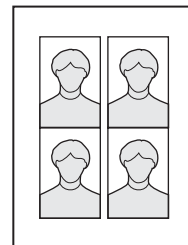
1. 151 × 101.6 mm X46
(サイズ番号) (寸法)



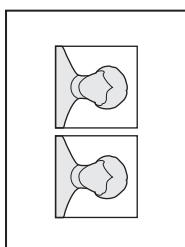
2. 120 × 90 mm X46
3. 95 × 70 mm



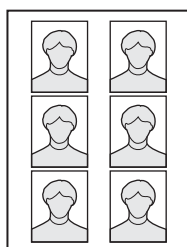
4. 80 × 60 mm
5. 70 × 53 mm
6. 70 × 50 mm



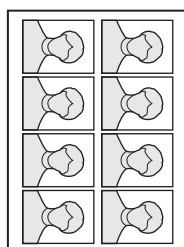
7. 60 × 40 mm
9. 50 × 48.5 mm



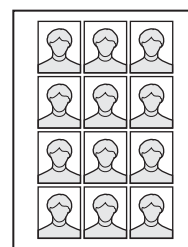
8. 54 × 54 mm 2×2inch



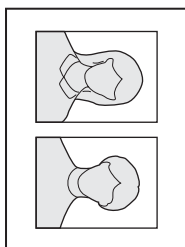
10. 47 × 37 mm
12. 45 × 45 mm



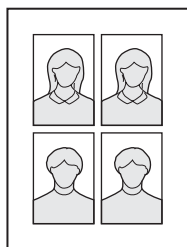
11. 45 × 35 mm
13. 43 × 33 mm
14. 38 × 32 mm



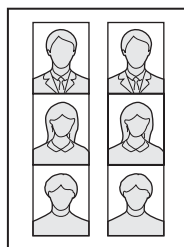
15. 34 × 28 mm
16. 23 × 23 mm



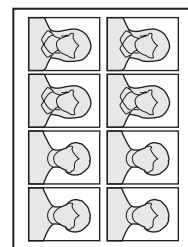
17. 80 × 60 mm D2 X46



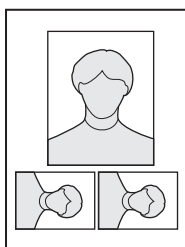
18. 60 × 40 mm D4 X46



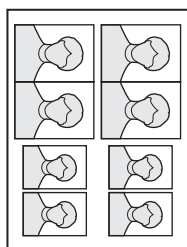
19. 47 × 37 mm D6 X46



20. 45 × 35 mm D8

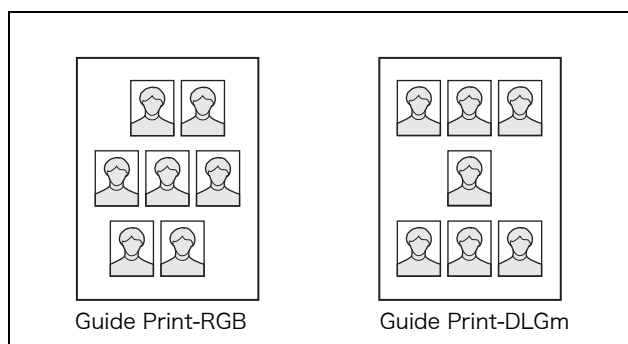


21. Special-1
(108 × 81 mm/
47 × 37 mm)

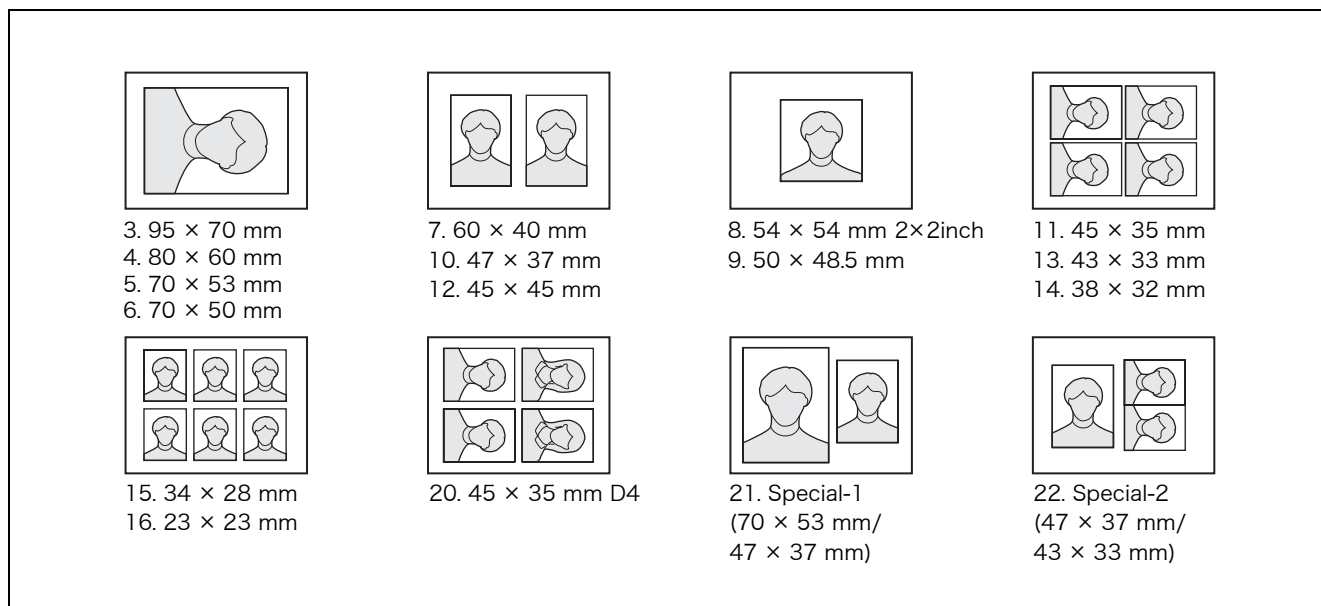


22. Special-2
(47 × 37 mm/
43 × 33 mm)

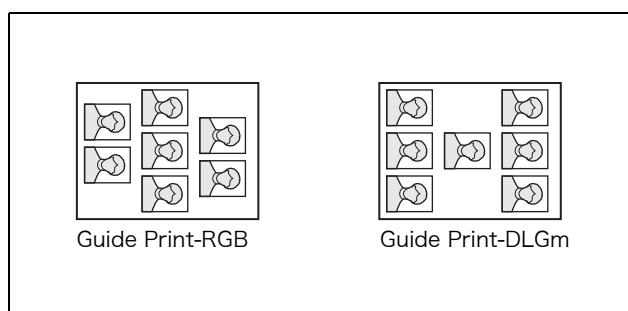
ガイドプリント



UPC-X34 シリーズ使用時



ガイドプリント



フラッシュモードと撮影環境例

本機には5種類のフラッシュモードがあります。各モードを使用した場合におすすめする撮影環境を紹介します。カメラと被写体の距離Lは、設定したフレーム（ガイドライン）に顔の大きさが合うように設置してください。顔の大きさはズームで微調整できます。

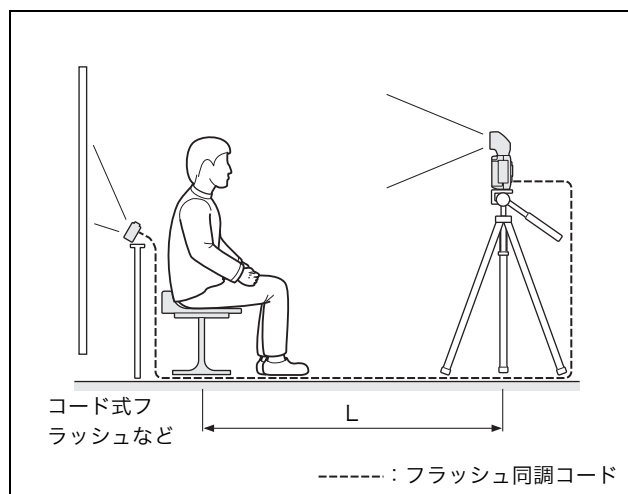
- ◆ フレームの設定については、「フレームを設定する (FRAME)」(46 ページ) をご覧ください。
- ◆ 各モードの設定方法や動作条件については、「撮影条件を設定する」(43 ページ) をご覧ください。
- ◆ 各モードで実際に撮影する場合の詳しい撮影条件やカメラの動作条件、注意事項などは、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

自動露出、内蔵フラッシュ自動発光モード (A₄)

撮影環境に応じて、必要な場合は内蔵フラッシュが自動発光します。屋内、屋外を選ばずポートレートなどを簡単に撮影することができます。

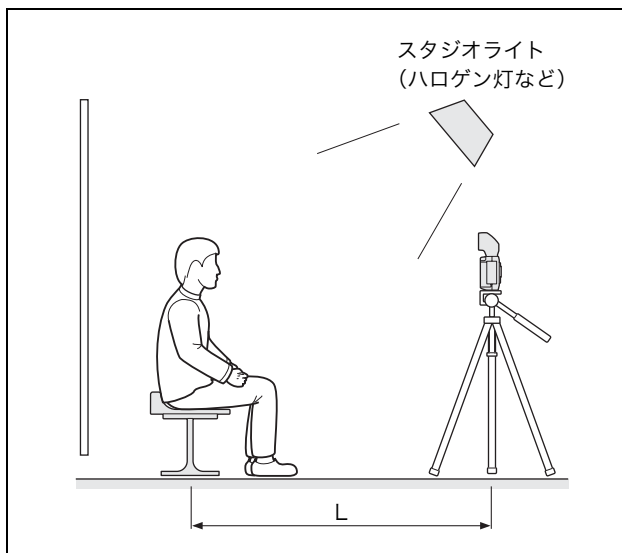
自動露出、内蔵フラッシュ強制発光モード (4)

内蔵フラッシュが必ず発光します。プリ発光して被写体を測光後、最適な光量で本発光します。露出、シャッター速度は自動的に調整されます。屋内で内蔵フラッシュをメイン光源とし、フラッシュ同調コードで接続した影消しフラッシュを使って証明写真を簡単に撮影するのに適しています。



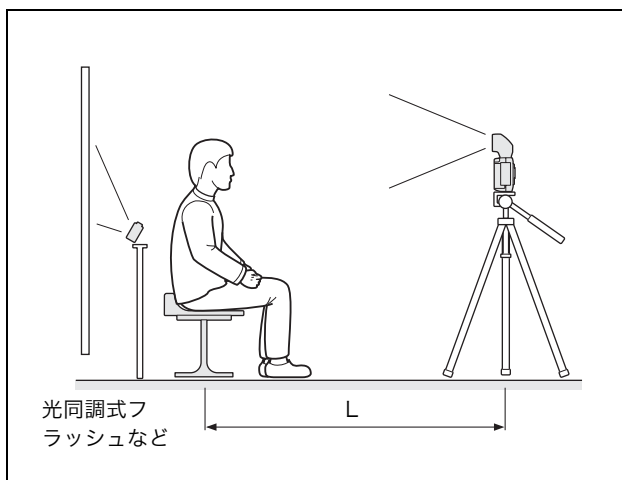
自動露出、内蔵フラッシュ発光禁止モード (4)

内蔵フラッシュは発光しません。屋内で、スタジオライト、ビデオライト、蛍光灯などの定常的な光源での撮影に適しています。



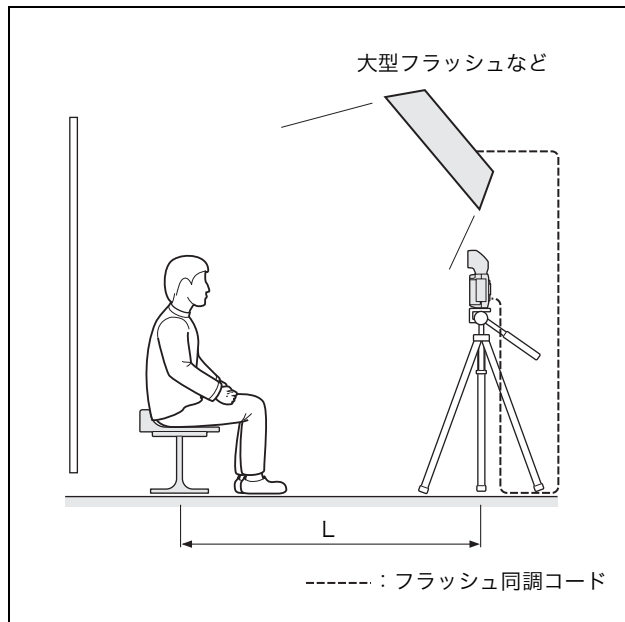
手動露出、内蔵フラッシュ強制発光モード (M₄)

内蔵フラッシュは、約 1.5m 離れた被写体に最適な光量で発光します。絞り、シャッター速度は手動で設定しますが、出荷設定値のままでもまずはお使いください。カメラと被写体が 1.5m より近い場合は EV 補正値をマイナス側に、遠い場合はプラス側にします。目安として、1m のとき - 1.00EV、2 ~ 3m のとき + 1.00EV にします。必ず試し撮りをして確認してください。屋内で、内蔵フラッシュをメイン光源とし、フラッシュ同調コードで接続した影消しフラッシュを使って証明写真を撮影するのに適しています。



手動露出、内蔵フラッシュ発光禁止モード (M[Ⓛ])

内蔵フラッシュを使用しないで、同調コードで接続した外部フラッシュだけ、またはスタジオライト、ビデオライト、蛍光灯などの定常光を使用して撮影します。



付属品について

付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

- UPC-X46 シリーズ用ペーパートレイ (1)
- UPC-X34 シリーズ用ペーパートレイ (1)
- トレイカバー (1)
- ペーパーホルダー (2)
- 電源コード (2)
- AC パワーアダプター PCS-AC08/1 (1)
- 単3型ニッケル水素充電電池 (4)
- リチウムボタン電池 CR-2025 (1)
- バッテリーチャージャー (1)
- クリーニングカセット (1)
- CD-ROM (1)
- 保証書 (1)
- 取扱説明書 (1)
- ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)
- ソフトウェア使用許諾書 (1)

付属の CD-ROM マニュアルを読む

付属の CD-ROM には、ユーティリティソフトおよび UPX-C200 の取扱説明書（基本編、応用編）とユーティリティソフトの取扱説明書が記録されています（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ポルトガル語、韓国語）。この取扱説明書は PDF (Portable Document Format) ファイルで作成されています。

本取扱説明書は、基本的な操作方法を説明した基本編です。CD-ROM は、応用編や付属のユーティリティをお使いになるときにご覧ください。

準備

付属の CD-ROM に収納されている取扱説明書を使用するためには、Adobe Reader がインストールされている必要があります。Adobe Reader が必要な場合は、Adobe のホームページから無料でダウンロードしてください。

⚠ 注意

この CD-ROM はオーディオ用 CD プレーヤーで再生しないでください。大音響により耳に障害を与えたり、音響装置を破損する恐れがあります。

CD-ROM の動作環境

付属の CD-ROM を動作させるためには次の環境が必要です。

コンピューター：

- Intel® Pentium® プロセッサまたは、100% 互換のプロセッサを搭載したパーソナルコンピューター
- 外付け、または内蔵された CD-ROM ドライブ

オペレーティングシステム：

- Microsoft® Windows® 95
- Microsoft® Windows® 98
- Microsoft® Windows® 98 Second Edition
- Microsoft® Windows® Millennium Edition
- Microsoft® Windows® NT 4.0
- Microsoft® Windows® 2000 Professional
- Microsoft® Windows® XP Home Edition
- Microsoft® Windows® XP Professional

取扱説明書を読むには

CD-ROM に収納されている取扱説明書を読むには、次のようにします。

- 1 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- 2 以下のフォルダーから必要なものを開き、読みたい言語の取扱説明書を選択する。
Basic Instructions（基本編）
Advanced Instructions（応用編）
Utility Instructions（ユーティリティソフトの操作ガイド）

ご注意

ユーティリティソフトをご使用の場合は次の環境が必要です。

- Microsoft® Windows® 98 Second Edition
- Microsoft® Windows® Millennium Edition
- Microsoft® Windows® 2000 Professional
- Microsoft® Windows® XP Home Edition
- Microsoft® Windows® XP Professional

◆ 詳しくはユーティリティソフトの使用方法をご覧ください。

商標について

Intel および Pentium は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は、アメリカ合衆国および他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

準備

カメラの準備をする

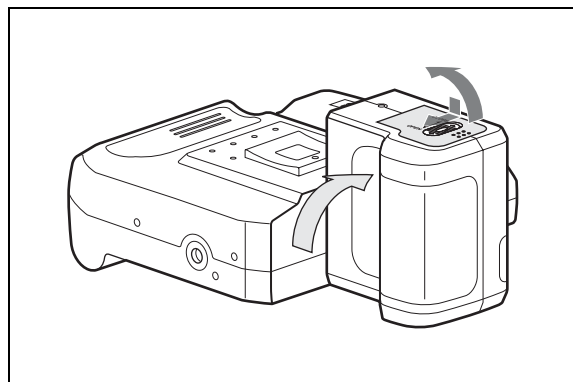
電池を入れるには

本機には単3型ニッケル水素充電電池が4個とリチウムボタン電池 CR-2025 が1個付属しています。次の手順で挿入します。

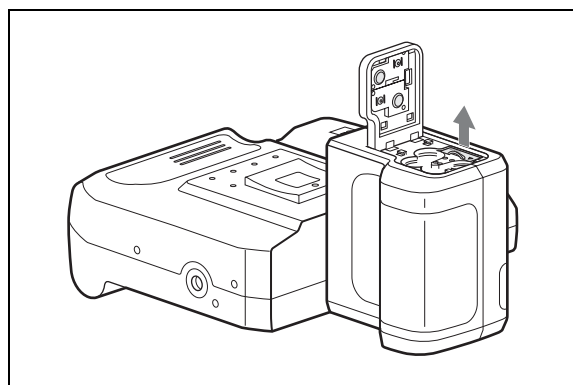
カメラを電池で動作させるには、装着した電池の充電が必要です。

◆ 充電については、「電池を充電するには」（39 ページ）をご覧ください。

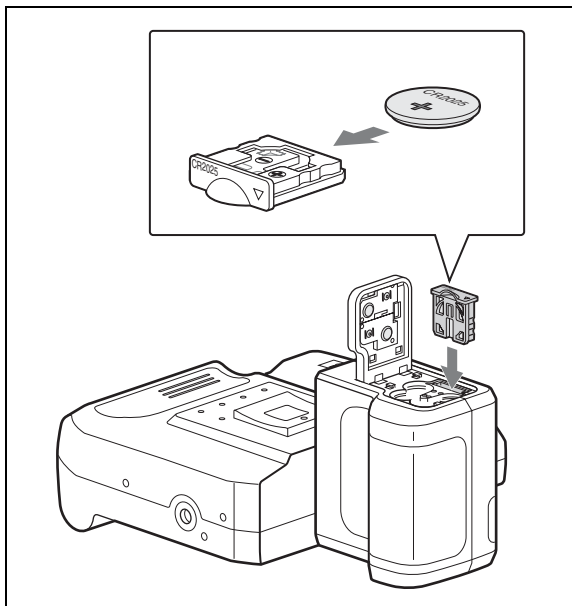
- 1 電池挿入ぶたのボタンを、突起を押しながら OPEN の方にずらしてふたをあける。



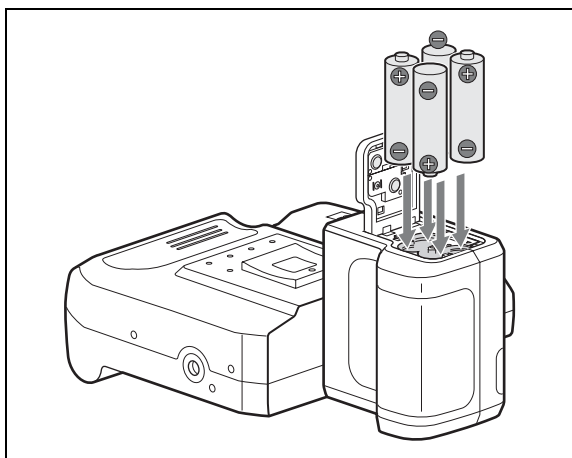
- 2 ボタン電池ケースを引き出す。



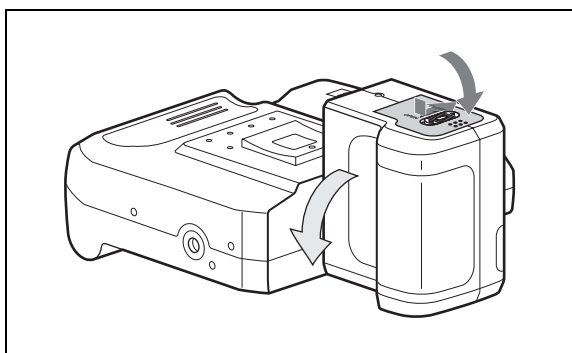
- 3** ボタン電池 CR-2025 をケースに挿入し、ボタン電池ケースを元に戻す。



- 4** 単3型電池4本を挿入する。



- 5** ふたを閉め、カメラに押し付けながらボタンをCLOSEの方にずらし、ふたをロックする。確実にロックするまでずらしてください。



電池を交換するときのご注意

電池を交換するときに、電池挿入ぶたが下を向いている状態で開けると、挿入している単3型電池が落ちてしまいます。グリップ部を回転させ、ふたが上を向くようにすると、電池の落下を防ぐことができます。

ボタン電池の役割

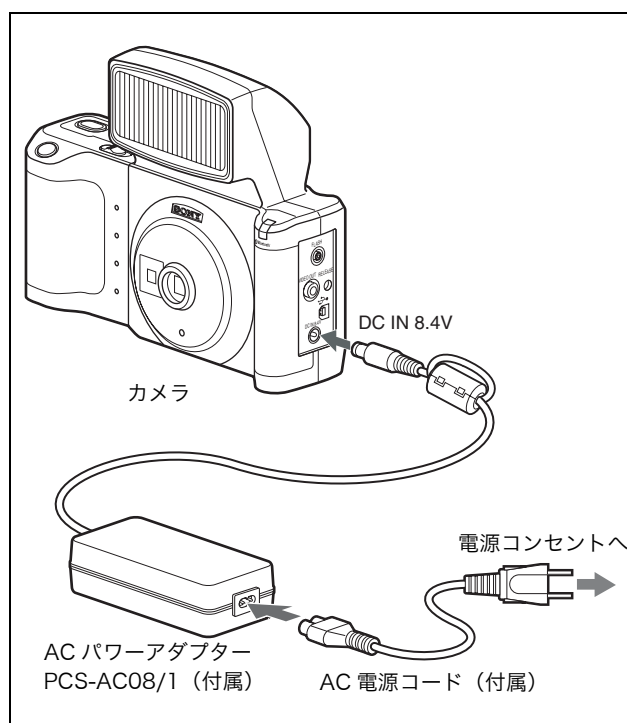
ボタン電池は内蔵する時計の動作を保持します。必ずボタン電池を挿入しておいてください。

内蔵時計用のリチウムボタン電池の寿命は2～3年ですが、ご使用の環境によって多少変動します。リチウムボタン電池が切れると内蔵の時計は2003年1月1日0時0分に戻ります。時計の設定が2003年1月1日に戻った場合は、新しいリチウムボタン電池に交換してください。電源が供給されるとこの時点から日時のカウントを開始します。

撮影した日時は1コマ再生状態やプロパティ画面で確認することができます。

カメラをAC電源に接続するには

付属のACパワーアダプター PCS-AC08/1 をカメラのDC IN 8.4V 端子を接続します。次にACパワーアダプターをAC電源に接続します。これでカメラをAC電源で操作することができます。



ご注意

- AC パワーアダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中に不具合を生じたときは、すぐにコンセントから抜き、電源を遮断してください。

- AC パワーアダプターをカメラに接続しても、挿入した単 3 型電池を充電することはできません。充電については、「電池を充電するには」(39 ページ)をご覧ください。

時計、フレーム、パワーセーブの設定

メニュー操作の Setup メニューで、日付けと時間、フレーム、パワーセーブモードの設定ができます。

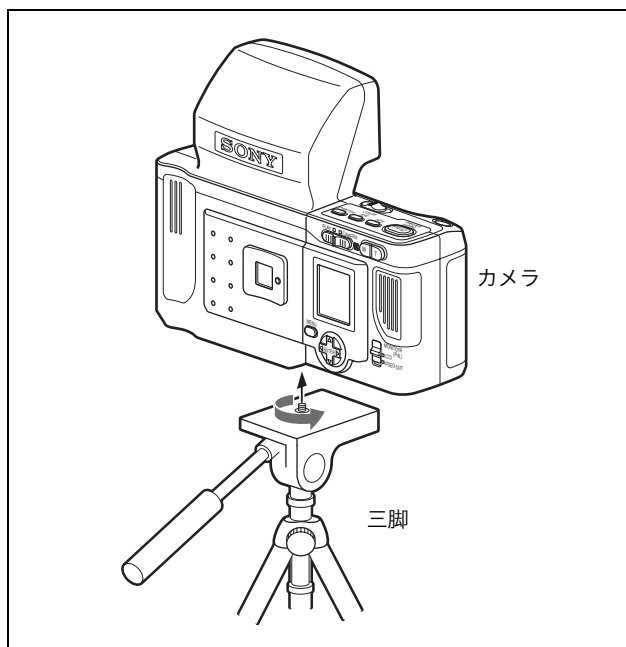
- ◆ 設定については、「こんなことができます」(39 ページ)をご覧ください。

三脚へ取り付けるには

カメラ底面の三脚取り付けネジ穴を使って、カメラを三脚に取り付けることができます。

ご注意

取り付けネジは適度な力で締めてください。締めかたがゆるいと落下することがあります。また、無理に締めるとネジ部が破損することがあります。まっすぐに入っていることを確認して、確実に締めてください。



プリンターの準備をする

初めてプリンターをお使いになる場合は、プリントカートリッジとペーパートレイを下記の手順で組み立ててからお使いください。これらの操作は、日常のプリント操作で毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

プリントパックを用意する

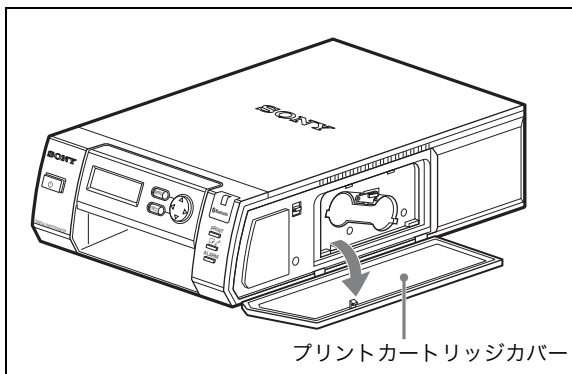
プリントするためには、別売りの専用プリントパック (UPC-X46 シリーズまたは UPC-X34 シリーズ) が必要です。プリントパックは、プリントペーパーとプリントカートリッジがセットになっています。

ご注意

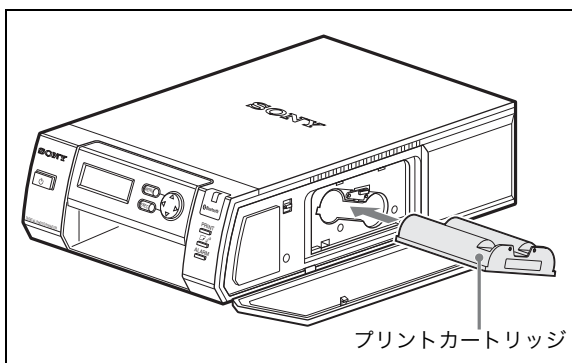
- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られないばかりか、故障の原因になります。
- 必ず専用のプリントパックをお使いください。
- プリントペーパーのサイズに合ったプリントカートリッジをセットでお使いください。異なる組み合わせでお使いになると、正常なプリント結果が得られないばかりか、紙づまりや故障の原因になります。
- 一度使用したプリントペーパーでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならないばかりか、故障の原因になります。
- プリントペーパーのプリント面や、プリントカートリッジのインクに触ったり、温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存や放置は避けてください。プリント面やインクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- プリントカートリッジとプリントペーパーを使用途中で本体から取り出して保存する場合は、入っていた袋などに入れて保存してください。

プリントカートリッジを取り付けるには

- 1 プリントカートリッジカバー上部の PUSH OPEN の部分を押し、カバーを開ける。



- 2 プリントカートリッジをプリントカートリッジスロットに入れ、カチッとロックするまで差し込む。

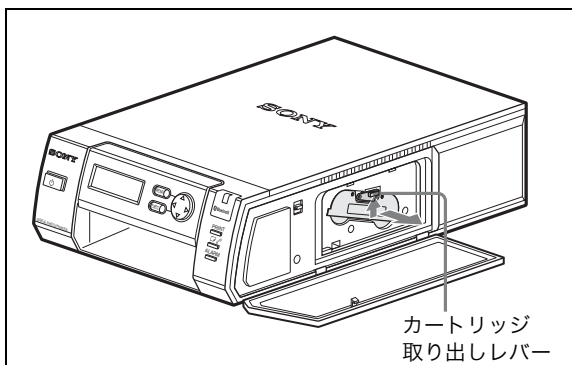


- 3 プリントカートリッジカバーを閉じる。

プリントカートリッジを交換するには

プリントカートリッジを使い切ると、ランプが点灯し、操作画面にエラーメッセージが表示されます。プリントカートリッジを次の手順で交換してください。

- 1 プリントカートリッジカバー上部の PUSH OPEN の部分を押し、カバーを開ける。
- 2 カートリッジ取り出しレバーを押し上げる。

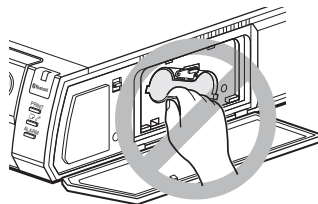


プリントカートリッジが出てくるので、抜き取りま
す。

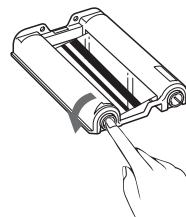
- 3 新しいプリントカートリッジを入れ、プリントカ
ートリッジカバーを閉じる。

ご注意

- 熱くなっていることがありますので、カートリッジカ
バーの内部に手を入れないでください。



- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常な
プリント結果が得られないばかりか、故障の原因になり
ます。
- プリントカートリッジがうまく入らないときは、いった
んプリントカートリッジを取り出してから、入れ直して
ください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、
カートリッジのスプールを矢印の方向に押しながら回し
てリボンのたるみをとってください。



- 本機の電源を入れたときにプリントカートリッジが入っ
ていない場合、ランプが点灯します。
- プリントカートリッジのインクに触ったり、ほこりの多
いところに置かないでください。
インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリント
できないことがあります。
- プリント中にプリントカートリッジは交換しないでくだ
さい。

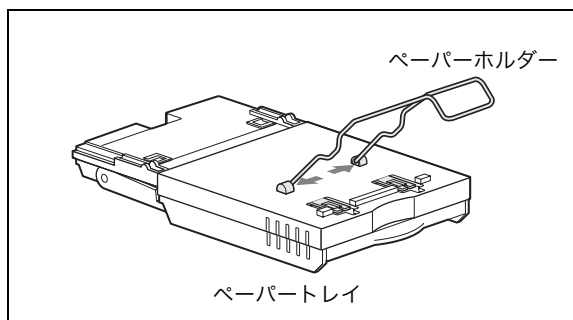
保存上のご注意

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日
光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用中で本体から取り出して保存する場合は、プリン
トカートリッジの入っていた袋などに入れて保存してく
ださい。

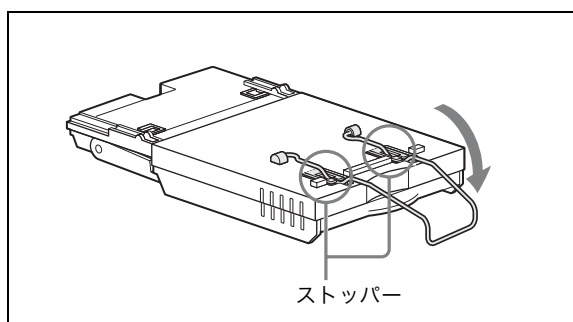
ペーパーホルダーを取り付けるには

付属のペーパーホルダーを次の手順でペーパートレイに取り付けます。

- 1 ペーパーホルダーの両先端をペーパートレイの底の穴に差し込む。

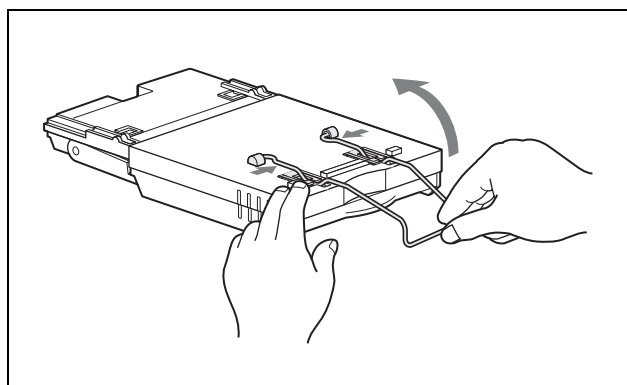


- 2 ペーパーホルダーをストッパーで固定する。



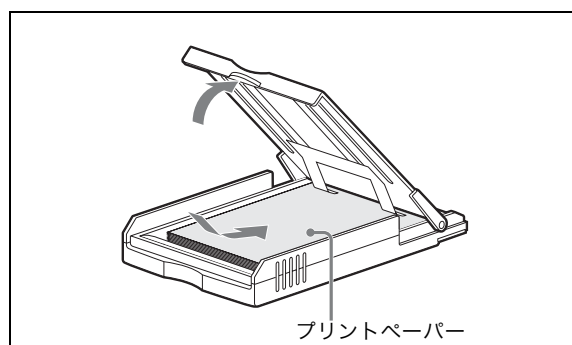
ペーパーホルダーをはずすには

ホルダーの端を軽く押し上げてストッパーからはずし、先端を穴から抜きます。



プリントペーパーを入れるには

- 1 プリントペーパーをペーパートレイに入れる。



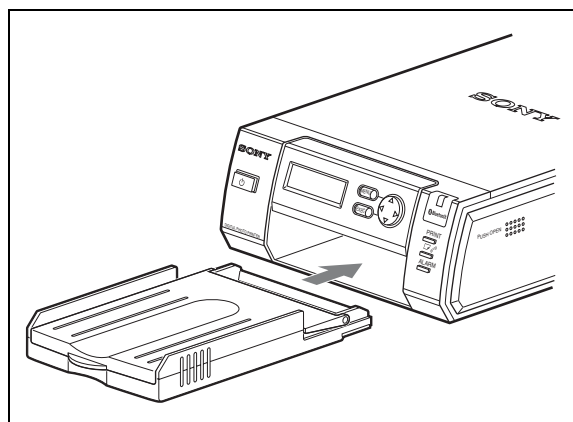
プリントペーパーはよくさばいてから、プリント面（何も印刷されていない面）を上にして、ペーパー裏面の矢印とトレイの矢印の向きを合わせて入れてください。UPC-X46 シリーズの場合は 25 枚、UPC-X34 シリーズの場合は 30 枚入れることができます。

- 2 プリントペーパーの上の保護シートを取り除く。

ご注意

保護シートは保管しておいてください。プリンター内部のクリーニングに使用します。

- 3 ペーパートレイをカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

印刷面に触れないようにしてください。ほこりや指紋がつくと印刷品質が劣化します。

ご注意

- UPC-X46 シリーズのペーパーは大きいペーパートレイに、UPC-X34 シリーズのペーパーは小さいペーパートレイに入れてください。ペーパーとトレイのサイズが合わない、紙づまりの原因になることがあります。

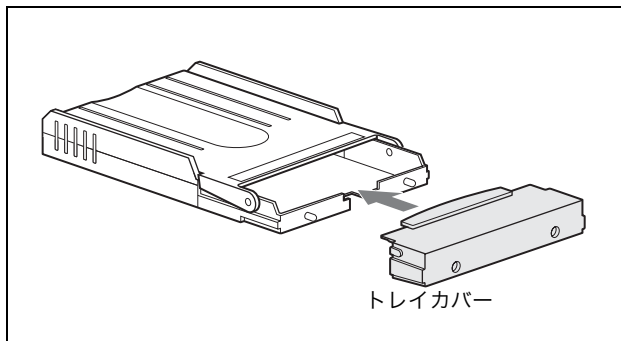
- プリント中は、ペーパートレイの抜き差しはしないでください。
- プリントペーパーが給紙されないときは、ランプが点灯し、メッセージが表示されます。いったんプリンターからトレイを抜いてプリントペーパーがつまっていないか確認してください。
- プリントペーパーをトレイに追加する場合は、総量が UPC-X46 シリーズの場合は 25 枚、UPC-X34 シリーズの場合は 30 枚を超えないようにしてください。また、違う種類のプリントペーパーを重ねて入れないようにしてください。紙づまりの原因になります。
- プリントする前にプリントペーパーに字を書いたり、ワープロで印字したりしないでください。プリントできないことがあります。また、プリント後にプリント画へ文字を記入する場合は、油性ペンをお使いください。プリント画にはワープロなどでの印字はできません。
- プリントする前にプリントペーパーに切手やシールを貼らないでください。
- 一度使用したプリントペーパーでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならないばかりか、故障の原因になります。
- プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたりしないでください。故障の原因になります。
- プリント後、排紙された用紙をペーパートレイに 5 枚を超えてためないでください。紙づまりの原因となります。

保存上のご注意

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- プリント画どうしを重ね合わせて保存しないでください。また、プリント画を塩化ビニールや、可塑材が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変色または脱色することがあります。
- 使用中で本体から取り出して長期保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋に入れて保存してください。

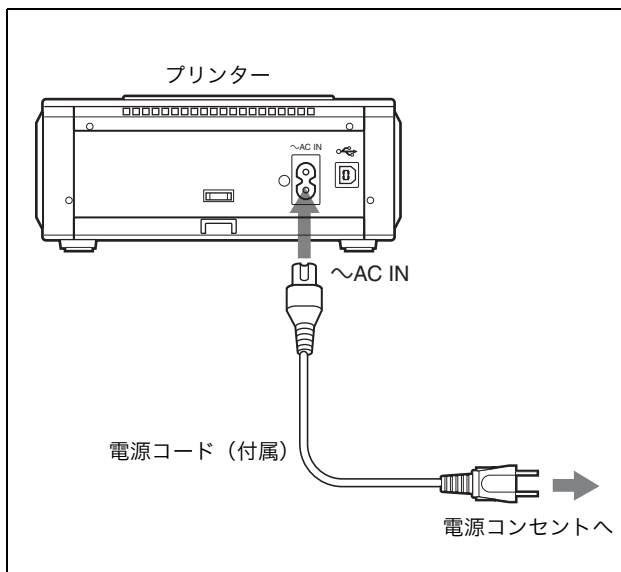
トレイカバーを取り付けるには

使用しないペーパートレイには、付属のトレイカバーを取り付けて保管してください。プリントペーパーにごみやほこりが着くのを防ぐことができます。トレイカバーは UPC-X46 シリーズ用、UPC-X34 シリーズ用どちらのペーパートレイにも取り付けることができます。



プリンターを AC 電源に接続するには

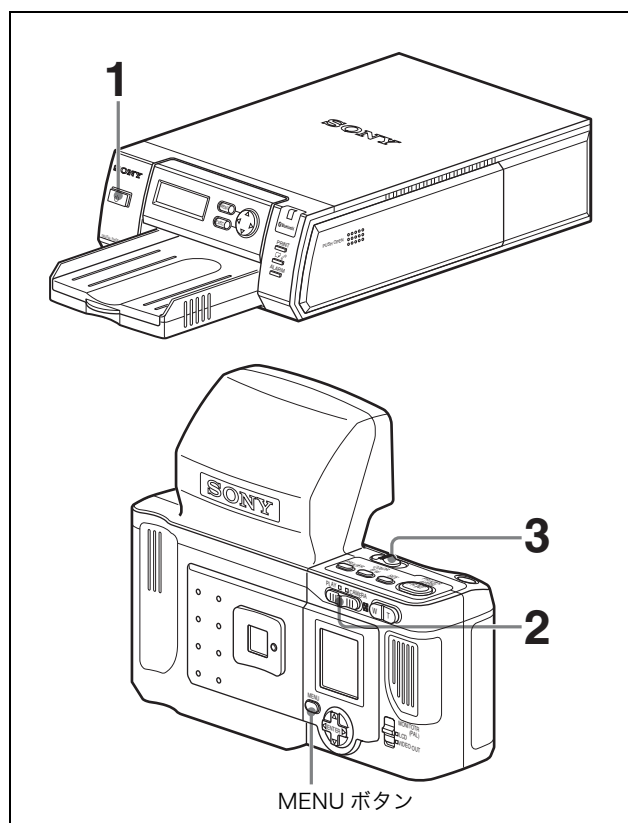
付属の電源コードを使ってプリンターを電源コンセントに接続します。



操作

ここでは画像を撮影し、プリントするまでの基本操作と、撮影した画像を再生する方法を説明します。本機には、ここで説明する以外にも様々な機能があります。それらの機能については、「こんなことができます」(39 ページ) または付属の CD-ROM に収められた取扱説明書(応用編)を参照してください。

準備する



- 1 プリンターのオン/スタンバイボタンを押して電源を入れる。

操作画面に Ready BT RSSI [- - -] が表示されるのを確認します。

- 2 PLAY/CAMERA スイッチを CAMERA にする。

- 3 カメラの POWER スイッチを ON にする。

カメラがプリンターを探し始め、液晶画面に DISCOVERING が表示されます。プリンターが見つかり接続が成功すると、表示は DISCOVERED に変わり、プリンター名と Bluetooth アドレスが黒く表示されます。黒い表示にならず、グレー表示のま

まの場合はプリンターとカメラの電源を切り、手順 1 ～ 3 の操作をやり直してください。

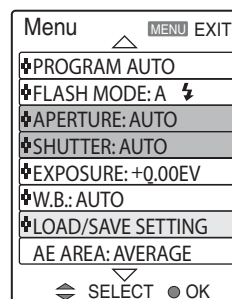
- 4 カメラのボタンをどれか押し、Bluetooth 接続画面を消す。

画像が表示されて撮影ができるようになります。

手順 1 ～ 3 を何度やり直しても Bluetooth 接続画面の表示がグレー表示のままで DISCOVERED が表示されない場合、あるいは NO PRINTER が表示される場合は、「故障とお考えになる前に」(71 ページ)をご覧ください。それでも接続できないときは、取扱説明書(応用編)をご覧ください。お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

工場出荷時の撮影条件

工場出荷時は、自動で撮影できるように撮影に必要な条件が設定されています。メニュー操作で設定を変更しない限り、MENU ボタンを押し、コントロールボタンの ▼ を押して下図のメニューを表示すると、工場出荷時の設定を確認することができます。確認が終わったら、再度 MENU ボタンを押して、メニュー表示を消しておいてください。

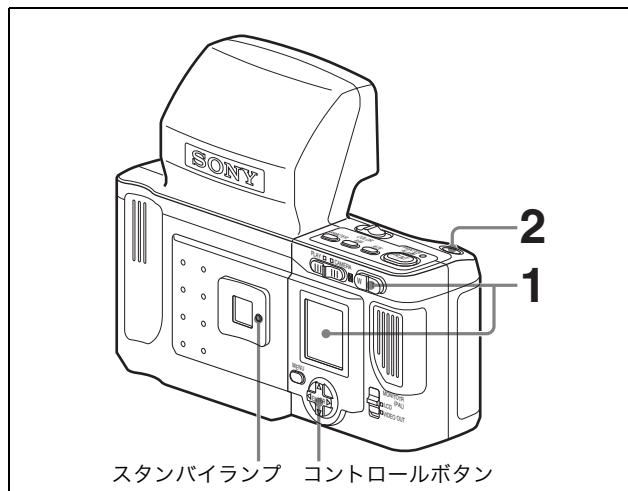


記録解像度の設定

撮影前にプリントサイズに最適な記録解像度を選択することをおすすめします。

- ◆ 記録解像度の選択のしかたについては、「記録解像度を設定する (RESOLUTION)」(41 ページ)をご覧ください。

撮影する



1 カメラを被写体に向け、カメラの液晶画面を見て構図を決める。

ズームレバーを押し、ズーミングで構図を決めることができます。

◆ ズームの設定については、「ズームの倍率を設定する (ZOOM)」(42 ページ) をご覧ください。

構図を決めるためのガイドラインを表示することができます。

◆ ガイドラインについては、「フレームを設定する (FRAME)」(46 ページ) をご覧ください。

2 カメラのリリースボタンを半押しし、液晶画面の上部に緑色の丸が表示されたら、完全に押し切る。

画像が撮影され、撮影された画像が液晶画面に表示されます。これをクイックレビュー表示と呼びます。同時に、画像は内蔵のメモリーに記録されます。記録中は、スタンバイランプが赤く点滅します。記録が終了し、内蔵フラッシュの充電も済んで次の撮影の準備ができると、スタンバイランプは緑に変わります。

撮影した画像は、クイックレビュー表示のままプリントできます。PLAY/CAMERA スイッチを切り換える必要はありません。

◆ 詳しくは「撮影した画像をプリントする」(22 ページ) をご覧ください。

半押ししたときに赤色の丸が表示されたときは、焦点が合わなかったか自動露出の設定ができなかった場合です。ゆっくりと半押しをやり直してください。

次の画像を撮影するには、リリースボタンかズームレバーを押してクイックレビュー表示を解除し、手順 1、2 を繰り返します。

今撮影した画像をメモリーから削除するには

今撮影し、クイックレビュー表示されている画像を次の手順でメモリーから削除することができます。

1 コントロールボタンの ENTER を押す。

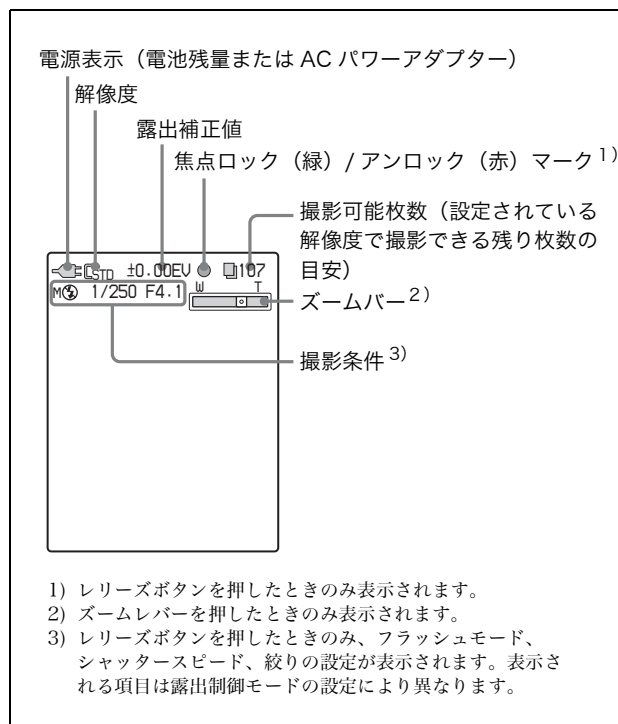
Delete? が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ を押して OK を選択し、ENTER を押す。

表示されている画像がメモリーから削除され、カメラは撮影状態に戻ります。

撮影時の液晶画面

PLAY/CAMERA スイッチを CAMERA に設定したときの液晶画面の表示例です。



1) リリースボタンを押したときのみ表示されます。

2) ズームレバーを押したときのみ表示されます。

3) リリースボタンを押したときのみ、フラッシュモード、シャッタースピード、絞りの設定が表示されます。表示される項目は露出制御モードの設定により異なります。

自動焦点機能について

レリーズボタンを半押しにすると自動焦点機能が働き、被写体に焦点が合うと液晶画面の上部に緑色の丸が表示されます。さらにボタンを押して、完全に押し切るとシャッターが切れて撮影されます。

半押ししたときに焦点が合わないと赤色の丸が表示されます。もう一度ゆっくりと半押しし直してください。赤色の丸が表示されている状態でも、レリーズボタンを完全に押し切るとシャッターが切れて撮影されます。半押しで止めずに一気に押し切った場合も、半押し状態の画面を経て撮影されます。

SETUP メニューの SOUND を SHUTTER または ON に設定すると、レリーズボタンを半押しにしたとき、および完全に押し切ったときに操作音がします。

ご注意

次のような場合は自動焦点機能が正しく動きません。

- 被写体のコントラストが弱い
- 被写体の一部が非常に明るい
- 被写体に水平線がない
- 撮影環境が暗い

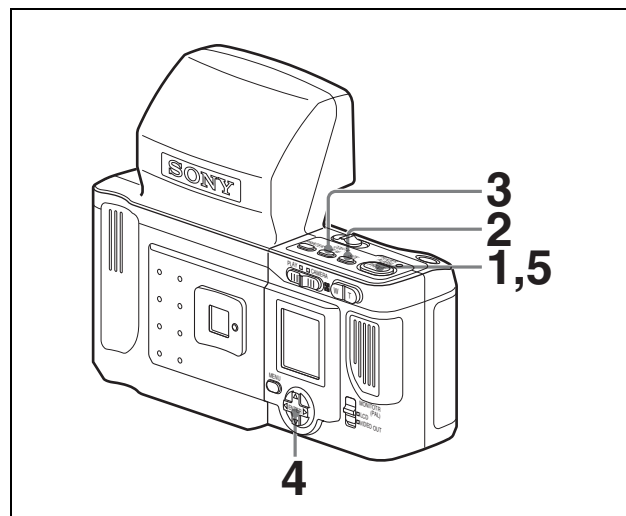
露出の補正機能

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、露出の補正値を簡単に変更することができます。押すと液晶画面に表示されている露出補正値が変わります。

- ◆ 露出の補正機能については、「露出を補正するには (EXPOSURE)」(44 ページ) をご覧ください。

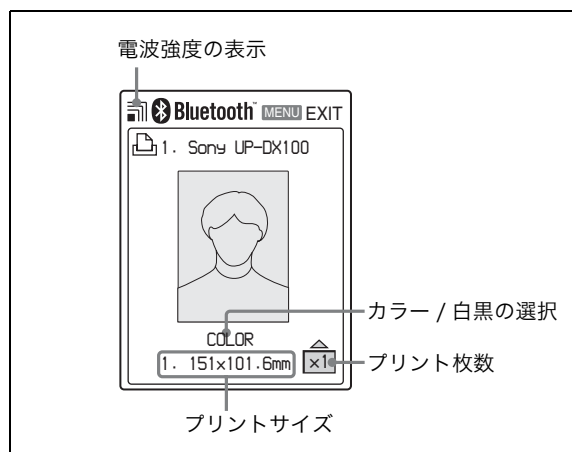
撮影した画像をプリントする

撮影が終了したクイックレビュー表示中の画像は、次の手順でプリントします。



1 PRINT ボタンを押す。

レイアウト画面が表示されます。



画面左上の電波強度表示で電波の状態を確認することができます。

■ ■ : 電波状態は良好です。

■ ■ : 電波が弱いため、転送に時間がかかる場合があります。

この後、転送が終了するまでカメラとプリンターは位置を変えないでください。

レイアウト画面が表示されない場合は、電波状態が悪くて画像を転送できません。カメラとプリンターを近づけて、PRINT ボタンを押し直してください。

2 SIZE ボタンでプリントするサイズを選択する。

1) SIZE ボタンを押す。

選択したサイズのレイアウト画面が表示されます。

- 2) 希望するサイズが表示されるまで、SIZE ボタンを繰り返し押す。

◆ 選択したサイズとプリントされる画像の寸法については、「フレームを設定する (FRAME)」(46 ページ) をご覧ください。

- 3 COLOR / B/W ボタンを押して、プリントをカラーにするか白黒にするかを選択する。

COLOR : カラー画像をプリントするとき

B/W : 白黒画像をプリントするとき

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押してプリントする枚数を設定する。

- 5 PRINT ボタンをもう一度押す。

画像データがカメラからプリンターに転送されます。カメラの液晶画面には TRANSMITTING と転送の進行状態が表示されます。

CANCEL ボタンがオレンジ表示の間は、ENTER ボタンを押して転送を取り消すことができます。

転送が終了すると CANCEL ボタンがグレー表示になり、プリンターはプリントパックの状態を確認してからプリントを開始します。

ご注意

- ・ CANCEL ボタンがグレー表示になるとプリントの取消しはできません。
- ・ CANCEL ボタンがグレー表示の間は、カメラのボタンを押さないでください。

プリントが始まると、カメラの液晶画面に TRANSMISSION END. PUSH MENU KEY TO CONTINUE. が表示されます。MENU ボタンまたはコントロールボタンを押して表示を消してください。

液晶画面は、PLAY/CAMERA スイッチが CAMERA のときはクイックレビュー表示に戻ります。プリントが終了すると、同じ画像を再度別サイズ等でプリントすることができます。

複数台のプリンターを使用している場合は、プリント中にほかのプリンターへデータ転送することができます。また、プリント中に次の撮影を開始することもできます。次の画像を撮影するには、シャッターを半押しするかズームレバーを押して、クイックレビュー表示を解除します。

PLAY/CAMERA スイッチが PLAY のときは再生画像に戻ります。

プリントサイズとカラー／白黒の選択について

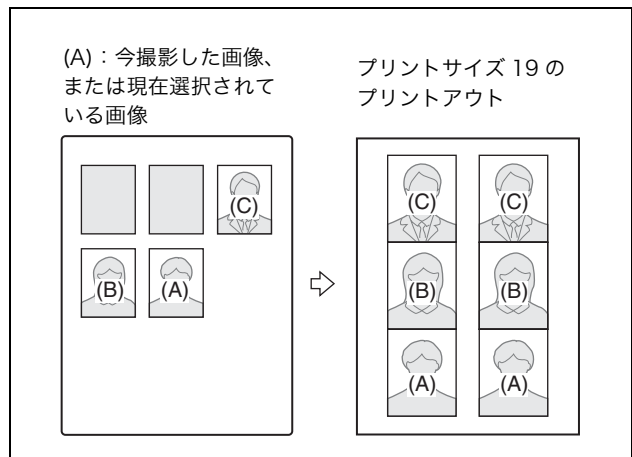
プリントサイズとカラー／白黒の選択は、PRINT ボタンを押してレイアウト画面を表示しなくても実行できます。SIZE ボタンまたは COLOR / B/W ボタンを押し、液晶画面にプリントサイズまたは COLOR か B/W が表示されている間に、再度 SIZE ボタンか COLOR / B/W ボタンを押して選択します。この後に PRINT ボタンを押すと、選択したサイズのレイアウト画面が表示されます。

異なる画像を1枚のプリントペーパーにプリントするには

プリントサイズ 17、18、19、20 を選択すると、2つ、または3つの異なる画像を1枚のプリントペーパーにプリントすることができます。プリントサイズ 17、18、20 を選択したときは2つの画像、プリントサイズ 19 を選択したときは3つの画像がプリントされます。UPC-X34 シリーズ使用時は、プリントサイズ 20 だけ選択することができます。

CAMERA モードのときは、今撮影した画像とひとつ前 (プリントサイズ 19 のときは2つ前まで) の画像をプリントします。PLAY モードのときは、現在選択している画像と、そのひとつ前 (プリントサイズ 19 のときは2つ前まで) の画像をプリントします。

- ◆ 連続していない画像を1枚のプリントペーパーにプリントするには、「9 コマ画面の画像の位置を移動する (MOVE)」(54 ページ) を参照して、順番を並べ換えてください。



ご注意

異なる画像を1枚のプリントペーパーにプリントする操作は取り消しできません。データの転送中は CANCEL ボタンがグレー表示になります。CANCEL ボタンがグレー表示の間は、カメラのボタンを押さないでください。

プリント画質の調整について

カラープリントと白黒プリントの画質はそれぞれにプリンターで調整し、調整値を保存しておくことができます。カラー画像をプリントするときはカラープリント用の調整値、白黒画像をプリントするときは白黒プリント用の調整値が、プリンターで自動的に選択されます。

◆ プリント画質の調整について詳しくは、「プリント画質を調整する (COLOR ADJUST)」(56 ページ) をご覧ください。

白黒プリントの画質調整について

COLOR / B/W ボタンで B/W を選択して白黒のプリントをすると、Yellow、Magenta、Cyan を重ね合わせてプリントするため、完全な無彩色にならないことがあります。プリント画質の調整機能を使って黒味の調整をすることができます。

◆ 白黒プリントの画質調整について詳しくは、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

カメラのメモリーに保存されている画像をプリントするには

撮影した画像はカメラのメモリーに保存されています。保存されている画像をプリントするには、画像を再生してプリントしたい画像を選択します。その後の手順は撮影した画像をそのままプリントするときと同じです。

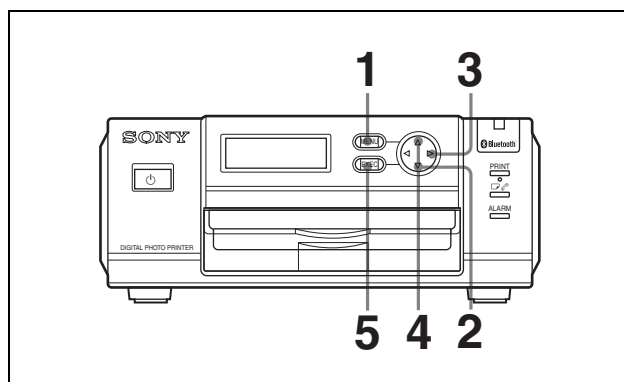
◆ 画像を再生するには、「撮影した画像を再生する」(25 ページ) をご覧ください。

プリンターのメモリーに保存した画像を再プリントする (COPY PRINT)

最後にプリントした画像のデータはプリンターのメモリーに保存されています。この画像を再プリントすることができます。

ご注意

プリンターのオン / スタンバイボタンを押してランプを消す (スタンバイ状態) と、メモリーに保存されている画像データは消去され、再プリントはできなくなります。



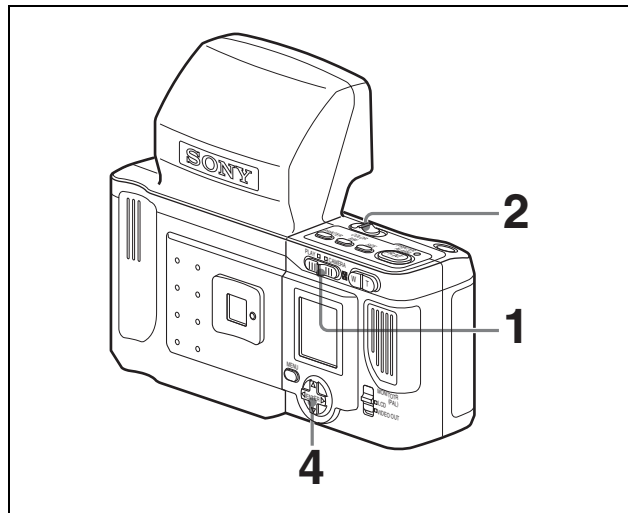
- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの▼を押し、COPY PRINT [>>] を表示させる。
- 3 コントロールボタンの▶を押す。
COPY PRINT : 1 [1-9 PRINT: EXEC] が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押し、プリントする枚数を設定する。
1 ～ 9 枚設定することができます。
- 5 EXEC ボタンを押す。

手順 4 で設定した枚数の画像がプリントされます。

プリントが終了すると、Ready 画面に戻ります。

撮影した画像を再生する

カメラに記録した画像を、液晶画面で見ることができます。



- 1 PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにする。
- 2 POWER スイッチをONにする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
カメラのメモリーに保存されている画像が液晶画面に表示されます。
- 4 コントロールボタンの◀または▶を押して、再生する画像を選択する。

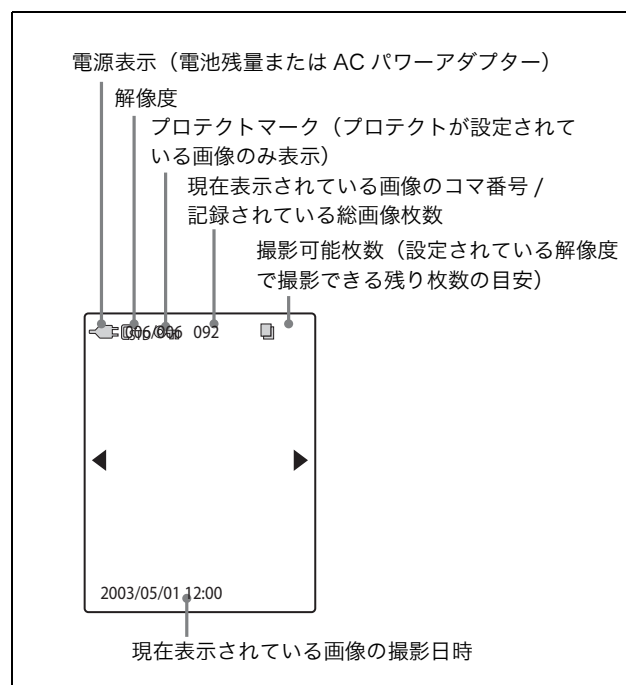
9コマ画面を表示するには

カメラのメモリーに保存されている画像を9枚一度に表示し、再生したい画像を探すことができます。

- 1 ズームレバーのW側を押す。
9コマ画面が表示されます。
- 2 コントロールボタンの◀、▶、▲、▼を押して、再生する画像を選択する。
- 3 コントロールボタンのENTERまたはズームレバーのT側を押して、選択した画像を全体表示する。

再生時の液晶画面

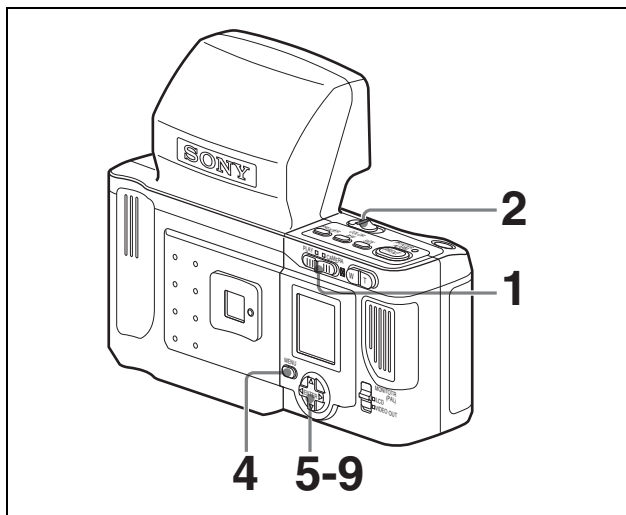
PLAY/CAMERA スイッチをPLAYに設定したときの液晶画面の表示例です。



画像を消去する

不要になった画像を消去することができます。画像の消去には、1枚ずつ消去する方法と、すべての画像を一度に消去する方法があります。

1枚ずつ消去するには



- 1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。
- 2 POWER スイッチを ON にする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4 MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 5 コントロールボタンの◀または▶を押して消去したい画像を選択する。
- 6 コントロールボタンの▲または▼を押してDELETEを選択する。
- 7 コントロールボタンの ENTER を押す。
Delete 画面が表示されます。
- 8 コントロールボタンの▲を押して OK を選択する。
- 9 コントロールボタンの ENTER を押す。
手順 5 で選択した画像が消去されます。

続けて消去するには

手順 5、8、9 を繰り返します。

一度に全部消去するには

- 1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。
- 2 POWER スイッチを ON にする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4 MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 5 コントロールボタンの▲または▼を押して DELETE ALL を選択する。
- 6 コントロールボタンの ENTER を押す。
Delete All? 画面が表示されます。
- 7 コントロールボタンの▲を押して OK を選択する。
- 8 コントロールボタンの ENTER を押す。
プロテクトが設定されている画像を除いて、メモリーに保存されているすべての画像が消去されます。

9コマ画面で画像を消去するには

- 1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。
- 2 POWER スイッチを ON にする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4 ズームレバーの W 側を押して 9 コマ画面を表示させる。
- 5 MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 6 コントロールボタンの▲または▼を押してDELETEを選択する。
9 コマ画面に戻り現在選択されている画面でカーソルが点滅します。
- 7 コントロールボタンの◀、▶、▲、▼を押して消去したい画像を選択し、ENTER を押す。
Delete 画面が表示されます。
- 8 コントロールボタンの◀を押して OK を選択する。
- 9 コントロールボタンの ENTER を押す。

手順 7 で選択した画像が消去され、Menu 画面に戻ります。

消去を中止するには

Delete 画面または Delete All? 画面で OK の代わりに RETURN を選択し、コントロールボタンの ENTER を押します。Menu 画面に戻ります。

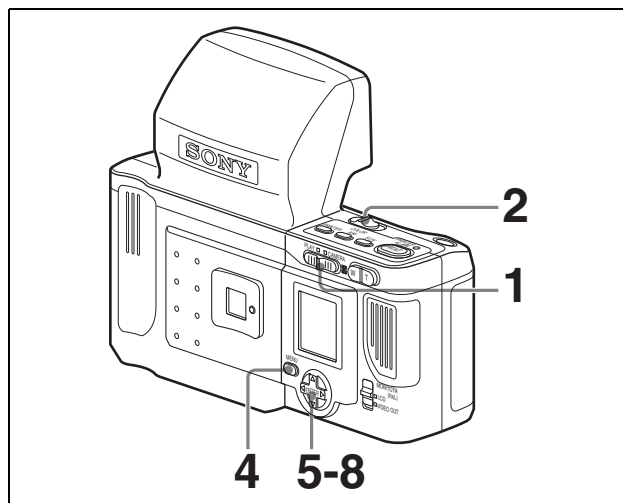
消去操作を終了するには

MENU ボタンを押します。

消去を禁止する（プロテクト）

撮影済みの画像を誤って消去しないように、消去禁止にすることができます。消去を禁止するには、1 枚ずつ禁止する方法と、すべての画像を一度に禁止にする方法があります。

1 枚ずつ消去禁止にするには



- 1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。
- 2 POWER スイッチを ON にする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4 MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 5 コントロールボタンの▲または▼を押して PROTECT を選択する。
- 6 コントロールボタンの ENTER を押す。
Protect 画面が表示されます。
- 7 コントロールボタンの◀または▶を押して消去禁止にしたい画像を選択する。
- 8 ON が選択されているのを確認して、コントロールボタンの ENTER を押す。
ON が選択されていないときは、コントロールボタンの ▲ を押して ON を選択し、ENTER を押す。
プロテクトマーク  が表示されます。
すでに消去禁止になっている画像はプロテクトマークが表示され、OFF または RETURN ボタンが表示されます。

他の画像をプロテクトするには

手順 7、8 を繰り返します。

すべての画像を消去禁止にするには

- 1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。
- 2 POWER スイッチを ON にする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4 MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 5 コントロールボタンの▲または▼を押してPROTECT ALL を選択する。
- 6 コントロールボタンの ENTER を押す。
Protect All 画面が表示されます。
- 7 コントロールボタンの ▲を押して ON を選択する。
- 8 コントロールボタンの ENTER を押す。
プロテクトマークが表示されます。

9 コマ画面で画像を消去禁止にするには

- 1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。
- 2 POWER スイッチを ON にする。
- 3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4 ズームレバーの W 側を押して 9 コマ画面を表示させる。
- 5 MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 6 コントロールボタンの▲または▼を押してPROTECT
を選択する。
9 コマ画面に戻り現在選択されている画面でカーソルが点滅します。
- 7 コントロールボタンの◀、▶、▲または▼を押して消去禁止にしたい画像を選択し、ENTER を押す。
Protect 画面が表示されます。

- 8 ON が選択されていることを確認して、コントロールボタンの ENTER を押す。

ON が選択されていないときは、コントロールボタンの◀を押して ON を選択し、ENTER を押す。

手順 7 で選択した画像にプロテクトマークが表示され、Menu 画面に戻ります。

メニュー画面に戻るには

Protect 画面または Protect All 画面で RETURN を選択し、コントロールボタンの ENTER を押します。

プロテクトの設定を終了するには

MENU ボタンを押します。

消去禁止を解除するには

プロテクトした画像を消去したいときは、消去したい画像のプロテクトの設定を解除します。

- 1 Protect 画面を表示し、コントロールボタンの◀または▶を押してプロテクトを解除したい画像を選択する。または Protect All 画面を表示する。
◆ 画面の表示のしかたについては、「1 枚ずつ消去禁止にするには」(27 ページ)、「すべての画像を消去禁止にするには」(28 ページ)、「9 コマ画面で画像を消去禁止にするには」(28 ページ)をご覧ください。

- 2 OFF が選択されていることを確認し、コントロールボタンの ENTER を押してプロテクトマークを消す。
プロテクトが解除されます。

電源を切る

すべての操作が終了したら、次の手順でプリンターをスタンバイモードにし、カメラの電源を切ります。

プリンターをスタンバイモードにするには

オン / スタンバイボタンを押し、スタンバイランプを消灯させます。

カメラの電源を切るには

POWER スイッチを OFF にします。

カメラは内部の最新設定をメモリーに保存してから電源を完全に切ります。保存中は液晶画面に時計表示をし、スタンバイランプが点灯しています。この間は AC パワーアダプターの接続をはずしたり、電池を抜いたりしないでください。

ご注意

保存の途中で AC パワーアダプターの接続をはずしたり電池を抜いたりして電源の供給を遮断すると、メモリーへの保存に失敗することがあります。この場合、以前の設定に戻ることがありますのでご注意ください。

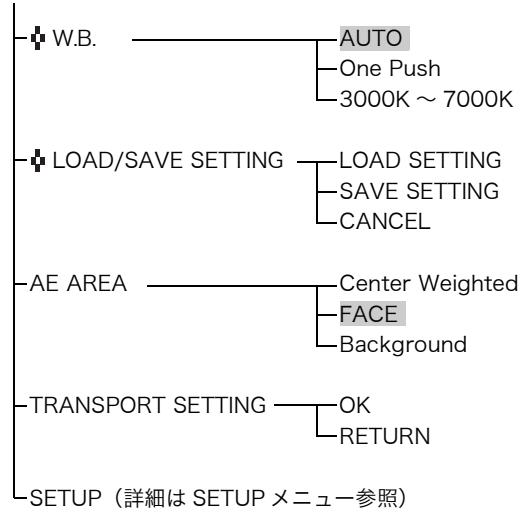
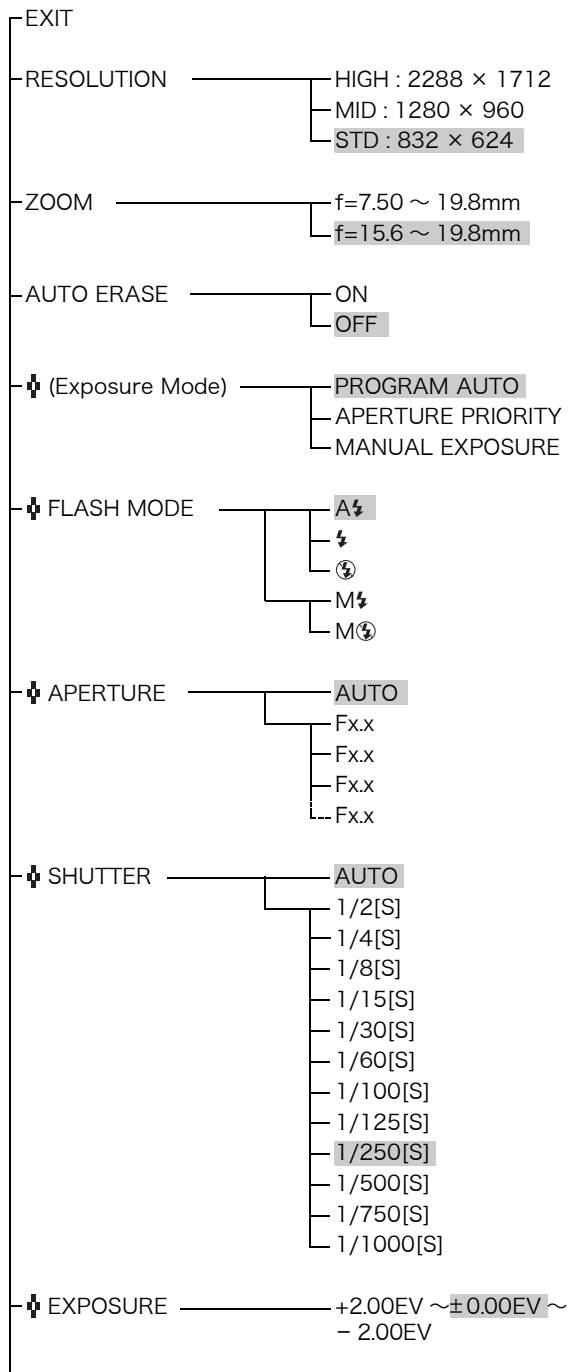
また、AC パワーアダプターを接続したりはずしたりしてカメラの電源を ON/OFF すると、最新の設定は保存されないのおやめください。

メニュー

メニューの構成

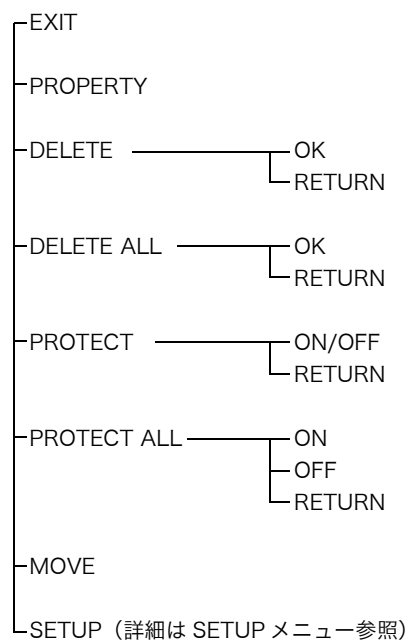
カメラ

CAMERA モード



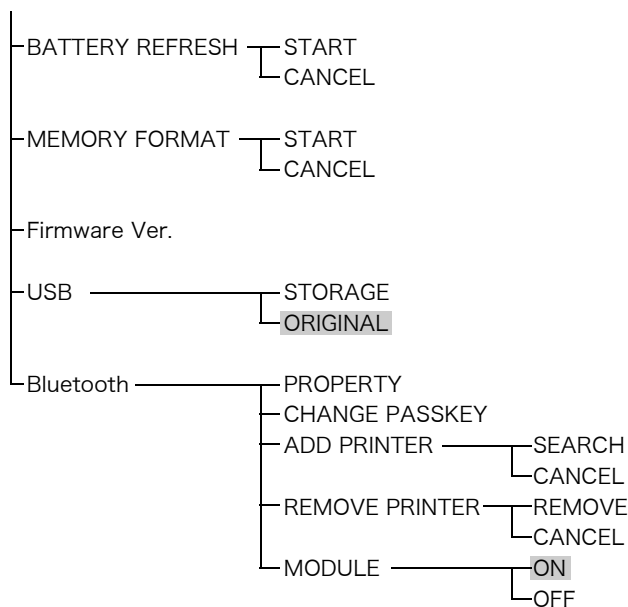
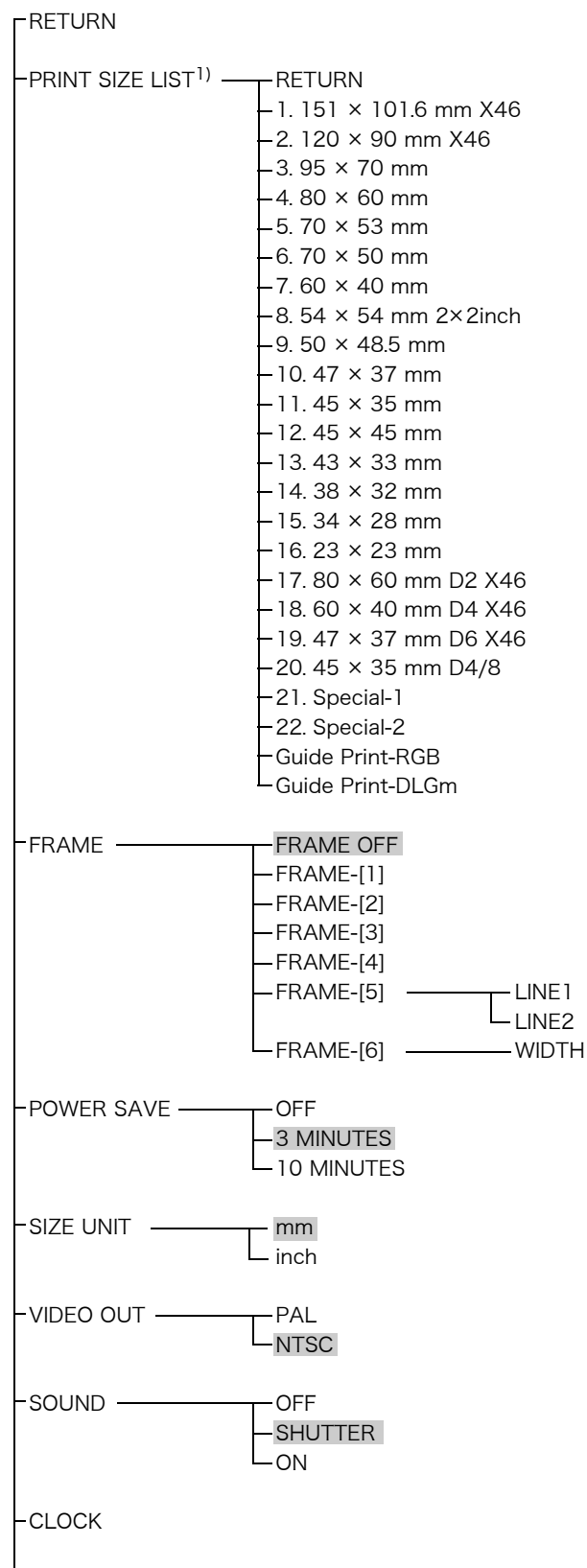
◆ : LOAD/SAVE SETTING で保存できる項目
 : 工場出荷時の設定

PLAY モード



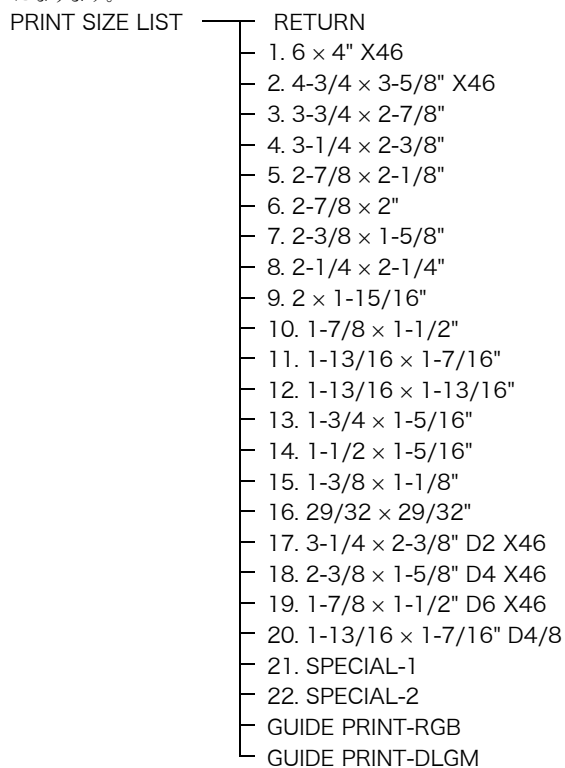
SETUP メニュー

SETUP メニューは CAMERA モードと PLAY モードに共通です。

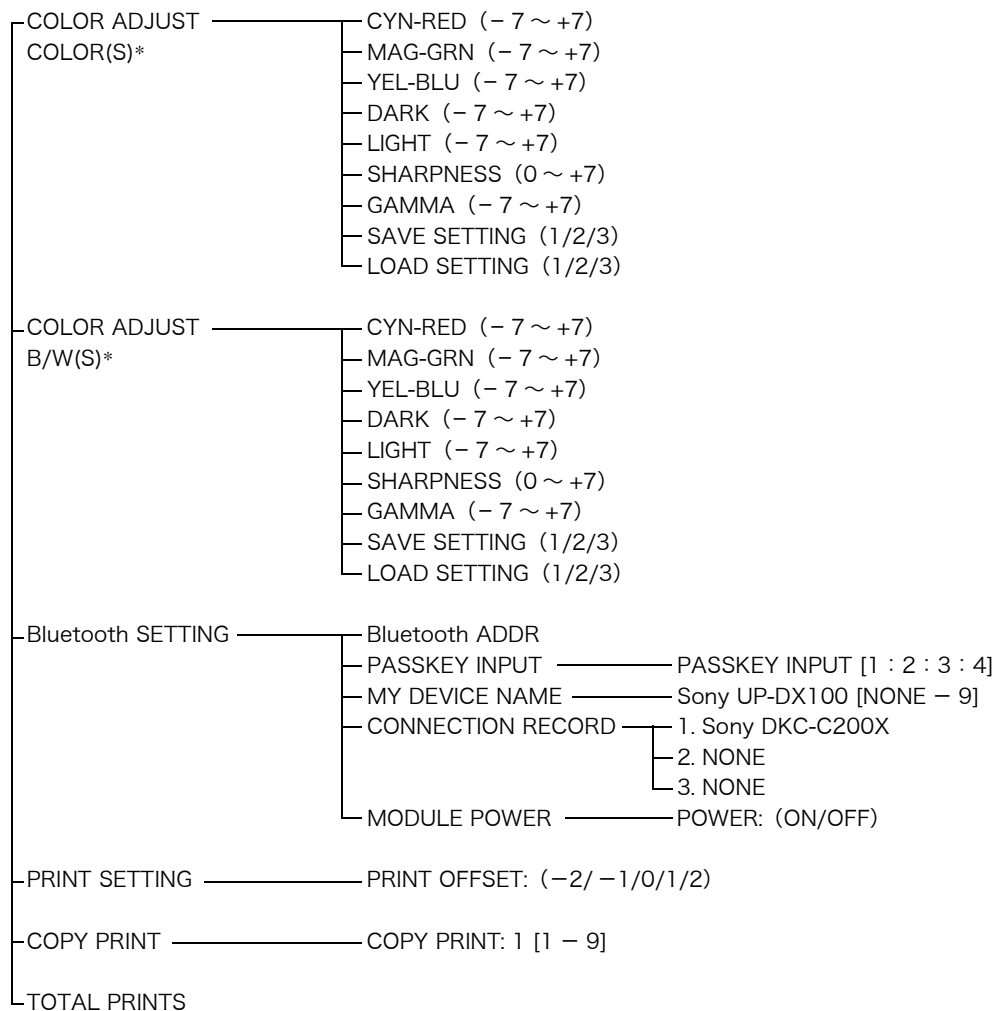


工場出荷時の設定

1)SIZE UNIT の設定を inch にすると、PRINT SIZE LIST は下記のようになります。



プリンター



* プリントペーパー UPC-X45 シリーズ使用時は (S) が表示されます。

メニュー項目の機能

CAMERA モード

設定を保存できる項目には☒マークが付いています。

メニュー項目	機能	設定
EXIT	メニューモードを終了します。	—
RESOLUTION	記録の解像度を選択します。	Record Resolution HIGH : 2288 × 1712 MID : 1280 × 960 STD : 832 × 624
ZOOM	ズームレンジを選択します。	Zoom Range f=7.50 ~ 19.8mm : 35mm フィルムカメラ用レンズ 36mm ~ 96mm 相当 f=15.6 ~ 19.8mm : 35mm フィルムカメラ用レンズ 75mm ~ 96mm 相当
AUTO ERASE	自動消去モードを設定します。	Auto Erase ON : メモリーが一杯になったとき、古いデータから順番に消して、新しい撮影データを保存します。 OFF : メモリーが一杯になったとき、撮影を停止します。 (取扱説明書 (応用編) 参照)
☒ (Exposure Mode)	露出の制御方法を選択します。	Exposure Mode PROGRAM AUTO : 自動調整 APERTURE PRIORITY : 絞り優先 MANUAL EXPOSURE : 手動調整
☒ FLASH MODE	フラッシュの発光モードを選択します。	Flash Mode A☒ : 自動露出、自動発光 ☒ : 自動露出、強制発光 ☒ : 自動露出、発光禁止 M☒ : 手動露出、強制発光 M☒ : 手動露出、発光禁止
☒ APERTURE	絞りを選択します。 Exposure Mode を APERTURE PRIORITY または MANUAL EXPOSURE に設定したときのみ有効です。	Aperture Setting ズームの位置によって設定できる選択肢は3または4になり、設定値も変わります。
☒ SHUTTER	シャッター速度を選択します。 Exposure Mode を MANUAL EXPOSURE に設定したときのみ有効です。	Shutter Speed 1/2[S]、1/4[S]、1/8[S]、1/15[S]、1/30[S]、 1/60[S]、1/100[S]、1/125[S]、1/250[S]、 1/500[S]、1/750[S]、1/1000[S]
☒ EXPOSURE	露出を補正します。	EV Compensation +2.00EV、+1.75EV、+1.50EV、+1.25EV、 +1.00EV、+0.75EV、+0.50EV、+0.25EV、 ± 0.00EV、- 0.25EV、- 0.50EV、- 0.75EV、 - 1.00EV、- 1.25EV、- 1.50EV、- 1.75EV、 - 2.00EV
☒ W.B.	ホワイトバランスを調整します。	White Balance AUTO : 自動調整 One Push : One Push を選択したときの画像を白の基準値として取り込みます。 3000K、3500K、4000K、4500K、5000K、 5500K、6000K、6500K、7000K : 選択した色温度で ホワイトバランスが調整されます。

メニュー項目	機能	設定
❖ LOAD/SAVE SETTING	選択した露出モードごとに、撮影条件 (FLASH MODE、APERTURE、SHUTTER、EXPOSURE、W.B.) を保存し、保存したデータ呼び出します。	LOAD SETTING：保存した撮影条件を呼び出します。出荷時は撮影条件が保存されていないので、グレー表示になり選択することはできません。 SAVE SETTING：撮影条件を保存します。 CANCEL：キャンセルします。 (取扱説明書 (応用編) 参照)
AE AREA	測光エリアを選択します。 Exposure Mode を PROGRAM AUTO または APERTURE PRIORITY に設定したときのみ有効です。	AE Area Center Weighted：中央重点 FACE：顔部分 Background：背景上半分 (取扱説明書 (応用編) 参照)
TRANSPORT SETTING	レンズを輸送に適した位置に移動します。	ON：レンズを移動します。移動後に電源スイッチを OFF にしてください。 RETURN：レンズを移動しません。
SETUP (詳細は「SETUP メニュー」参照)		

PLAY モード

メニュー項目	機能	設定
EXIT	メニューモードを終了します。	—
PROPERTY	表示画像の情報を表示します。	—
DELETE	表示画像を削除します。	Delete OK/RETURN
DELETE ALL	メモリーに保存されている全ての画像を削除します。ただし、プロテクトが設定されている画像は削除されません。	Delete All? OK/RETURN
PROTECT	表示画像のプロテクトと解除を行います。	Protect ON/RETURN、OFF/RETURN
PROTECT ALL	メモリーに保存されているすべての画像のプロテクトと解除を行います。	Protect All ON/OFF/RETURN
MOVE	9 コマ表示のとき、画像を移動します。	—
SETUP (詳細は SETUP メニュー参照)		

SETUP メニュー

SETUP メニューは CAMERA モードと PLAY モードに共通です。

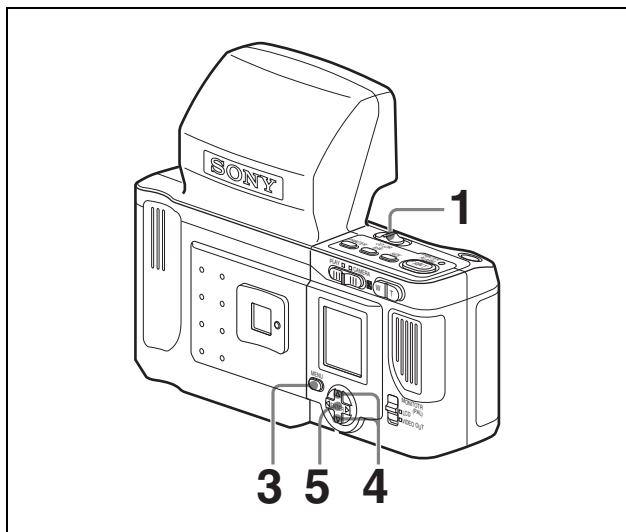
メニュー項目	機能	設定	
RETURN	SETUP モードを終了し、元の Menu 画面に戻ります。	—	
PRINT SIZE LIST	SIZE ボタンを押したときに液晶画面に表示するプリントサイズを選択します。出荷時はすべて選択できる設定になっています。Guide Print-RGB と Guide Print-DLGm は常時表示されます。	Print Size(SIZE UNIT: mm) RETURN 1. 151 × 101.6 mm X46 2. 120 × 90 mm X46 3. 95 × 70 mm 4. 80 × 60 mm 5. 70 × 53 mm 6. 70 × 50 mm 7. 60 × 40 mm 8. 54 × 54 mm 2×2inch 9. 50 × 48.5 mm 10. 47 × 37 mm 11. 45 × 35 mm 12. 45 × 45 mm 13. 43 × 33 mm 14. 38 × 32 mm 15. 34 × 28 mm 16. 23 × 23 mm 17. 80 × 60 mm D2 X46 18. 60 × 40 mm D4 X46 19. 47 × 37 mm D6 X46 20. 45 × 35 mm D4/8 21. Special-1 22. Special-2 Guide Print-RGB Guide Print-DLGm	Print Size (SIZE UNIT: inch) RETURN 1. 6 × 4" X46 2. 4-3/4 × 3-5/8" X46 3. 3-3/4 × 2-7/8" 4. 3-1/4 × 2-3/8" 5. 2-7/8 × 2-1/8" 6. 2-7/8 × 2" 7. 2-3/8 × 1-5/8" 8. 2-1/4 × 2-1/4" 9. 2 × 1-15/16" 10. 1-7/8 × 1-1/2" 11. 1-13/16 × 1-7/16" 12. 1-13/16 × 1-13/16" 13. 1-3/4 × 1-5/16" 14. 1-1/2 × 1-5/16" 15. 1-3/8 × 1-1/8" 16. 29/32 × 29/32" 17. 3-1/4 × 2-3/8" D2 X46 18. 2-3/8 × 1-5/8" D4 X46 19. 1-7/8 × 1-1/2" D6 X46 20. 1-13/16 × 1-7/16" D4/8 21. SPECIAL-1 22. SPECIAL-2 GUIDE PRINT-RGB GUIDE PRINT-DLGm
FRAME	画枠合わせの目安となるガイドラインを選択します。	FRAME OFF : ガイドラインを表示しない。 FRAME-[1] : フレーム 1 を表示します。 FRAME-[2] : フレーム 2 を表示します。 FRAME-[3] : フレーム 3 を表示します。 FRAME-[4] : フレーム 4 を表示します。 FRAME-[5] (LINE1/LINE2) : フレームの上下のラインの位置を調整できます。 FRAME-[6] (WIDTH) : フレームの左右の間隔を調整できます。	
POWER SAVE	パワーセーブモードの設定と解除を行います。	Power Save OFF : パワーセーブ動作を行いません。 3 MINUTES : 3 分間で自動的に電源を切ります。 10 MINUTES : 10 分間で自動的に電源を切ります。	
SIZE UNIT	サイズの表示単位を切り換えます。	Size Unit mm/inch	
VIDEO OUT	VIDEO OUT 端子の出力信号を選択します。	Video Out PAL : PAL 信号を出力します。MONITOR (PAL) スイッチが有効になります。 NTSC : NTSC 信号を出力します。	

メニュー項目	機能	設定
SOUND	操作音を ON/OFF します。	Sound OFF：操作音が出ません。 SHUTTER：レリーズボタンと PRINT ボタンを押したとき 操作音が出ます。 ON：すべての操作で操作音（ズームレバー、PLAY/ CAMERA スイッチ、MONITOR (PAL) スイッチを除 く）が出ます。
CLOCK	日付けと時間を設定します。	Clock Y/M/D、Date、Time OK/RETURN
BATTERY REFRESH	ニッケル水素電池の放電を行います。	Battery Refresh START：放電して、電池をリフレッシュします。 CANCEL：リフレッシュを取り消します。
MEMORY FORMAT	内蔵の画像メモリーをフォーマットします。 ご注意 プロテクトされている画像も削除されます。	Memory Format (CAUTION! ALL IMAGES WILL BE DELETED.) START：画像メモリーのフォーマットを実行します。 CANCEL：フォーマットを中止します。 (取扱説明書 (応用編) 参照)
Firmware Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。	(取扱説明書 (応用編) 参照)
USB	USB のクラスを選択します。	USB Class STORAGE：カメラの画像メモリーをストレージクラスでリ ムーバブルメディアとしてアクセスするとき。 ご注意 USB のストレージクラスは、お使いのコンピューターの オペレーションシステムが対応している場合にお使いに なれます。 ORIGINAL：付属のドライバーとユティリティを使ってカメ ラをコントロールするとき。
Bluetooth	Bluetooth 機能の設定を行います。	PROPERTY：カメラの Bluetooth アドレス、パスキー、登録 プリンターのリストを表示します。 CHANGE PASSKEY：設定されているパスキーを変更しま す。(0000 ～ 9999 の数値を設定できます。) ADD PRINTER：プリンターを追加登録します。3 台まで登 録することができます。 REMOVE PRINTER：登録されているプリンターを 1 台ずつ 削除します。 MODULE：Bluetooth 回路の電源を ON/OFF します。 (取扱説明書 (応用編) 参照)

プリンター

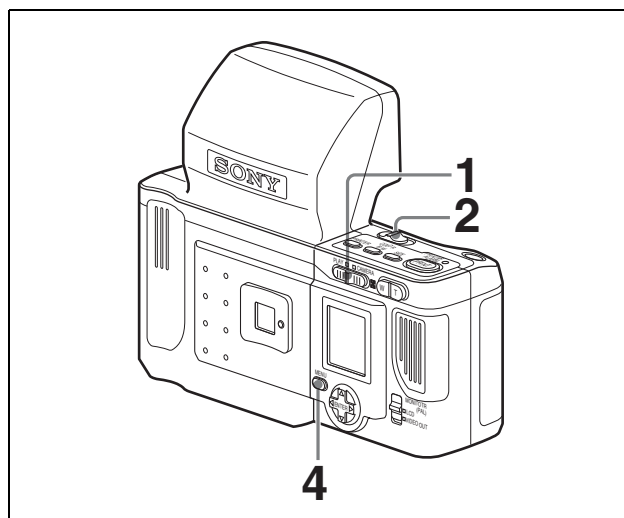
メニュー項目	機能	設定
COLOR ADJUST COLOR	カラープリントの画質を調整します。	CYN -RED：シアンとレッドの調整をします。 MAG-GRN：マゼンタとグリーンの調整をします。 YEL-BLU：イエローとブルーの調整をします。 DARK：暗い部分の明るさを調整します。 LIGHT：明るい部分の明るさを調整します。 SHARPNESS：画像の輪郭を調整します。
COLOR ADJUST B/W	白黒プリントの画質を調整します。	GAMMA：画像のトーンを調整します。 SAVE SETTING (1/2/3)：調整した値を内蔵のメモリーに保存します。 LOAD SETTING (1/2/3)：メモリーに保存した調整値を読み出します。 (取扱説明書 (応用編) 参照)
Bluetooth SETTING	Bluetooth の設定をします。	Bluetooth ADDR：Bluetooth のアドレスを表示します。 PASSKEY INPUT：パスキーの設定、変更をします。 MY DEVICE NAME：プリンターに番号を付けます。 CONNECTION RECORD：接続機器の履歴を表示します。 MODULE POWER：Bluetooth 回路の電源を ON/OFF します。 (取扱説明書 (応用編) 参照)
PRINT SETTING	UPC-X46 シリーズのプリントペーパーにプリントする位置を微調整します。	PRINT OFFSET (−2/−1/0/1/2) 0.5mm 単位でプリント位置を調整します。
COPY PRINT	メモリーに読み込んだ最新のデータを再プリントします。	[1 − 9] 再プリントの枚数を設定します。
TOTAL PRINTS	総プリント枚数を表示します。	—

Setup 画面を表示する



- 1** POWER スイッチを ON にする。
- 2** 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 3** MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。
- 4** コントロールボタンの▲または▼を押してSETUPを選択する。
- 5** コントロールボタンの ENTER を押す。
Setup 画面が表示されます。

CAMERA モードの Menu 画面を表示する



- 1** PLAY/CAMERA スイッチを CAMERA にする。
- 2** POWER スイッチを ON にする。
- 3** 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。
- 4** MENU ボタンを押す。
Menu 画面が表示されます。

こんなことができます

カメラを電池で動かす

カメラは、付属の単3型ニッケル水素充電電池を使って動作させることもできます。電池で動作させるには、付属のバッテリーチャージャーを使って装着した電池の充電が必要です。

電池を始めて使うときや長い間使わなかった電池は十分に充電されないことがあります。この場合は、2～3回充放電を繰り返すことで十分に充電されるようになります。

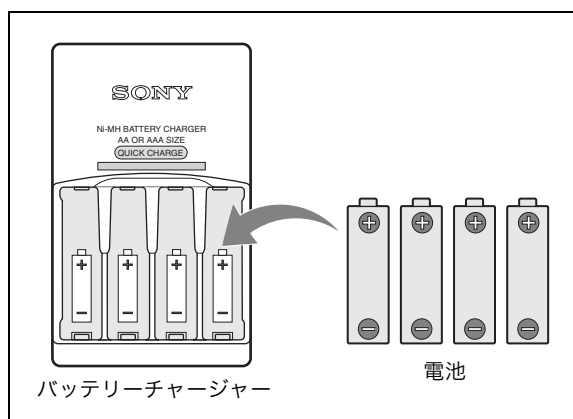
◆ 放電のしかたについては、「電池をリフレッシュするには」(40 ページ)をご覧ください。

ご注意

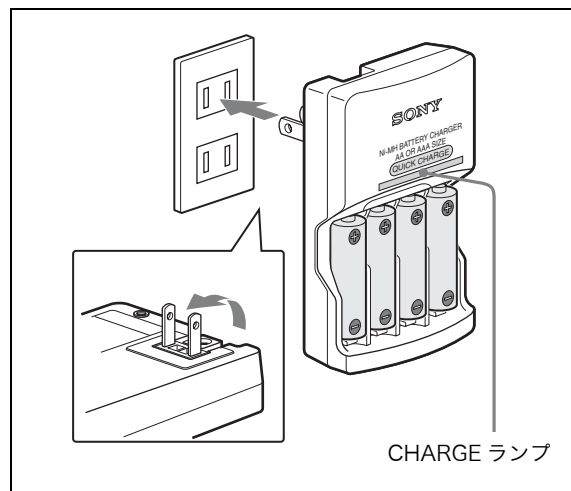
- 電池で操作できる時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。大切な撮影をするときは、充電したばかりの電池を使うか、AC 電源での操作をおすすめします。
- 内蔵フラッシュを発光させると、電池の消耗が早くなります。AC パワーアダプターに比べて内蔵フラッシュへの充電時間は長くなります。
- 電池で操作する場合は、グリップを回転させるとき両端で衝撃を与えないよう特に注意してください。衝撃で電源供給が遮断されることがあります。この場合、カメラは動作を中断して電源を再起動します。

電池を充電するには

- 1 電池収納部の ⊕、⊖ 表示に合わせて正しく電池を入れる。



- 2 電源プラグを引き起こし、バッテリーチャージャーをコンセントに差し込む。



CHARGE ランプが点灯し、充電が始まります。電池4本を充電するには約 180 分かかります。充電が完了すると CHARGE ランプが消灯します。

- 3 バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、電池を取り出す。

ご注意

- ニッケル水素充電電池以外は充電しないでください。ニッケル水素充電電池以外の電池を充電すると液漏れや破裂の原因になります。
- 電池は確実に押し込んでください。
- 長い間使わなかった電池を充電すると一時的な特性変化により、充電を中止することがありますが、このような場合はいったんコンセントから抜き、再度充電してください。電池の特性が回復する場合があります。
- 電池の性能を十分に発揮させるためには、周囲の温度が 10℃～30℃での充電をおすすめします。
- 充電は毎回充電式電池を使い切ってから行うことをおすすめします。
- 電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。
- コンセントに差し込んだまま電池を装着および取りはずししないでください。
- 充電中にバッテリーチャージャーや電池の温度が高くなることがありますが、異常ではありません。
- 特に充電完了直後は温度が高くなりますので、取り扱いにご注意ください。
- 本機をご使用中に、不具合が生じた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 充電中、TV やラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。そのようなときは、TV やラジオ、チューナーからできるだけ離れたコンセントをご利用ください。

- ・バッテリーチャージャーを海外旅行者用の「電子変圧器」に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

電池をリフレッシュするには

カメラに装着した電池は、次の手順でリフレッシュすることができます。

- 1 Setup 画面を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「Setup 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してBATTERY REFRESH を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
Battery Refresh 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲を押してSTARTを選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
リフレッシュが始まります。

リフレッシュを中止するには

手順 4 で START の代わりに CANCEL を選択し、コントロールボタンの ENTER を押します。
リフレッシュが始まった後でも、MENU ボタンを押して中断することができます。

リフレッシュ機能について

この機能は、使い切っていない充電式電池を放電させ、メモリー効果¹⁾を防止・解消する機能です。これにより短くなった充電式電池の動作時間を回復することができます。リフレッシュは、充電式電池の動作時間が短くなってきたら行ってください。

1) メモリー効果：充電式電池を使い切らずに充電・放電を繰り返していると、一時的に電圧が低くなる現象です。機器によっては本来使用できるはずの動作時間が短くなってしまいます。これは一時的な現象なので、完全な放電を行うことにより本来の動作時間を回復させることができます。メモリー効果の影響はご使用の機器によって異なります。

ご注意

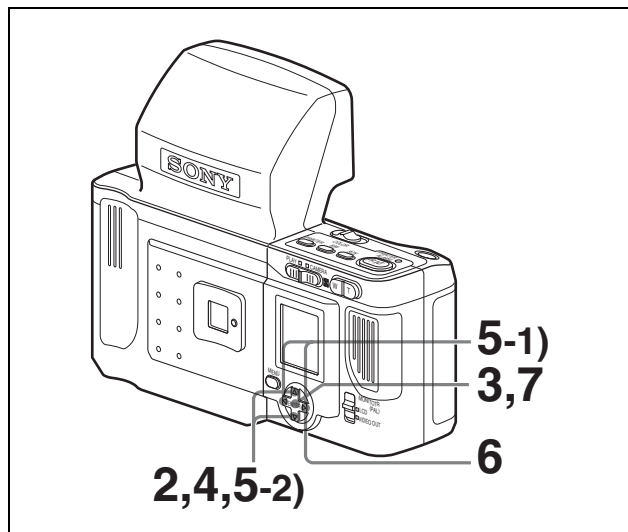
電池のリフレッシュは、付属のニッケル水素充電電池か同等品だけにしてください。他の電池をリフレッシュすると、液漏れ、破裂、異常に温度が高くなるなどにより、おまわぬ事故につながります。

バッテリーの残量表示

カメラの液晶画面にバッテリーの残量が表示されます。残量表示には下記の4種類があります。電池交換時期の目安としてご利用ください。

バッテリーの残量表示	内容
	残量が 1/3 以上あります。
	残量が 1/3 ～ 1/10 の間です。充電済電池か AC パワーアダプターを準備してください。
	残量が 1/10 以下になりました。別の充電済電池に交換するか、AC パワーアダプターを使用してください。
	残量がなくなりました。撮影できません。別の充電済電池に交換するか、AC パワーアダプターを使用してください。 この状態でリリースボタンを押すと、残量表示が点滅して撮影できないことを知らせます。

日時を設定する (CLOCK)



- 1 Setup 画面を表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してCLOCKを選択する。
- 3 コントロールボタンのENTERを押す。
Clock 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して年月日の表示モードを選択する。
Y/M/D (年 / 月 / 日)、M/D/Y (月 / 日 / 年)、D/M/Y (日 / 月 / 年) から選択できます。
- 5 年月日と時刻を設定する。
 - 1) コントロールボタンの◀または▶を押し、設定する項目を選択する。
 - 2) コントロールボタンの▲または▼を押して数値を設定する。
- 6 すべての設定が終わったら、コントロールボタンの▶を押してOKを選択する。
- 7 コントロールボタンのENTERを押す。
設定した日時が確定し、Setup 画面に戻ります。

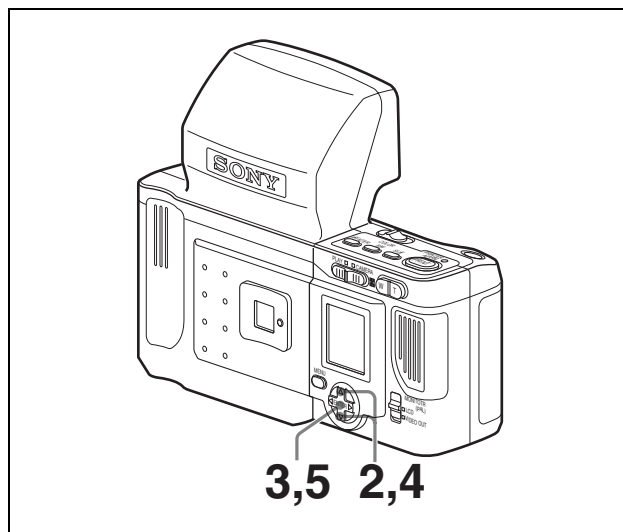
日時の設定を中止するには

手順 6 で OK の代わりに CANCEL を選択し、コントロールボタンの ENTER を押します。

記録解像度を設定する (RESOLUTION)

プリントサイズに合わせて最適な記録解像度を設定します。

- ◆ 各プリントサイズの最適な解像度については、「推奨記録解像度」(42 ページ) をご覧ください。



- 1 Menu 画面を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してRESOLUTIONを選択する。
- 3 コントロールボタンのENTERを押す。
Record Resolution 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して、以下の3つの選択肢から記録解像度を選択する。
HIGH : 2288 × 1712 (撮影可能枚数 20 枚以上)
MID : 1280 × 960 (撮影可能枚数 80 枚以上)
STD : 832 × 624 (撮影可能枚数 200 枚以上)
撮影可能枚数は実際に撮影する画像によって変わります。液晶画面の右上に表示される枚数を参考にしてください。
- 5 コントロールボタンのENTERを押す。
Menu 画面に戻ります。

推奨記録解像度

プリントサイズ			推奨記録解像度		
サイズ番号	長辺 (mm)	短辺 (mm)	HIGH	MID	STD
1	151	101.6	◎	△	×
2	120	90	◎	△	×
3	95	70	◎	△	×
4、17 (D2)	80	60	○	◎	△
5	70	53	○	◎	△
6	70	50	○	◎	△
7、18 (D4)	60	40	○	◎	△
8	54	54	○	◎	△
9	50	48.5	○	◎	△
10、19 (D6)	47	37	○	○	◎
11、20 (D4/8)	45	35	○	○	◎
12	45	45	○	◎	△
13	43	33	○	○	◎
14	38	32	○	○	◎
15	34	28	○	○	◎
16	23	23	○	○	◎

◎：記録解像度とプリントサイズが最適な組み合わせです。プリントサイズがあらかじめ解っているときは、この解像度での撮影をおすすめします。

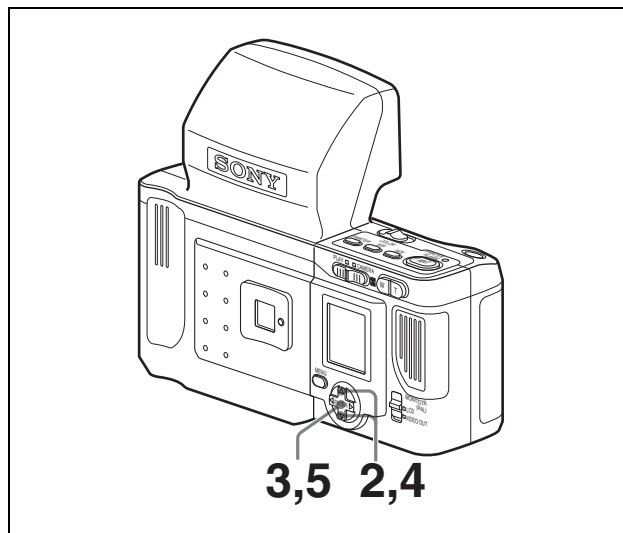
○：プリントサイズに比べて必要以上に高い記録解像度です。メモリーを有効に使うためには◎の記録解像度での撮影をおすすめします。

△：記録解像度がプリントサイズに対して少し足りませんが、画像処理により良い画質でプリントできます。

×：記録解像度がプリントサイズに比べてかなり低くなります。このサイズでのプリントはおすすめできません。

ズームの倍率を設定する (ZOOM)

ズームの倍率は工場出荷時に 1.3 倍 (f=15.6 ～ 19.8mm) に設定されていますが、次の手順で 2.6 倍 (f=7.50 ～ 19.8mm) に変更することができます。



1 Menu 画面を表示する。

◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して ZOOM を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Zoom Range 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲を押して f=7.50～19.8mm を選択する。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

Menu 画面に戻ります。

ご注意

内蔵フラッシュを主照明として撮影する場合、ズームは工場出荷時の設定 (f=15.6 ～ 19.8) で撮影することをおすすめします。f=7.50 ～ 19.8 で撮影するときは、液晶画面に表示されるズームバーの青い範囲で撮影してください。オレンジの範囲で撮影すると、周辺の光量が不足して画像の周辺が暗くなります。

撮影条件を設定する

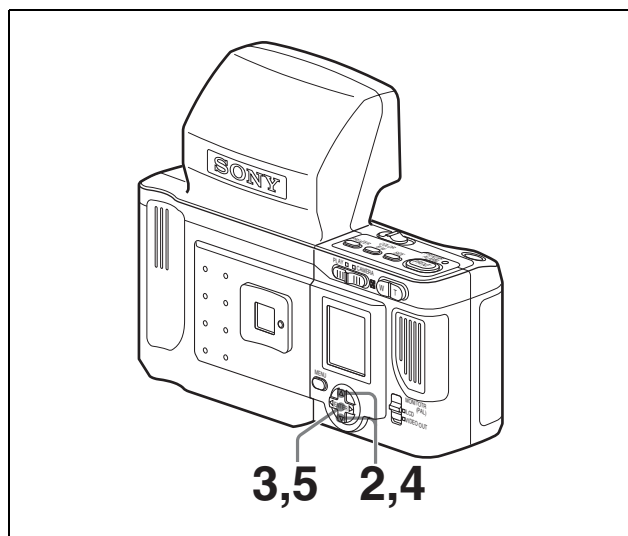
工場出荷時には撮影条件はすべて自動に設定されていますが、必要に応じてメニュー操作で手動に設定することができます。

露出制御モードによって設定できる撮影条件が異なります。各露出制御モードで設定できる撮影条件は下表のようになります。

露出制御モード	フラッシュモード (FLASH MODE)	プリ発光/ プリ測光	シャッター速度 (SHUTTER)	絞り (APERTURE)	ホワイトバランス (W.B.)	露出補正 (EXPOSURE)
PROGRAM AUTO		プリ測光 プリ発光	1/30 ~ 1/1000	AUTO	AUTO/ --- / 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
		プリ発光	1/250	AUTO	AUTO/One Push/ 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
		プリ測光	1/2 ~ 1/1000	AUTO	AUTO/One Push/ 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
APERTURE PRIORITY		プリ測光 プリ発光	1/30 ~ 1/1000	手動	AUTO/ --- / 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
		プリ発光	1/250	手動	AUTO/One Push/ 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
		プリ測光	1/2 ~ 1/1000	手動	AUTO/One Push/ 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
MANUAL EXPOSURE		なし	1/2 ~ 1/1000	手動	AUTO/One Push/ 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV
		なし	1/2 ~ 1/1000	手動	AUTO/One Push/ 3000K ~ 7000K	+2.00EV ~ - 2.00EV

：自動設定

露出制御モードを選択するには (Exposure Mode)



1 Menu 画面を表示する。

◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、PROGRAM AUTO、APERTURE PRIORITY または MANUAL EXPOSURE を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Exposure Mode 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、制御モードを選択する。

PROGRAM AUTO : 絞りとシャッタースピードを自動で設定する自動露出モードです。

APERTURE PRIORITY : 絞りを手動で、シャッタースピードを自動で設定する自動露出モードです。

MANUAL EXPOSURE : 絞りとシャッタースピードを手動で設定する手動露出モードです。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

Menu 画面に戻ります。

フラッシュモードを設定するには (FLASH MODE)

フラッシュモードは、露出制御モードが PROGRAM AUTO または APERTURE PRIORITY のときは自動に、MANUAL EXPOSURE のときは手動になります。

- 1 Menu 画面を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して FLASH MODE を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Flash Mode 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してフラッシュモードを選択する。

自動の場合

- A $\frac{1}{2}$: 自動発光
- $\frac{1}{2}$: 強制発光
- ③: 発光禁止

手動の場合

- M $\frac{1}{2}$: 強制発光
- M③: 発光禁止

- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。

選択したモードが確定し、Menu 画面に戻ります。

絞りを設定するには (APERTURE)

絞りは、露出制御モードが APERTURE PRIORITY または MANUAL EXPOSURE のときだけ設定できます。絞り値はズーム位置によって異なります。

- 1 Menu 画面を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して APERTURE を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Aperture Setting 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して絞り値を選択する。

- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。

選択した絞り値が確定し、Menu 画面に戻ります。

シャッター速度を設定するには (SHUTTER)

シャッター速度は、露出制御モードが MANUAL EXPOSURE のときだけ設定できます。

- 1 Menu 画面を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して SHUTTER を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Shutter Speed 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してシャッター速度を選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。

選択したシャッター速度が確定し、Menu 画面に戻ります。

露出を補正するには (EXPOSURE)

- 1 Menu 画面を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して EXPOSURE を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。

EV Compensation 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して補正量を選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。

Menu 画面に戻ります。

露出を簡単に補正するには

PLAY/CAMERA スイッチが CAMERA になっているときは、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押すと、液晶画面に表示されている露出補正値が変わり、簡単に変更することができます。

この方法で、メニューがロックされているときでも露出補正値を変更することができます。

- ◆ メニューのロックについては、「カメラのメニューをロックする」(55 ページ) をご覧ください。

ホワイトバランスを調整するには (W.B.)

1 Menu 画面を表示する。

- ◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して W.B. を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

White Balance 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押してホワイトバランスの調整方法を選択する。

AUTO : ホワイトバランスを自動調整します。

One Push : 撮影時の照明に合わせてホワイトバランスを調整します。撮影時と同じ照明条件にして白いもの(紙、布など)を液晶画面の中央に写してからレリーズボタンかコントロールボタンの ENTER を押すと、その時点の照明条件でホワイトバランスが調整されます。

3000K ~ 7000K : 撮影時の照明に合わせて色温度を選択します。3000K ~ 7000K の範囲で、500K 単位で選択できます。選択した温度でホワイトバランスが調整されます。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

選択したホワイトバランスの設定が確定し、Menu 画面に戻ります。

設定の変更を中止するには

各項目の設定画面でコントロールボタンの◀を押し、Menu 画面に戻ります。

表示するプリントサイズを設定する (PRINT SIZE LIST)

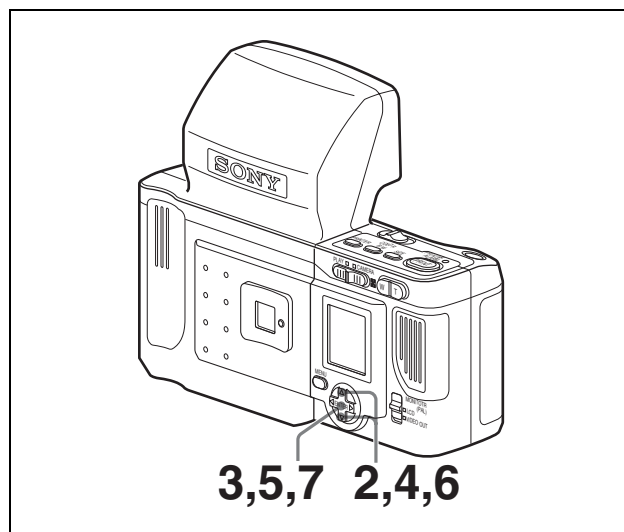
カメラの SIZE ボタンで選択できるプリント画のサイズを SETUP メニューで設定することができます。使用頻度の高いサイズだけを表示するようにしておくと、サイズの選択が簡単になります。

工場出荷時にはすべてのサイズが SIZE ボタンで選択できるようになっています。以下の手順で、SIZE ボタンを押したときに表示されるサイズを選択します。

- ◆ 選択したサイズでできるプリント画については、「本システムで作成できるプリント画」(10 ページ) をご覧ください。

サイズ表示の単位は mm とインチを切り換えることができます。

- ◆ 表示の切り換えかたについては、「サイズ表示の単位を選択する (SIZE UNIT)」(52 ページ) をご覧ください。



1 Setup 画面を表示する。

- ◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して PRINT SIZE LIST を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Print Size 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して表示しないサイズを選択する。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

選択したサイズの表示が黒から灰色に変わります。

手順4、5を繰り返し、SIZE ボタンを押したときに表示しないサイズを灰色に設定します。
サイズの表示は、ENTER を押すたびに黒と灰色が交互に切り換わります。

ご注意

Guide Print-RGB および Guide Print-DLGm は常に SIZE ボタンで選択できます。選択できないように設定することはできません。

6 必要な設定が終了したら、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して RETURN を選択する。

7 コントロールボタンの ENTER を押す。

Setup 画面に戻ります。

フレームを設定する (FRAME)

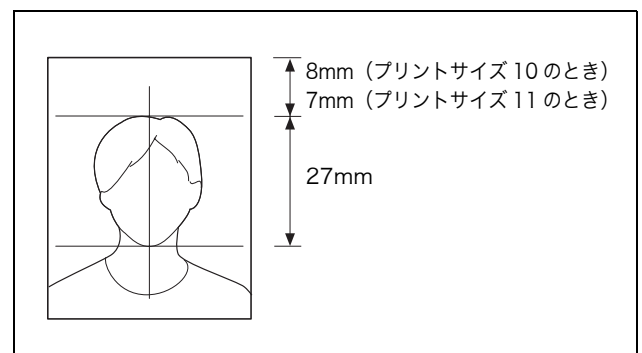
撮影時に被写体の位置や大きさのおおよその目安となるガイドラインを表示することができます。ガイドラインには、固定のものが4フレーム、上下のラインの位置を調整できるものが1フレーム、左右の間隔を調整できるものが1フレームの6種類のフレームがあります。

固定ガイドラインの種類

固定のガイドラインは次の4種類があります。

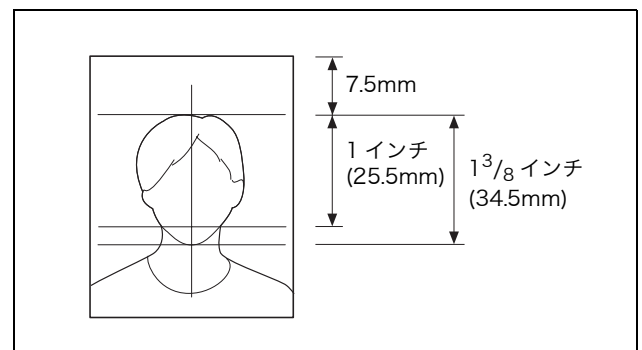
FRAME-[1]

プリントサイズが 10.47 × 37mm または 11.45 × 35mm のとき、頭のラインとあごのライン間の寸法が 27mm になります。



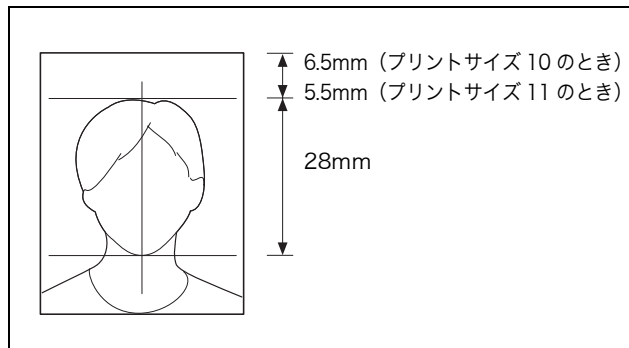
FRAME-[2]

あごのラインが2本表示されます。プリントサイズが 8.54 × 54mm のとき、頭のラインとあごのライン間の寸法が 1 インチおよび 1 3/8 インチになります。



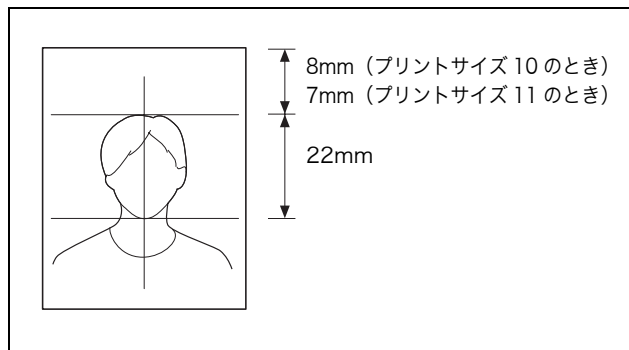
FRAME-[3]

プリントサイズが 10.47 × 37mm または 11.45 × 35mm のとき、頭のラインとあごのライン間の寸法が 28mm になります。



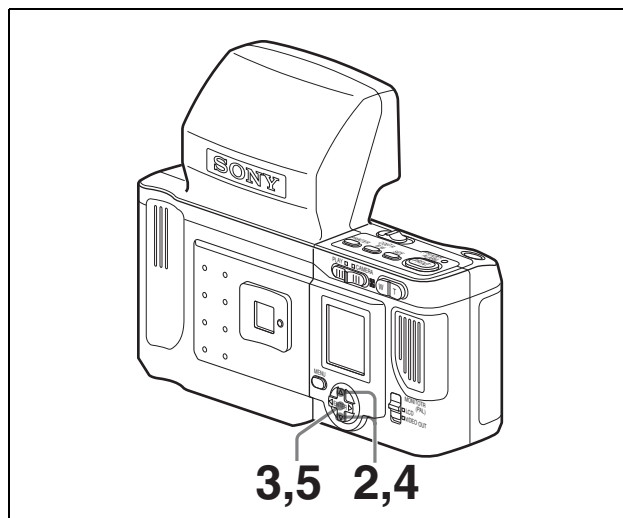
FRAME-[4]

プリントサイズが 10.47 × 37mm または 11.45 × 35mm のとき、頭のラインとあごのライン間の寸法が 22mm になります。



◆ その他のプリントサイズでの寸法は、「FRAME-[1]、FRAME-[2]、FRAME-[3]、FRAME-[4] のプリント画の寸法」(48 ページ)をご覧ください。

固定ガイドラインを使用するには (FRAME-[1]、FRAME-[2]、 FRAME-[3]、FRAME-[4])



- 1 Setup 画面を表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してFRAMEを選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
フレーム選択画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押してFRAME-[1]、FRAME-[2]、FRAME-[3] または FRAME-[4] を選択する。

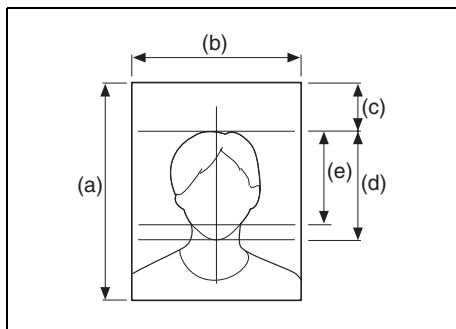
選択したフレームのガイドラインが液晶画面に表示されます。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
Setup 画面に戻ります。

FRAME-[1]、FRAME-[2]、FRAME-[3]、FRAME-[4] のプリント画の寸法

FRAME [1]、[2]、[3]、[4] のガイドラインを使って撮影した場合に、実際にプリントされる画像の寸法は SIZE ボタンの選択によって次の表のようになります。

公差：±3%

プリントサイズ			FRAME-[1]		FRAME-[2]			FRAME-[3]		FRAME-[4]	
サイズ番号	長辺 (a) (mm)	短辺 (b) (mm)	頭上 (c) (mm)	顔サイズ (d) (mm)	頭上 (c) (mm)	顔サイズ (d) (mm)	顔サイズ2 (e) (mm)	頭上 (c) (mm)	顔サイズ (d) (mm)	頭上 (c) (mm)	顔サイズ (d) (mm)
1	151	101.6	31.5	79.0	36.5	73.0	54.0	26.5	81.5	31.5	64.5
2	120	90	23.0	64.5	27.0	59.5	44.0	19.5	66.5	23.0	52.5
3	95	70	19.5	49.5	22.5	45.0	34.0	16.5	50.5	19.5	40.0
4、17 (D2)	80	60	16.0	41.5	19.0	38.0	28.5	14.0	43.0	16.0	34.0
5	70	53	13.5	37.5	15.5	34.5	25.5	11.5	38.5	13.5	30.5
6	70	50	13.5	37.5	15.5	34.5	25.5	11.5	38.5	13.5	30.5
7、18 (D4)	60	40	11.0	33.0	13.0	30.5	22.5	9.0	34.5	11.0	27.0
8	54	54	5.5	37.5	7.5	34.5	25.5	3.5	38.5	5.5	30.5
9	50	48.5	6.0	33.0	8.0	30.5	22.5	4.0	34.5	6.0	27.0
10、19 (D6)	47	37	8.0	27.0	9.5	25.0	18.5	6.5	28.0	8.0	22.0
11、20 (D4/8)	45	35	7.0	27.0	8.5	25.0	18.5	5.5	28.0	7.0	22.0
12	45	45	3.5	33.0	5.5	30.5	22.5	1.5	34.5	3.5	27.0
13	43	33	8.5	23.0	9.5	21.0	15.5	7.0	23.5	8.5	18.5
14	38	32	6.0	23.0	7.0	21.0	15.5	4.5	23.5	6.0	18.5
15	34	28	5.0	21.0	6.0	19.0	14.0	4.0	21.5	5.0	17.0
16	23	23	2.0	16.5	3.0	15.5	11.5	1.0	17.0	2.0	13.5



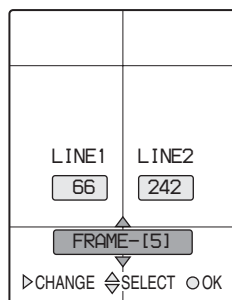
上下のガイドラインを調整するには (FRAME-[5])

FRAME-[5] の上下の線は、工場出荷時は FRAME-[1] と同じ位置に設定されています。次の手順で、上下の線の位置を調整することができます。

◆ ライン位置調整後のプリント画の寸法については、「FRAME-[5] のプリント画の寸法」 (49 ページ) をご覧ください。

- 1 Setup 画面を表示する。
◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」 (38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してFRAMEを選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
フレーム選択画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して FRAME-[5] を選択する。

FRAME-[5] のガイドラインが液晶画面に表示されます。



- 5 上下のガイドラインの位置を調整する。

LINE1 が上のライン、LINE2 が下のラインの位置を調整します。

- 1) コントロールボタンの▶を押して LINE1 を選択する。
- 2) コントロールボタンの▲または▼を押して LINE1 のラインの位置を調整する。
- 3) コントロールボタンの◀または▶を押して LINE2 を選択する。
- 4) コントロールボタンの▲または▼を押して、LINE2 のラインの位置を調整する。
- 5) コントロールボタンの ENTER を押す。

- 6 コントロールボタンの ENTER を押す。

Setup 画面に戻ります。

FRAME-[5] のプリント画の寸法

工場出荷時は LINE1 は 66、LINE2 は 242 に設定されています。この値に下の表の F 欄の数値を掛けると各プリントサイズの (c) と (d) のおおよその寸法を計算することができます。

$$(c) = \text{LINE1} \times F$$

$$(d) = (\text{LINE2} - \text{LINE1}) \times F$$

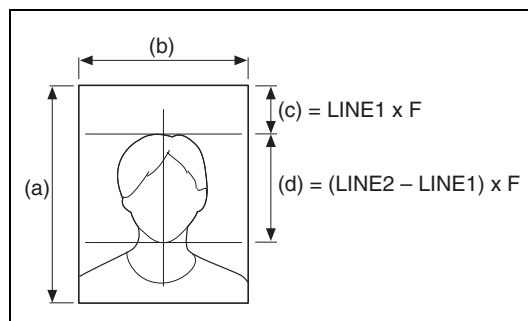
例えば LINE1 が 66、LINE2 が 242 のときにサイズ番号 10 を選択してプリントすると、寸法は次のようになります。

$$(c) = 66 \times 0.15 = 9.9\text{mm}$$

$$(d) = (242 - 66) \times 0.15 = 26.4\text{mm}$$

ご注意

F 欄の数値は丸められているため、計算結果には誤差があります。計算結果は目安とし、実際にプリントして寸法を確認してください。



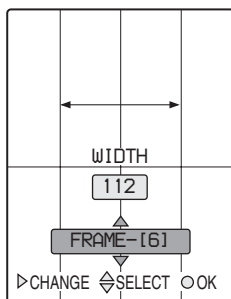
公差：±3%

プリントサイズ			工場出荷時の寸法		F
サイズ番号	長辺 (a) (mm)	短辺 (b) (mm)	頭上 (c) (mm)	顔サイズ (d) (mm)	
1	151	101.6	31.5	79.0	0.48
2	120	90	23.0	64.5	0.37
3	95	70	19.5	49.5	0.29
4、17 (D2)	80	60	16.0	41.5	0.24
5	70	53	13.5	37.5	0.21
6	70	50	13.5	37.5	0.21
7、18 (D4)	60	40	11.0	33.0	0.19
8	54	54	5.5	37.5	0.21
9	50	48.5	6.0	33.0	0.19
10、19 (D6)	47	37	8.0	27.0	0.15
11、20 (D4/8)	45	35	7.0	27.0	0.15
12	45	45	3.5	33.0	0.19
13	43	33	8.5	23.0	0.13
14	38	32	6.0	23.0	0.13
15	34	28	5.0	21.0	0.12
16	23	23	2.0	16.5	0.1

ガイドラインの間隔を調整するには (FRAME-[6])

- 1 Setup 画面を表示する。
◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」
(38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してFRAMEを選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
フレーム選択画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して FRAME-[6] を選択する。

FRAME-[6] のガイドラインが液晶画面に表示されます。



- 5 ガイドラインの間隔を調整する。
 - 1) コントロールボタンの▶を押して WIDTH を選択する。
 - 2) コントロールボタンの▲または▼を押してラインの間隔を調節する。
 - 3) コントロールボタンの ENTER を押す。
- 6 コントロールボタンの ENTER を押す。
Setup 画面に戻ります。

FRAME-[6] のプリント画の寸法

工場出荷時は WIDTH は 112 に設定されています。この値に右の表の G 欄の数値を掛けると各プリントサイズのおおよその寸法を計算することができます。

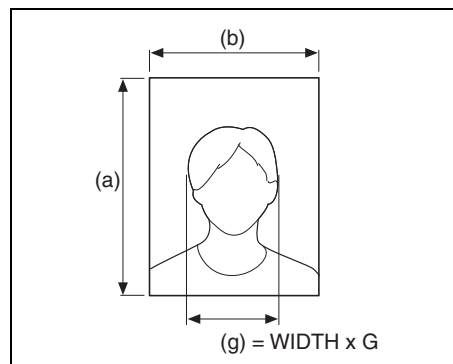
$$(g) = \text{WIDTH} \times G$$

例えば WIDTH が 112 のときサイズ番号 10 を選択してプリントすると、寸法は次のようになります。

$$(g) = 112 \times 0.18 = 20.2\text{mm}$$

ご注意

G 欄の数値は丸められているため、計算結果には誤差があります。計算結果は目安とし、実際にプリントして寸法を確認してください。



公差：±3%

プリントサイズ			工場出荷時の寸法	G
サイズ番号	長辺 (a) (mm)	短辺 (b) (mm)	顔幅 (g) (mm)	
1	151	101.6	59.4	0.53
2	120	90	48.2	0.43
3	95	70	38.9	0.34
4、17 (D2)	80	60	31.1	0.27
5	70	53	28.0	0.25
6	70	50	28.0	0.25
7、18 (D4)	60	40	24.9	0.22
8	54	54	28.0	0.25
9	50	48.5	24.9	0.22
10、19 (D6)	47	37	20.0	0.18
11、20 (D4/8)	45	35	20.0	0.18
12	45	45	24.9	0.22
13	43	33	17.1	0.15
14	38	32	17.1	0.15
15	34	28	15.6	0.14
16	23	23	12.4	0.11

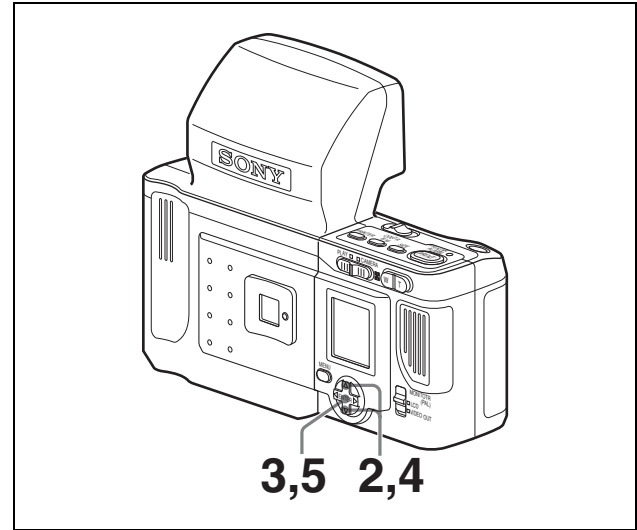
ガイドラインを消すには

- 1 Setup 画面を表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押してFRAMEを選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
フレーム選択画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して FRAME OFF を選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
Setup 画面に戻ります。

パワーセーブ (節電) モードを設定する (POWER SAVE)

パワーセーブを設定すると、設定した時間 (3 分または 10 分) 何も操作しないと、カメラは自動的に電源が切れます。電源を入れるには、次の操作のどれかを実行します。

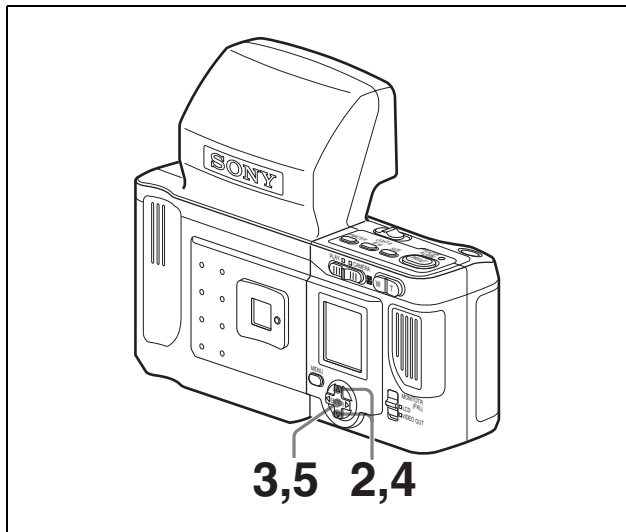
- POWER スイッチを OFF にしてから、再度 ON にする。
- レリーズボタンを半押しする。
- MENU ボタンを押す。



- 1 Setup 画面を表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して POWER SAVE を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
Power Save 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してパワーセーブモードを選択する。
OFF : パワーセーブ動作しません。
3 MINUTES : 3 分で自動的に電源を切ります。
10 MINUTES : 10 分で自動的に電源を切ります。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
選択したパワーセーブモードが確定し、Setup 画面に戻ります。

サイズ表示の単位を選択する (SIZE UNIT)

SIZE ボタンを押したときに液晶画面に表示するプリントサイズや Setup メニューの PRINT SIZE LIST で表示するプリントサイズの寸法単位を、mm にするかインチにするか選択します。



1 Setup 画面を表示する。

◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して SIZE UNIT を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Size Unit 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、mm または inch を選択する。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

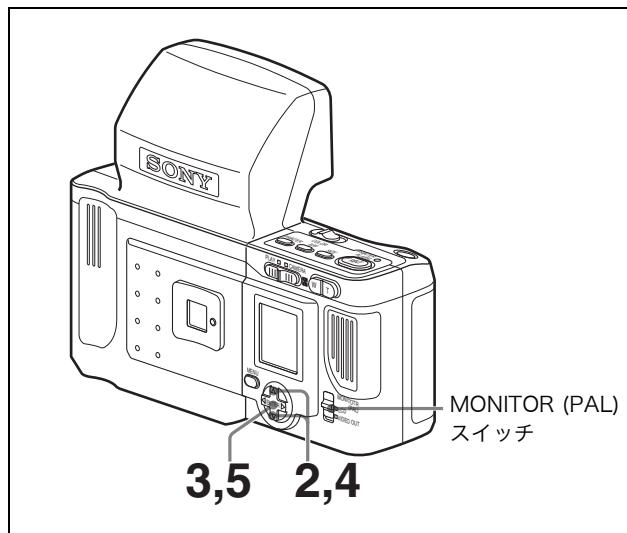
Setup 画面に戻ります。

ご注意

Setup メニューのズーム設定画面の表示や、PLAY モードでの画像のプロパティ画面の焦点距離の表示は、インチ表示にはなりません。

出力信号を選択する (VIDEO OUT)

VIDEO OUT 端子にビデオモニターを接続して撮影画像をモニターする場合は、出力信号を NTSC にするか PAL にするか選択します。



1 Setup 画面を表示する。

◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、VIDEO OUT を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Video Out 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、PAL または NTSC を選択する。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

Setup 画面に戻ります。

PAL を選択した場合

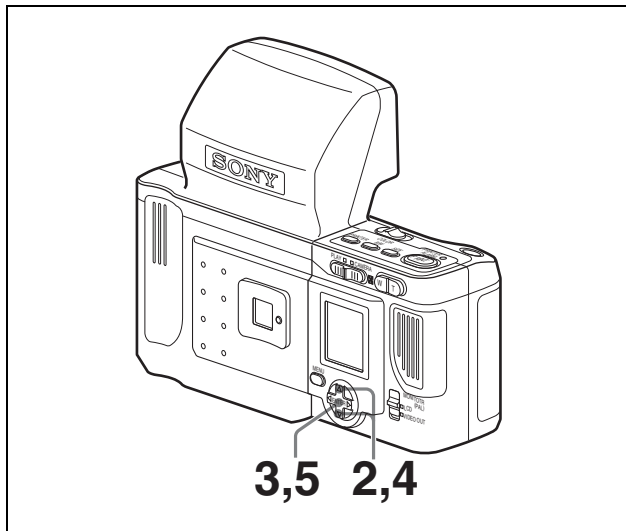
NTSC を選択した場合は、カメラの液晶画面とビデオモニターの両方で画像をモニターすることができますが、PAL を選択した場合は、どちらか一方でしかモニターすることはできません。どちらでモニターするかを MONITOR (PAL) スイッチで選択します。

LCD : 液晶画面でモニターするとき

VIDEO OUT : ビデオモニターでモニターするとき

サウンドを選択する (SOUND)

カメラを操作したときに操作音が鳴るようにするかどうかを設定することができます。



1 Setup 画面を表示する。

◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押してSOUNDを選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Sound 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して音の設定を選択する。

OFF : 操作音を消します。

SHUTTER : レリーズボタンまたは PRINT ボタンを押したとき音が出ます。

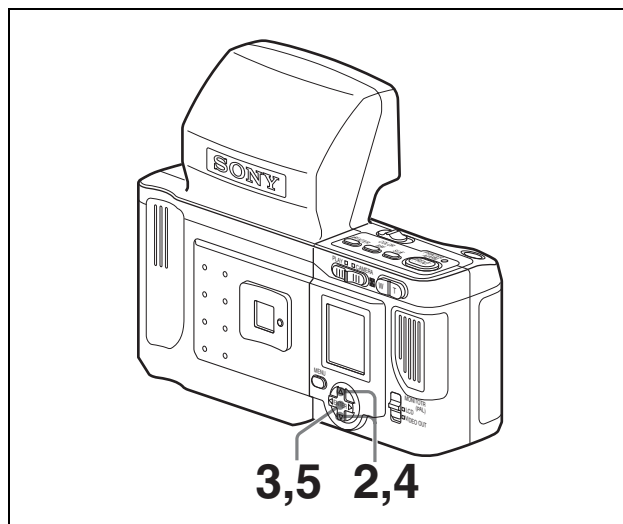
ON : カメラのすべての操作で音が出ます。(ズームレバー、PLAY/CAMERA スイッチ、MONITOR (PAL) スイッチを除く)

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

Setup 画面に戻ります。

USB のクラスを選択する (USB)

本システムを USB ケーブルでコンピューターと接続し、付属のユーティリティソフトを使用したり、リムーバブルメディアとしてアクセスするときに、USB のクラスを切り換えます。



1 Setup 画面を表示する。

◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押してUSBを選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

USB Class 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押してUSBのクラスを選択する。

STORAGE : カメラの画像メモリーをストレージクラスでリムーバブルメディアとしてアクセスするとき

ORIGINAL : 付属のユーティリティソフトを使用するとき

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

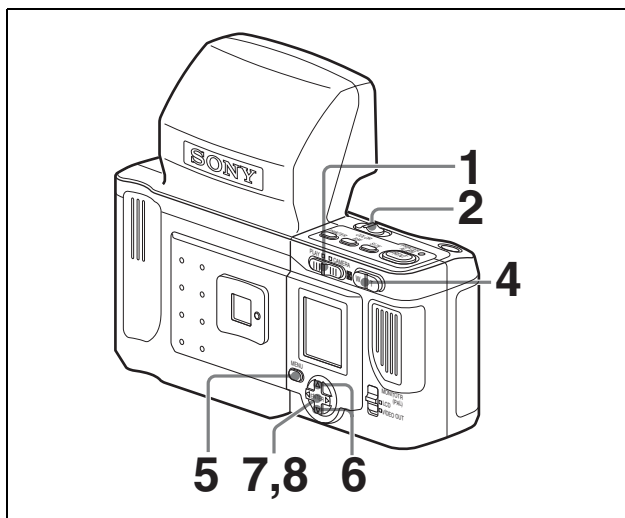
Setup 画面に戻ります。

ご注意

カメラを USB ストレージクラスで接続したとき、このカメラで撮影した JPEG ファイル以外のファイルを書き込んだり、カメラ内部のフォルダーやファイルを削除したり名前を変えると、正常に撮影や再生および転送ができない場合があります。このような操作はしないでください。

9 コマ画面の画像の位置を移動する (MOVE)

9 コマ画面では表示されている画像の位置を移動し、順番を変えることができます。



1 PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にする。

2 POWER スイッチを ON にする。

3 任意のボタンを押して Bluetooth 接続画面を消す。

4 ズームレバーの W 側を押す。

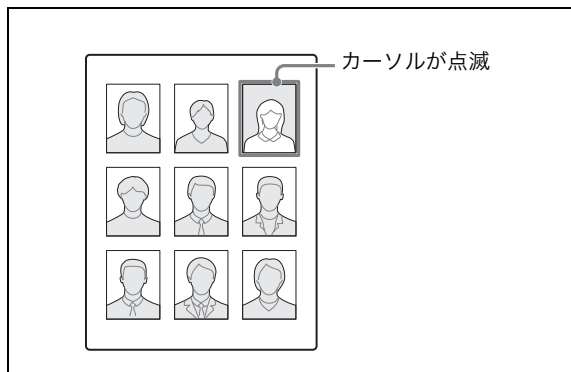
9 コマ画面が表示されます。

5 MENU ボタンを押す。

Menu 画面が表示されます。

6 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して MOVE を選択し、ENTER を押す。

9 コマ画面でカーソルが点滅します。

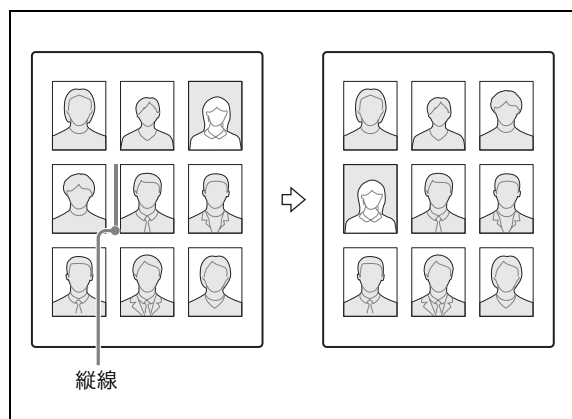


7 コントロールボタンの ◀、▶、▲、▼ を押して移動したい画像を選択し、コントロールボタンの ENTER を押す。

カーソルの点滅が止まります。

8 コントロールボタンの ◀、▶、▲、▼ を押して画像を移動したい位置に縦線を移動し、コントロールボタンの ENTER を押す。

画像が指定した位置に移動し、Menu 画面に戻ります。



カメラのメニューをロックする

CAMERA モードまたは PLAY モードで、カメラの MENU ボタンを押してもメニュー画面を表示しないようにすることができます。あやまってメニューの設定内容が変更されるのを防ぐことができます。

ただし、露出補正值だけはコントロールボタンの ▲、▼ を使って変更することができます。

メニューをロックするには

MENU ボタンを 3 秒以上押し続けます。メニュー画面が消え、錠前アイコン  が表示されます。これでメニューはロックされ、MENU ボタンを押してもメニュー画面は表示されず、錠前アイコンが表示されてメニューがロックされていることを知らせます。

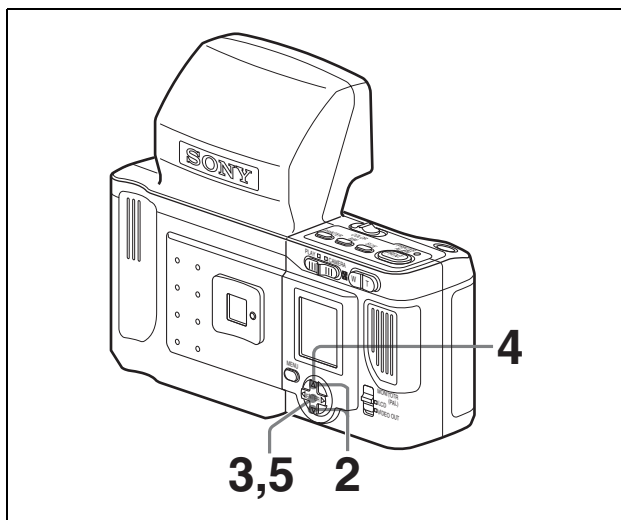
メニューのロックは、CAMERA モードと PLAY モードを切り換えたり、電源を切っても保持されます。

メニューのロックを解除するには

錠前アイコンが表示されている状態で MENU ボタンを 3 秒以上押し続けます。錠前アイコンが消え、メニュー画面が表示されます。

レンズを輸送状態に設定する (TRANSPORT SETTING)

カメラを輸送するとき、振動に強い位置にレンズを移動することができます。



1 Menu 画面を表示する。

◆ 表示のしかたについては、「CAMERA モードの Menu 画面を表示する」(38 ページ)をご覧ください。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して TRANSPORT SETTING を選択する。

3 コントロールボタンの ENTER を押す。

Transport Setting 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの ▲ を押して OK を選択する。

5 コントロールボタンの ENTER を押す。

レンズが輸送に適した位置に移動します。

移動が完了すると、LENS MOVING END.
PLEASE POWER OFF. と表示されます。

6 POWER スイッチを OFF にする。

ご注意

- 手順5で移動が完了したら、POWER スイッチ以外は操作しないでください。
- レンズを輸送状態にしても完全な保護にはなりません。輸送の際には出荷時の梱包材などで、十分な梱包をしてください。

レンズを輸送状態から戻すには

CAMERA モードで起動すると、レンズは自動的に動作位置に戻ります。

輸送状態設定を中止するには

手順 **4** で OK の代わりに RETURN を選択し、コントロールボタンの ENTER を押します。Menu 画面に戻ります。

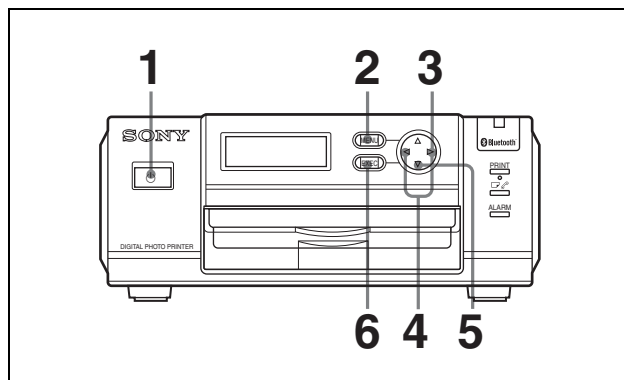
プリント画質を調整する (COLOR ADJUST)

プリンターのメニュー機能を使ってプリント画の画質を調整することができます。カメラのガイド画面をプリントすると、調整結果を確認することができます。調整した値は、カラープリント、白黒プリントごとに3種類までメモリーに保存し、後から読み出すことができます。

ご注意

画質の調整はプリンターとカメラを Bluetooth 接続したときのみ有効です。コンピューターと接続したときは、コンピューターにインストールしたプリンタードライバーで調整できます。プリンタードライバーのインストール方法と操作方法については、付属の CD-ROM の「Readme (Japanese)」をご覧ください。

カラープリントの画質を調整するには



- 1** プリンターの電源を入れる。
- 2** MENU ボタンを押す。
COLOR ADJUST COLOR [>>] が表示されます。
- 3** コントロールボタンの ▶ を押す。
CYN-RED : 画面が表示されます。
- 4** コントロールボタンの ◀ または ▶ を押して調整する。
- 5** コントロールボタンの ▼ を押す。
MAG-GRN : 画面が表示されます。

手順 **4**、**5** を繰り返し、必要な調整をします。
各調整項目で調整できる内容は下記の通りです。
CYN-RED : ◀ を押すとシアンが強くなり、▶ を押すと赤みを帯びます。

MAG-GRN：◀を押すとマゼンタが強くなり、▶を押すと緑色みを帯びます。

YEL-BLU：◀を押すと黄色みが強くなり、▶を押すと青みを帯びます。

DARK：▶を押すと暗い方がより暗くなります。

LIGHT：▶を押すと明るい方がより明るくなります。

SHARPNESS：▶を押すと輪郭がはっきりしていきます。

GAMMA：◀を押すと全体的に色調が薄くなり、▶を押すと濃くなります。

6 調整が終了したら EXEC ボタンを押す。

COLOR ADJUST COLOR [>>] 画面に戻ります。

白黒プリントの画質を調整するには

「カラープリントの画質を調整するには」の手順2で MENU ボタンを押した後、コントロールボタンの▼を押すと、COLOR ADJUST B/W [>>] が表示され、白黒プリントの画質調整モードになります。調整方法はカラープリントの画質調整と同じです。

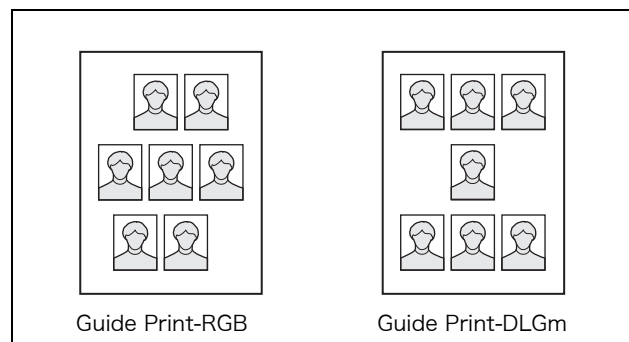
ガイド画面をプリントするには

調整した画質を確認するには、カメラでガイド画面を選択してプリントすると便利です。

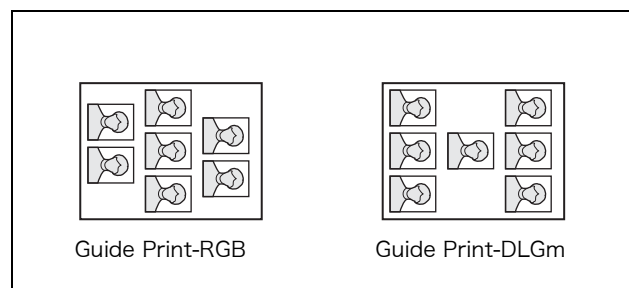
カメラの SIZE ボタンを押して Guide Print-RGB または Guide Print-DLGm を選択し、プリントを実行します。

◆ ガイド画面を使って調整する方法については、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

UPC-X46/X45 シリーズ使用時のガイドプリント



UPC-X34 シリーズ使用時のガイドプリント



調整値を保存するには

調整が終了したら、次の手順で調整値を保存します。

- 1 COLOR ADJUST COLOR [>>] または B/W [>>] 画面でコントロールボタンの▶を押す。
- 2 コントロールボタンの▼を、SAVE SETTING 画面が表示されるまで押す。
- 3 コントロールボタンの◀または▶を押してメモリーの番号（1、2、3）を選択する。
- 4 EXEC ボタンを押す。

調整値が手順3で選択した番号のメモリーに保存されます。

調整値を呼び出すには

保存した調整値は次の手順で呼び出すことができます。

- 1 COLOR ADJUST COLOR [>>] または B/W [>>] 画面でコントロールボタンの▶を押す。
- 2 コントロールボタンの▼を、LOAD SETTING 画面が表示されるまで押す。
- 3 コントロールボタンの◀または▶を押してメモリーの番号（1、2、3）を選択する。
- 4 EXEC ボタンを押す。

手順3で選択した番号のメモリーに保存されていた調整値が呼び出されます。

調整を終了するには

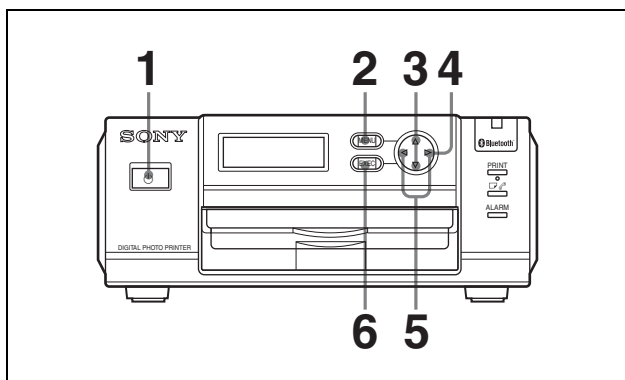
調整、調整値の保存、調整値の読み出しなどの操作が終わったら、MENU ボタンを押して Ready 画面に戻します。

ご注意

調整が終了したら、必ず MENU ボタンを押して Ready 画面に戻してください。Ready 画面に戻っていないと、プリント実行時にカメラの液晶画面に COMMUNICATION ERROR が表示され、プリントできません。

プリント位置を調整する (PRINT SETTING)

UPC-X46 シリーズ使用時は、プリント画像がプリントペーパーの正しい位置にプリントされるように 0.5mm 単位で調整することができます。



- 1 プリンターの電源を入れる。
- 2 MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して操作画面に PRINT SETTING [>>] を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。
PRINT OFFSET : 画面が表示されます。
- 5 コントロールボタンの◀または►を押してオフセット値を選択する。
- 6 EXEC ボタンを押す。
手順 5 で選択したオフセット値が確定し、PRINT SETTING 画面に戻ります。

プリントを実行して正しい位置にプリントされるか確認し、さらに調整が必要な場合は、上の操作を繰り返します。

- ◆ プリントの実行については、「撮影した画像をプリントする」(22 ページ)をご覧ください。

プリント位置調整を終了するには

MENU ボタンを押し、Ready 画面に戻します。

ご注意

調整が終了したら、必ず MENU ボタンを押して Ready 画面に戻してください。Ready 画面に戻っていないと、プリント実行時にカメラの液晶画面に COMMUNICATION ERROR が表示され、プリントできません。

カメラの Bluetooth ランプが消灯しているとき

カメラの Bluetooth ランプが消えているときは、Bluetooth 機能が停止しています。POWER スイッチを ON にしても Bluetooth 画面は表示されません。SIZE、COLOR / B/W、PRINTER、PRINT ボタンは操作できますが、プリントを実行することはできません。PRINT ボタンを押すと、液晶画面に Demo Layout 画面が表示されプリントアウトのプレビュー画像を見ることができます。

- ◆ 詳しくは、「Bluetooth ランプを点灯するには」(60 ページ)、「Bluetooth ランプを消灯するには」(60 ページ)をご覧ください。

Bluetooth について

Bluetooth 機能について

Bluetooth¹⁾ 機能とは、一般的にコンピューターとその周辺機器、携帯情報端末 (PDA)、携帯電話など、様々な機器同士を無線で接続し、相互の通信を可能にする技術の名前です。

全方向性通信を行うため、Bluetooth 機能搭載機器がカバンの中にあったり、機器間に多少の障害物が有る場合でも通信が可能です。また、Bluetooth 通信技術は、ワイヤレス通信による簡便さにくわえ、周波数をランダムに切り換えたり、データを暗号化して送受信するなど、高度なセキュリティ性を有しています。

- 本システムの Bluetooth 機能をご使用になるときは、接続相手の機器から見通しのよいところで最大約 10m 以内に設置してください。

1) Bluetooth[®] トレードマークは、その商標権利者が所有しており、ソニーはライセンスに基づき使用しています。なお本文中では、トレードマークは明記していません。

「Basic Imaging Profile」について

「Basic Imaging Profile」(BIP) は、種々の機能同士で Bluetooth を使って静止画を簡単に交換するための仕様です。

BIP の代表的な機能として、画像の送受信やデジタルスチルカメラのリモートシャッターとして利用できる機能などがあります。

本機と Bluetooth 搭載機器を接続して使用するには、その機器が「BIP」の「画像送信機能」(Image Push Feature) に対応している必要があります。

お使いになる前に相手機器の Bluetooth および「Basic Imaging Profile」の仕様をご確認ください。

Bluetooth 機能を使った接続

Bluetooth 機能を使ってカメラとプリンターを接続するには、以下の設定が必要です。

- カメラとプリンターに同じパスキーが設定されている。
- Bluetooth ランプが点灯している。

現在の設定を確認するには

パスキーの設定を次の手順で確認することができます。

カメラの設定を確認するには

- 1 Setup 画面を表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」(38 ページ) をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
Bluetooth 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して PROPERTY を選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
Property 画面が表示され、パスキーとアドレスを確認できます。
- 6 コントロールボタンの ENTER を押す。

メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

プリンターの設定を確認するには

- 1 プリンターの電源を入れる。
- 2 MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▼を押し、操作画面に Bluetooth SETTING [>] を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。
Bluetooth アドレスが表示されます。
- 5 コントロールボタンの▼を押し、操作画面に PASSKEY INPUT [>] を表示させる。
- 6 コントロールボタンの▶を押す。
PASSKEY INPUT 画面が表示されます。
- 7 EXEC ボタンを押す。

メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

パスキーの設定を変更するには

パスキーは必要に応じて変更することができます。
UPX-C200 および増設用プリンター UP-DX100 には、工場出荷時にすべての機器に同じパスキーが設定されています。通信のセキュリティをあげるため、お使いのシステムのパスキーを変更することをおすすめします。

◆ 詳細は、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

Bluetooth ランプを点灯するには

Bluetooth ランプが消灯しているときは、Bluetooth 機能が停止しています。次の手順で Bluetooth 機能を動作状態にして、ランプを点灯させます。

カメラのランプを点灯させるには

- 1 Setup 画面を表示する。
◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」（38 ページ）をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
Bluetooth 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して、MODULE を選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
BT MODULE POWER 画面が表示されます。
- 6 ON が選択されているのを確認して、コントロールボタンの ENTER を押す。
Bluetooth ランプが点灯します。

プリンターのランプを点灯させるには

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの▼を押し、Bluetooth SETTING [>>] を表示させる。
- 3 コントロールボタンの▶を押す。
Bluetooth ADDR None が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▼を押し、MODULE POWER [>>] を表示させる。
- 5 コントロールボタンの▶を押す。

- 6 コントロールボタンの◀または▶を押し、POWER の設定を ON にする。

- 7 EXEC ボタンを押す。

REBOOTING が表示され、プリンターが再起動して Bluetooth ランプが点灯します。

Bluetooth ランプを消灯するには

病院、医療用電気機器、航空機設備の近くなどでは、電波の影響による誤動作で事故の起こる恐れがあります。Bluetooth 機能を次の手順で停止させ、ランプを消灯させてください。

カメラのランプを消灯させるには

- 1 Setup 画面を表示する。
◆ 表示する方法については、「Setup 画面を表示する」（38 ページ）をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- 3 コントロールボタンの ENTER を押す。
Bluetooth 画面が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して、MODULE を選択する。
- 5 コントロールボタンの ENTER を押す。
BT MODULE POWER 画面が表示されます。
- 6 OFF が選択されているのを確認して、コントロールボタンの ENTER を押す。
Bluetooth ランプが消灯します。

プリンターのランプを消灯させるには

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの▼を押し、Bluetooth SETTING [>>] を表示させる。
- 3 コントロールボタンの▶を押す。
Bluetooth ADDR None が表示されます。
- 4 コントロールボタンの▼を押し、MODULE POWER [>>] を表示させる。
- 5 コントロールボタンの▶を押す。

6 コントロールボタンの◀または▶を押し、POWERの設定を OFF にする。

7 EXEC ボタンを押す。

REBOOTING が表示され、プリンターが再起動して Bluetooth ランプが消灯します。

プリンターを追加する

1 台のカメラで最大 3 台のプリンターを使用することができます。複数のプリンターを使用するときは、カメラの PRINTER ボタンを使って使用するプリンターを選択します。

各プリンターごとに 1 ～ 9 のデバイス名を設定しておく、プリンターの識別に便利です。

◆ プリンターの追加とデバイス名の設定については、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

プリンターを削除する

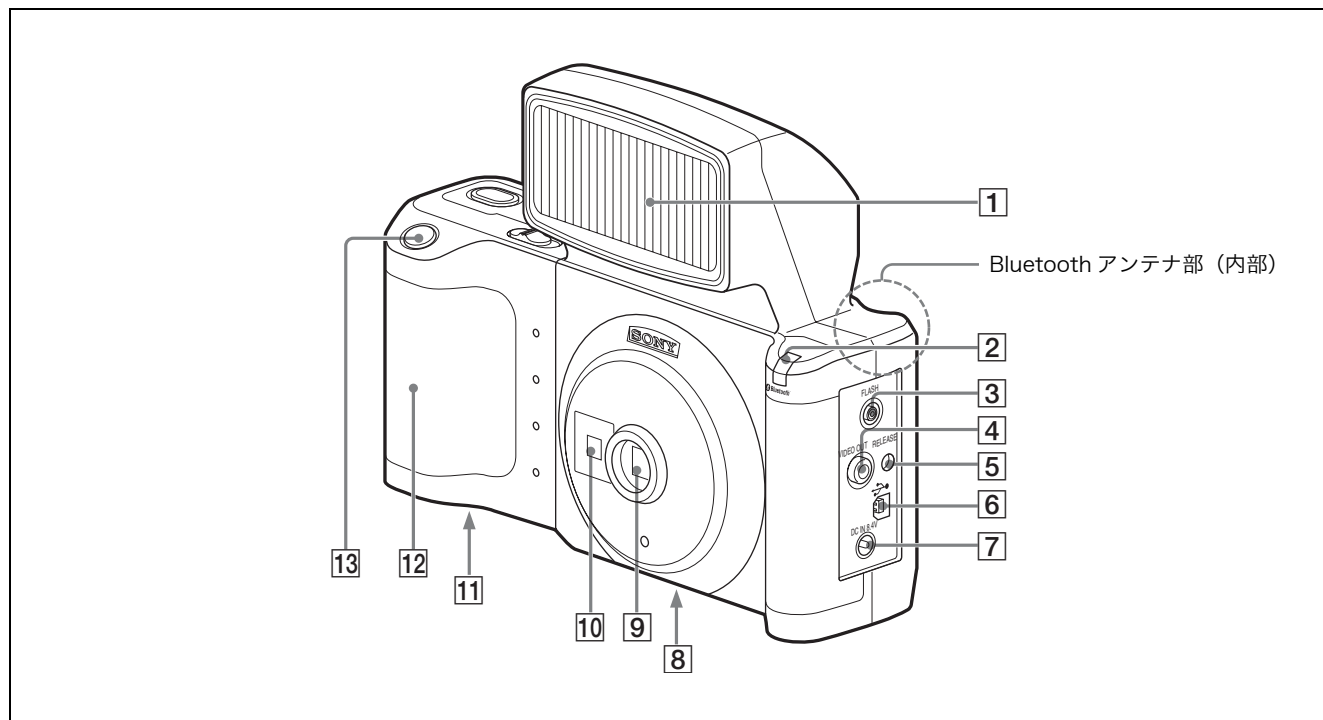
システムで使用しているプリンターを削除することができます。

◆ プリンターの削除については、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

各部の名称と働き () 内の数字は、参照ページを示します。

カメラ

前面



1 フラッシュ (44)

メニューの FLASH MODE の設定に従って発光します。

2 Bluetooth (ブルートゥース) ランプ (60)

メニューの Bluetooth 内の MODULE を ON に設定すると点灯し、Bluetooth 機能が働いていることを示します。

3 FLASH (フラッシュ) 端子

外部フラッシュを使用するとき、フラッシュのコードを接続します。

X 接点对応のフラッシュをフラッシュ同調コードを使って接続すると、接続したフラッシュがシャッターに同期して発光します。

4 VIDEO OUT (ビデオ出力) 端子 (ピンジャック) (52)

別売りのビデオケーブルを使って、ビデオモニターの入力端子と接続します。液晶画面に表示されている画像をモニターの画面で見ることができます。この信号は被写体の確認用です。モニターの画質はモニター側で調整してください。

ご注意

メニューの VIDEO OUT を PAL に設定した場合、VIDEO OUT 端子に接続したビデオモニターで画像をモニターするには、MONITOR (PAL) スイッチを VIDEO OUT に設定してください。

5 RELEASE (リリース) 端子 (ミニジャック)

リモートコマンダーを接続します。

リリースボタンを一気に押し切ったときと同じ動作をします。

6 USB 端子

本機をコンピューターと使用するとき、市販の USB ケーブルを使って、コンピューターの USB 端子と接続します。

付属のユーティリティソフトウェアを使ってカメラの画像をコンピューターに保存したり、プリントしたりすることができます。

7 DC IN 8.4V 端子 (15)

カメラを AC 電源で使用する時、付属の AC パワーアダプターを接続します。

8 三脚取り付けネジ穴 (16)

カメラを三脚に取り付けるとき使用します。

9 レンズ (f=7.5 ~ 19.8mm、F-2.8 ~ F-4.8)

光学ズーム付き自動焦点レンズ

10 ファインダー

液晶画面を使わず、ファインダーを使って被写体を見ることができます。暗い場所での撮影に便利です。

ファインダーを通して見る画枠は正確ではありません。目安として使ってください。

11 電池挿入ふた (14)

付属の単 3 型ニッケル水素充電電池 4 本とリチウムボタン電池を挿入します。

12 グリップ

液晶画面のあるグリップ部は 90° 回転することができます。カメラの設置位置が低いときに、グリップを回転させて液晶画面を見やすい位置にすることができます。

ご注意

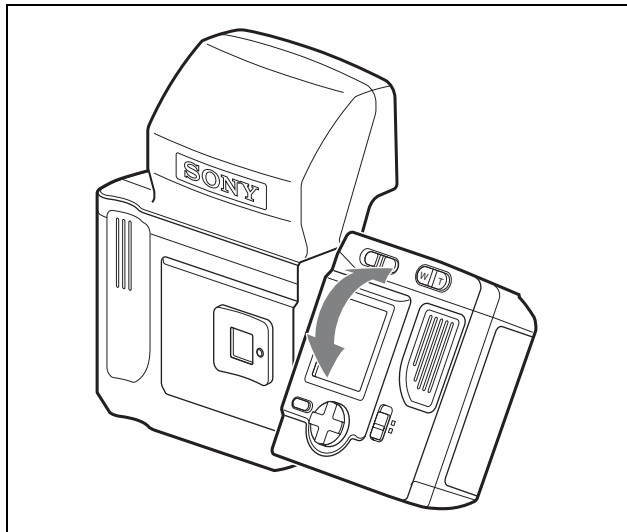
グリップを回転させるとき、回転の両端で無理な力を加えたり、勢いよく回して両端で衝撃を与えたりしないでください。特に電池で動作させているときは、衝撃で電源供給が遮断されて再起動する場合があるのでご注意ください。また、回転部分の不要な消耗を防ぐため、必要以上に何度も回転させないでください。

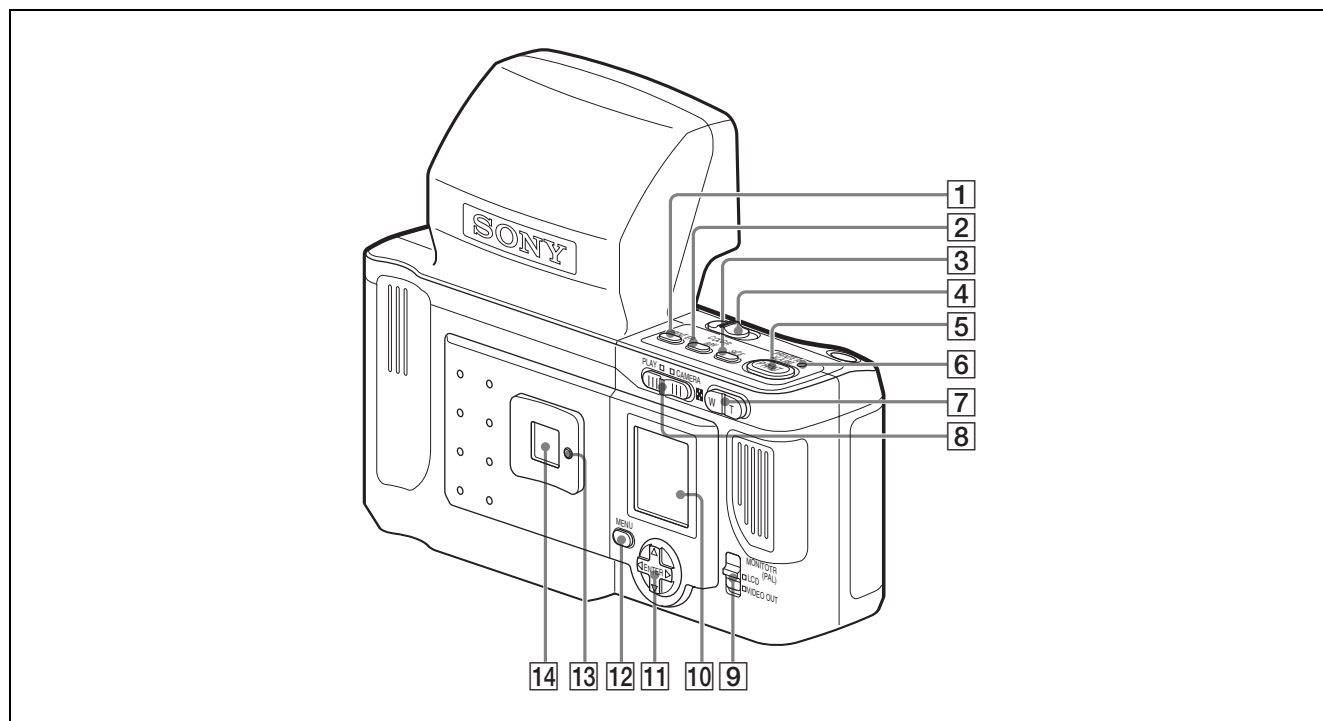
13 レリーズボタン (21)

押すと、カメラの液晶画面に表示されている画像をカメラ内部のメモリーに記録します。

ボタンを半押しにすると自動焦点機能が働き、完全に押し切るとシャッターが切れます。撮影した画像は JPEG 方式で圧縮されてメモリーに保存されます。

このボタンは PLAY/CAMERA スイッチが CAMERA のときだけ働きます。





1 PRINTER (プリンター) ボタン

2 台以上のプリンターを使用するときに、プリンターを選択します。

◆ 詳しくは、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

2 COLOR / B/W (カラー / 白黒) ボタン (23)

プリント画をカラーまたは白黒に切り換えます。

3 SIZE (サイズ) ボタン (22)

プリント画のサイズを選択します。

4 POWER (電源) スイッチ (20、29)

カメラの電源を ON/OFF します。

ご注意

POWER スイッチを OFF にすると液晶画面に時計表示をし、内部の最新設定をメモリーに保存してから電源が完全に切れ、液晶画面の表示とスタンバイランプが消えます。

この間は、AC パワーアダプターの接続をはずしたり、電池を抜いたりしないでください。

5 PRINT (プリント) ボタン (22)

液晶画面に表示されている画像をプリントするときに押します。1 回押すとレイアウトプレビュー画面が液晶画面に表示され、プリント枚数を設定することができます。もう一度押すと画像データがプリンターに転送され、画

像がプリントされます。データ転送中は液晶画面に TRANSMITTING が表示されます。

PRINT ボタンはクイックレビュー画像または再生画像が表示されているときに有効です。

レイアウトプレビュー画面を消すには、MENU ボタンを押します。

6 PRINTER ALARM (プリンター警告) ランプ

プリンターに不具合が発生したときに点灯します。

複数のプリンターを使用しているときは、PRINTER ボタンで選択されているプリンターの状態を警告します。該当するプリンターをチェックしてください。

7 ズームレバー (21、25)

PLAY/CAMERA スイッチが CAMERA のとき

画角のとりかたを調整します。証明用写真は、多くの場合画面上の顔のサイズが規定されています。ズーム機能を使うと、カメラの位置を固定したまま顔のサイズを調整することができます。最大倍率は 1.3 倍または 2.6 倍です。

T : ズーム画面にする。

W : 広角画面にする。

PLAY/CAMERA スイッチが PLAY のとき

再生画像の 1 コマ表示と 9 コマ表示を切り換えます。

T : 9 コマ表示を 1 コマ表示に切り換えます。

W : 1 コマ表示と 9 コマ表示を交互に切り換えます。

8 **PLAY/CAMERA (再生/記録) スイッチ (20、25)**

CAMERA : 画像を撮影するとき、この位置にします。
PLAY : 撮影した画像を見るとき、この位置にします。

9 **MONITOR (PAL) (PAL 信号モニター) スイッチ (52)**

メニューの VIDEO OUT を PAL に設定し、VIDEO OUT 端子にビデオケーブルを接続したときのみ有効です。画像のモニターを液晶画面にするかビデオモニターにするか選択します。

LCD : 液晶画面で画像をモニターするとき

VIDEO OUT : ビデオモニターで画像をモニターするとき

VIDEO OUT を NTSC に設定したときは、このスイッチに関係なく液晶画面、ビデオモニターの両方で画像をモニターすることができます。

10 **液晶画面**

PLAY/CAMERA スイッチを CAMERA にするとレンズがとらえている画像が表示されます。PLAY/CAMERA スイッチを PLAY にしたときは再生画像が表示されます。USB ケーブルを使ってカメラとコンピューターを接続しているときは、USB 接続中を表示します。

11 **コントロールボタン (23、25、38)**

PLAY/CAMERA スイッチが PLAY のとき、液晶画面に表示する再生画像を選択します。

メニュー操作時は、メニュー項目の選択、設定に使用します。

12 **MENU (メニュー) ボタン (20、26、38)**

メニュー画面を表示するときに押します。また、メニュー画面から通常画面に戻るとき、レイアウト画面を消すときに押します。

13 **スタンバイランプ (21)**

ランプの点灯 / 点滅で、次の状況を知らせます。

PLAY/CAMERA スイッチが CAMERA のとき

赤の点滅 : 撮影準備中、内蔵フラッシュ充電中、データ記録中 (撮影できません)

赤の早い点滅 : 電池の残量なし

赤の点灯 : メモリーの空きなし (AUTO ERASE の設定が OFF のとき)

緑の点滅 : 撮影準備完了 (露出、絞り、ホワイトバランスの手動設定)

緑の点灯 : 撮影準備完了 (自動設定)

PLAY/CAMERA スイッチが PLAY のとき

赤の点灯 : 故障です。お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

緑の点滅 : メモリーの空きなし

緑の早い点滅 : 電池の残量なし

緑の点灯 : 正常

14 **ファインダー**

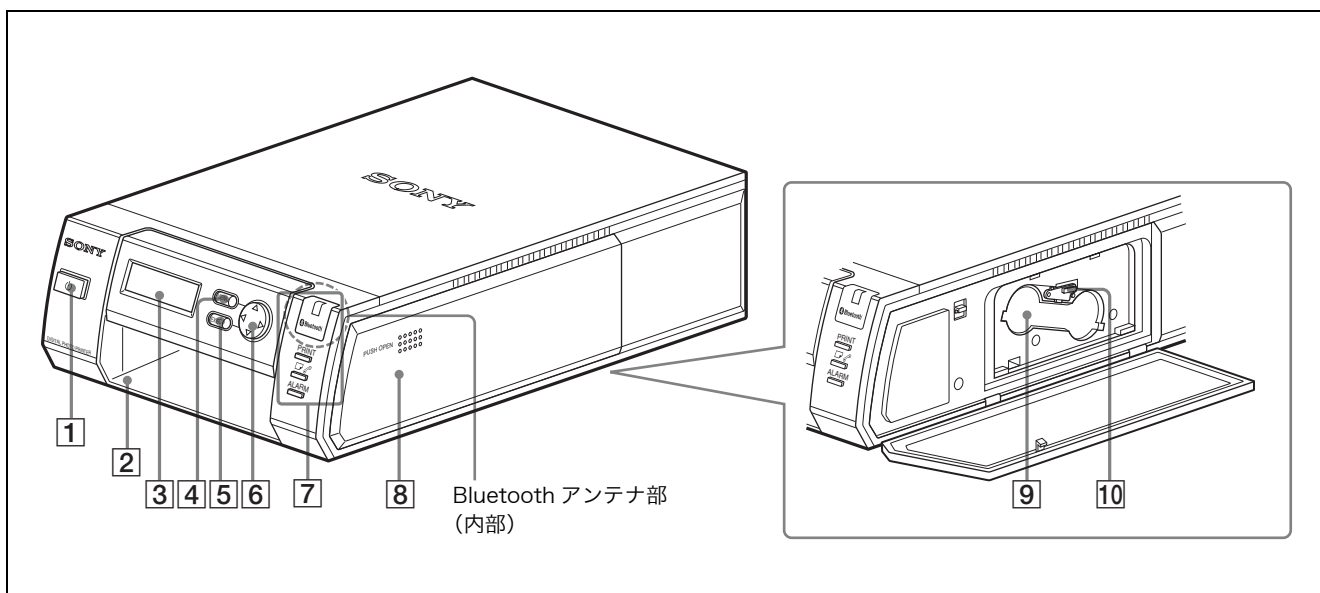
液晶画面を使わず、ファインダーを使って被写体を見ることができます。暗い場所での撮影に便利です。

ファインダーを通して見る画枠は正確ではありません。

目安として使ってください。

プリンター

前面



1 電源 (オン / スタンバイ) ボタン / ランプ (20、56)

押すとランプが点灯し、プリンターに電源が供給されます。もう一度押すとランプが消灯し、プリンターはスタンバイ状態になります。

2 ペーパートレイスロット (18)

ペーパートレイを装着します。

3 操作画面

本機に電源を供給すると、操作状況やメニュー項目が表示されます。

4 MENU (メニュー) ボタン (24、56)

メニュー画面を表示するとき、メニューの変更をキャンセルするときに押します。

5 EXEC (実行) ボタン (24、57)

メニュー操作時、選択したメニュー項目を実行するときに押します。

6 コントロールボタン (23、56)

メニュー操作時、メニュー項目の選択、設定に使用します。

7 ランプ

Bluetooth ランプ：Bluetooth 機能が働いているときに点灯します。

PRINT ランプ：プリント中点灯し、画像データを受信中は点滅します。

ランプ：ペーパーまたはカートリッジを使い切ったとき、およびペーパーとカートリッジのサイズが異なるときに点灯します。

ALARM ランプ：紙づまりなど、エラーが起きたときに点灯します。

8 プリントカートリッジカバー (17)

プリントカートリッジを装着または取り出すときに PUSH OPEN の所を押して開けます。

9 プリントカートリッジスロット (17)

プリントカートリッジを装着します。

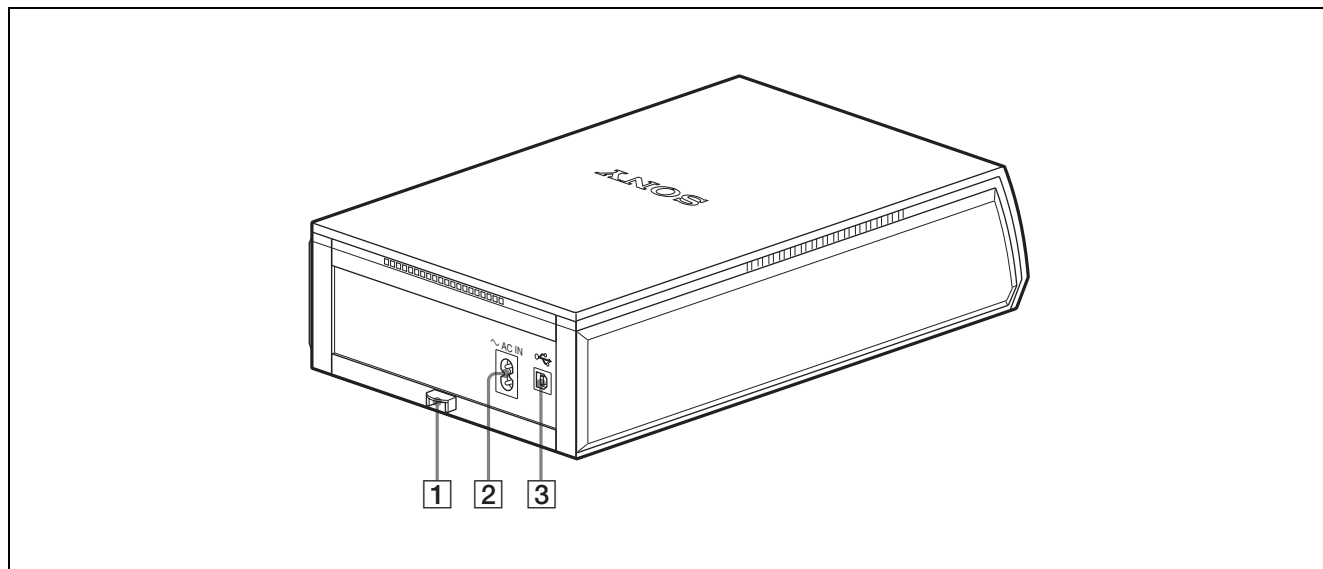
10 カートリッジ取り出しレバー (17)

プリントカートリッジを取り出すとき、上に押します。

ご注意

プリント中はこのボタンは機能しません。

後面



1 紙づまり除去カバー (73)

紙づまりが起きたとき、このカバーをはずして、つまった紙を取り除きます。

2 〜AC IN (電源入力) 端子 (19)

電源コード (付属) を使って AC 電源に接続します。

3 USB 端子

コンピューターの USB 端子と USB ケーブルを使って接続します。

ご注意

USB ケーブルを使ってコンピューターと接続すると、コンピューターによっては正常に動作しない場合があります。このような場合は、市販の USB ハブを使用してください。

本システムの性能を保持するために

本システムの性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「警告」(5 ページ)、「注意」(6 ページ)、「電池についての安全上のご注意」(8 ページ)と併せてご覧ください。

カメラ

使用・保存場所

次のような場所での使用および保管は故障の原因となりますので、避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所（動作温度は 5℃～35℃）
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 湿気、ほこりの多い所
- 雨のあたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

放熱

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障の原因となります。

輸送

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

ためし撮りについて

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。

プリンター

使用するときのご注意

- 長い間ご使用にならないときは、プリンターをスタンバイモードにし、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリンターを輸送する際は、付属品を取りはずしてください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、プリンターの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態でプリンターを使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、プリンターの電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- カメラのレンズの表面に付着したごみやほこりは、ブローアードで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふき取った後、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

警告

本機は電源スイッチを備えていません。設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

主な仕様

カメラ

一般

電源	付属のソニー単3型ニッケル水素充電池 または AC パワーアダプターより供給 (DC8.4V)
入力電流	最大 1.1A (AC パワーアダプター使用時)
動作温度	5℃～35℃
保存温度	-20℃～+60℃
動作湿度	20%～80% (非結露)
最大外形寸法	230×190×74mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約 940g

システム

形式	デジタルスチルカメラ
記録・再生方式	フレームデジタル記録再生
データ圧縮伸長方式	JPEG ベースライン方式によるデータ圧縮、伸長方式
記録媒体	内蔵 32MB フラッシュメモリー
映像素子	1/1.8 インチ 4M CCD 固体撮像素子
記録解像度	HIGH (超高解像度): 2288×1712 ピクセル MID (高解像度): 1280×960 ピクセル STD (標準解像度): 832×624 ピクセル
記録枚数	超高解像度: 20 枚以上 高解像度: 80 枚以上 標準解像度: 200 枚以上
削除方式	1 コマ削除、一括削除
ホワイトバランス	AUTO、One Push、3000K～7000K (500K 単位)
測光方式	中央重点測光 / 顔部分測光 / 背景上部測光
露出制御方式	絞り優先シャッター可変プログラム露出制御
シャッター	1/2～1/1000 秒
感度	ISO100 相当
液晶モニター	1.8 インチ低温ポリシリコン TFT カラー液晶 液晶画面画素数: 約 110,000 画素

レンズ	f=7.5～19.8mm、2.6 倍 (35mm フィルムカメラ用レンズ 36～96mm に相当)、自動焦点 F 値: F2.8 (W 端)～F4.8 (T 端)
-----	--

入出力端子

VIDEO OUT 端子

φ3.5mm (ピンジャック)
1.0Vp-p、75Ω 不平衡、同期負、コンポジットビデオ、NTSC カラーテレビ方式
バーストレベル: 0.25V ± 0.03V (10%)
シンクレベル: 0.29V ± 0.03V (10%)
PAL カラーテレビ方式
バーストレベル: 0.30V ± 0.03V (10%)
シンクレベル: 0.30V ± 0.03V (10%)

USB 端子	Revision 1.1 準拠
--------	-----------------

DC IN 8.4V 端子	DC8.4V
---------------	--------

RELEASE 端子	φ3.5mm (ミニジャック)
------------	-----------------

プリンター

電源	AC100～240V、50/60Hz
入力電流	最大 1.1A (プリント時)
動作温度	5℃～35℃
保管/輸送時温度	-20℃～+60℃
動作湿度	20%～80% (非結露)
最大外形寸法	約 203×85×305mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約 2.7kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型 (イエロー、マゼンタ、シアン、ラミネート)
プリント解像度	403×403dpi
サーマルヘッド	403 ドット / インチ
プリント階調	各色 8 ビット処理 (イエロー、マゼンタ、シアン)
プリント時間	UPC-X46 シリーズ: 約 100 秒 / 1 枚 UPC-X34 シリーズ: 約 65 秒 / 1 枚
給紙方法	ペーパートレイからの自動給紙
最大給紙枚数	UPC-X46 シリーズ: 25 枚 UPC-X34 シリーズ: 30 枚
排紙方法	正面排紙 (ペーパートレイ上)
最大プリント枚数	UPC-X46 シリーズ: 25 枚 UPC-X34 シリーズ: 30 枚
入力	AC IN (電源入力)

最大プリントサイズ

UPC-X46 シリーズ：101.6 ×
151.4mm
(ふち無し)
UPC-X34 シリーズ：70.1 × 95.3mm
(ふち有り)
プリント画素数 UPC-X46 シリーズ：1664 × 2440
ドット
UPC-X34 シリーズ：1112 × 1512
ドット

USB インターフェース

データ転送方式 Universal Serial Bus Specification
Revision 1.1 準拠

USB 端子のピン配列

I/O	信号名	機能
	V _{CC}	ケーブル電源、最大電流 100mA
I/O	− Data	データ
I/O	+ Data	データ、1.5kΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
	GROUND	ケーブルグランド

Bluetooth

通信方式 Bluetooth 標準規格 Ver. 1.1
最大通信速度¹⁾ 約 723kbps
出力 Bluetooth 標準規格 Power Class 2
通信距離²⁾ 見通し距離約 10m
対応 Bluetooth プロファイル³⁾
Basic Imaging Profile (Image Push
Feature)
使用周波数帯 2.4GHz 帯 (2.400GHz ~
2.4835GHz)

1) Bluetooth 標準規格 Ver. 1.1 の最大データ通信速度。通信機器間の距離や障害物、電波状況、使用するソフトウェア、OS などにより変化します。

2) 通信機器間の距離や障害物や電波状況、使用するソフトウェア、OS などにより変化します。

3) Bluetooth 対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth 標準規格で定められています。

AC パワーアダプター

電源 AC100 ~ 240V、50/60Hz
消費電力 28VA (100V 時)
36VA (240V 時)
出力 動作時：DC8.4V、1.5A
動作温度 5℃ ~ 35℃
保存温度 - 20℃ ~ + 60℃
最大外形寸法 約 100 × 31 × 56 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部を含む)
質量 約 190g

バッテリーチャージャー

電源 AC100 ~ 240V、50/60Hz
消費電力 15VA (100V 時)
19VA (240V 時)
出力 DC1.2V
単 3 型 (AA) :
1280mA × 2/640mA × 4
動作温度 5℃ ~ 35℃
最大外形寸法 約 65 × 106 × 32mm
(幅 × 高さ × 奥行き)
(電源プラグは除く)
質量 約 120g (充電式電池は除く)

付属品

UPC-X46 シリーズ用ペーパートレイ (1)
UPC-X34 シリーズ用ペーパートレイ (1)
トレイカバー (1)
ペーパーホルダー (2)
電源コード (2)
AC パワーアダプター PCS-AC08/1 (1)
単 3 型ニッケル水素充電電池 (NH-AA) (4)
リチウムボタン電池 (1)
バッテリーチャージャー (1)
クリーニングカセット (1)
CD-ROM (1)
保証書 (1)
取扱説明書 (1)
ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)
ソフトウェア使用許諾書 (1)

別売りアクセサリ

デジタルフォトプリンター UP-DX100
ペーパートレイ UPA-DX100TR
ラミネートプリントパック 10UPC-X46 シリーズ (250
枚)
ラミネートプリントパック 10UPC-X45 シリーズ (250
枚)
ラミネートプリントパック 10UPC-X34 シリーズ (300
枚)
リモートコマンダー RM-91

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

故障とお考えになる前に

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

カメラ

症状	原因 / 処置
POWER スイッチを OFF にしても電源が切れない。	カメラの内部処理に非常に時間がかかっている。 →しばらく待って、それでも切れないときは AC パワーアダプターを抜くか、電池挿入ぶたを開ける。
カメラの電源を入れてもプリンターと接続しない。	- プリンターの電源が入っていない。 →プリンターの電源を先に入れてから、カメラの電源を入れる。 - カメラかプリンターの Bluetooth ランプが消えている。 →両方の Bluetooth ランプを点灯させる。（「Bluetooth ランプを点灯するには」（60 ページ）参照） 「NO PRINTER」と表示される。 →プリンターの登録が消えているので、登録する。（取扱説明書（応用編）「プリンターを登録する」参照）

撮影

症状	原因 / 処置
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	- PLAY/CAMERA スイッチが CAMERA になっていない。 →PLAY/CAMERA スイッチを CAMERA にする。 - データ記録中、またはフラッシュの充電中（スタンバイランプが赤く点滅）。 →スタンバイランプが緑の点灯または点滅になるまで待ってから撮影する。 - 撮影可能枚数いっぱいに撮影している（スタンバイランプが赤く点灯）。 →撮影可能枚数を確認し、不要な画像を消去してから撮影する。 →AUTO ERASE の設定を ON にする。（取扱説明書（応用編）参照）

症状	原因 / 処置
フラッシュが光らない。	- フラッシュモードの設定が正しくない。 →メニュー操作で、FLASH MODE を A または M に設定にする。 - 外部フラッシュのコードがカメラに接続されていない。 →外部フラッシュのコードをカメラの FLASH 端子に接続する。 - 電池が消耗している。 →電池を充電するか、新しい電池と交換する。 - フラッシュの寿命が切れている。 →お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

カメラの液晶画面

症状	原因 / 処置
撮影時、液晶画面に画像が出ない。	メニュー操作で VIDEO OUT を PAL に設定し、ビデオケーブルを接続している状態で、カメラの MONITOR (PAL) スイッチが VIDEO OUT になっている。 →LCD にする。 →ビデオケーブルの接続をはずす。
寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある。 赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある。	液晶の性質による現象。 →故障ではありません。
紙が動くアニメーション	プリンターがプリント動作中です。 →プリントが終了するのを待ってやり直します。
データの転送が終了したがしばらく画面が止まっている。	プリンターが給紙中です。 →給紙が終わってプリントが始まると、画像が切り換わります。

撮影画像

症状	原因 / 処置
画像がぼけている。	- ピントが合っていない。 →レンズと被写体の距離を調べ、ピントの合う範囲に被写体を置く。 - レリーズボタンを押すときにカメラが動いた。 →カメラを正しく構え、レリーズボタンを静かに押す。 - FLASH MODE の設定が A または ④ で、シャッター速度が遅すぎた。 →適した撮影条件に設定し直す。 (「撮影条件を設定する」(43 ページ) 参照) - レンズが汚れている。 →乾いた柔らかいきれいな布などでレンズの汚れをふきとる。
画像が暗い。	- フラッシュを指などで覆っていた。 →カメラを正しく構え、フラッシュに指がかからないようにする。 - 被写体が遠くにあった。 →フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する。 →露出を補正する。 - 逆光で撮影した。 →フラッシュで撮影する。
室内で撮影した画像の色がおかしい。	照明の影響を受けている。 →ホワイトバランスを正しく設定する。 (「ホワイトバランスを調整するには (W.B.)」(45 ページ) 参照)
画像の一部が欠けている。	レンズに指などがかかっていた。 →カメラを正しく構え、レンズに指などがかからないようにする。
画像の周辺が暗い。	内蔵フラッシュを使い、ズームを 1.3 倍よりワイド側にして撮影した。 →1.3 倍以内で撮影する。

プリンター

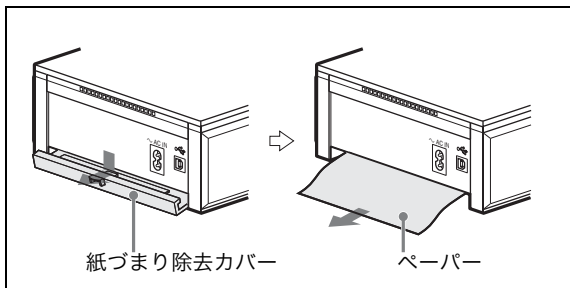
症状	原因 / 処置
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。 →電源コードを AC 電源に正しく接続してください。
プリントできない。	- 正しい組み合わせのプリントペーパーとプリントカートリッジが入っていない。 →専用のプリントペーパーとプリントカートリッジを、正しい組み合わせでご使用ください。 - プリンター内部の温度が上がりすぎて、操作画面に Waiting と表示されている。 →プリンター内部の温度が上がりすぎた場合、一時的にプリントできないことがあります。プリントが自動的に再開するまでお待ちください。 - プリントペーパーが詰まっている。 →つまっているペーパーを取り除いた後もう 1 度プリントしてみてください。 (「つまった紙を取り除くには」(73 ページ) 参照)
プリントカートリッジが取り出せない。	→プリント中はプリントカートリッジは取り出せません。プリントが終了するまでお待ちください。それでも取り出せないときは、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。
プリントに白いスジや傷が入る。	- サーマルヘッドにごみが付着している場合がある。 →付属のクリーニングカセットでクリーニングをしてみてください。 (「プリンター内部のクリーニング」(73 ページ) 参照) - プリンター内部のローラーでプリントペーパーに傷が付く場合がある。 →ペーパートレイに入れる枚数を減らしてご使用ください。
「ビビビ」と鳴って動作しない。	→受け付けられない操作をした場合、「ビビビ」と音がします。
ALARM ランプが点灯または点滅してエラーメッセージが表示される。	→画面の指示に従って対処してください。

つまった紙を取り除くには

プリント動作中に紙づまりが起きたときは、ALARM ランプが点灯し、エラーメッセージが表示されてプリントが停止します。

次の手順でつまった紙を取り除いてください。

- 1 プリンターのオン / スタンバイボタンを押し、スタンバイモードにする。
- 2 ペーパーパートレイをはずしてつまった紙を取り除く。
- 3 後面の紙づまり除去カバーをはずし、紙づまりがないかチェックし、ある場合はとり除く。



- 4 カバーを元に戻す。
- 5 ペーパーパートレイを取り付ける。
- 6 プリンターの電源を入れる。

ご注意

つまったプリントペーパーが取り出せない場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーのサービス窓口にご連絡ください。

プリンター内部のクリーニング

プリント上に白いスジや点状の傷が入るようになった場合は、付属のクリーニングカセットと、プリントパックに付いている保護シートを使ってクリーニングしてください。

ご注意

- 印刷結果に白いスジや点状の傷が現れたときのみクリーニングを行ってください。
- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリントの質が向上することはありません。

- 1 プリンターからペーパーパートレイを抜き、トレイ内の用紙を取り除く。
- 2 保護シートを、印刷のない面を上にして、トレイ底面とシート裏の矢印が同じ向きになるようにトレイに入れる。
- 3 プrintカートリッジカバーを開け、プリントカートリッジを抜く。
- 4 付属のクリーニングカセットを装着し、カバーを閉める。
ブザーが鳴って、HEAD CLEANING/PUSH [EXEC] が表示されます。
- 5 EXEC ボタンを押す。
クリーニングカセットと保護シートがプリンターの内部をクリーニングします。クリーニングが終わると、保護シートが自動的に排紙されます。
- 6 プリンターからクリーニングカセットを抜き、プリントカートリッジとペーパーパートレイを元に戻す。

Bluetooth

症状	原因 / 処置
転送できない。	- 電波の届かない範囲にいる。 →機器同士を電波の届く接続可能な距離まで近付ける。 - カメラまたはプリンターの Bluetooth アンテナ部が手などで覆われている。 →アンテナ部を覆わない。 - 接続したい機器がすでに他の機器と接続している。 →他の機器との接続が終わってから、接続し直す。 - パスキー認証に失敗した。 →再度接続し直し、両方の機器に正しくパスキーを入力する。 - 接続相手が送信を中断した。 →相手機器の状態を確認し、再び接続し直す。 - 相手機器の Bluetooth 接続が切断された。 →相手機器の状態を確認する。
接続が切断される。	- 同じパスキーを入れていない。 →両方の機器に同じパスキーを正しく入力する。 - 接続相手が送信を中断、または終了した。 →相手機器の状態を確認し、再び接続し直し、パスキーを正しく入力する。
認証に失敗する。	- 同じパスキーを入れていない。 →両方の機器に同じパスキーを正しく入力する。 - 接続相手が送信を中断、または終了した。 →相手機器の状態を確認し、再び接続し直し、パスキーを正しく入力する。
データの転送速度が遅い。	- カメラまたはプリンターの Bluetooth アンテナ部が手などで覆われている。 →アンテナ部を覆わない。 - 機器間の距離や障害物、電波状況などによって、データ転送速度は変化します。本機の設置場所を移動するか、機器間の距離を近づけてください。

症状	原因 / 処置
本機と相手機器との機器間の距離が 10 m 以内なのに通信できない。	- カメラまたはプリンターの Bluetooth アンテナ部が手などで覆われている。 →アンテナ部を覆わない。 - 機器間の距離や障害物、電波状況などによって、データ転送速度は変化します。本機の設置場所を移動するか、機器間の距離を近づけてください。 - 相手機器が他の機器と接続している。 →相手機器が他の機器と接続している場合は、接続先として表示されなかったり、本機と通信できない場合があります。 - 相手機器の Bluetooth 機能が接続可能な状態でない。 →相手機器を Bluetooth 接続可能な状態にする。

バッテリーチャージャー

症状	原因 / 処置
CHARGE ランプが点滅する。	- 充電式電池の寿命または異常 →新しいニッケル水素充電電池に交換する。 - ニッケル水素充電電池以外の電池を充電している。 →ニッケル水素充電電池に交換する。
CHARGE ランプがはじめから点灯しない。	- 充電式電池の入れかたを誤っている。 →充電式電池を正しく入れる。 - 充電式電池の接触が悪い。 →充電式電池および本体の ⊕⊖ 端子の汚れを取り除く。 - 電源プラグの接触が悪い。 →電源プラグの汚れを取り除く。 →別のコンセントに取り付ける。

エラーメッセージ

カメラ	プリンター	原因 / 処置
SET MEDIA	RIBBON END SET CARTRIDGE	• プリントカートリッジが終了した。 →プリントカートリッジを交換する。
	SET PAPER PUSH EXEC	• プリントペーパーが終了した。 →プリントペーパーを入れて、EXEC ボタンを押す。 • ペーパーパートレイが装着されていない。 →ペーパーパートレイを装着して、EXEC ボタンを押す。
CHECK PRINTER	PAPER JAMMING REMOVE PRINTS	• プリントペーパーがつまっている。 →つまっているペーパーを取り除き、もう1度プリントする。（「つまった紙を取り除くには」（73 ページ）参照）
	MEDIA MISMATCH PUSH EXEC	• プリントペーパーとプリントカートリッジの組み合わせが間違っている。 →正しいプリントペーパーを入れて、EXEC ボタンを押す。
	REMOVE PRINTS PUSH EXEC	• 排紙口にプリントペーパーが残っている。 →ペーパーパートレイをはずし、プリントペーパーを取り除き、EXEC ボタンを押す。
	PRINTER ERROR SERVICE CALL	• プリンターの故障 →お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
	Bluetooth ERROR SERVICE CALL	• Bluetooth 機能の故障 →お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
COMMUNICATION ERROR	—	• プリンターの操作画面にメニューが表示されている。 →メニュー操作を終了し、Ready 画面を表示させる。 • プリンターが USB と通信中である。 →通信が終わるのを待ってやり直す。
PAPER SIZE MISMATCH	—	• プリンターには UPC-X34 シリーズが装着されているが、UPC-X46 シリーズでのみプリントできるサイズをカメラで選択した。 →プリンターのプリントパックを UPC-X46 シリーズに交換する。 →カメラの SIZE ボタンで UPC-X34 シリーズでプリントできるサイズを選択する。

カメラのエラーメッセージは、上記の処置を行ったあと、MENU ボタンを押して消してください。

索引

シンボル

☐ ランプ	66
⏻ (オン/スタンバイ) ボタン/ランプ	66

数字

9 コマ画面	25
--------------	----

アルファベット順

A

AC IN (電源入力) 端子	67
AC 電源	
カメラ	15
プリンター	19
AE AREA	34
ALARM ランプ	66
APERTURE	33, 44
AUTO ERASE	33

B

Basic Imaging Profile (BIP)	59
BATTERY REFRESH	36
BIP	59
Bluetooth	36
Bluetooth SETTING	37
Bluetooth 機能	
カメラの設定を確認する	59
設定を確認する	59
プリンターの設定を確認する	59
Bluetooth ランプ	58, 62, 66
消灯しているとき	58
消灯する	60
点灯する	60

C

CD-ROM	14
CD-ROM マニュアル	13
CLOCK	36, 41
COLOR ADJUST	37, 56
COLOR / B/W (カラー / 白黒) ボタン	64
COPY PRINT	24, 37

D

DC IN 8.4V 端子	63
---------------------	----

DELETE	34
DELETE ALL	34
Demo Layout 画面	58

E

EXEC (実行) ボタン	66
EXIT	33, 34
EXPOSURE	33, 44
Exposure Mode	33, 43

F

Firmware Ver.	36
FLASH MODE	33, 44
FLASH (フラッシュ) 端子	62
FRAME	35, 46
FRAME-[1]	46
FRAME-[2]	46
FRAME-[3]	47
FRAME-[4]	47
FRAME-[5]	49
FRAME-[6]	50

L

LOAD/SAVE SETTING	34
-------------------------	----

M

MEMORY FORMAT	36
Menu 画面	38
MENU (メニュー) ボタン	65, 66
MONITOR (PAL) (PAL 信号モニター) スイッチ	65
MOVE	34, 54

P

PASSKEY INPUT	59
PLAY/CAMERA (再生/記録) スイッチ	65
POWER SAVE	35, 51
POWER (電源) スイッチ	64
PRINT SETTING	37, 58
PRINT SIZE LIST	35, 45
PRINTER ALARM (プリンター警告) ランプ	64
PRINTER (プリンター) ボタン	64
PRINT (プリント) ボタン	64
PRINT ランプ	66
PROPERTY	34
PROTECT	34
PROTECT ALL	34

R

RELEASE (リリース) 端子	62
RESOLUTION	33, 41

RETURN	35
--------------	----

S

SETUP	34
Setup 画面	38
SHUTTER	33, 44
SIZE UNIT	35, 52
SIZE (サイズ) ボタン	64
SOUND	36, 53

T

TRANSPORT SETTING	34, 55
-------------------------	--------

U

USB	36, 53
USB 端子	62, 67
USB のクラス	53

V

VIDEO OUT	35, 52
VIDEO OUT (ビデオ出力) 端子	62

W

W.B.	33, 45
-----------	--------

Z

ZOOM	33, 42
------------	--------

50 音順

い

移動	
9 コマ画面の画像の位置	54

え

液晶画面	65
再生時	25
撮影時	21

か

カートリッジ取り出しレバー	66
解像度	21, 25
推奨記録解像度	42
ガイド画面	57
プリントする	57
ガイドプリント	11, 57
ガイドライン	
間隔を調整する	50
消す	51
上下のガイドラインを調整する	49
固定ガイドライン	46
画質調整	24, 56
白黒プリントの	24

画像送信機能	59
紙づまり	73
紙づまり除去カバー	67
カラー / 白黒の選択	22, 23

き

記録解像度	20, 41
記録枚数	69

く

クイックレビュー画像	64
クイックレビュー表示	21
グリップ	63

こ

構成例	9
Bluetooth 機能を使った構成	9
コンピューターを使った構成	9
固定ガイドライン	
使用する	47
コマ番号	25
コントロールボタン	65, 66

さ

サイズ表示の単位	52
再生	25
再プリント	24
枚数を設定する	24
サウンド	53
撮影	21
撮影可能枚数	21, 25, 41, 71
撮影環境	12
撮影条件	20, 21, 43
工場出荷時	20
撮影日時	25
三脚	16
三脚取り付けネジ穴	63

し

自動焦点機能	22, 63
絞り	21, 44
シャッタースピード	21
シャッター速度	44
充電	39
出力信号	52
消去	26
一度に全部	26
1 枚ずつ	26
9 コマ画面	26
終了する	27
中止する	27
消去禁止	27
9 コマ画面	28
1 枚ずつ	27
解除する	28
すべての画像	28

焦点ロック (緑) / アンロック (赤)	
マーク	21

す

推奨記録解像度	42
ズーム	42
倍率を設定する	42
ズームバー	21
ズームレバー	64
スタンバイモード	29
スタンバイランプ	65

そ

総画像枚数	25
操作画面	66

ち

調整値	
保存する	57
呼び出す	57

て

電源	29
切る	29
電源表示	21, 25
転送	23
取り消す	23
電池	14, 39
充電する	39
リフレッシュする	40
電池挿入ぶた	63
電波強度の表示	22

と

時計	16
トレイカバー	19

な

内蔵フラッシュ	12
自動発光モード	12
強制発光モード	12
発光禁止モード	12, 13

に

日時	41
----------	----

は

パスキー	36, 37, 59, 74
設定を変更する	60
バッテリーの残量表示	40
パワーセーブ	16
パワーセーブ (節電) モード	51

ふ

ファインダー	63, 65
フラッシュ	62

フラッシュモード	12, 44
プリ測光	43
プリ発光	43
プリンター	16

削除する	61
準備をする	16
追加する	61
プリント	22
クイックレビュー表示中の	
画像	22
異なる画像を 1 枚のプリントペー	
パーにプリントする	23
枚数を設定する	23
メモリーに保存されている画像を	
プリントする	24
プリント位置を調整	58
プリント画	10
プリントカートリッジ	
交換する	17
取り付ける	17
プリントカートリッジカバー	66
プリントカートリッジスロット	66
プリント画質	56
調整する	56
プリント画の寸法	48, 49, 50
プリントサイズ	22, 41, 42, 45
選択する	23
プリント時間	69
プリントパック	16
プリントペーパー	18
プリント枚数	22
フレーム	16, 46
設定する	46
プロテクト	27
プロテクトマーク	25

へ

ペーパートレイスロット	66
ペーパーホルダー	18
取り付ける	18
はずす	18

ほ

ボタン電池	14, 15
ホワイトバランス	
調整する	45

め

メニュー	30
構成	30
項目の機能	33
CAMERA モード	30, 33
PLAY モード	30, 34
SETUP メニュー	31, 35
カメラ	30
プリンター	37
ロックする	55
メモリー	21

画像を削除する	21
メモリー効果	40

ゆ

ユーティリティソフト	9, 14, 53
------------------	-----------

れ

レイアウト画面	22
リリースボタン	63
レンズ	55, 63
輸送状態から戻す	56
輸送状態に設定する	55

ろ

露出	12
自動露出	12
手動露出	12, 13
補正する	44
補正機能	22
露出制御モード	43
露出補正值	21

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

ACHTUNG

Dieses Gerät ist nicht mit einem Netzschalter ausgestattet.

Achten Sie beim Aufstellen des Geräts darauf, dass ein leicht zugänglicher Unterbrechungsschalter in die feste Verkabelung integriert ist, oder schließen Sie das Netzkabel an eine Netzsteckdose an, die sich in der Nähe des Geräts befindet und leicht zugänglich ist. Wenn beim Betrieb des Geräts eine Fehlfunktion auftritt, schalten Sie die Stromversorgung des Geräts über den Unterbrechungsschalter aus oder ziehen das Netzkabel aus der Netzsteckdose.

für die Digitalkamera DKC-C200X

VORSICHT

Bei falschem Auswechseln der Batterie besteht Explosionsgefahr. Ersetzen Sie die Batterie nur durch eine vom Hersteller empfohlene Batterie des gleichen oder entsprechenden Typs. Entsorgen Sie verbrauchte Batterien gemäß den Herstelleranweisungen.

für den Drucker UP-DX100, das Netzteil und das Ladegerät

ACHTUNG

Dieses Gerät hat keinen Netzschalter.

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder das Netzkabel muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. das Netzkabel abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.



Für Kunden in Europa

Hiermit erklärt Sony Corporation, dass die vorliegenden Modelle DKC-C200X und UP-DX100 den wesentlichen Anforderungen und anderen relevanten Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG entspricht.

Einzelheiten finden Sie unter folgendem URL:

<http://www.compliance.sony.de/>

Dieses Produkt ist für den Gebrauch in den folgenden Ländern vorgesehen:

Österreich, Belgien, Tschechien, Dänemark, Finnland, Frankreich, Deutschland, Griechenland, Irland, Italien, Luxemburg, Niederlande, Portugal, Ungarn, Polen, Spanien, Schweden, Großbritannien, Island, Norwegen, Schweiz und Liechtenstein.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Der autorisierte Vertreter für EMC und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart. Wenden Sie sich in allen Kundendienst- oder Garantieangelegenheiten an die in den separaten Kundendienst- bzw. Garantiedokumenten angegebenen Adressen.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

- Windows® ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den Vereinigten Staaten und in anderen Ländern.
- Alle übrigen in dieser Anleitung erwähnten Firmen- und Produktbezeichnungen können Handelsnamen oder eingetragene Warenzeichen der jeweiligen Firmen sein. Darüber hinaus werden „™“ und „®“ nicht in jedem Fall in dieser Anleitung angegeben.

Die Duplikation, die Herausgabe oder das Drucken von CDs, Fernsehsendungen oder urheberrechtlich geschütztem Material wie z. B. Bildern oder Veröffentlichungen oder sonstigem Material mit Ausnahme von eigenen Aufnahmen oder Arbeiten ist ausschließlich auf den privaten Gebrauch beschränkt. Wenn Sie nicht über Urheberrechte verfügen, keine Erlaubnis der Urheberrechtsinhaber zum Duplizieren der Materialien haben und diese Materialien über die oben angegebene Einschränkung hinaus verwenden, werden die Bestimmungen des Urheberrechts verletzt und für den Urheberrechtsinhaber entstehen Ansprüche auf Schadenersatz.

Wenn Sie mit diesem Drucker Bilder auf der Grundlage von Fotos erzeugen, achten Sie bitte in besonderem Maße darauf, die Bestimmungen des Urheberrechts nicht zu verletzen. Das unberechtigte Verwenden oder Modifizieren der Portraits von Dritten verstößt möglicherweise ebenfalls gegen deren Rechte.

Außerdem kann bei Präsentationen, Aufführungen oder Ausstellungen das Fotografieren untersagt sein.

Inhaltsverzeichnis

Systemübersicht	82
Systemkonfiguration	82
Mit diesem System mögliche Ausdrücke	83
Blitzmodi und Beispiele der Aufnahmebedingungen	85
Mitgeliefertes Zubehör	86
Auspacken	86
Lesen der Anleitung auf der mitgelieferten CD-ROM	86
Vorbereitungen	87
Vorbereitung der Kamera	87
Vorbereitung des Druckers	90
Betrieb	93
Vorbereitungen	93
Fotografieren	94
Ausdrucken eines Bilds	96
Wiederausdruck eines im Drucker gespeicherten Bilds (COPY PRINT)	98
Anzeigen eines Bilds	98
Löschen eines Bilds	99
Schützen eines Bilds (PROTECT)	100
Ausschalten der Stromversorgung	102
Menü	103
Menüstruktur	103
Funktionen der einzelnen Menüposten	106
Aufrufen der Setup-Anzeige	111
Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA	111
Verschiedene Funktionen	112
Batteriebetrieb der Kamera	112
Einstellen der Uhr (CLOCK)	114
Einstellen der Bildauflösung (RESOLUTION)	114
Einstellen des Zoombereichs (ZOOM)	115
Einstellen der Aufnahmebedingungen	116
Einstellen des anzuzeigenden Druckformats (PRINT SIZE LIST)	118
Einstellen des Rahmens (FRAME)	119
Einstellen des Stromsparmodus (POWER SAVE)	124
Einstellen der Größeneinheit (SIZE UNIT) ...	125
Wählen des Ausgangssignalformats (VIDEO OUT)	125
Wählen des Betriebstons (SOUND)	126
Auswählen der USB-Klasse (USB)	126
Verschieben eines Bilds auf der Neun-Bild- Anzeige (MOVE)	127
Sperren des Menüs der Kamera	127
Einstellen des Objektivs für den Transport (TRANSPORT SETTING)	128
Einstellen der Druckqualität (COLOR ADJUST)	128

Einstellen der Druckposition (PRINT SETTING)	130
Wenn die Bluetooth-Lampe der Kamera erloschen ist	131
Bluetooth	131
Drahtlose Bluetooth-Technologie	131
Das „Basic Imaging Profile“	131
Kommunikation zwischen Kamera und Drucker mittels Bluetooth	132
Anordnung der Teile	134
Kamera	134
Drucker	138
Vorsichtsmaßnahmen	140
Sicherheit	140
Aufstellung	140
Betrieb	141
Reinigung	141
Batterien	141
Technische Daten	142
Fehlerbehebung	144
Kamera	144
Während der Aufnahme	145
Flüssigkristalldisplay der Kamera	145
Bildqualität	145
Drucker	146
Bluetooth-Funktion	148
Ladegerät	148
Fehlermeldungen	149
Index	150

Systemübersicht

Das digitale Drucksystem Sony UPX-C200 ermöglicht es Ihnen, Bilder mit einer Digitalkamera aufzunehmen und auf zwei Papiersorten auszudrucken: Serie UPC-X46 oder UPC-X34.

Wenn Sie die optionale Papierkassette UPA-DX100TR in den Drucker einsetzen, können Sie auch Druckpapier der Serie UPC-X45 verwenden.

Das System verwendet die Bluetooth-Funktechnologie, die drahtlose Datenübertragung zwischen der Kamera und dem Drucker ermöglicht.

Hinweis zum Sonderzubehör

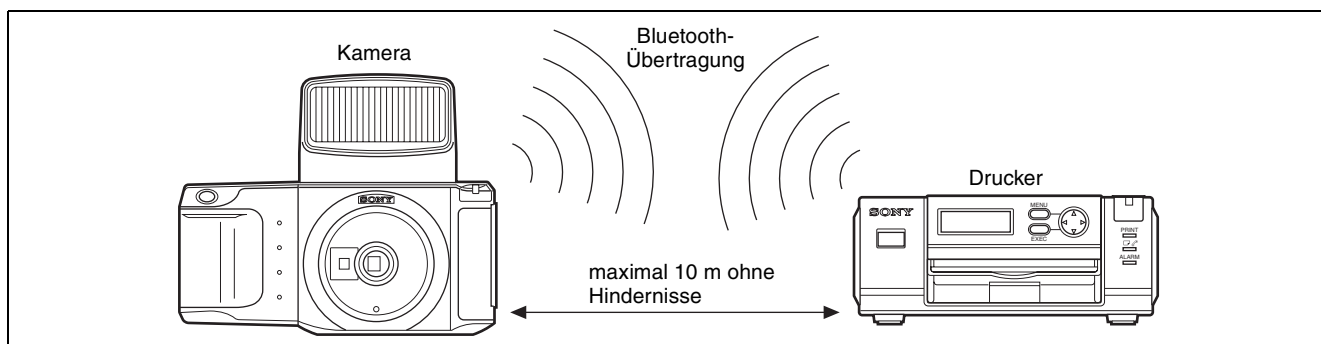
Das folgende Sonderzubehör ist möglicherweise nicht in allen Ländern/Regionen erhältlich.

- Papierkassette UPA-DX100TR
- Selbstlaminierendes Color Printing Pack der Serie 10UPC-X45

Nähere Informationen dazu erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Systemkonfiguration

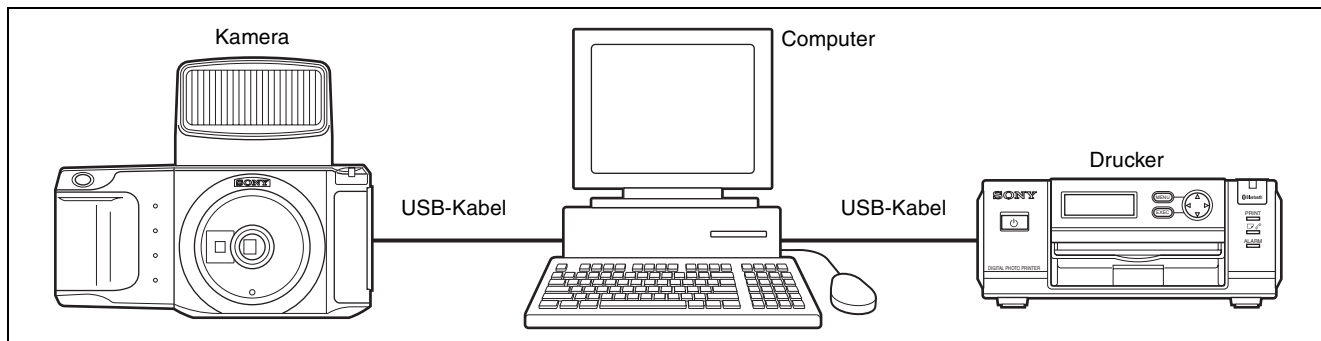
Verwendung der Bluetooth-Funktion



Bilder können ohne Kabel von der Kamera zum Drucker übertragen werden.

Einzelheiten über die Bluetooth-Funktion finden Sie unter „Bluetooth“ auf Seite 131.

Anschließen an einen Computer



Mit Hilfe der auf der CD-ROM enthaltenen Dienstprogramme können Sie Kamerabilder auf dem Computer speichern und die im Computer gespeicherten Bilddaten auslesen und ausdrucken. Es ist auch möglich, Bilder unterschiedlicher Arten (Farbe und Schwarzweiß) oder unterschiedlicher Formate auf ein einzelnes Blatt Papier auszudrucken.

Wenn Sie dieses System mit einem Computer verwenden, lesen Sie das „Utility Software Benutzerhandbuch“ auf der mitgelieferten CD-ROM durch.

Um das System mit einem Computer zu betreiben, muss der mitgelieferte Druckertreiber im Computer installiert werden. Einzelheiten zum Druckertreiber finden Sie in der Datei „Readme (English)“ auf der mitgelieferten CD-ROM.

Hinweis

Bei manchen Computern, die über ein USB-Kabel angeschlossen werden, ist ein normaler Betrieb nicht möglich. Verwenden Sie in einem solchen Fall einen handelsüblichen USB-Hub.

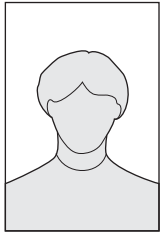
Mit diesem System mögliche Ausdrucke

Das System liefert 22 verschiedene Druckformate und zwei Übersichtsformate. Bei Verwendung der Serie UPC-X46 sind alle Druckformate verfügbar, während mit der Serie UPC-X34 die verfügbaren Formate beschränkt sind.

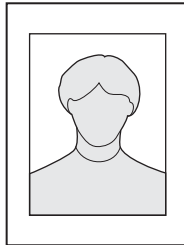
Die nachstehenden Abbildungen zeigen die mögliche Anzahl von Bildern auf einem einzelnen Blatt Papier

sowie Ausrichtung und Art der Bilder. Sie zeigen nicht die genaue Größe der Ausdrucke. Unter jedem Bild ist die Formatnummer und die Größe angegeben. D2, D4, D6 und D8 zeigen an, dass unterschiedliche Ausdruckstypen für das gleiche Format vorhanden sind, und X46 zeigt an, dass das Format nur mit der Serie UPC-X46 verfügbar ist.

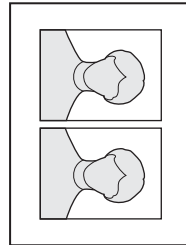
Bei Verwendung der Serie UPC-X46



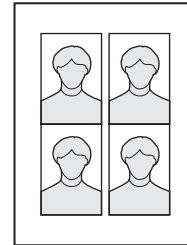
1. 151 × 101.6 mm X46
(Formatnummer) (Format)



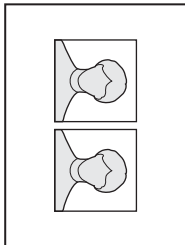
2. 120 × 90 mm X46
3. 95 × 70 mm



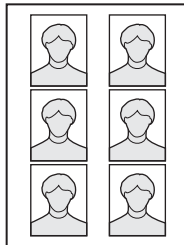
4. 80 × 60 mm
5. 70 × 53 mm
6. 70 × 50 mm



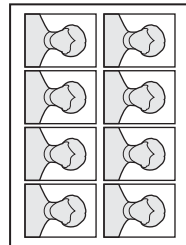
7. 60 × 40 mm
9. 50 × 48.5 mm



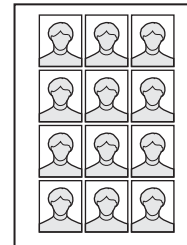
8. 54 × 54 mm 2×2inch



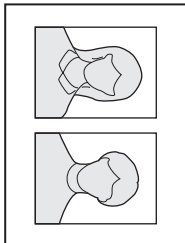
10. 47 × 37 mm
12. 45 × 45 mm



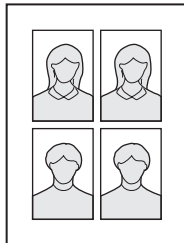
11. 45 × 35 mm
13. 43 × 33 mm
14. 38 × 32 mm



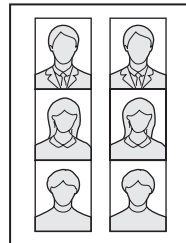
15. 34 × 28 mm
16. 23 × 23 mm



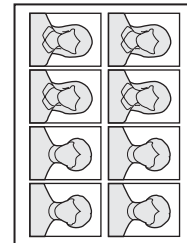
17. 80 × 60 mm D2 X46



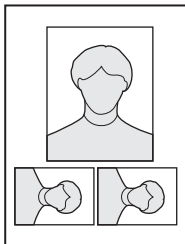
18. 60 × 40 mm D4 X46



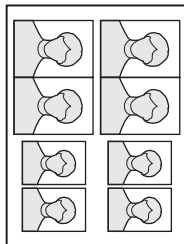
19. 47 × 37 mm D6 X46



20. 45 × 35 mm D8

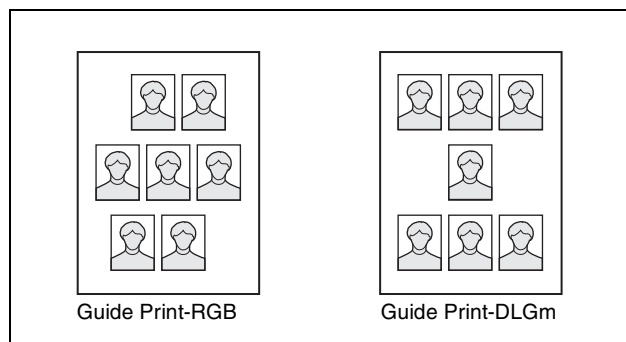


21. Special-1
(108 × 81 mm/
47 × 37 mm)

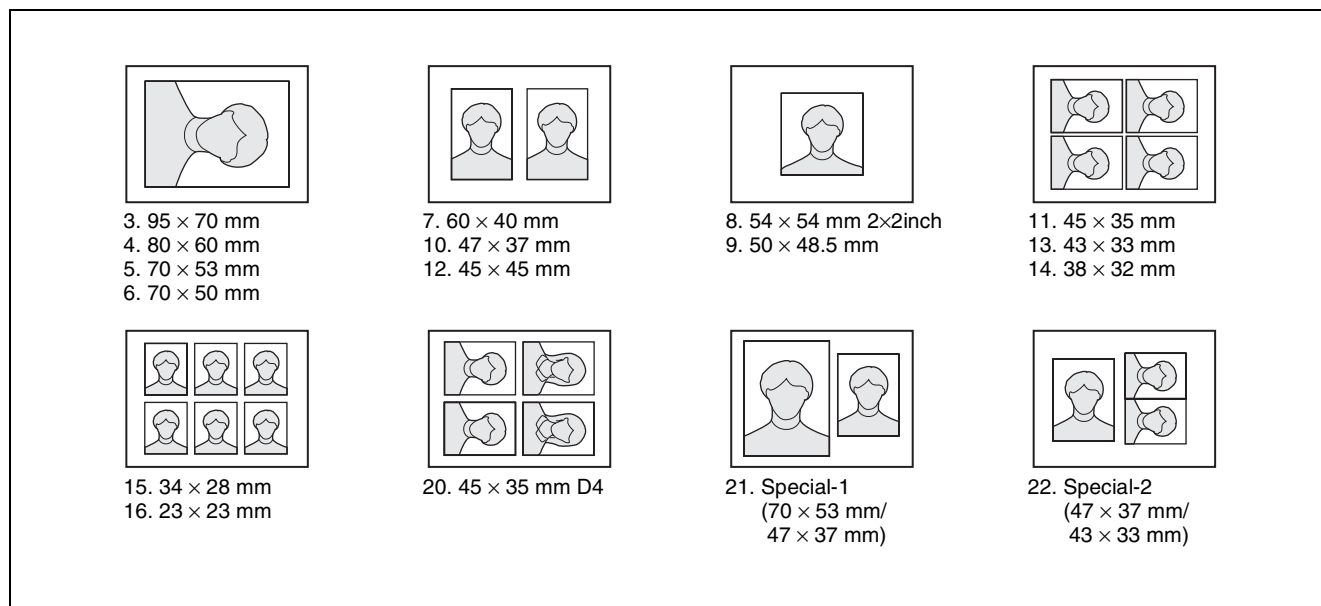


22. Special-2
(47 × 37 mm/
43 × 33 mm)

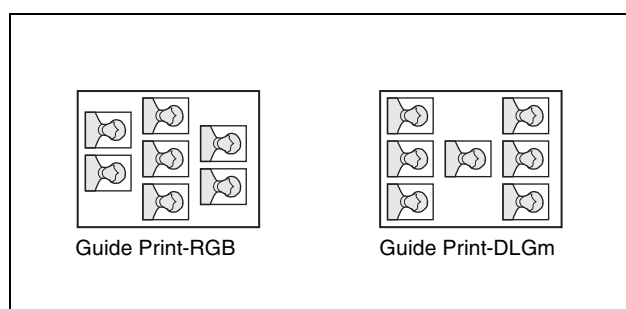
Übersichtsformate



Bei Verwendung der Serie UPC-X34



Übersichtsformate



Blitzmodi und Beispiele der Aufnahmebedingungen

Das System bietet fünf verschiedene Blitzmodi. Hier werden Aufnahmebeispiele in jedem Modus vorgestellt. Die Entfernung zwischen der Kamera und dem Aufnahmeobjekt (L) sollte so festgelegt werden, dass die augenscheinliche Gesichtsgröße an den ausgewählten Rahmen (Führungslinie) angepasst ist.

Einzelheiten zur Auswahl des Rahmens finden Sie unter „Einstellen des Rahmens (FRAME)“ auf Seite 119.

Einzelheiten zu den Aufnahmebedingungen und ihren Einstellverfahren finden Sie unter „Einstellen der Aufnahmebedingungen“ auf Seite 116.

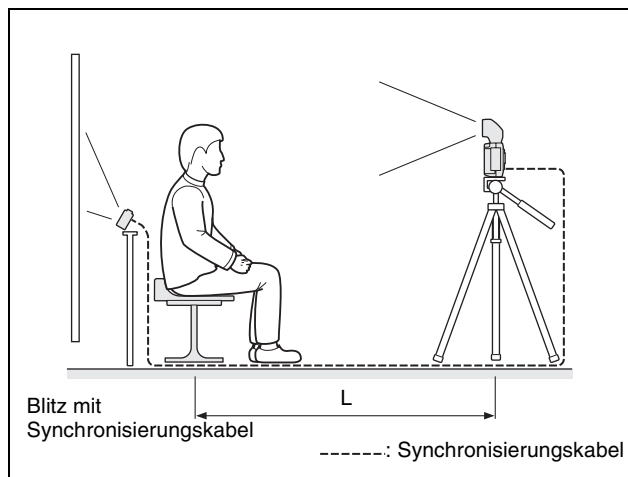
Einzelheiten zu den Aufnahmebedingungen und zur Bedienung der Kamera finden Sie unter „Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).“

Blitzautomatik und Belichtungsautomatik (A $\frac{1}{2}$)

Dies ist der Standardmodus der Kamera, der sich für Porträtaufnahmen im Freien und in geschlossenen Räumen eignet. Wenn das Objekt nicht hell genug ist, wird der Blitz automatisch ausgelöst.

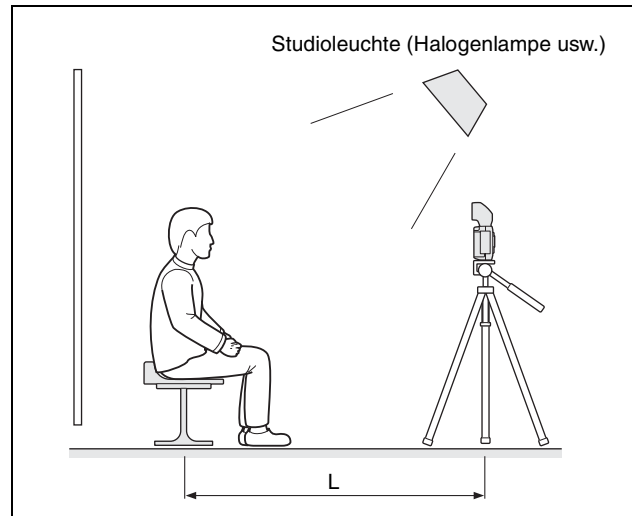
Zwangsblitz und Belichtungsautomatik (⚡)

Der eingebaute Blitz wird immer ausgelöst. Die Kamera misst die Helligkeit des Objekts mit Vorbeleuchtung, und dann wird der Blitz mit der optimalen Helligkeit ausgelöst. Belichtung und Belichtungszeit werden automatisch eingestellt. Dieser Modus eignet sich für Innenporträts und Passfotos, wobei der eingebaute Blitz als Hauptlichtquelle und ein mit einem Synchronisierungskabel an die Kamera angeschlossener Schattenbeseitigungsblitz verwendet werden.



Blitzsperre und Belichtungsautomatik (⚡)

Der eingebaute Blitz wird nicht ausgelöst. Dieser Modus eignet sich für Aufnahmen unter stabilen Lichtquellen, wie z.B. Studioleuchte, Videoleuchte, Leuchtstofflampe usw.

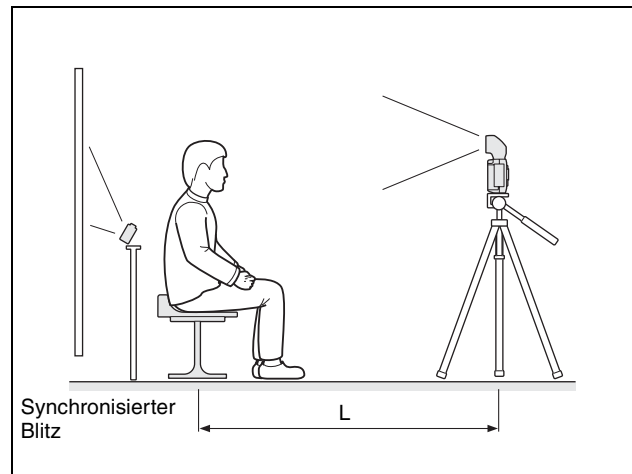


Zwangsblitz und manuelle Belichtung (M $\frac{1}{2}$)

Der eingebaute Blitz wird ausgelöst, um ein Objekt in etwa 1,5 m Entfernung mit optimaler Helligkeit zu beleuchten. Sie können mit den Standardeinstellungen für Blende und Belichtungszeit aufnehmen, oder die Werte erforderlichenfalls manuell einstellen.

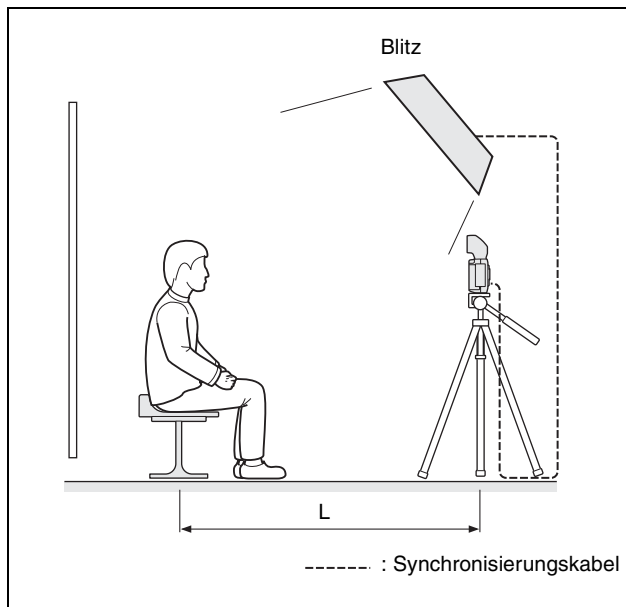
Wenn der Abstand L kleiner als 1,5 m ist, stellen Sie den EV-Wert auf die Minusseite ein, und wenn er größer als 1,5 m ist, stellen Sie den EV-Wert auf die Plusseite ein. Machen Sie eine Probeaufnahme, um die Ergebnisse zu überprüfen.

Dieser Modus eignet sich für Innenporträts und Passfotos, wobei der eingebaute Blitz als Hauptlichtquelle und ein mit einem Synchronisierungskabel an die Kamera angeschlossener Schattenbeseitigungsblitz verwendet werden.



Blitzsperre und manuelle Belichtung (M[Ⓛ])

Dieser Modus verwendet nicht den eingebauten Blitz, sondern einen über ein Synchronisierungskabel angeschlossenen externen Blitz; er eignet sich auch für Aufnahmen unter stabilen Lichtquellen, wie z.B. Studioleuchte, Videoleuchte, Leuchtstofflampe usw.



Mitgeliefertes Zubehör

Auspacken

Vergewissern Sie sich, dass die folgenden Teile im Lieferumfang Ihres Systems enthalten sind.

- Papierkassette für die Serie UPC-X46 (1)
- Papierkassette für die Serie UPC-X34 (1)
- Kassettenabdeckung (1)
- Papierhalter (2)
- Netzkabel (2 oder 3)
- Netzgerät PCS-AC08/1 (1)
- NH-AA-Batterien (4)
- Lithiumknopfzelle CR-2025 (1)
- Ladegerät (1)
- Reinigungskassette (1)
- CD-ROM (1)
- Bedienungsanleitung (Grundfunktionen) (1 oder 2)
- Software License Agreement (1)

Lesen der Anleitung auf der mitgelieferten CD-ROM

Die mitgelieferte CD-ROM enthält Anleitungen (für grundlegende und fortgeschrittene Bedienung), Dienstprogramm-Anleitungen für das System UPX-C200 (in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Spanisch, Italienisch, Portugiesisch, Chinesisch und Koreanisch) sowie die Dienstprogramme. Die Kopien dieser Anleitungen liegen im PDF-Dokumente (Portable Document Format) vor. Diese Anleitung beschreibt die grundlegende Bedienung. Wenn Sie Näheres über die fortgeschrittene Bedienung oder die Verwendung der mitgelieferten Dienstprogramme erfahren wollen, lesen Sie die Anleitungen auf der mitgelieferten CD-ROM durch.

Vorbereitung

Um die auf der mitgelieferten CD-ROM enthaltenen Anleitungen zu lesen, ist Adobe Reader erforderlich. Erforderlichenfalls kann Adobe Reader kostenlos von der Adobe-Website heruntergeladen werden.

VORSICHT

Versuchen Sie nicht, diese CD-ROM mit einem Audio-CD-Player wiederzugeben. Die dabei erzeugten lauten Töne können Gehörschäden oder eine Beschädigung der Audioanlage verursachen.

CD-ROM-Systemvoraussetzungen

Die folgenden Voraussetzungen sind erforderlich, um auf die mitgelieferte CD-ROM zugreifen zu können.

Computer:

- Intel® Pentium®-Prozessor oder PC mit 100 % kompatibelem Prozessor.
- Externes oder internes CD-ROM-Laufwerk

Betriebssystem:

- Microsoft® Windows® 95
- Microsoft® Windows® 98
- Microsoft® Windows® 98 Second Edition
- Microsoft® Windows® Millennium Edition
- Microsoft® Windows® NT 4.0
- Microsoft® Windows® 2000 Professional
- Microsoft® Windows® XP Home Edition
- Microsoft® Windows® XP Professional

Lesen der CD-ROM-Anleitung

Um die Anleitung auf der CD-ROM zu lesen, gehen Sie folgendermaßen vor.

- 1 Legen Sie die CD-ROM in Ihr CD-ROM-Laufwerk ein.
- 2 Öffnen Sie den unten angegebenen Ordner, und wählen Sie die gewünschte Anleitung aus.
 - Basic Instructions
 - Advanced Instructions
 - Utility Instructions

Hinweis

Wenn Sie das Dienstprogramm benutzen wollen, benötigen Sie eines der folgenden Betriebssysteme:
Microsoft® Windows® 98 Second Edition
Microsoft® Windows® Millennium Edition
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional

Einzelheiten entnehmen Sie bitte dem Utility Software Benutzerhandbuch.

Warenzeichen

Intel und Pentium sind eingetragene Warenzeichen der Intel Corporation bzw. ihrer Tochtergesellschaften in den Vereinigten Staaten und in anderen Ländern. Microsoft, Windows und Windows NT sind eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern. Adobe ist ein eingetragenes Warenzeichen von Adobe Systems Incorporated in den Vereinigten Staaten und/oder anderen Ländern.

Vorbereitungen

Vorbereitung der Kamera

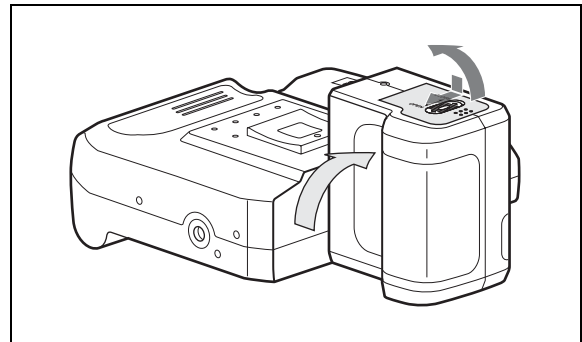
Einlegen der Batterien

Vier NH-AA-Batterien und eine Lithiumknopfzelle CR-2025 sind im Lieferumfang enthalten. Legen Sie diese gemäß der nachstehenden Beschreibung ein.

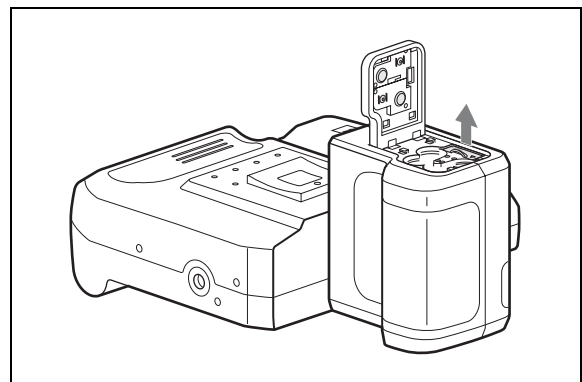
Wenn Sie die Kamera mit den Batterien betreiben, laden Sie die Batterien vor Gebrauch auf.

Einzelheiten über das Laden der Batterien finden Sie unter „Laden der Batterien“ auf Seite 112.

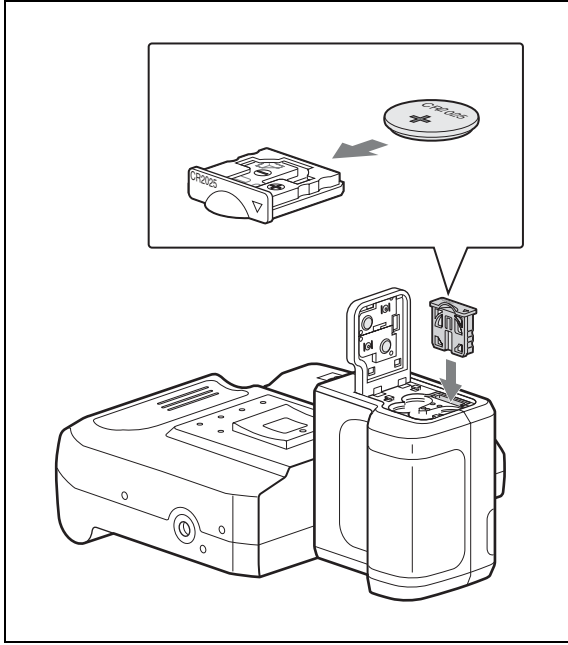
- 1 Öffnen Sie den Batteriefachdeckel an der Unterseite der Kamera, indem Sie den Knopf nach OPEN schieben, während Sie den mittleren Vorsprung des Knopfes gedrückt halten.



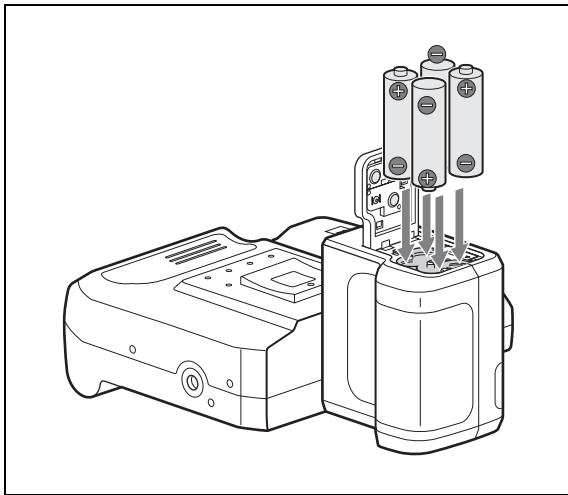
- 2 Ziehen Sie den Knopfzellenhalter heraus.



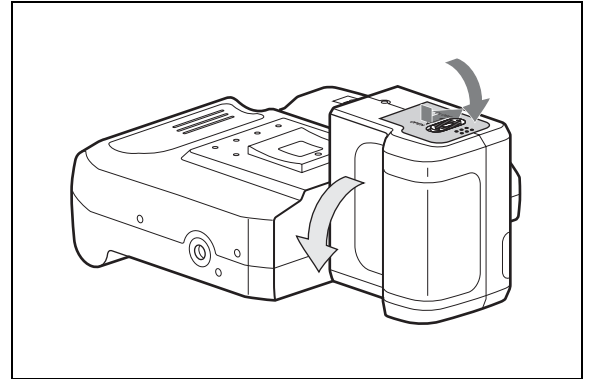
- 3** Setzen Sie die Knopfzelle CR-2025 in den Halter ein, und schieben Sie den Halter ein.



- 4** Legen Sie vier NH-AA-Batterien ein.



- 5** Schließen Sie den Deckel, und verriegeln Sie ihn, indem Sie den Knopf nach CLOSE schieben, während Sie den Deckel andrücken. Achten Sie darauf, dass der Deckel einwandfrei verriegelt ist.



Hinweis zum Auswechseln der Batterien

Die Batterien können beim Auswechseln herunterfallen, wenn der Batteriefachdeckel unten liegt. Um dies zu vermeiden, drehen Sie den Griff, so dass der Deckel oben liegt.

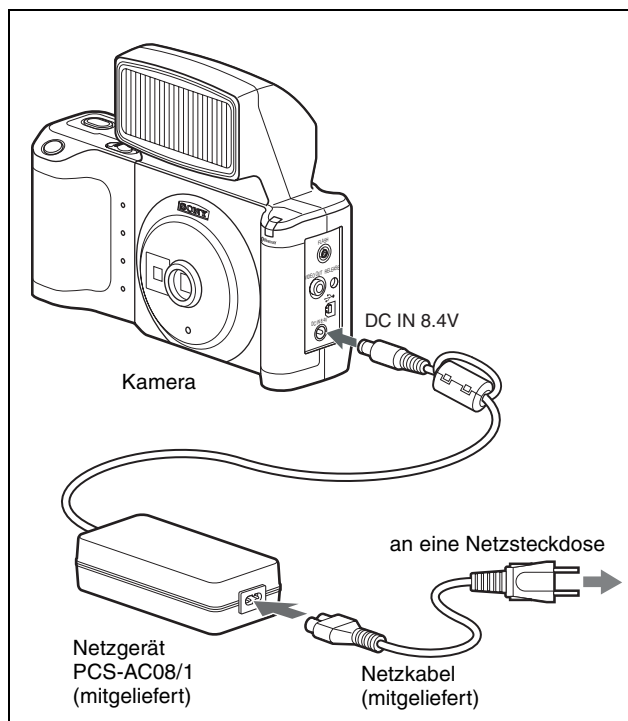
Zweck der Knopfzelle

Die Knopfzelle versorgt die eingebaute Uhr mit Strom. Setzen Sie daher die Knopfzelle unbedingt ein. Die Nutzungsdauer der Lithiumknopfzelle für die interne Uhr beträgt normalerweise etwa zwei bis drei Jahre, was jedoch von den Betriebsbedingungen abhängt. Wenn die Batterie erschöpft ist, wird die Uhrzeitstellung auf 1. Januar 2003 zurückgestellt. Wenn Sie feststellen, dass Uhrzeit und Datum auf diese Werte zurückgestellt sind, ersetzen Sie die Batterie durch eine neue. Sobald die Stromversorgung der Kamera eingeschaltet wird, beginnt die Zählung für Uhrzeit und Datum ab diesem Punkt.

Sie können Uhrzeit und Datum einer Aufnahme im Wiedergabemodus oder auf der Eigenschaften-Anzeige überprüfen.

Anschließen der Kamera an eine Netzsteckdose

Schließen Sie das Gleichstromkabel des Netzgeräts PCS-AC08/1 (mitgeliefert) an die Buchse DC IN 8.4V der Kamera an. Schließen Sie dann das Netzgerät an eine Netzsteckdose an. Nun können Sie die Kamera mit Netzstrom betreiben. Wenn Sie das Netzgerät verwenden, brauchen Sie sich keine Sorgen um die Batterierestspannung zu machen.



Hinweise

- Benutzen Sie das Netzgerät in der Nähe der Netzsteckdose. Sollte während des Betriebs eine Störung auftreten, trennen Sie das Netzgerät unverzüglich von der Netzsteckdose, um die Stromzufuhr zu unterbrechen.
- Die eingelegten NH-AA-Batterien können nicht geladen werden, wenn das Netzgerät an die Kamera angeschlossen ist.
Angaben zum Laden finden Sie unter „Laden der Batterien“ auf Seite 112.

Einstellen der Uhr, des Rahmens und des Stromsparmodus

Sie können Datum und Uhrzeit, Rahmen und Stromsparmodus auf der Setup-Anzeige, die auf dem LCD-Monitor der Kamera erscheint, einstellen.

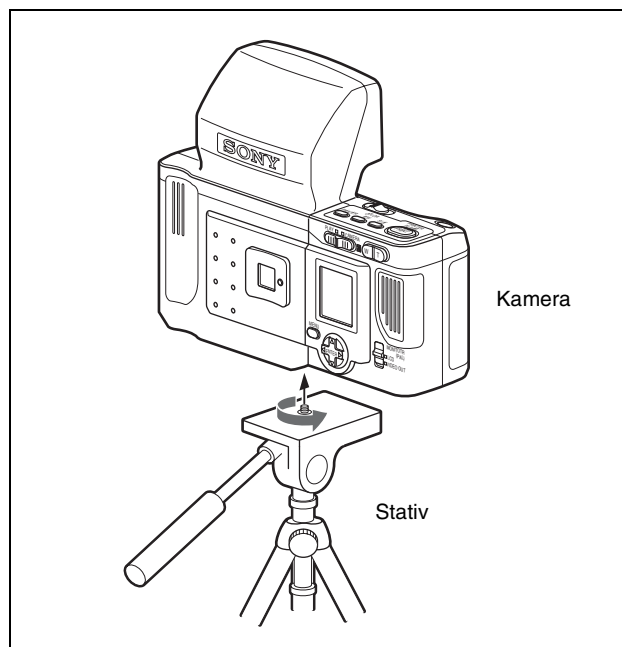
Einzelheiten über die Einstellverfahren finden Sie unter „Verschiedene Funktionen“ auf Seite 112.

Stativmontage

Sie können die Kamera mit Hilfe des Stativgewindes an der Unterseite der Kamera auf ein Stativ montieren.

Hinweis

Drehen Sie die Schraube des Stativs ein, und ziehen Sie sie fest, aber nicht mit übermäßiger Kraft, an. Wird die Schraube unzureichend angezogen, kann die Kamera herunterfallen. Wird sie zu fest angezogen, kann das Schraubengewinde beschädigt werden. Achten Sie auf leichtes Eindrehen der Schraube, und ziehen Sie sie dann einwandfrei an.



Vorbereitung des Druckers

Bevor Sie den Drucker zum ersten Mal in Betrieb nehmen, müssen Sie eine Druckpatrone und die Papierkassette einsetzen, wie nachstehend beschrieben. Diese Vorbereitungen sind für den täglichen Druckbetrieb nicht notwendig, müssen aber bei Bedarf durchgeführt werden.

Vorbereiten eines Printing Packs

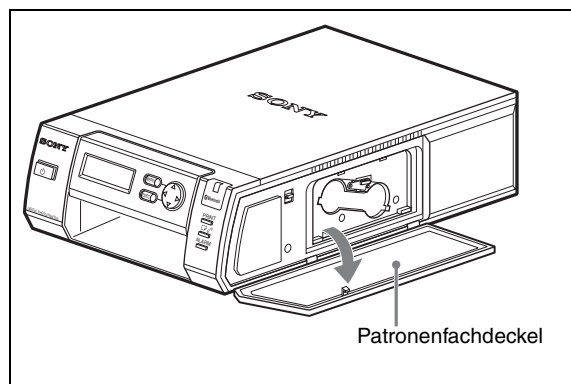
Sie benötigen ein optionales Printing Pack (Serie UPC-X46 oder UPC-X34), das speziell für den Drucker ausgelegt ist. Das Pack enthält einen Satz Druckpapier und eine Druckpatrone.

Hinweise

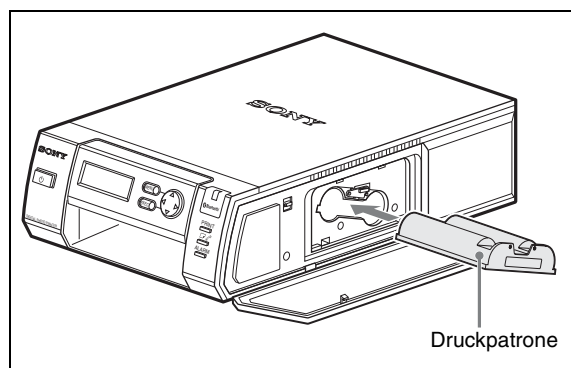
- Unterlassen Sie das Rückspulen des Farbbands und die Wiederverwendung der zurückgespulten Druckpatrone zum Drucken. Anderenfalls werden keine guten Druckergebnisse erzielt, oder es kann sogar zu einem Ausfall kommen.
- Verwenden Sie das Printing Pack nur für diesen Drucker.
- Benutzen Sie stets die für das Format des verwendeten Druckpapiers vorgesehene Druckpatrone. Wenn Sie Patronen und Papier unterschiedlicher Typen oder Formate mischen, ist eventuell kein Druckbetrieb möglich, oder es kann ein Papierstau oder eine andere Störung auftreten.
- Drucken Sie nicht auf gebrauchtes Druckpapier. Durch zweimaliges Ausdrucken eines Bilds auf dasselbe Papier wird der Ausdruck nicht kräftiger. Dies kann sogar eine Funktionsstörung oder einen Ausfall verursachen.
- Berühren Sie nicht das Farbband der Druckpatrone oder die Druckfläche des Druckpapiers. Fingerabdrücke oder Staub auf der Druckfläche oder dem Farbband führen zu einer Verschlechterung der Druckqualität.
- Um eine Verschlechterung der Druckqualität zu vermeiden, bewahren Sie das Printing Pack nicht an Orten auf, die hohen Temperaturen, hoher Luftfeuchtigkeit, starkem Staubbiederschlag oder direktem Sonnenlicht ausgesetzt sind.
- Bewahren Sie ein angebrochenes Printing Pack mit Druckpatrone und Druckpapier in der Originalverpackung oder einem ähnlichen Behälter auf.

Einsetzen der Druckpatrone

- 1 Drücken Sie auf PUSH OPEN, um den Patronenfachdeckel zu öffnen.



- 2 Führen Sie die Druckpatrone einwandfrei in das Patronenfach ein, bis sie mit einem Klicken einrastet.

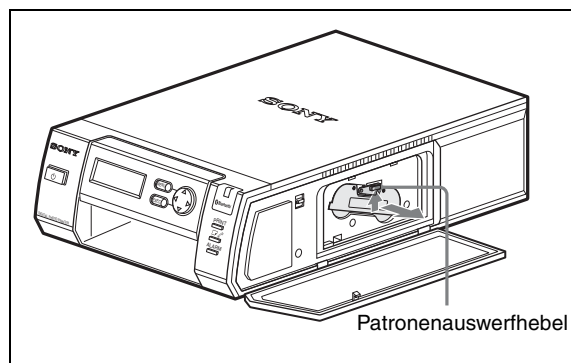


- 3 Schließen Sie den Patronenfachdeckel.

Auswechseln der Druckpatrone

Wenn die Druckpatrone leer wird, leuchtet die Lampe  auf, und eine Fehlermeldung erscheint auf dem Betriebsdisplay. Wechseln Sie dann die Druckpatrone aus.

- 1 Drücken Sie auf PUSH OPEN, um den Patronenfachdeckel zu öffnen.
- 2 Drücken Sie den Patronenauswerfhebel nach oben.

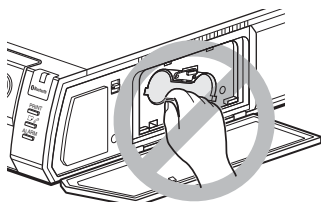


Die Patrone springt heraus. Nehmen Sie die Patrone heraus.

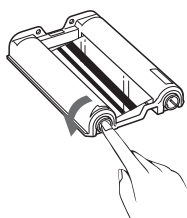
- 3 Setzen Sie eine neue Druckpatrone ein, und schließen Sie den Deckel.

Hinweise

- Fassen Sie niemals mit der Hand in das Patronenfach. Der Druckkopf wird sehr heiß, besonders nach längerem Druckbetrieb.



- Unterlassen Sie das Rückspulen des Farbbands und die Wiederverwendung der zurückgespulten Druckpatrone zum Drucken. Anderenfalls werden keine guten Druckergebnisse erzielt, oder es kann sogar zu einem Ausfall kommen.
- Falls die Druckpatrone nicht einrastet, nehmen Sie sie heraus und setzen Sie sie erneut ein. Falls sich die Patrone wegen eines zu schlaffen Farbbands nicht einsetzen lässt, wickeln Sie das Farbband in Pfeilrichtung auf, um es zu straffen.



- Falls die Druckpatrone beim Einschalten des Druckers nicht geladen wird, leuchtet die Lampe  auf.
- Vermeiden Sie eine Berührung des Farbbands oder die Aufbewahrung der Druckpatrone an einem staubigen Ort. Fingerabdrücke oder Staub auf dem Farbband können mangelhaften Ausdruck verursachen.
- Wechseln Sie die Druckpatrone nicht während des Druckbetriebs aus.

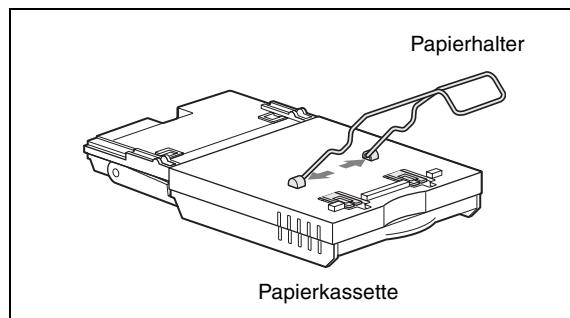
Hinweise zur Lagerung der Druckpatrone

- Vermeiden Sie die Lagerung der Druckpatrone an Orten, die hohen Temperaturen, hoher Luftfeuchtigkeit, starkem Staubbefall oder direktem Sonnenlicht ausgesetzt sind.
- Bewahren Sie eine angebrochene Patrone in ihrer Originaltasche auf.

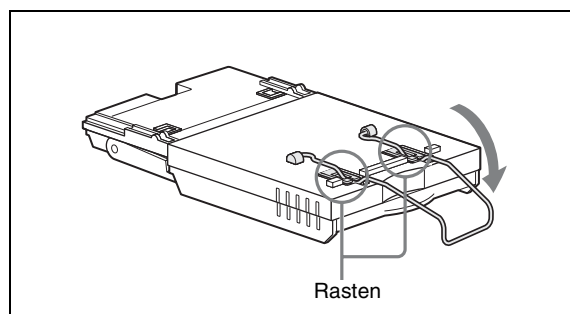
Anbringen des Papierhalters

Bringen Sie den mitgelieferten Papierhalter wie folgt an der Papierkassette an:

- 1 Führen Sie die beiden Enden des Papierhalters in die Löcher an der Unterseite der Papierkassette ein, indem Sie die beiden Schenkel zusammendrücken.

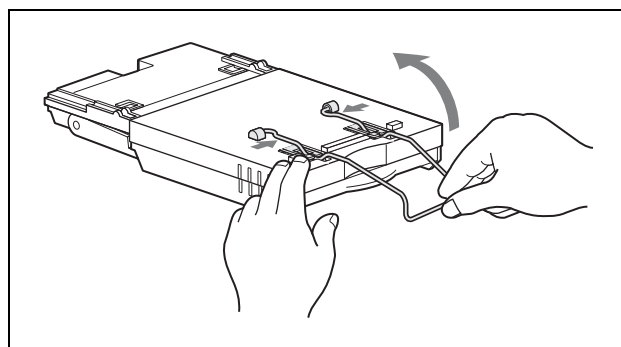


- 2 Drücken Sie den Papierhalter fest in die Rasten hinein, bis er mit einem Klicken einrastet.



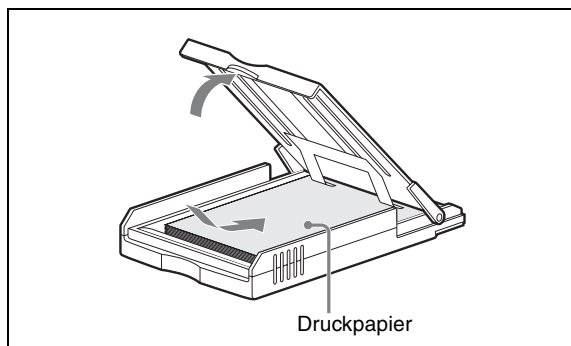
Abnehmen des Papierhalters

Ziehen Sie den Papierhalter vorsichtig aus den Rasten heraus, und nehmen Sie ihn ab, indem Sie seine beiden Schenkel zusammendrücken.



Einlegen des Druckpapiers

- 1 Legen Sie das Druckpapier in die Kassette ein.



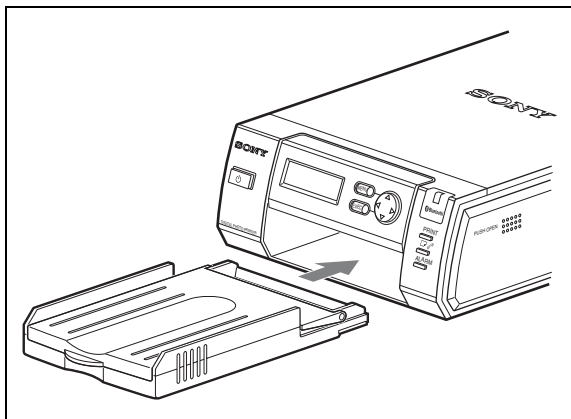
Fächern Sie das Druckpapier auf. Legen Sie dann das Druckpapier so ein, dass die Druckfläche (unbedruckte Seite) oben liegt und der Pfeil in die gleiche Richtung zeigt wie der Pfeil in der Kassette. Die Papierkassette fasst 25 Blatt bei Verwendung der Serie UPC-X46, und 30 Blatt bei Verwendung der Serie UPC-X34.

- 2 Entfernen Sie die Schutzfolie vom Druckpapier.

Hinweis

Bewahren Sie die Schutzfolie, die für die Reinigung der Innenseite des Druckers verwendet wird, auf.

- 3 Schieben Sie die Kassette in den Drucker ein.



Hinweis

Berühren Sie nicht die Druckfläche. Fingerabdrücke auf der Druckfläche können mangelhaften Ausdruck verursachen.

Hinweise

- Legen Sie das Papier der Serie UPC-X46 in die große Papierkassette, und das der Serie UPC-X34 in die kleine Papierkassette ein. Falls Papierformat und Kassettengröße nicht übereinstimmen, kann ein Papierstau auftreten.

- Unterlassen Sie das Herausnehmen oder Einschieben der Papierkassette während des Druckbetriebs.
- Falls das Papier nicht automatisch eingezogen wird, leuchtet die Lampe  auf. Ziehen Sie die Papierkassette heraus, und prüfen Sie, ob ein Papierstau vorliegt.
- Wenn Sie Papier in eine noch nicht ganz leere Kassette nachlegen, achten Sie darauf, dass die Gesamtzahl der Blätter 25 für die Serie UPC-X46 bzw. 30 für die Serie UPC-X34 nicht überschreitet. Legen Sie kein Papier unterschiedlicher Typen oder Formate in die Kassette ein. Anderenfalls kann ein Papierstau oder eine Funktionsstörung auftreten.
- Unterlassen Sie das Beschriften oder Bedrucken der Druckfläche vor dem Drucken. Anderenfalls ist eventuell kein Druckbetrieb möglich. Wenn Sie die Druckfläche nach dem Drucken beschriften oder bemalen wollen, verwenden Sie einen Ölfarbstift.
- Bringen Sie vor dem Drucken keine Aufkleber oder andere Gegenstände an der Druckfläche an.
- Drucken Sie nicht auf gebrauchtes Druckpapier. Durch zweimaliges Ausdrucken eines Bilds auf dasselbe Papier wird der Ausdruck nicht kräftiger. Dies kann sogar eine Funktionsstörung oder einen Ausfall verursachen.
- Unterlassen Sie Falten oder Knicken des Druckpapiers vor dem Drucken.
- Lassen Sie nicht mehr als fünf Blätter des ausgeworfenen Druckpapiers auf der Papierkassette liegen.

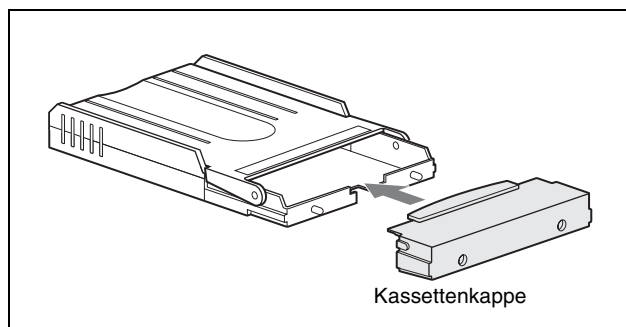
Hinweise zur Lagerung des Druckpapiers

- Vermeiden Sie die Lagerung des Druckpapiers an Orten, die hohen Temperaturen, hoher Luftfeuchtigkeit, starkem Staubbefall oder direktem Sonnenlicht ausgesetzt sind.
- Vermeiden Sie die Lagerung des Papiers bei gegenseitiger Berührung der Druckflächen oder längerem Kontakt mit Gummi- oder Kunststoffprodukten, einschließlich Vinylchlorid oder Weichmachern, weil es sonst zu einer Veränderung der Farben oder einer Verschlechterung des ausgedruckten Bilds kommen kann.
- Bewahren Sie angebrochene Druckpapierpackungen in der Originaltasche auf.

Anbringen der Kassettenkappe

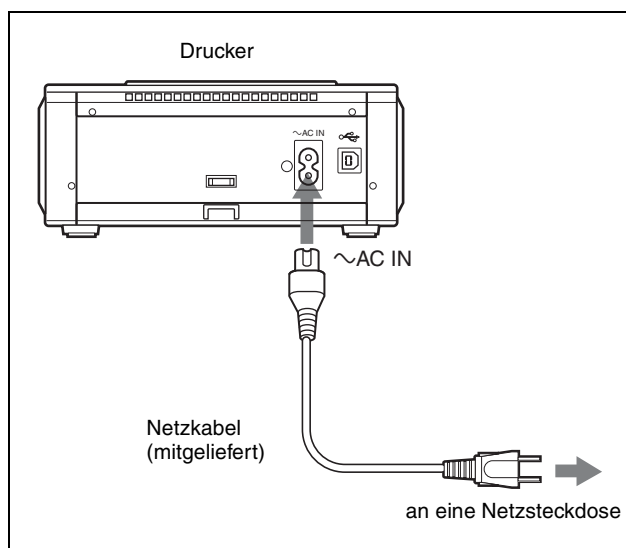
Lassen Sie die mitgelieferte Kassettenkappe an der Papierkassette angebracht, wenn diese nicht benutzt wird, um das in der Kassette befindliche Druckpapier vor Staub zu schützen. Die Kassettenkappe kann an

beiden Papierkassetten sowohl für die Serie UPC-X46 als auch für die Serie UPC-X34 angebracht werden.



Anschließen des Druckers an eine Netzsteckdose

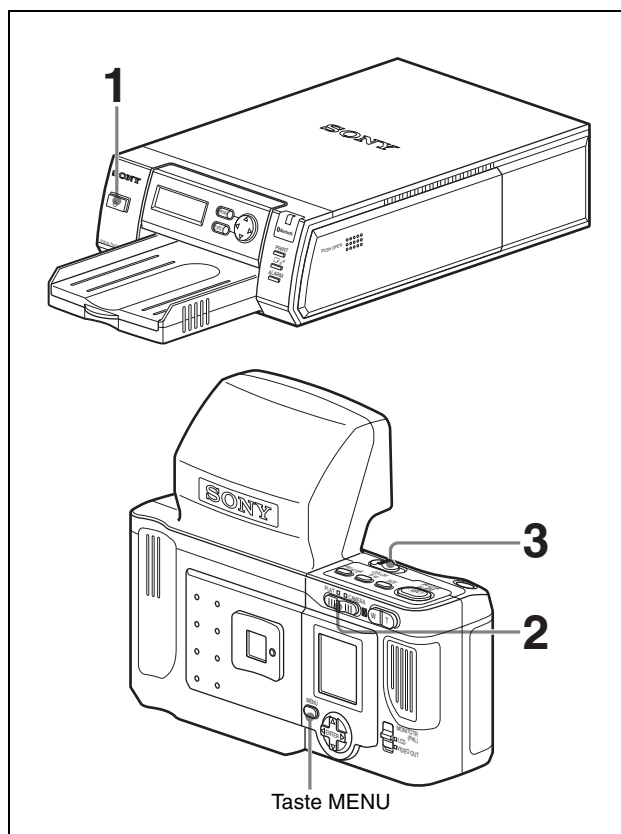
Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an die Buchse AC IN des Druckers und eine Netzsteckdose an.



Betrieb

Dieser Abschnitt beschreibt die grundlegenden Verfahren für das Aufnehmen und Ausdrucken sowie das Anzeigen eines Bilds. Das System besitzt zusätzliche Funktionen, die unter „Verschiedene Funktionen“ auf Seite 112 bzw. in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) auf der mitgelieferten CD-ROM beschrieben sind.

Vorbereitungen



- 1** Schalten Sie den Drucker ein.

Vergewissern Sie sich, dass Ready BT RSSI [- - -] auf dem Betriebsdisplay angezeigt wird.

- 2** Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf CAMERA.

- 3** Stellen Sie den Schalter POWER der Kamera auf ON.

Während die Kamera nach dem Drucker sucht, wird „DISCOVERING“ auf dem LCD-Monitor angezeigt. Wenn die Kamera den Drucker gefunden hat, erscheint „DISCOVERED“, worauf der Druckername und die Bluetooth-Adresse in Schwarz auf dem LCD-Monitor angezeigt werden.

Falls Druckername und Bluetooth-Adresse nicht in Schwarz erscheinen, sondern in Grau angezeigt bleiben, schalten Sie Drucker und Kamera aus, und wiederholen Sie die Schritte **1** bis **3**.

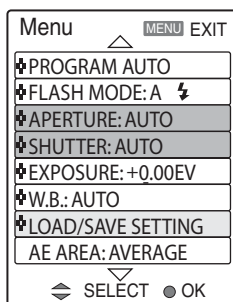
4 Drücken Sie eine beliebige Taste an der Kamera.

Die Bluetooth-Anzeige erlischt, und Sie können mit dem Fotografieren beginnen.

Falls Druckername und Bluetooth-Adresse noch immer in Grau angezeigt werden und „NO PRINTER“ anstelle von „DISCOVERED“ erscheint, ergreifen Sie entsprechende Abhilfemaßnahmen gemäß „Fehlerbehebung“ auf Seite 144. Falls das Problem weiter bestehen bleibt, schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach, oder kontaktieren Sie Ihren Sony-Händler oder Ihre Sony-Kundendienststelle.

Werkseitig eingestellte Aufnahmebedingungen

Die Bedingungen für den Aufnahmebetrieb wurden werkseitig so eingestellt, dass sie automatisch gesteuert werden können. Wenn sie nicht geändert worden sind, können Sie die Werkseinstellungen überprüfen, indem Sie die Taste MENU und dann ▼ der Steuertaste drücken, wie unten gezeigt. Drücken Sie nach der Überprüfung wieder die Taste MENU, um die Menü-Anzeige abzuschalten.

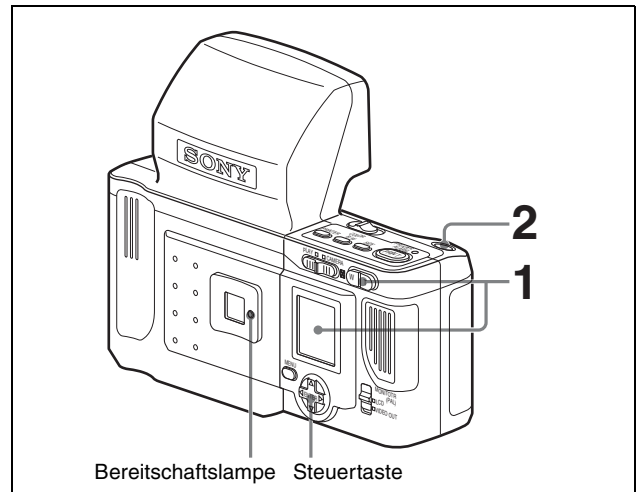


Einstellen der Bildauflösung

Bevor Sie mit dem Fotografieren beginnen, ist es empfehlenswert, eine für das Druckformat passende Bildauflösung einzustellen.

Einzelheiten zur Bildauflösung finden Sie unter „Einstellen der Bildauflösung (RESOLUTION)“ auf Seite 114.

Fotografieren



1 Richten Sie die Kamera auf das Objekt, und stellen Sie den Rahmen mit Hilfe der Anzeige auf dem LCD-Monitor der Kamera ein.

Für eine bequeme Einstellung des Rahmens kann die Zoomfunktion durch Drücken der Zoomwippe verwendet werden.

Einzelheiten unter „Einstellen des Zoombereichs (ZOOM)“ auf Seite 115.

Sie können die Führungslinien für die Einstellung des Rahmens anzeigen.

Einzelheiten zu den Führungslinien finden Sie unter „Einstellen des Rahmens (FRAME)“ auf Seite 119.

2 Drücken Sie den Auslöser halb nieder, bis der grüne Punkt am oberen Rand des LCD-Monitors erscheint, und drücken Sie dann den Auslöser ganz durch.

Die Kamera fotografiert und zeigt das soeben aufgenommene Bild auf dem LCD-Monitor an. Diese Anzeige wird Aufnahmekontrollanzeige genannt. Gleichzeitig wird das Bild gespeichert. Während der Datenübertragung für die Speicherung blinkt die Bereitschaftslampe in Rot. Sobald die Daten gespeichert worden sind und der eingebaute Blitz für die nächste Aufnahme geladen wird, leuchtet die Bereitschaftslampe in Grün.

Sie können das soeben aufgenommene Bild von der Aufnahmekontrollanzeige ausdrucken, ohne den Schalter PLAY/CAMERA zu benutzen.

Einzelheiten unter „Ausdrucken eines Bilds“ auf Seite 96.

Falls bei halb gedrücktem Auslöser ein roter Punkt erscheint, ist das Bild unscharf, oder die Belichtungsautomatik hat versagt. Drücken Sie den Auslöser langsam wieder halb nieder.

Um ein neues Bild aufzunehmen, drücken Sie den Auslöser oder die Zoomwippe, um das Aufnahmekontrollanzeige abzuschalten, und wiederholen Sie dann die Schritte **1** und **2**.

Löschen des soeben aufgenommenen Bilds

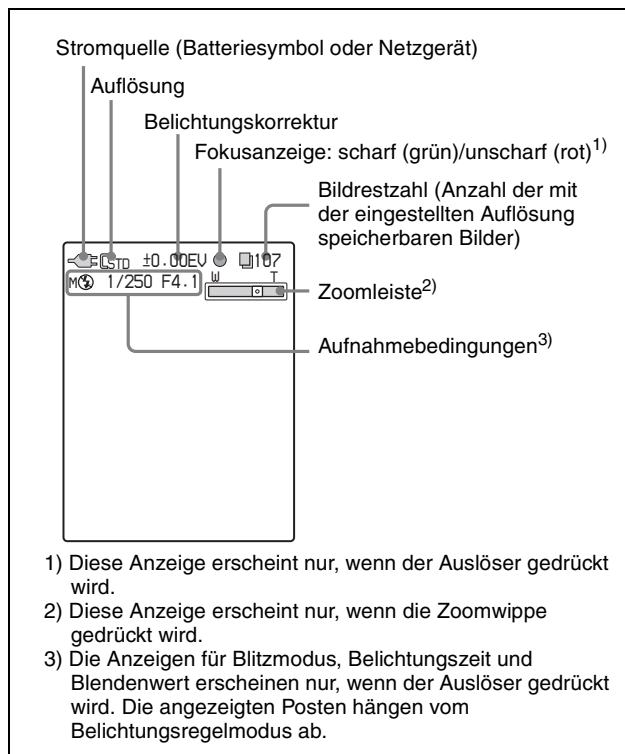
Sie können das soeben aufgenommene Bild (Aufnahmekontrollanzeige) aus dem Speicher löschen. Gehen Sie dazu folgendermaßen vor.

- 1 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
„Delete?“ erscheint.
- 2 Wählen Sie OK, indem Sie ▲ der Steuertaste drücken, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Das Bild auf dem LCD-Monitor wird gelöscht, und die Kamera ist wieder aufnahmebereit.

LCD-Monitor-Anzeigen im Modus CAMERA

Die nachstehende Abbildung zeigt ein Beispiel der Anzeige, wenn der Schalter PLAY/CAMERA auf CAMERA gestellt wird.



Autofokus-Funktion

Wenn Sie den Auslöser halb niederdrücken, wird die Autofokus-Funktion aktiviert, und das Objekt wird automatisch scharf eingestellt. Sobald das Objekt scharf eingestellt ist, erscheint ein grüner Punkt auf dem LCD-Monitor. Wenn Sie den Auslöser ganz durchdrücken, wird der Verschluss ausgelöst, und das Bild wird im Speicher der Kamera gespeichert.

Wenn das Objekt unscharf ist, erscheint ein roter Punkt auf dem LCD-Monitor. Lassen Sie den Auslöser los, und drücken Sie ihn dann langsam wieder halb nieder. Selbst wenn der rote Punkt erscheint, können Sie den Auslöser ganz durchdrücken, um den Verschluss auszulösen. Die Autofokus-Funktion wird auch aktiviert, wenn Sie den Auslöser sofort ganz durchdrücken, so dass Sie fotografieren können.

Wenn Sie SOUND im SETUP-Menü auf SHUTTER oder ON einstellen, wird bei halb gedrücktem oder ganz durchgedrücktem Auslöser ein Verschlussgeräusch erzeugt.

Hinweis

In den folgenden Situationen kann es vorkommen, dass die Autofokus-Funktion nicht richtig arbeitet:

- Das Objekt weist nicht genügend Kontrast auf.
- Das Objekt enthält einen sehr hellen Gegenstand.
- Das Objekt weist keine horizontale Linie auf.
- Der Hintergrund ist ungewöhnlich dunkel.

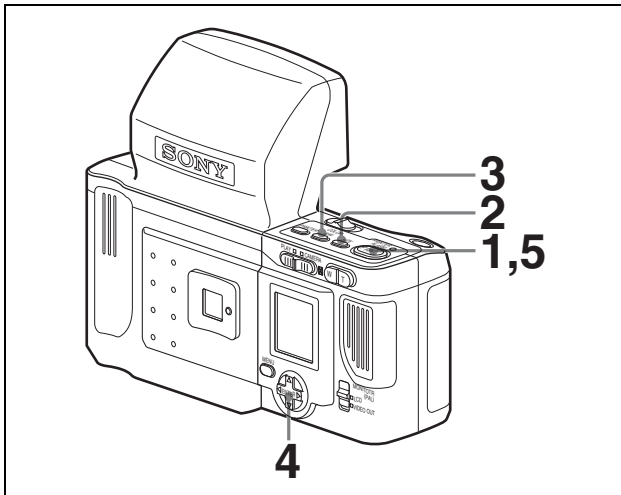
Belichtungskorrektur

Die Belichtungskorrektur lässt sich leicht durchführen, indem ▲ oder ▼ der Steuertaste gedrückt wird. Mit jedem Tastendruck ändert sich der auf dem LCD-Monitor angezeigte Belichtungskorrekturwert.

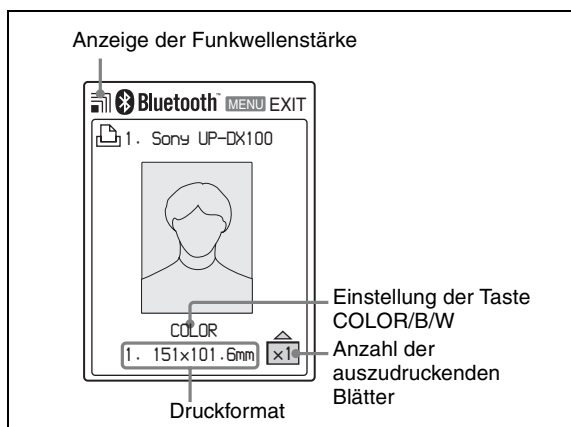
Einzelheiten zur Belichtungskorrektur finden Sie unter „Belichtungskorrektur (EXPOSURE)“ auf Seite 117.

Ausdrucken eines Bilds

Das soeben aufgenommene Bild kann nach dem folgenden Verfahren ausgedruckt werden.



- 1 Drücken Sie die Taste PRINT.
Eine Layout-Ansicht erscheint.



Sie können die Funkwellenstärke überprüfen.

- ■ ■ : Die Funkwellenstärke ist gut.
- ■ : Die Funkwellenstärke ist etwas schwach, und die Datenübertragung kann lange Zeit in Anspruch nehmen.

Bewegen Sie Kamera und Drucker nicht, bis die Datenübertragung beendet ist.

Falls die Layout-Ansicht nicht erscheint, sind die Funkwellen zu schwach, um die Bilddaten zu übertragen. Verringern Sie den Abstand zwischen Kamera und Drucker, und drücken Sie die Taste PRINT erneut.

- 2 Wählen Sie das Druckformat mit der Taste SIZE.

- 1) Drücken Sie die Taste SIZE.
Die Layout-Ansicht des gewählten Formats erscheint.
- 2) Drücken Sie die Taste SIZE so oft, bis das gewünschte Format angezeigt wird.

Einzelheiten über das Druckformat finden Sie unter „Einstellen des Rahmens (FRAME)“ auf Seite 119.

- 3 Wählen Sie COLOR oder B/W durch Drücken der Taste COLOR/B/W.
Die Einstellung wird mit jedem Tastendruck gewechselt.
COLOR: Das Bild wird in Farbe ausgedruckt
B/W: Das Bild wird in Schwarzweiß ausgedruckt
- 4 Drücken Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste, um die Anzahl der zu bedruckenden Blätter einzustellen.
- 5 Drücken Sie die Taste PRINT erneut.

Während die Bilddaten zum Drucker übertragen werden, erscheinen „TRANSMITTING“ und die Statusanzeige auf dem LCD-Monitor.

Die Datenübertragung kann durch Drücken der Taste ENTER abgebrochen werden, solange die Taste CANCEL in Orange leuchtet. Sobald die Datenübertragung beendet ist, wird die Taste CANCEL grau. Der Drucker überprüft das Printing Pack und beginnt dann mit dem Druckvorgang.

Hinweise

- Sobald die Taste CANCEL grau wird, kann der Druckvorgang nicht mehr abgebrochen werden.
- Berühren Sie keine Taste an der Kamera, während die Taste CANCEL grau angezeigt wird.

Sobald der Druckvorgang beginnt, erscheint „TRANSMISSION END. PUSH MENU KEY TO CONTINUE.“ auf dem LCD-Monitor der Kamera. Drücken Sie die Taste MENU oder die Steuertaste, um die Meldung auszublenden.

Wenn der Schalter PLAY/CAMERA auf CAMERA gestellt wird, wird die Aufnahmekontrollanzeige aufgerufen. Nachdem der Druckvorgang beendet ist, können Sie dasselbe Bild erneut ausdrucken. Wenn mehrere Drucker verwendet werden, können Sie die Daten zu einem anderen Drucker senden, bevor der Druckvorgang endet. Während des Druckvorgangs können Sie ein weiteres Bild aufnehmen. Um eine neue Aufnahme zu machen, drücken Sie den Auslöser halb nieder, oder betätigen Sie die Zoomwippe, um die Aufnahmekontrollanzeige aufzuheben.

Wenn Sie den Schalter auf PLAY stellen, wird ein Wiedergabebild aufgerufen.

Wahl des Druckformats und der Farbe (COLOR/B/W)

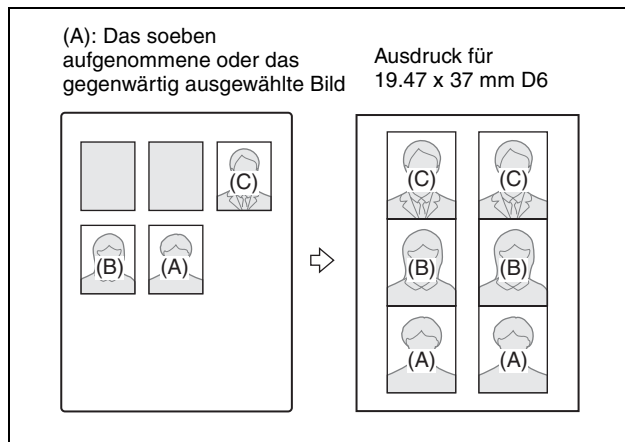
Sie können das Druckformat und die Farbe (COLOR oder B/W) wählen, bevor Sie die Taste PRINT zum Anzeigen der Layout-Ansicht drücken. Drücken Sie die Taste SIZE oder COLOR/B/W einmal, und dann ein zweites Mal, während das Druckformat oder die Farbe (COLOR oder B/W) auf dem LCD-Monitor angezeigt wird. Drücken Sie dann die Taste PRINT, um das Bild auszudrucken.

Ausdrucken mehrerer Bilder auf ein einzelnes Blatt Papier

Sie können zwei oder drei verschiedene Bilder auf einem einzelnen Blatt Papier ausdrucken. Wählen Sie das Druckformat unter 17, 18, 19 und 20 aus. Bei Wahl des Druckformats 17, 18 oder 20 werden zwei Bilder ausgedruckt, während bei Wahl des Druckformats 19 drei Bilder ausgedruckt werden. Bei Verwendung der Serie UPC-X34 kann nur das Druckformat 20 gewählt werden.

Im Modus CAMERA werden das soeben aufgenommene Bild und das vorhergehende (oder zwei vorhergehende Bilder im Druckformat 19) ausgedruckt, während im Modus PLAY das gegenwärtig ausgewählte und das vorhergehende Bild (oder zwei vorhergehende Bilder im Druckformat 19) ausgedruckt werden.

Um Bilder, die nicht in der gewünschten Reihenfolge sind, auf Druckpapier auszudrucken, ändern Sie die Reihenfolge der Bilder gemäß „Verschieben eines Bilds auf der Neun-Bild-Anzeige (MOVE)“ (Seite 127).



Hinweis

Der Ausdruck mehrfacher Bilder kann nicht abgebrochen werden, und die Taste CANCEL wird während der Datenübertragung grau angezeigt. Berühren Sie keine Taste an der Kamera, während die Taste CANCEL grau angezeigt wird.

Einstellen der Druckqualität

Sie können die Druckqualität jeweils für Farb- und Schwarzweißbilder an einem Drucker einstellen und die Einstellwerte speichern. Zum Drucken von Farbbildern wird der Einstellwert für Farbbilder automatisch vom Drucker gewählt, und zum Drucken von Schwarzweißbildern wird der Einstellwert für Schwarzweißbilder gewählt.

Einzelheiten zum Einstellen der Druckqualität finden Sie unter „Einstellen der Druckqualität (COLOR ADJUST)“ auf Seite 128.

Einstellen der Qualität eines Schwarzweißbilds

Wenn Sie B/W mit der Taste COLOR/B/W wählen, wird das Bild durch Überlagerung von Gelb, Magenta und Cyan ausgedruckt, so dass eventuell kein vollkommen achromatisches Bild erzielt wird. Sie können den Schwarztönen mit Hilfe der Farbkorrekturfunktion des Druckers einstellen.

Einzelheiten zur Einstellung finden Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).

Ausdrucken eines in der Kamera gespeicherten Bilds

Wenn Sie fotografieren, werden die Bilddaten im Speicher der Kamera gespeichert. Um ein gespeichertes Bild auszudrucken, zeigen Sie das gewünschte Bild an, wählen Sie es aus, und führen Sie die Bedienungsvorgänge für den Ausdruck durch.

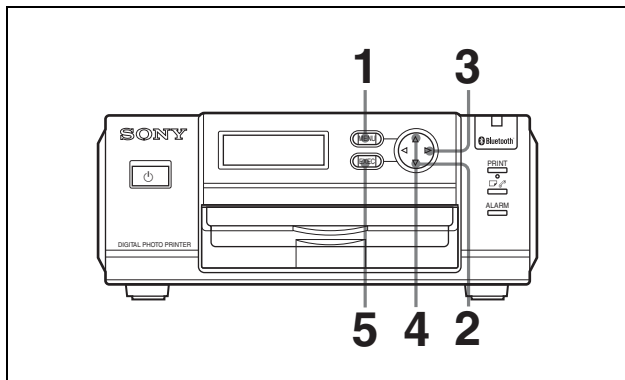
Einzelheiten zum Anzeigen eines gespeicherten Bilds finden Sie unter „Anzeigen eines Bilds“ auf Seite 98.

Wiederausdruck eines im Drucker gespeicherten Bilds (COPY PRINT)

Die Daten des letzten ausgedruckten Bilds werden im Drucker gespeichert. Dieses Bild kann erneut ausgedruckt werden.

Hinweis

Wenn Sie die Taste Ein/Bereitschaft drücken, erlischt die Lampe, und die gespeicherten Daten werden gelöscht, so dass ein Wiederausdruck des Bilds nicht mehr möglich ist.



- 1** Drücken Sie die Taste MENU.
- 2** Drücken Sie ▼ der Steuertaste, so dass „COPY PRINT [>>]“ erscheint.
- 3** Drücken Sie ► der Steuertaste.
„COPY PRINT: 1 [1–9 PRINT: EXEC]“ erscheint.
- 4** Drücken Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste, um die Anzahl der zu bedruckenden Blätter einzustellen.

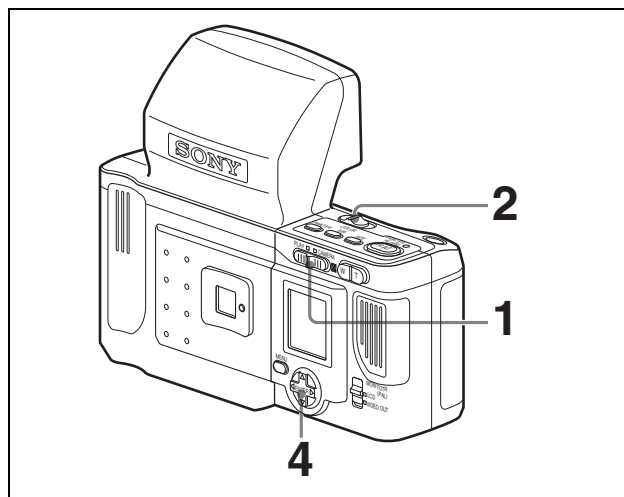
Eine Zahl von 1 bis 9 kann eingestellt werden.
- 5** Drücken Sie die Taste EXEC.

Die Anzahl der in Schritt 4 eingestellten Bilder wird ausgedruckt.

Wenn der Druckvorgang beendet ist, schaltet das Display wieder auf die Ready-Anzeige zurück.

Anzeigen eines Bilds

Sie können in der Kamera gespeicherte Bilder auf dem LCD-Monitor anzeigen.



- 1** Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2** Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.

Ein gespeichertes Bild erscheint auf dem LCD-Monitor.
- 4** Wählen Sie das auf dem LCD-Monitor anzuzeigende Bild durch Drücken von ◀ oder ▶ der Steuertaste aus.

Aufrufen der Neun-Bild-Anzeige

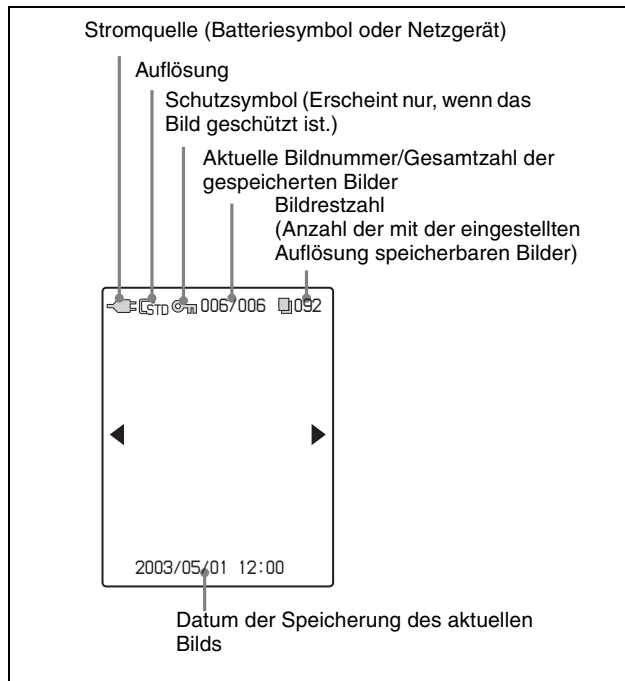
Neun in der Kamera gespeicherte Bilder können gleichzeitig auf dem LCD-Monitor angezeigt werden. Diese Funktion ist praktisch, um ein gesuchtes Bild schnell aufzufinden.

- 1** Drücken Sie die Seite W der Zoomwippe.

Neun in der Kamera gespeicherte Bilder werden auf dem LCD-Monitor angezeigt.
- 2** Wählen Sie ein Bild durch Drücken von ◀, ▶, ▲ oder ▼ der Steuertaste aus.
- 3** Zeigen Sie das gewünschte Bild an, indem Sie ENTER der Steuertaste oder die Seite T der Zoomwippe drücken.

LCD-Monitor-Anzeigen im Modus PLAY

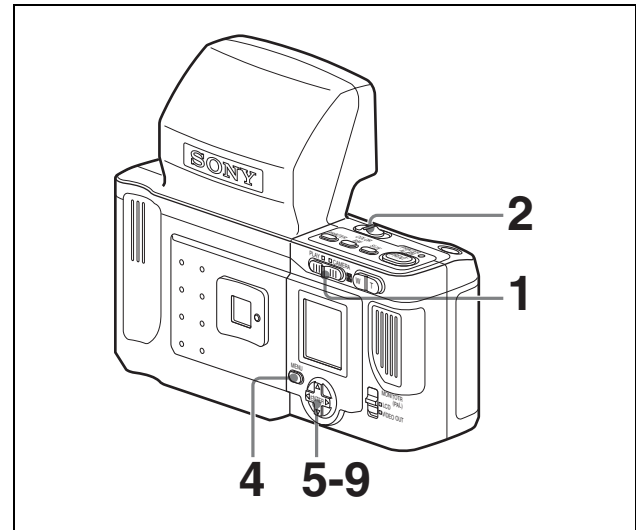
Die nachstehende Abbildung zeigt ein Beispiel der Anzeige, wenn der Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY gestellt wird.



Löschen eines Bilds

In der Kamera gespeicherte Bilder können einzeln oder alle auf einmal gelöscht werden.

Löschen einzelner Bilder



1 Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.

2 Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.

3 Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.

4 Drücken Sie die Taste MENU.

Die Anzeige „Menu“ erscheint.

5 Wählen Sie das zu löschende Bild durch Drücken von ◀ oder ▶ der Steuertaste aus.

6 Wählen Sie DELETE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

7 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Delete“ erscheint.

8 Wählen Sie OK durch Drücken von ▲ der Steuertaste.

9 Drücken Sie ENTER der Steuertaste, um das Bild zu löschen.

Das ausgewählte Bild wird vom Speicher gelöscht.

So löschen Sie weitere Bilder

Wiederholen Sie die Schritte **5**, **8** und **9**.

Löschen aller Bilder

- 1 Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2 Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3 Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4 Drücken Sie die Taste MENU.

Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 5 Wählen Sie DELETE ALL durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 6 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Delete All?“ erscheint.
- 7 Wählen Sie OK durch Drücken von ▲ der Steuertaste.
- 8 Drücken Sie ENTER der Steuertaste, um alle Bilder zu löschen.

Alle Bilder außer den geschützten werden vom Speicher gelöscht.

Löschen eines Bilds auf der Neun-Bild-Anzeige

- 1 Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2 Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3 Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4 Drücken Sie die Seite W der Zoomwippe.

Die Neun-Bild-Anzeige erscheint.
- 5 Drücken Sie die Taste MENU.

Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 6 Wählen Sie DELETE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

Die Neun-Bild-Anzeige erscheint, und der Cursor blinkt am gegenwärtig ausgewählten Bild.

- 7 Wählen Sie das zu löschende Bild durch Drücken von ◀, ▶, ▲ oder ▼ der Steuertaste aus, und drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Delete“ erscheint.

- 8 Wählen Sie OK durch Drücken von ◀ der Steuertaste.
- 9 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Das in Schritt 7 ausgewählte Bild wird gelöscht, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

So brechen Sie das Löschen eines Bilds ab

Wählen Sie RETURN durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste, anstatt OK auf der Anzeige „Delete“ oder „Delete All?“ zu wählen, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

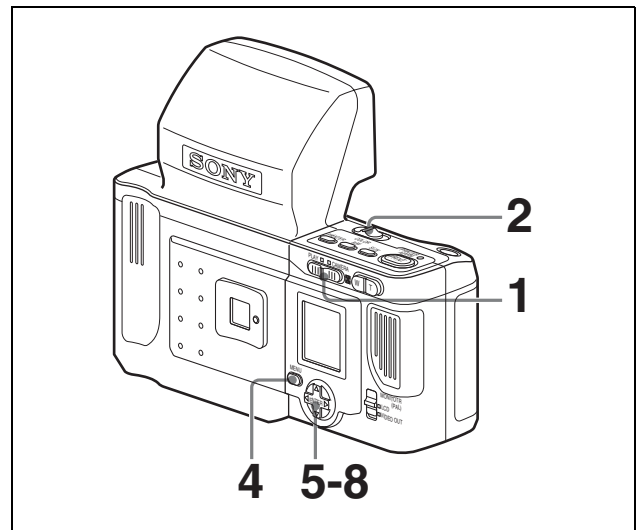
So beenden Sie den Löschvorgang

Drücken Sie die Taste MENU.

Schützen eines Bilds (PROTECT)

Um versehentliches Löschen eines Bilds zu verhüten, ist die Bildschutzfunktion vorhanden. Sie können Bilder einzeln oder alle auf einmal schützen.

Schützen einzelner Bilder



- 1 Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2 Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.

- 3** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4** Drücken Sie die Taste MENU.
Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 5** Wählen Sie PROTECT durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 6** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Protect“ erscheint.
- 7** Wählen Sie das zu löschende Bild durch Drücken von ◀ oder ▶ der Steuertaste aus.
- 8** Vergewissern Sie sich, dass ON gewählt ist, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste. Wählen Sie anderenfalls ON, indem Sie ▲ der Steuertaste drücken, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Das Schutzsymbol  erscheint.
Wenn das ausgewählte Bild geschützt worden ist, erscheint das Schutzsymbol, und die Taste OFF oder RETURN wird auf dem LCD-Monitor angezeigt.

So schützen Sie weitere Bilder

Wiederholen Sie die obigen Schritte **7** und **8**.

Schützen aller Bilder

- 1** Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2** Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4** Drücken Sie die Taste MENU.
Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 5** Wählen Sie PROTECT ALL durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 6** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Protect All“ erscheint.
- 7** Wählen Sie ON durch Drücken von ▲ der Steuertaste.
- 8** Drücken Sie ENTER der Steuertaste, um alle Bilder zu schützen.

Das Schutzsymbol erscheint.

Schützen eines Bilds auf der Neun-Bild-Anzeige

- 1** Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2** Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4** Drücken Sie die Seite W der Zoomwippe.
Die Neun-Bild-Anzeige erscheint.
- 5** Drücken Sie die Taste MENU.
Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 6** Wählen Sie PROTECT durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
Die Neun-Bild-Anzeige erscheint, und der Cursor blinkt am gegenwärtig ausgewählten Bild.
- 7** Wählen Sie das zu schützende Bild durch Drücken von ◀, ▶, ▲ oder ▼ der Steuertaste aus, und drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Protect“ erscheint.
- 8** Vergewissern Sie sich, dass ON gewählt ist, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Wählen Sie anderenfalls ON, indem Sie ◀ der Steuertaste drücken, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Das Schutzsymbol erscheint auf dem in Schritt **7** ausgewählten Bild, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Wiederaufrufen der Menu-Anzeige

Wählen Sie RETURN, indem Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste auf der Anzeige „Protect“ oder „Protect All“ drücken, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

So beenden Sie die Schutzeinstellung

Drücken Sie die Taste MENU.

Löschen eines geschützten Bilds

Um ein oder mehrere geschützte Bilder zu löschen, müssen Sie den Schutz aufheben.

- 1 Rufen Sie die Anzeige „Protect“ auf, und wählen Sie das Bild, dessen Schutz aufgehoben werden soll, durch Drücken von ◀ oder ▶ der Steuertaste aus, oder rufen Sie die Anzeige „Protect All“ auf.

Einzelheiten zum Aufrufen der Anzeige „Protect“ oder „Protect All“ finden Sie unter „Schützen einzelner Bilder“ auf Seite 100, „Schützen aller Bilder“ auf Seite 101 oder „Schützen eines Bilds auf der Neun-Bild-Anzeige“ auf Seite 101.

- 2 Vergewissern Sie sich, dass OFF gewählt ist, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Das Schutzsymbol verschwindet, und der Schutz wird aufgehoben.

Ausschalten der Stromversorgung

Wenn Sie mit der Arbeit fertig sind, schalten Sie den Drucker in den Bereitschaftsmodus und die Kamera aus.

Ausschalten des Druckers auf den Bereitschaftsmodus

Drücken Sie die Einschalt-/Bereitschaftstaste. Die Lampe erlischt, und der Drucker wird in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

Ausschalten der Kamera

Stellen Sie den Schalter POWER auf OFF. Die Kamera speichert die neusten Einstellungsdaten, bevor sie sich vollkommen ausschaltet. Während die Kamera Daten speichert, erscheint die Uhr auf dem LCD-Monitor, und die Bereitschaftslampe leuchtet. Unterlassen Sie das Abtrennen des Netzgeräts oder das Herausnehmen der Batterien während der Datenübertragung zur Speicherung.

Hinweis

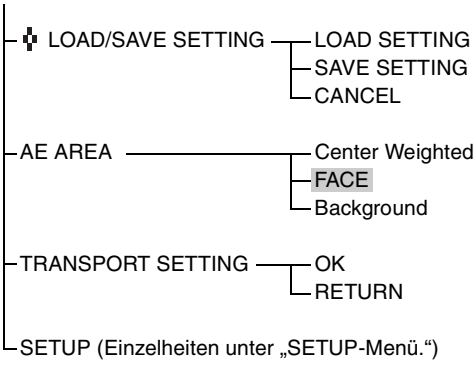
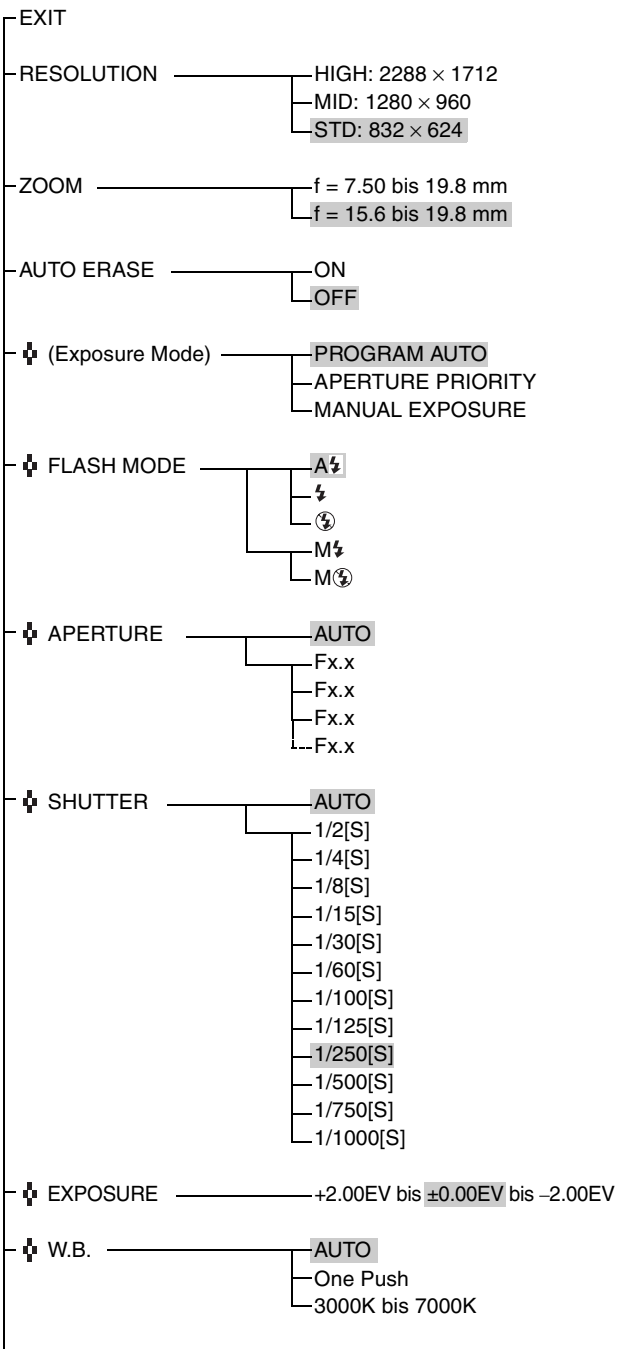
Falls Sie während der Datenübertragung zur Speicherung die Stromversorgung durch Abtrennen des Netzgeräts oder Herausnehmen der Batterien unterbrechen, werden die Einstellungsdaten möglicherweise nicht gespeichert, so dass eventuell die vorherigen Einstellungen aufgerufen werden. Falls Sie die Stromversorgung durch Anschließen oder Abtrennen des Netzgeräts ein- oder ausschalten, werden die neusten Einstellungsdaten nicht gespeichert.

Menü

Menüstruktur

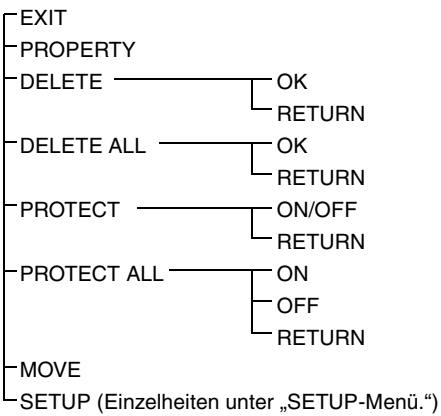
Kamera

Modus CAMERA



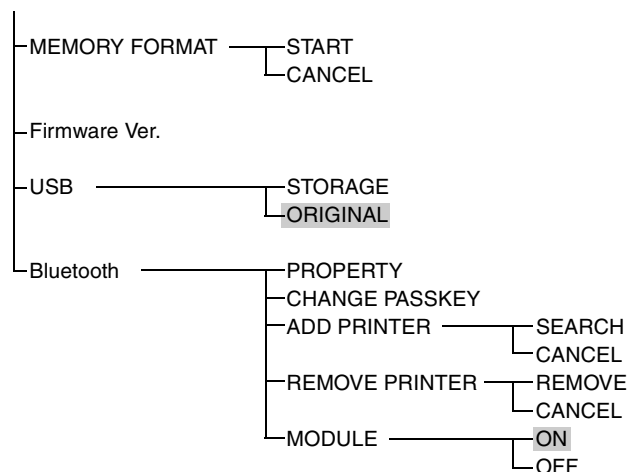
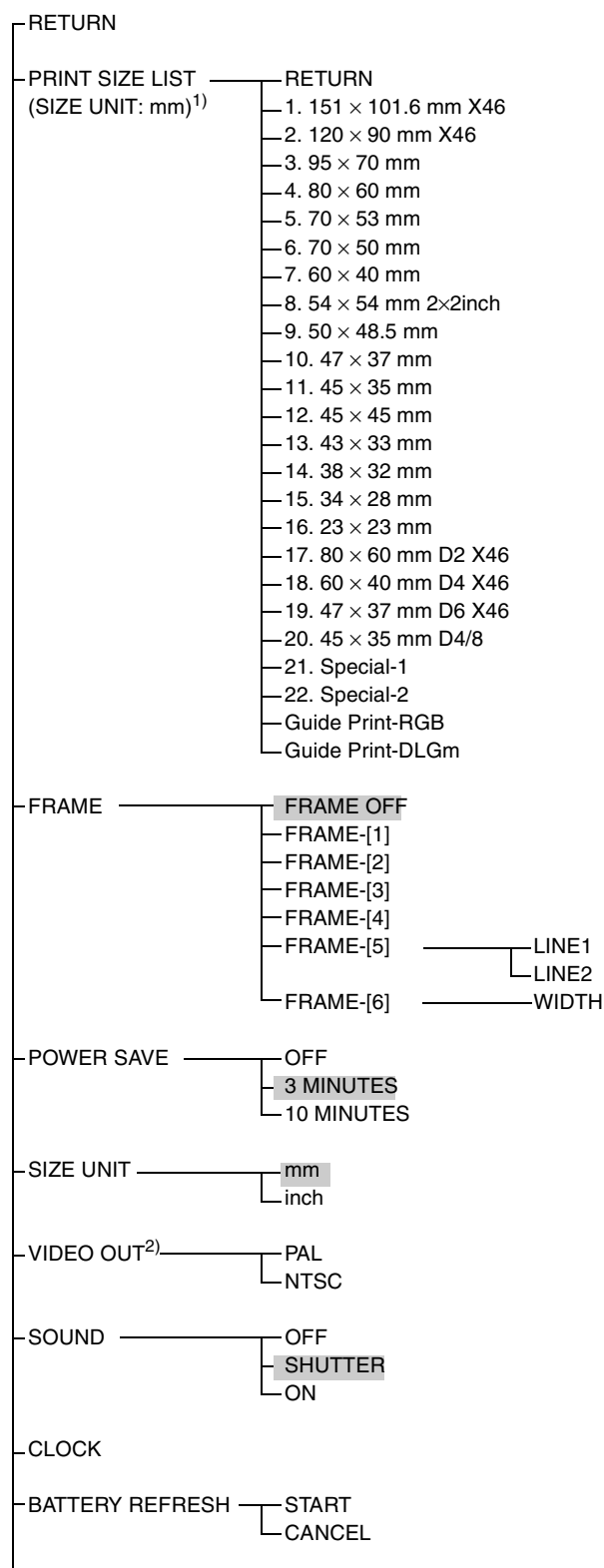
⚡ : Werksvorgabe
⚡ : Durch LOAD/SAVE SETTING gespeicherte Posten

Modus PLAY

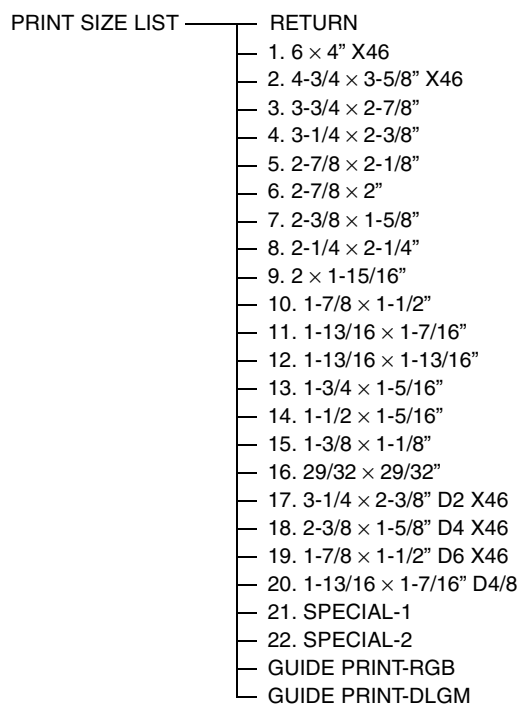


SETUP-Menü

Das SETUP-Menü wird sowohl für den Modus CAMERA als auch den Modus PLAY verwendet.



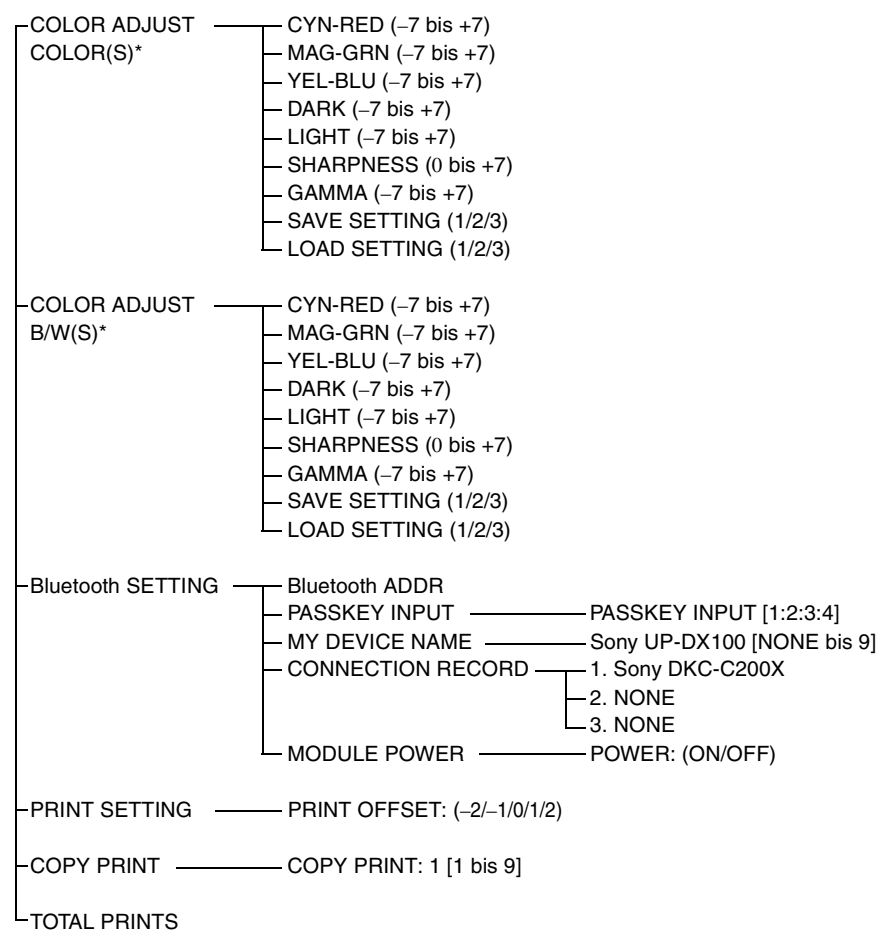
1) Wenn Sie SIZE UNIT auf „inch“ einstellen, wird PRINT SIZE LIST wie folgt angezeigt.



2) Die Werksvorgabe hängt vom Gebiet ab, in dem Sie dieses System gekauft haben.

 : Werksvorgabe

Drucker



* Bei Verwendung des Druckpapiers der Serie UPC-X45 wird (S) angezeigt.

Funktionen der einzelnen Menüposten

Modus CAMERA

Das Symbol  kennzeichnet Posten, deren Einstellungen durch SAVE SETTING gespeichert werden können.

Menüposten	Funktion	Einstellung
EXIT	Zum Verlassen des Menümodus.	—
RESOLUTION	Zur Wahl der Bildauflösung.	Record Resolution HIGH: 2288 × 1712 MID: 1280 × 960 STD: 832 × 624
ZOOM	Zur Wahl des Zoombereichs.	Zoom Range f=7.50 bis 19.8 mm: entspricht einer Brennweite von 36 bis 96 mm bei einer 35-mm Kleinbildkamera f=15.6 bis 19.8 mm: entspricht einer Brennweite von 75 bis 96 mm bei einer 35-mm Kleinbildkamera
AUTO ERASE	Zum Aktivieren des Löschaufomatikmodus.	Auto Erase ON: Wenn der Speicher voll wird, wird das älteste Bild gelöscht, um ein neues Bild speichern zu können. OFF: Wenn der Speicher voll wird, ist keine Aufnahme mehr möglich. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
 (Exposure Mode)	Zur Wahl der Belichtungsregelmethode.	Exposure Mode PROGRAM AUTO: Die Belichtung wird automatisch geregelt. APERTURE PRIORITY: Die Blendeneinstellung hat Vorrang bei der Belichtungsregelung. MANUAL EXPOSURE: Die Belichtung wird manuell geregelt.
 FLASH MODE	Zur Wahl des Blitzmodus.	Flash Mode  : Automatische Belichtung, Blitzautomatik  : Automatische Belichtung, Zwangsblitz  : Automatische Belichtung, Blitzsperre M  : Manuelle Belichtung, Zwangsblitz M  : Manuelle Belichtung, Blitzsperre
 APERTURE	Zur Einstellung der Blende. Dieser Posten ist nur dann verfügbar, wenn der Belichtungsmodus auf APERTURE PRIORITY oder MANUAL EXPOSURE eingestellt wird.	Aperture Setting Die Anzahl der verfügbaren Optionen (drei oder vier) und ihre Werte hängen von der Zoomposition ab.
 SHUTTER	Zur Wahl der Belichtungszeit. Dieser Posten ist nur dann verfügbar, wenn der Belichtungsmodus auf MANUAL EXPOSURE eingestellt wird.	Shutter Speed 1/2[S], 1/4[S], 1/8[S], 1/15[S], 1/30[S], 1/60[S], 1/100[S], 1/125[S], 1/250[S], 1/500[S], 1/750[S], 1/1000[S]
 EXPOSURE	Zum Ändern der Belichtungseinstellung.	EV Compensation +2.00EV, +1.75EV, +1.50EV, +1.25EV, +1.00EV, +0.75EV, +0.50EV, +0.25EV, ±0.00EV, -0.25EV, -0.50EV, -0.75EV, -1.00EV, -1.25EV, -1.50EV, -1.75EV, -2.00EV
 W.B.	Zum Einstellen des Weißabgleichs.	White Balance AUTO: Der Weißabgleich wird automatisch eingestellt. One Push: Der Weißabgleich wird den Beleuchtungsverhältnissen angepasst, wenn One Push gewählt wird. 3000K, 3500K, 4000K, 4500K, 5000K, 5500K, 6000K, 6500K, 7000K: Der Weißabgleich wird auf die gewählte Farbtemperatur eingestellt.

Menüposten	Funktion	Einstellung
⚡ LOAD/SAVE SETTING	Zum Speichern der Aufnahmebedingungen (FLASH MODE, APERTURE, SHUTTER, EXPOSURE und W.B.) für jede Belichtung.	LOAD SETTING: Die gespeicherten Aufnahmebedingungen werden aufgerufen. Diese Option kann nicht bei der ersten Benutzung gewählt werden, weil noch keine Aufnahmebedingungen gespeichert sind. SAVE SETTING: Die Aufnahmebedingungen werden gespeichert. CANCEL: Die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
AE AREA	Zur Wahl des Bereichs für automatische Lichtmessung. Der Posten AE Area ist nur dann verfügbar, wenn der Belichtungsmodus auf PROGRAM AUTO oder APERTURE PRIORITY eingestellt wird.	AE Area Center Weighted: Mittenbetonte Lichtmessung FACE: Gesichtsbereich Background: Obere Hälfte des Hintergrunds (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
TRANSPORT SETTING	Zum Verriegeln des Objektivs in der Transportstellung.	ON: Zum Verriegeln des Objektivs für den Transport. Stellen Sie den Schalter POWER nach dem Verriegeln des Objektivs auf OFF. RETURN: Zum Entriegeln des Objektivs.
SETUP (Siehe „SETUP-Menü.“)		

Modus PLAY

Menüposten	Funktion	Einstellung
EXIT	Zum Verlassen des Menümodus.	—
PROPERTY	Zum Anzeigen der Information auf dem ausgewählten Bild.	—
DELETE	Zum Löschen eines gespeicherten Bilds.	Delete OK/RETURN
DELETE ALL	Zum Löschen aller gespeicherten Bilder außer den geschützten.	Delete All? OK/RETURN
PROTECT	Zum Aktivieren oder Deaktivieren des Schutzes von Bildern.	Protect ON/RETURN, OFF/RETURN
PROTECT ALL	Zum Aktivieren oder Deaktivieren des Schutzes aller gespeicherten Bilder.	Protect All ON/OFF/RETURN
MOVE	Zum Verschieben des Bilds auf der Multi-Bild-Ansicht.	—
SETUP (Siehe „SETUP-Menü.“)		

SETUP-Menü

Das SETUP-Menü wird sowohl für den Modus CAMERA als auch den Modus PLAY verwendet.

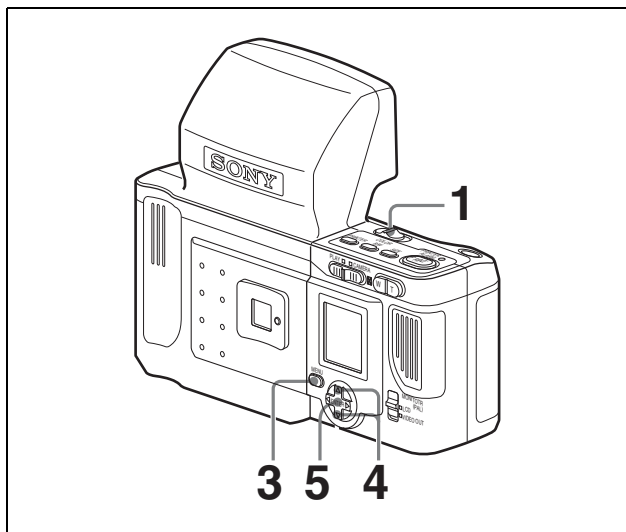
Menüposten	Funktion	Einstellung	
RETURN	Zum Verlassen des SETUP-Modus und Aufrufen der Menu-Anzeige.	—	
PRINT SIZE LIST	Zur Wahl des auf dem LCD-Monitor angezeigten Formats durch Drücken der Taste SIZE. Die Werksvorgabe gestattet die Wahl aller Posten. „Guide Print-RGB“ und „Guide Print-DLGm“ werden immer angezeigt.	Print Size (SIZE UNIT: mm) RETURN 1. 151 × 101.6 mm X46 2. 120 × 90 mm X46 3. 95 × 70 mm 4. 80 × 60 mm 5. 70 × 53 mm 6. 70 × 50 mm 7. 60 × 40 mm 8. 54 × 54 mm 2×2inch 9. 50 × 48.5 mm 10. 47 × 37 mm 11. 45 × 35 mm 12. 45 × 45 mm 13. 43 × 33 mm 14. 38 × 32 mm 15. 34 × 28 mm 16. 23 × 23 mm 17. 80 × 60 mm D2 X46 18. 60 × 40 mm D4 X46 19. 47 × 37 mm D6 X46 20. 45 × 35 mm D4/8 21. Special-1 22. Special-2 Guide Print-RGB Guide Print-DLGm	Print Size (SIZE UNIT: inch) RETURN 1. 6 × 4" X46 2. 4-3/4 × 3-5/8" X46 3. 3-3/4 × 2-7/8" 4. 3-1/4 × 2-3/8" 5. 2-7/8 × 2-1/8" 6. 2-7/8 × 2" 7. 2-3/8 × 1-5/8" 8. 2-1/4 × 2-1/4" 9. 2 × 1-15/16" 10. 1-7/8 × 1-1/2" 11. 1-13/16 × 1-7/16" 12. 1-13/16 × 1-13/16" 13. 1-3/4 × 1-5/16" 14. 1-1/2 × 1-5/16" 15. 1-3/8 × 1-1/8" 16. 29/32 × 29/32" 17. 3-1/4 × 2-3/8" D2 X46 18. 2-3/8 × 1-5/8" D4 X46 19. 1-7/8 × 1-1/2" D6 X46 20. 1-13/16 × 1-7/16" D4/8 21. SPECIAL-1 22. SPECIAL-2 GUIDE PRINT-RGB GUIDE PRINT-DLGm
FRAME	Zur Wahl der Art der auf dem LCD-Monitor angezeigten Führungslinien.	FRAME OFF: Es werden keine Führungslinien angezeigt. FRAME-[1]: Anzeige von Rahmen 1 FRAME-[2]: Anzeige von Rahmen 2 FRAME-[3]: Anzeige von Rahmen 3 FRAME-[4]: Anzeige von Rahmen 4 FRAME-[5] (LINE1/LINE2): Die Positionen der zwei horizontalen Linien sind einstellbar. FRAME-[6] (WIDTH): Die Breite der zwei vertikalen Linien ist einstellbar.	
POWER SAVE	Zum Aktivieren und Deaktivieren des Stromsparmmodus.	Power Save OFF: Kein Stromsparbetrieb 3 MINUTES: Zum automatischen Ausschalten der Kamera nach drei Minuten 10 MINUTES: Zum automatischen Ausschalten der Kamera nach 10 Minuten	
SIZE UNIT	Zur Wahl der Einheit für die Größenanzeige.	Size Unit mm/inch	
VIDEO OUT	Zur Wahl des Formats des über die Buchse VIDEO OUT ausgegebenen Signals.	Video Out PAL: Ein PAL-Signal wird ausgegeben (Der Schalter MONITOR (PAL) ist wirksam.) NTSC: Ein NTSC-Signal wird ausgegeben.	
SOUND	Zum Ein- und Ausschalten des Tons bei Bedienungsvorgängen.	Sound OFF: Es wird kein Ton abgegeben. SHUTTER: Ein Ton wird beim Drücken des Auslösers oder Taste PRINT erzeugt. ON: Ein Ton wird bei allen Bedienungsvorgängen erzeugt (außer Betätigung der Zoomwippe, des Schalters PLAY/CAMERA und des Schalters MONITOR (PAL)).	
CLOCK	Zum Einstellen von Datum und Uhrzeit.	Clock J/M/T, Datum, Uhrzeit OK/RETURN	

Menüposten	Funktion	Einstellung
BATTERY REFRESH	Zum Auffrischen der NH-Batterien.	Battery Refresh START: Die Auffrischung der Batterien beginnt. CANCEL: Die Auffrischung der Batterien wird abgebrochen.
MEMORY FORMAT	Dient zum Formatieren des internen Bilddatenspeichers. Hinweis Bei einer Formatierung des Speichers werden alle Bilddaten, einschließlich geschützter Bilder, gelöscht.	Memory Format (CAUTION! ALL IMAGES WILL BE DELETED.) START: Die Formatierung des Speichers beginnt. CANCEL: Die Formatierung des Speichers wird abgebrochen. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
Firmware Ver.	Zum Anzeigen der Firmware-Version.	(Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
USB	Dient zur Wahl der USB-Klasse.	USB Class STORAGE: Für den Zugriff auf den internen Bilddatenspeicher als Wechseldatenträger in der Speicherklasse Hinweis Die Speicherklasse wird nur aktiviert, wenn das Betriebssystem des angeschlossenen Computers dies unterstützt. ORIGINAL: Für die Steuerung der Kamera mit Hilfe des mitgelieferten Treiber- und Dienstprogramms
Bluetooth	Dient zur Einstellung der Bluetooth-Funktionen.	PROPERTY: Zeigt die Adresse und den Passkey der Kamera sowie die Liste der registrierten Drucker an. CHANGE PASSKEY: Zum Ändern des Passkeys von 0000 bis 9999. ADD PRINTER: Zum Registrieren von bis zu drei optionalen Druckern. REMOVE PRINTER: Zum Entfernen einzelner registrierter Drucker. MODULE: Zum Ein- und Ausschalten der Stromversorgung der Bluetooth-Schaltung. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)

Drucker

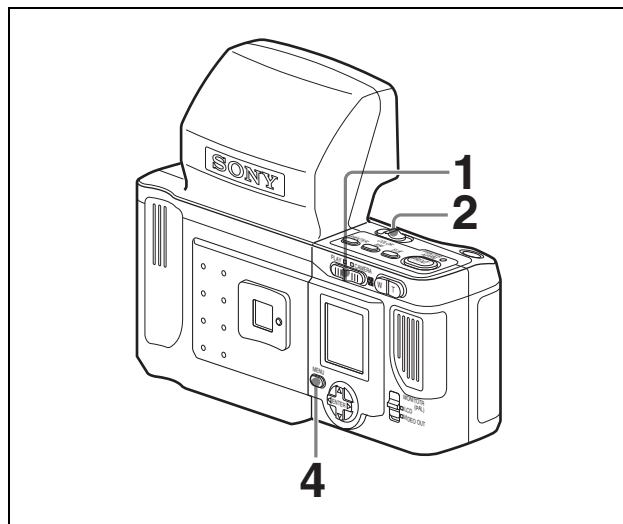
Menüposten	Funktion	Einstellung
COLOR ADJUST COLOR	Dient zum Einstellen der Druckqualität für Farbbilder.	CYN-RED: Cyan und Rot werden eingestellt. MAG-GRN: Magenta und Grün werden eingestellt. YEL-BLU: Gelb und Blau werden eingestellt. DARK: Die Helligkeit einer dunklen Fläche wird eingestellt. LIGHT: Die Helligkeit einer hellen Fläche wird eingestellt. SHARPNESS: Die Konturenschärfe der Objekte in einem Bild wird eingestellt.
COLOR ADJUST B/W	Dient zum Einstellen der Druckqualität für Schwarzweißbilder.	GAMMA: Der Farbton eines Bilds wird eingestellt. SAVE SETTING (1/2/3): Die Einstellwerte werden im eingebauten Speicher gespeichert. LOAD SETTING (1/2/3): Die gespeicherten Einstellwerte werden geladen. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
Bluetooth SETTING	Dient zur Durchführung von Bluetooth-Einstellungen.	Bluetooth ADDR: Die Bluetooth-Adresse wird angezeigt. PASSKEY INPUT: Der Passkey wird eingestellt oder geändert. MY DEVICE NAME: Dem Drucker kann eine Nummer zugewiesen werden. CONNECTION RECORD: Das Anschlussprotokoll wird angezeigt. MODULE POWER: Der Strom der Bluetooth-Schaltungen wird ein- oder ausgeschaltet. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
PRINT SETTING	Die Druckposition auf dem Druckpapier der Serie UPC-X46 wird fein eingestellt.	PRINT OFFSET (-2/-1/0/1/2) Die Druckposition kann um 0,5 mm verschoben werden.
COPY PRINT	Das neuste gespeicherte Bild werden neu ausgedruckt.	[1 – 9] Die Anzahl der zu bedruckenden Blätter wird eingestellt.
TOTAL PRINTS	Die Gesamtzahl der bedruckten Blätter wird angezeigt.	—

Aufrufen der Setup-Anzeige



- 1** Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 2** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 3** Drücken Sie die Taste MENU.
Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 4** Wählen Sie SETUP durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 5** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Setup-Anzeige erscheint.

Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA



- 1** Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf CAMERA.
- 2** Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4** Drücken Sie die Taste MENU.
Die Anzeige „Menu“ erscheint.

Verschiedene Funktionen

Batteriebetrieb der Kamera

Sie können die Kamera mit den eingelegten NH-AA-Batterien betreiben. Um die Kamera mit den Batterien zu betreiben, müssen diese mit dem mitgelieferten Ladegerät aufgeladen werden.

Wenn die Batterien zum ersten Mal oder nach längerer Nichtbenutzung verwendet werden, sind sie möglicherweise nicht voll aufgeladen. Wiederholen Sie in einem solchen Fall den Lade- und Entladevorgang ein paar Mal.

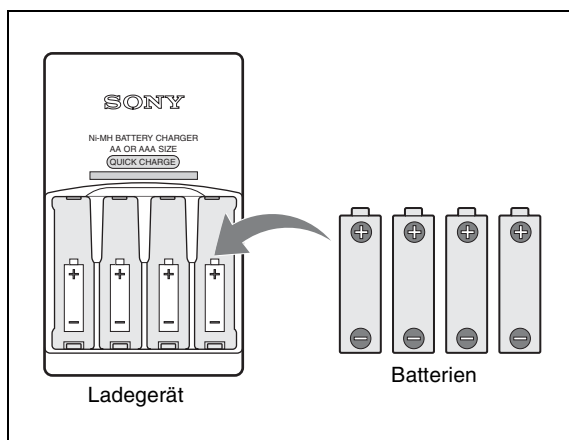
Einzelheiten zum Entladen finden Sie unter „Auffrischen von Batterien“ auf Seite 113.

Hinweise

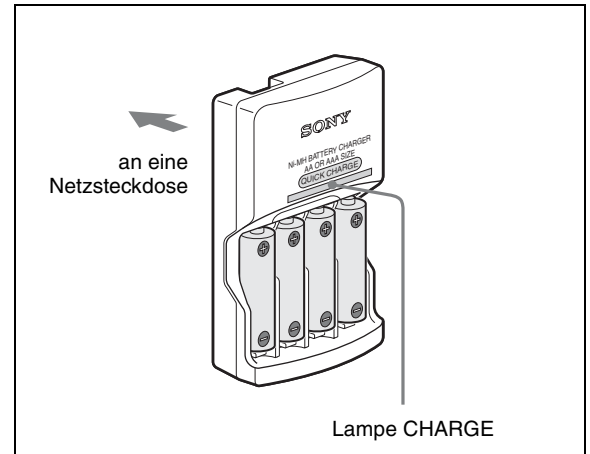
- Die Betriebszeit der Batterien hängt von der Temperatur und den Betriebsbedingungen ab. Um sicheren Aufnahmebetrieb zu gewährleisten, wird empfohlen, voll aufgeladene Batterien oder ein Netzgerät zu benutzen.
- Bei häufiger Benutzung des eingebauten Blitzes sind die Batterien schnell verbraucht. Das Laden des Blitzes mit den Batterien dauert länger als mit dem Netzgerät.
- Drehen Sie den Griff für Batteriebetrieb nicht gewaltsam über den Anschlag hinaus. Es kann sonst zu einer kurzzeitigen Unterbrechung der Stromversorgung durch einen Stoß kommen. In einem solchen Fall unterbricht die Kamera den Betrieb und schaltet sich erneut ein.

Laden der Batterien

- 1 Legen Sie die Batterien mit korrekt ausgerichteter Polarität in das Ladegerät ein.



- 2 Schließen Sie das Ladegerät an eine Netzsteckdose an.



Sobald die Lampe CHARGE aufleuchtet, beginnt der Ladevorgang. Es dauert etwa 180 Minuten, um vier Batterien zu laden.

Wenn die Batterien voll aufgeladen sind, erlischt die Lampe CHARGE.

- 3 Trennen Sie das Ladegerät von der Netzsteckdose, und nehmen Sie die Batterien heraus.

Hinweise

- Laden Sie keine anderen Batterien außer den NH-Batterien. Anderenfalls können die Batterien beschädigt werden.
- Legen Sie die Batterien einwandfrei ein.
- Wenn Batterien geladen werden, die lange Zeit unbenutzt waren, kann der Ladevorgang vorzeitig abgebrochen werden. Trennen Sie in einem solchen Fall das Ladegerät von der Netzsteckdose, und schließen Sie es wieder an, um den Ladevorgang fortzusetzen. Die Batterien können dann voll aufgeladen werden.
- Laden Sie verbrauchte Batterien.
- Laden Sie die Batterien an einem Ort mit einer Umgebungstemperatur zwischen 10 °C und 30 °C.
- Schließen Sie das Ladegerät einwandfrei an.
- Unterlassen Sie das Einlegen oder Herausnehmen von Batterien, während das Ladegerät an die Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Ladegerät und Batterien können während des Ladevorgangs heiß werden, was jedoch keine Funktionsstörung darstellt.
- Die Batterien sind unmittelbar nach dem Laden sehr heiß. Berühren Sie sie daher nur mit Vorsicht.
- Während des Ladevorgangs kann der Empfang eines Fernsehgeräts, Radios oder Tuners gestört sein. Verwenden Sie in einem solchen Fall eine Netzsteckdose, die weiter von dem Fernsehgerät, Radio oder Tuner entfernt ist.

Auffrischen von Batterien

Die in die Kamera eingesetzten Batterien können nach dem folgenden Verfahren aufgefrischt werden.

1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.

2 Wählen Sie BATTERY REFRESH durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Battery Refresh“ erscheint.

4 Wählen Sie START durch Drücken von ▲ der Steuertaste.

5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Der Auffrischvorgang der Batterien beginnt.

So beenden Sie das Auffrischen der Batterien

Wählen Sie CANCEL anstelle von START in Schritt 4, und drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Sie können die Auffrischung durch Drücken der Taste MENU unterbrechen, nachdem Sie den Vorgang durch Drücken von ENTER der Steuertaste in Schritt 5 gestartet haben.

Batterie-Auffrischfunktion

Die Batterie-Auffrischfunktion kann das Auftreten des Speichereffekts¹⁾ verhüten, indem sie noch nicht völlig leere Batterien entlädt. Dadurch kann eine Verkürzung der Nutzungsdauer von Batterien korrigiert werden. Eine Auffrischung ist zu empfehlen, wenn sich die Nutzungsdauer von Batterien verkürzt.

1) Speichereffekt: Wenn eine wiederaufladbare Batterie wiederholt entladen und geladen wird, ohne völlig entladen zu sein, verringert sich ihre Spannung vorübergehend, so dass sich die Nutzungsdauer bei manchen Geräten verkürzt. Dies ist eine vorübergehende Erscheinung, und durch völliges Entladen einer Batterie kann ihre volle Nutzungsdauer wiederhergestellt werden. Welche Auswirkungen der Speichereffekt tatsächlich auf den Betrieb hat, ist je nach dem verwendeten Gerät unterschiedlich.

Hinweis

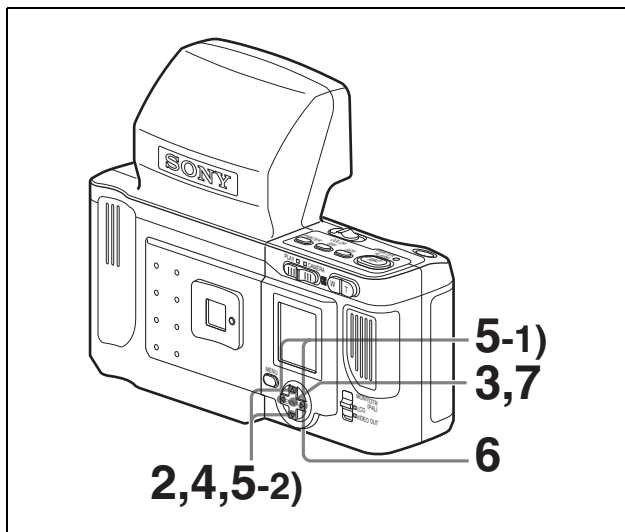
Versuchen Sie auf keinen Fall, andere Batterien als die NH-AA-Batterien oder entsprechende Batterien aufzufrischen. Anderenfalls kann es zu Auslaufen, Platzen oder starker Erwärmung kommen, was einen unerwarteten Unfall zur Folge haben kann.

Batteriespannungsanzeige

Die Batteriespannung wird auf dem LCD-Monitor der Kamera angezeigt. Die Restspannung wird in vier Stufen angezeigt. Überprüfen Sie die Anzeige, und laden Sie die Batterien erforderlichenfalls.

Anzeige	Bedeutung
	Die Restspannung beträgt mehr als 1/3.
	Die Restspannung liegt zwischen 1/3 und 1/10. Halten Sie Reservebatterien oder das Netzgerät bereit.
	Die Restspannung beträgt weniger als 1/10. Ersetzen Sie die Batterien durch aufgeladene, oder verwenden Sie das Netzgerät.
	Die Batterien sind leer. Die Kamera funktioniert nicht. Ersetzen Sie die Batterien durch aufgeladene, oder verwenden Sie das Netzgerät. Wenn Sie den Auslöser drücken, blinkt die Anzeige, um darauf aufmerksam zu machen, dass der Aufnahmebetrieb gesperrt ist.

Einstellen der Uhr (CLOCK)



- 1** Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2** Wählen Sie CLOCK, indem Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Clock“ erscheint.
- 4** Wählen Sie das Anzeigeformat des Datums (Y/M/D, M/D/Y oder D/M/Y), indem Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste drücken.
- 5** Stellen Sie Datum und Uhrzeit ein.
 - 1)** Wählen Sie den einzustellenden Posten durch Drücken von ◀ oder ▶ der Steuertaste aus.
 - 2)** Stellen Sie den Wert ein, indem Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste drücken.
- 6** Wenn alle Einstellungen beendet sind, wählen Sie OK durch Drücken von ▶ der Steuertaste.
- 7** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Datum und Uhrzeit werden registriert, und die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

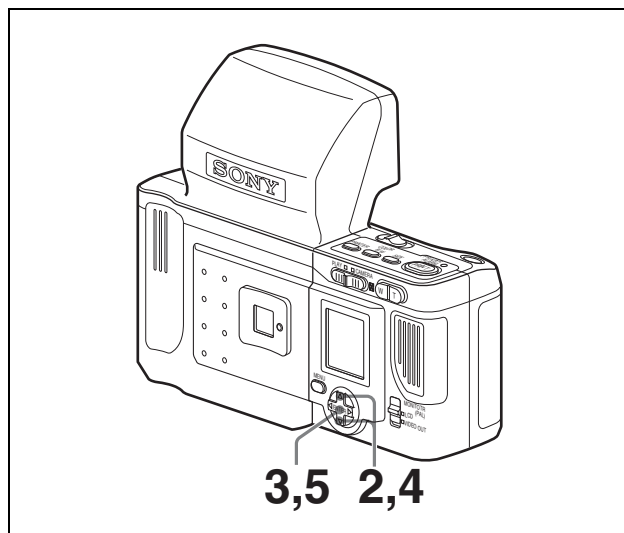
So unterbrechen Sie die Einstellung von Datum und Uhrzeit

Wählen Sie CANCEL in Schritt **6**, und drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Einstellen der Bildauflösung (RESOLUTION)

Stellen Sie die entsprechende Bildauflösung für das auszudruckende Format ein.

Eine Tabelle der entsprechenden Auflösung für jedes Druckformat finden Sie unter „Empfohlene Bildauflösungen“ auf Seite 115.



- 1** Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.
- 2** Wählen Sie RESOLUTION durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Record Resolution“ erscheint.
- 4** Wählen Sie die Auflösung durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

HIGH: 2288 × 1712 (Anzahl der speicherbaren Bilder: 20 oder mehr)

MID: 1280 × 960 (Anzahl der speicherbaren Bilder: 80 oder mehr)

STD: 832 × 624 (Anzahl der speicherbaren Bilder: 200 oder mehr)

Die Anzahl der speicherbaren Bilder hängt von den tatsächlich gespeicherten Bildern ab. Nehmen Sie den in der oberen rechten Ecke des LCD-Monitors angezeigten Wert als Anhaltspunkt.
- 5** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Empfohlene Bildauflösungen

Druckformat			Empfohlene Auflösung		
Format-Nr.	Höhe mm	Breite mm	HIGH	MID	STD
1	151	101,6	⊙	△	×
2	120	90	⊙	△	×
3	95	70	⊙	△	×
4, 17 (D2)	80	60	○	⊙	△
5	70	53	○	⊙	△
6	70	50	○	⊙	△
7, 18 (D4)	60	40	○	⊙	△
8	54	54	○	⊙	△
9	50	48,5	○	⊙	△
10, 19 (D6)	47	37	○	○	⊙
11, 20 (D4/8)	45	35	○	○	⊙
12	45	45	○	⊙	△
13	43	33	○	○	⊙
14	38	32	○	○	⊙
15	34	28	○	○	⊙
16	23	23	○	○	⊙

⊙: Optimale Kombination von Auflösung und Druckformat. Verwenden Sie diese Auflösung, wenn das Druckformat bekannt ist.

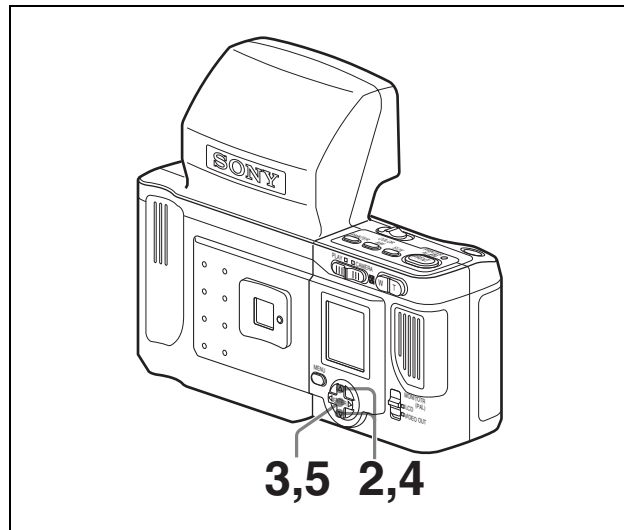
○: Die Auflösung ist zu hoch für das Druckformat. Es wird empfohlen, die mit ⊙ markierten Auflösungen zu verwenden, um die größtmögliche Anzahl von Bildern zu speichern.

△: Die Auflösung ist etwas niedriger für das Druckformat, aber die Druckqualität kann auf ein akzeptables Niveau eingestellt werden.

×: Die Auflösung ist zu niedrig für das Druckformat. Diese Kombination wird nicht empfohlen.

Einstellen des Zoombereichs (ZOOM)

Die werkseitige Einstellung des Zoombereichs ist 1.3× (f = 15,6 bis 19,8 mm). Dieser Bereich kann nach dem folgenden Verfahren auf 2.6× (f = 7,50 bis 19,8 mm) geändert werden.



1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

2 Wählen Sie ZOOM durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Zoom Range“ erscheint.

4 Wählen Sie f = 7,50 bis 19,8 mm durch Drücken von ▲ der Steuertaste.

5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Hinweis

Wenn der eingebaute Blitz als Hauptlichtquelle verwendet wird, ist die Verwendung des werkseitig vorgegebenen Zoombereichs (f = 15.6 - 19.8) zu empfehlen. Wenn Sie einen Zoombereich von f = 7.50 - 19.8 verwenden, verstellen Sie den Zoom innerhalb der blauen Zone der auf dem LCD-Monitor angezeigten Zoomleiste. Wenn Sie ein Objekt in der orangefarbenen Zone aufnehmen, reicht möglicherweise die Beleuchtung des Objekts nicht aus.

Einstellen der Aufnahmebedingungen

Die Aufnahmebedingungen wurden werksseitig so eingestellt, dass automatisch fotografiert werden kann. Erforderlichenfalls können die Bedingungen manuell eingestellt werden.

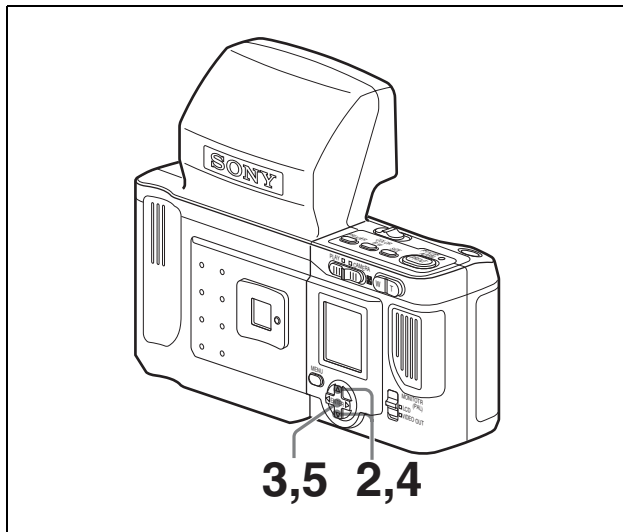
Die Aufnahmebedingungen, die manuell eingestellt werden können, hängen vom Belichtungsregelmodus ab. Die folgende Tabelle zeigt die verfügbaren Aufnahmebedingungen für den jeweiligen Belichtungsregelmodus.

Belichtungsregelmodus	Blitzmodus (FLASH MODE)	Vorbeleuchtung/Vorlichtmessung	Belichtungszeit (SHUTTER)	Blende (APERTURE)	Weißabgleich (W.B.)	Belichtungs-korrektur (EXPOSURE)
PROGRAM AUTO	A	Vorbeleuchtung/Vorlichtmessung	1/30 bis 1/1000	AUTO	AUTO/- - - / 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
		Vorbeleuchtung	1/250	AUTO	AUTO/One Push/ 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
		Vorlichtmessung	1/2 bis 1/1000	AUTO	AUTO/One Push/ 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
APERTURE PRIORITY	A	Vorbeleuchtung/Vorlichtmessung	1/30 bis 1/1000	Manuell	AUTO/- - - / 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
		Vorbeleuchtung	1/250	Manuell	AUTO/One Push/ 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
		Vorlichtmessung	1/2 bis 1/1000	Manuell	AUTO/One Push/ 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
MANUAL EXPOSURE	M	Nein	1/2 bis 1/1000	Manuell	AUTO/One Push/ 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV
	M	Nein	1/2 bis 1/1000	Manuell	AUTO/One Push/ 3000K bis 7000K	+2.00 EV bis -2.00 EV

: Automatische Einstellung

Wählen des Belichtungsregelmodus (Exposure Mode)

Drei Belichtungsregelmodi sind verfügbar: PROGRAM AUTO, APERTURE PRIORITY und MANUAL EXPOSURE.



1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

2 Wählen Sie PROGRAM AUTO, APERTURE PRIORITY oder MANUAL EXPOSURE durch Drücken von oder der Steuertaste.

3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Exposure Mode“ erscheint.

4 Wählen Sie PROGRAM AUTO, APERTURE PRIORITY oder MANUAL EXPOSURE durch Drücken von oder der Steuertaste.
PROGRAM AUTO: Blende und Belichtungszeit werden automatisch eingestellt.
APERTURE PRIORITY: Die Blende wird manuell eingestellt, während die Belichtungszeit automatisch eingestellt wird.
MANUAL EXPOSURE: Blende und Belichtungszeit werden manuell eingestellt.

5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Einstellen des Blitzmodus (FLASH MODE)

Wenn Sie den Belichtungsmodus auf PROGRAM AUTO oder APERTURE PRIORITY einstellen, wird die Belichtung automatisch eingestellt, und drei Blitzmodi sind verfügbar. Wenn Sie die Belichtungsregelung auf MANUAL EXPOSURE einstellen, wird die Belichtung manuell eingestellt, und zwei Blitzmodi sind verfügbar.

- 1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie FLASH MODE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Flash Mode“ erscheint.

- 4 Wählen Sie den Blitzmodus durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

Für automatische Belichtungsregelung

A⚡: Blitzautomatik

⚡: Zwangsblitz

Ⓢ: Blitzsperre

Für manuelle Belichtungsregelung

M⚡: Zwangsblitz

MⓈ: Blitzsperre

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Der gewählte Blitzmodus wird aktiviert, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Durchführen der Blendeneinstellung (APERTURE)

Wenn Sie den Belichtungsmodus auf APERTURE PRIORITY oder MANUAL EXPOSURE einstellen, kann die Blende manuell eingestellt werden. Die Blendenwerte hängen von der Zoomposition ab.

- 1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie APERTURE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Aperture Setting“ erscheint.

- 4 Wählen Sie einen geeigneten Blendenwert durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Der gewählte Blendenwert wird aktiviert, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Wählen der Belichtungszeit (SHUTTER)

Wenn Sie den Belichtungsmodus auf MANUAL EXPOSURE einstellen, kann die Belichtungszeit gewählt werden.

- 1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie SHUTTER durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Shutter Speed“ erscheint.

- 4 Wählen Sie eine geeignete Belichtungszeit durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die gewählte Belichtungszeit wird aktiviert, und die MENU-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Belichtungskorrektur (EXPOSURE)

- 1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie EXPOSURE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „EV Compensation“ erscheint.

- 4 Wählen Sie einen geeigneten Wert durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Der gewählte Wert wird aktiviert, und die MENU-Anzeige wird wieder aufgerufen.

So führen Sie eine bequeme Belichtungskorrektur durch

Die Belichtungskorrektur lässt sich leicht durchführen, indem ▲ oder ▼ der Steuertaste gedrückt wird. Wenn die Taste gedrückt wird, ändert sich der auf dem LCD-Monitor angezeigte Wert.

Mit dieser Methode kann die Belichtung auch bei gesperrtem Menü korrigiert werden.

Einzelheiten zur Menüsperre finden Sie unter „Sperren des Menüs der Kamera“ auf Seite 127.

Einstellen des Weißabgleichs (W.B.)

- 1 Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie W.B. durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „White Balance“ erscheint.

- 4 Wählen Sie die Weißabgleich-Einstellmethode durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

AUTO: Der Weißabgleich wird automatisch eingestellt.

One Push: Der Weißabgleich wird den Beleuchtungsverhältnissen angepasst, wenn diese Option gewählt wird. Richten Sie die Kamera unter den gleichen Beleuchtungsverhältnissen wie bei der eigentlichen Aufnahme auf ein weißes Objekt, so dass dieses in der Mitte des LCD-Monitors angezeigt wird. Drücken Sie dann den Auslöser oder ENTER der Steuertaste. Der Weißabgleich wird automatisch auf die Beleuchtungsverhältnisse eingestellt.

3000K bis 7000K: Wenn Sie die den Beleuchtungsverhältnissen entsprechende Farbtemperatur wählen, wird der Weißabgleich auf die gewählte Farbtemperatur eingestellt.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Der Weißabgleich wird eingestellt, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Annullieren der Änderung

Wenn Sie die vorgenommene Einstellung auf einer der Einstellungsanzeigen annullieren und zur Menu-Anzeige zurückkehren wollen, drücken Sie ◀ der Steuertaste. Die Einstellung wird annulliert, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Einstellen des anzuzeigenden Druckformats (PRINT SIZE LIST)

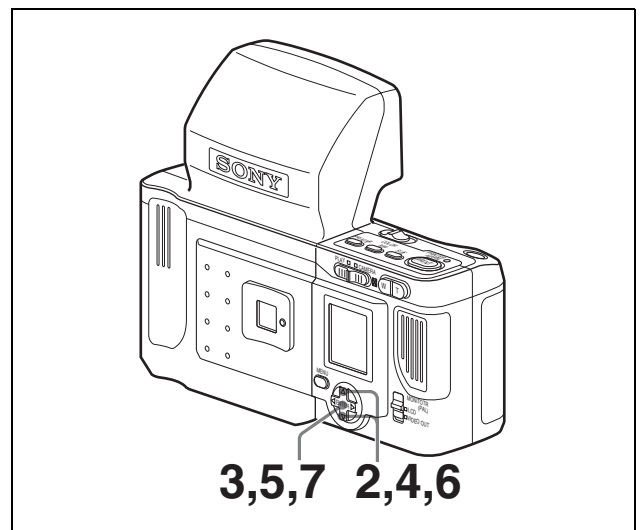
Das mit der Taste SIZE wählbare Druckformat kann im SETUP-Menü eingestellt werden. Legen Sie häufig verwendete Formate fest, damit Sie das gewünschte Format leicht auswählen können.

Die Werksvorgabe ermöglicht die Wahl aller Formate. Legen Sie die gewünschten Formate nach dem folgenden Verfahren mit der Taste SIZE fest.

Angaben zum Ausdrucken des gewählten Formats finden Sie unter „Mit diesem System mögliche Ausdrücke“ auf Seite 83.

Als Größeneinheit können Sie entweder mm oder Zoll wählen.

Einzelheiten unter „Einstellen der Größeneinheit (SIZE UNIT)“ auf Seite 125.



- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie PRINT SIZE LIST durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Print Size“ erscheint.

- 4 Wählen Sie das Format, das nicht angezeigt werden soll, durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste aus.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige des in Schritt **4** ausgewählten Formats wechselt von Schwarz nach Grau.

Wiederholen Sie die Schritte **4** und **5**, um die Anzeigen der Formate, die nicht mit der Taste SIZE wählbar sein sollen, grau zu machen.

Die Anzeige des Formats wechselt bei jedem Drücken von ENTER zwischen Schwarz und Grau.

Hinweis

Die Posten Guide Print-RGB und Guide Print-DLGm werden immer auf dem LCD-Monitor angezeigt. Diese können nicht ausgeblendet werden.

- 6** Wenn die Einstellung beendet ist, wählen Sie RETURN durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 7** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Einstellen des Rahmens (FRAME)

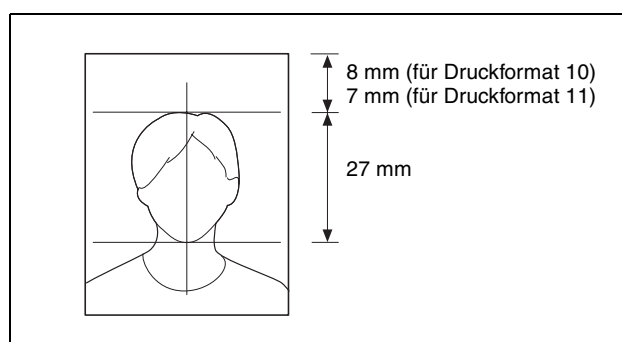
Führungslinien zum Einstellen der Größe und Position des Objekts sind bei der Bildgestaltung nützlich. Dieses System weist sechs Führungslinientypen auf: vier feststehende sowie je einen verstellbaren für die obere und untere Linie und für die Breite der beiden vertikalen Linien.

Feststehende Linien

Die folgenden vier feststehenden Linientypen sind verfügbar.

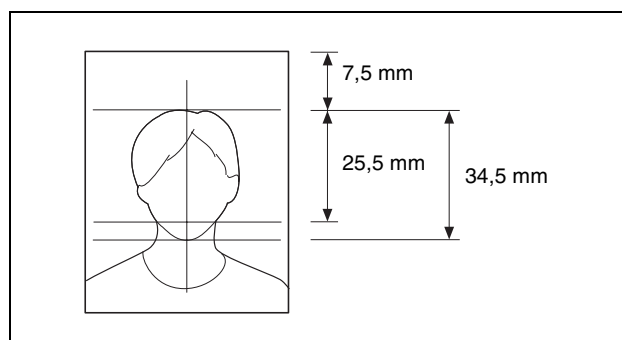
FRAME-[1]

Der Abstand zwischen der Kopf- und Kinnlinie beträgt 27 mm bei Wahl des Druckformats 10. 47 × 37 mm oder 11. 45 × 35 mm.



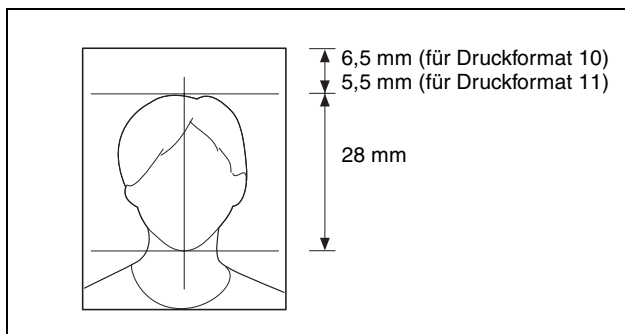
FRAME-[2]

Zwei Kinnlinien werden angezeigt. Der Abstand zwischen der Kopf- und Kinnlinie beträgt 25,5 mm bzw. 34,5 mm bei Wahl des Druckformats 8. 54 × 54 mm 2×2inch.



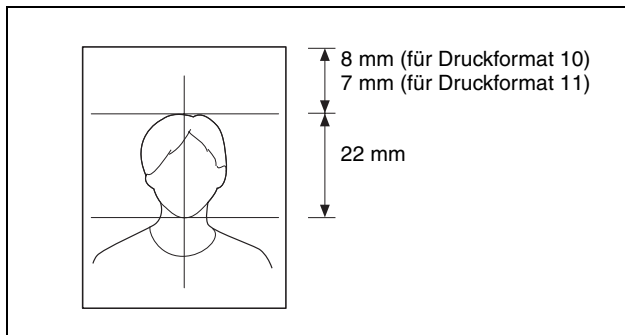
FRAME-[3]

Der Abstand zwischen der Kopf- und Kinnlinie beträgt 28 mm bei Wahl des Druckformats 10. 47 × 37 mm oder 11. 45 × 35 mm.



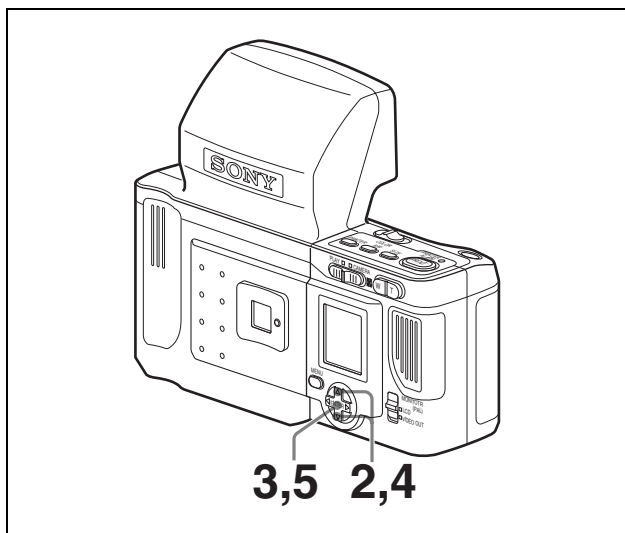
FRAME-[4]

Der Abstand zwischen der Kopf- und Kinnlinie beträgt 22 mm bei Wahl des Druckformats 10. 47 × 37 mm oder 11. 45 × 35 mm.



Angaben zur Ausdruckgröße anderer Druckformate finden Sie unter „Ausdruckgrößen für FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3], FRAME-[4]“ auf Seite 121.

Wählen der feststehenden Führungslinien (FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3], FRAME-[4])



- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie FRAME durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Rahmenwahlanzeige erscheint.

- 4 Wählen Sie FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3] oder FRAME-[4] durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

Die Führungslinien für den ausgewählten Rahmen erscheinen auf dem LCD-Monitor.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

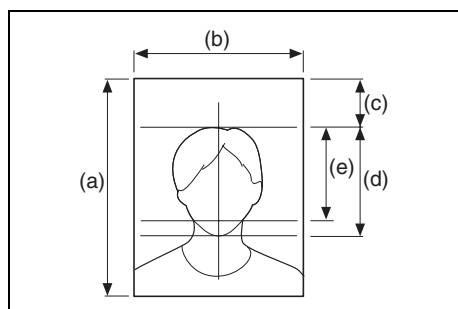
Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Ausdruckgrößen für FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3], FRAME-[4]

Wenn Sie Bilder mit Hilfe der Führungslinien aufnehmen, erhalten Sie die in der folgenden Tabelle angegebenen Ausdruckgrößen entsprechend dem mit der Taste SIZE gewählten Format.

Toleranz: $\pm 3\%$

Druckformat			FRAME-[1]		FRAME-[2]			FRAME-[3]		FRAME-[4]	
Format-Nr.	(a) mm	(b) mm	(c) mm	(d) mm	(c) mm	(d) mm	(e) mm	(c) mm	(d) mm	(c) mm	(d) mm
1	151	101,6	31,5	79,0	36,5	73,0	54,0	26,5	81,5	31,5	64,5
2	120	90	23,0	64,5	27,0	59,5	44,0	19,5	66,5	23,0	52,5
3	95	70	19,5	49,5	22,5	45,0	34,0	16,5	50,5	19,5	40,0
4, 17 (D2)	80	60	16,0	41,5	19,0	38,0	28,5	14,0	43,0	16,0	34,0
5	70	53	13,5	37,5	15,5	34,5	25,5	11,5	38,5	13,5	30,5
6	70	50	13,5	37,5	15,5	34,5	25,5	11,5	38,5	13,5	30,5
7, 18 (D4)	60	40	11,0	33,0	13,0	30,5	22,5	9,0	34,5	11,0	27,0
8	54	54	5,5	37,5	7,5	34,5	25,5	3,5	38,5	5,5	30,5
9	50	48,5	6,0	33,0	8,0	30,5	22,5	4,0	34,5	6,0	27,0
10, 19 (D6)	47	37	8,0	27,0	9,5	25,0	18,5	6,5	28,0	8,0	22,0
11, 20 (D4/8)	45	35	7,0	27,0	8,5	25,0	18,5	5,5	28,0	7,0	22,0
12	45	45	3,5	33,0	5,5	30,5	22,5	1,5	34,5	3,5	27,0
13	43	33	8,5	23,0	9,5	21,0	15,5	7,0	23,5	8,5	18,5
14	38	32	6,0	23,0	7,0	21,0	15,5	4,5	23,5	6,0	18,5
15	34	28	5,0	21,0	6,0	19,0	14,0	4,0	21,5	5,0	17,0
16	23	23	2,0	16,5	3,0	15,5	11,5	1,0	17,0	2,0	13,5



Einstellen der oberen und unteren Führungslinie (FRAME-[5])

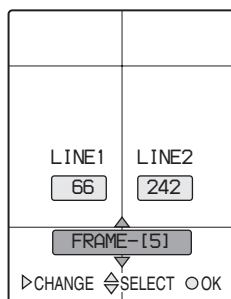
Die oberen und unteren Führungslinien von FRAME-[5] wurden werksseitig auf die gleiche Position wie FRAME-[1] eingestellt. Die Positionen der beiden Führungslinien können nach dem folgenden Verfahren geändert werden.

Angaben zur Ausdruckgröße nach der Positionseinstellung finden Sie unter „Ausdruckgröße für FRAME-[5]“ auf Seite 122.

- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2 Wählen Sie FRAME durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Rahmenwahlanzeige erscheint.
- 4 Wählen Sie FRAME-[5] durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

Die Führungslinien von FRAME-[5] erscheinen auf dem LCD-Monitor.



- 5 Stellen Sie die Position der oberen und unteren Führungslinie ein.

LINE1 dient zur Einstellung der oberen Führungslinie, während mit LINE2 die untere Linie eingestellt wird.
- 1) Wählen Sie LINE1 durch Drücken von ► der Steuertaste.
- 2) Stellen Sie die Position von LINE1 durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste ein.
- 3) Wählen Sie LINE2 durch Drücken von ◀ oder ► der Steuertaste.
- 4) Stellen Sie die Position von LINE2 durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste ein.
- 5) Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

6 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Ausdruckgröße für FRAME-[5]

Die Werksvorgabe für LINE1 ist 66, und 242 für LINE2. Die Werte für (c) und (d) erhält man durch Multiplizieren des Werts unter F mit den Werten für LINE1 und LINE2, wie unten gezeigt.

$$(c) = \text{LINE1} \times F$$

$$(d) = (\text{LINE2} - \text{LINE1}) \times F$$

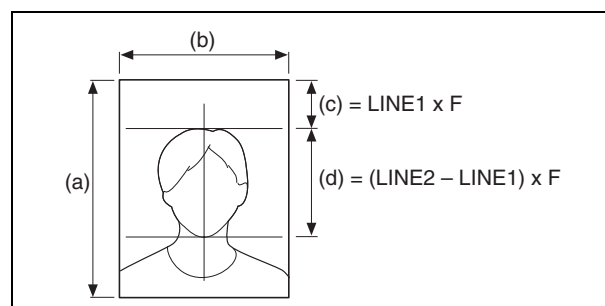
Wenn Sie Format Nr. 10 wählen und die Führungslinien sich in der Position der Werksvorgabe befinden, berechnet sich die Ausdruckgröße wie folgt:

$$(c) = 66 \times 0,15 = 9,9 \text{ mm}$$

$$(d) = (242 - 66) \times 0,15 = 26,4 \text{ mm}$$

Hinweis

Da der Wert F gerundet wird, stellen die berechneten Werte nicht unbedingt die genauen Werte dar. Es wird daher empfohlen, die Größe der Ausdrucke zu messen, um den genauen Wert zu erhalten.



Toleranz: ±3%

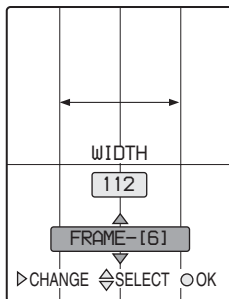
Druckformat			Werksvorgabe		F
Format-Nr.	(a) mm	(b) mm	(c) mm	(d) mm	
1	151	101,6	31,5	79,0	0,48
2	120	90	23,0	64,5	0,37
3	95	70	19,5	49,5	0,29
4, 17 (D2)	80	60	16,0	41,5	0,24
5	70	53	13,5	37,5	0,21
6	70	50	13,5	37,5	0,21
7, 18 (D4)	60	40	11,0	33,0	0,19
8	54	54	5,5	37,5	0,21
9	50	48,5	6,0	33,0	0,19
10, 19 (D6)	47	37	8,0	27,0	0,15
11, 20 (D4/8)	45	35	7,0	27,0	0,15
12	45	45	3,5	33,0	0,19
13	43	33	8,5	23,0	0,13
14	38	32	6,0	23,0	0,13

Druckformat			Werksvorgabe		F
Format-Nr.	(a) mm	(b) mm	(c) mm	(d) mm	
15	34	28	5,0	21,0	0,12
16	23	23	2,0	16,5	0,1

Einstellen der Breite der Führungslinien (FRAME-[6])

- Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- Wählen Sie FRAME durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Rahmenwahlanzeige erscheint.
- Wählen Sie FRAME-[6] durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

Die Führungslinien von FRAME-[6] erscheinen auf dem LCD-Monitor.



- Stellen Sie die Breite der Führungslinien ein.
 - Wählen Sie WIDTH durch Drücken von ► der Steuertaste.
 - Stellen Sie die Breite der Führungslinien durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste ein.
 - Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
- Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Ausdruckgröße für FRAME-[6]

Die Werksvorgabe für WIDTH ist 112. Sie erhalten das Druckformat, indem Sie den Wert unter G mit den Werten für WIDTH multiplizieren, wie unten gezeigt.

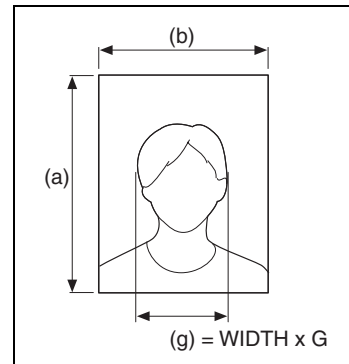
$$(g) = \text{WIDTH} \times G$$

Wenn Sie das Format „10“ mit der werksseitig vorgegebenen Position wählen, ist das Ausdruckformat wie folgt:

$$(g) = 112 \times 0,18 = 20,2 \text{ mm}$$

Hinweis

Da der Wert G gerundet wird, stellen die berechneten Werte nicht unbedingt die genauen Werte dar. Es wird daher empfohlen, die Größe der Ausdrucke zu messen, um den genauen Wert zu erhalten.



Toleranz: ±3%

Druckformat			Werksvorgabe	G
Format-Nr.	(a) mm	(b) mm	(g) mm	
1	151	101,6	59,4	0,53
2	120	90	48,2	0,43
3	95	70	38,9	0,34
4, 17 (D2)	80	60	31,1	0,27
5	70	53	28	0,25
6	70	50	28	0,25
7, 18 (D4)	60	40	24,9	0,22
8	54	54	28	0,25
9	50	48,5	24,9	0,22
10, 19 (D6)	47	37	20,0	0,18
11, 20 (D4/8)	45	35	20,0	0,18
12	45	45	24,9	0,22
13	43	33	17,1	0,15
14	38	32	17,1	0,15
15	34	28	15,6	0,14
16	23	23	12,4	0,11

Ausblenden der Führungslinien

- 1** Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2** Wählen Sie FRAME durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Rahmenwahlanzeige erscheint.
- 4** Wählen Sie FRAME OFF durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 5** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

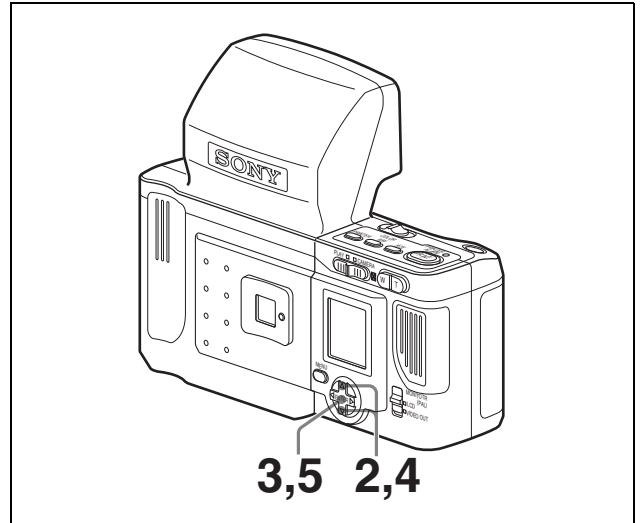
Die Führungslinien werden ausgeblendet, und die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Einstellen des Stromsparmmodus (POWER SAVE)

Wenn der Stromsparmmodus aktiviert wird (3 MINUTES oder 10 MINUTES), schaltet sich die Kamera automatisch aus, wenn innerhalb der eingestellten Zeitspanne keine Bedienung erfolgt.

Um die Stromversorgung einzuschalten, führen Sie einen der folgenden Vorgänge aus.

- Stellen Sie den Schalter POWER auf OFF und wieder auf ON.
- Drücken Sie den Auslöser halb nieder.
- Drücken Sie die Taste MENU.



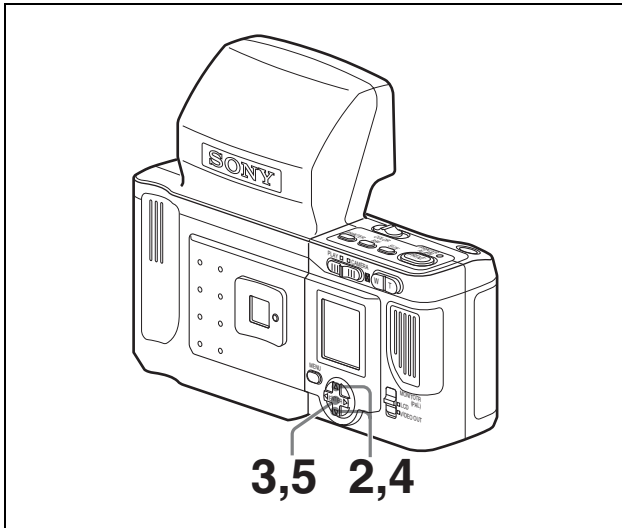
- 1** Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2** Wählen Sie POWER SAVE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Power Save“ erscheint.
- 4** Wählen Sie die Zeitspanne für die Aktivierung des Stromsparmmodus durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
OFF: Der Stromsparmmodus ist deaktiviert.
3 MINUTES: Die Kamera schaltet sich nach Ablauf von drei Minuten aus.
10 MINUTES: Die Kamera schaltet sich nach Ablauf von zehn Minuten aus.
- 5** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die ausgewählte Zeitspanne für die Aktivierung des Stromsparmmodus wird registriert, und die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Einstellen der Größeneinheit (SIZE UNIT)

Als Einheit der Druckgröße, die beim Drücken der Taste SIZE auf dem LCD-Monitor bzw. unter PRINT SIZE LIST im Setup-Menü angezeigt werden soll, können Sie mm oder Zoll wählen.



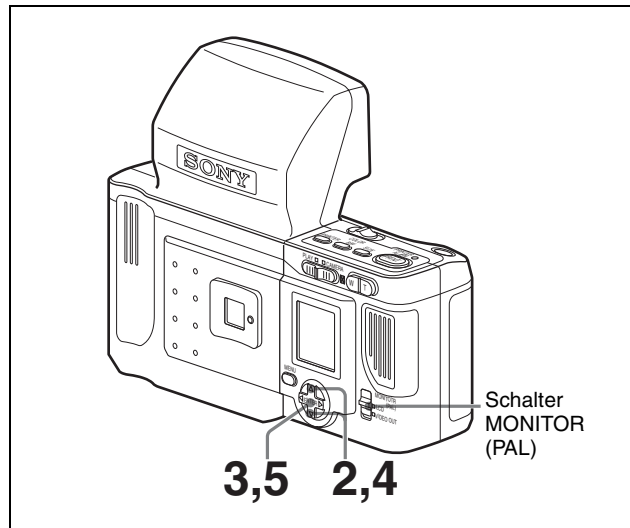
- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2 Wählen Sie SIZE UNIT durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Size Unit“ erscheint.
- 4 Wählen Sie mm oder inch durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Setup-Anzeige wird aufgerufen.

Hinweis

Zoll wird nicht als Einheit für die Zoomeinstellung des Setup-Menüs oder für die Brennweite der Eigenschaften-Anzeige im Modus PLAY unterstützt.

Wählen des Ausgangssignalformats (VIDEO OUT)

Wenn Sie einen Videomonitor zur Bildkontrolle an die Buchse VIDEO OUT anschließen wollen, wählen Sie das Format des Ausgangssignals: NTSC oder PAL.



- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2 Wählen Sie VIDEO OUT durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Video Out“ erscheint.
- 4 Wählen Sie PAL oder NTSC durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Bei Wahl von PAL

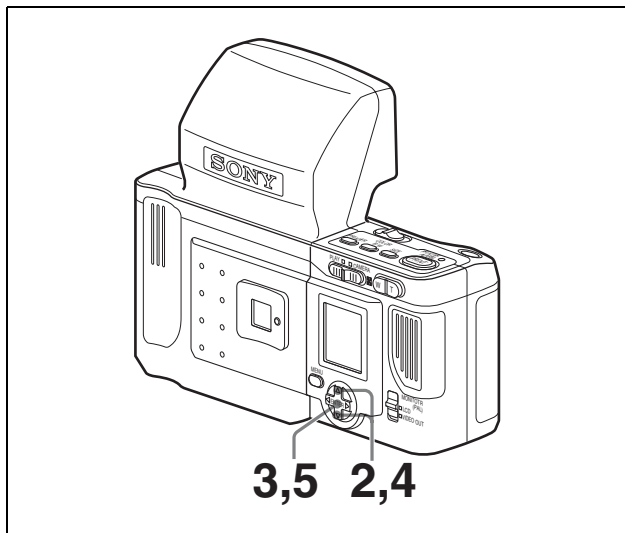
Wenn Sie NTSC wählen, können Sie Bilder sowohl auf dem LCD-Monitor als auch auf dem Videomonitor überwachen. Wenn Sie PAL wählen, müssen Sie das Überwachungsgerät mit dem Schalter MONITOR (PAL), dem LCD-Monitor oder dem Videomonitor wählen.

LCD: Für Überwachung auf dem LCD-Monitor

VIDEO OUT: Für Überwachung auf dem angeschlossenen Videomonitor

Wählen des Betriebstons (SOUND)

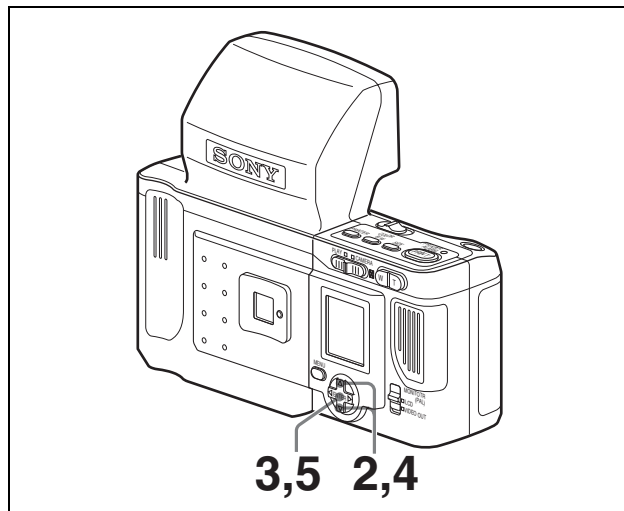
Auf Wunsch können Sie Bedienungsvorgänge an der Kamera durch einen entsprechenden Ton melden oder bestätigen lassen.



- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2 Wählen Sie SOUND durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Sound“ erscheint.
- 4 Wählen Sie die Toneinstellungen durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
OFF: Es wird kein Ton abgegeben.
SHUTTER: Nur beim Drücken des Auslösers oder der Taste PRINT wird ein Ton abgegeben.
ON: Töne werden bei allen Bedienungsvorgängen abgegeben (außer Zoomwippe, Schalter PLAY/CAMERA und Schalter MONITOR (PAL)).
- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Auswählen der USB-Klasse (USB)

Wenn Sie das System UPX-C200 an einen Computer anschließen und das mitgelieferte Dienstprogramm benutzen oder den Speicher der Kamera als Wechseldatenträger ansteuern wollen, ist eventuell eine Einstellung der USB-Klasse erforderlich.



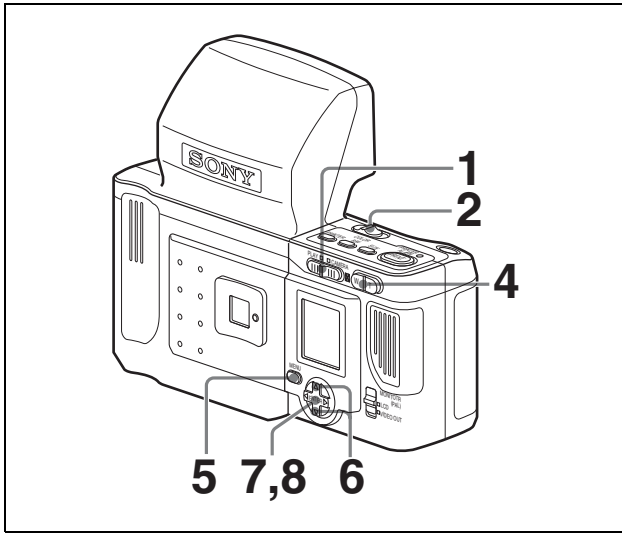
- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2 Wählen Sie USB durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „USB Class“ erscheint.
- 4 Wählen Sie die USB-Klasse durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
STORAGE: Für den Zugriff auf den Speicher der Kamera als Wechseldatenträger der Speicherklasse
ORIGINAL: Für die Benutzung des mitgelieferten Dienstprogramms
- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Setup-Anzeige wird wieder aufgerufen.

Hinweis

Falls andere Dateien außer den JPEG-Dateien der mit der Kamera aufgenommenen Bilder in der Kamera gespeichert werden, oder falls in der Kamera gespeicherte Ordner oder Dateien gelöscht oder umbenannt werden, wenn die Kamera als Datenträger der Speicherklasse angeschlossen wird, ist normale Aufnahme, Wiedergabe oder Datenübertragung eventuell nicht möglich. Unterlassen Sie solche Operationen unter allen Umständen.

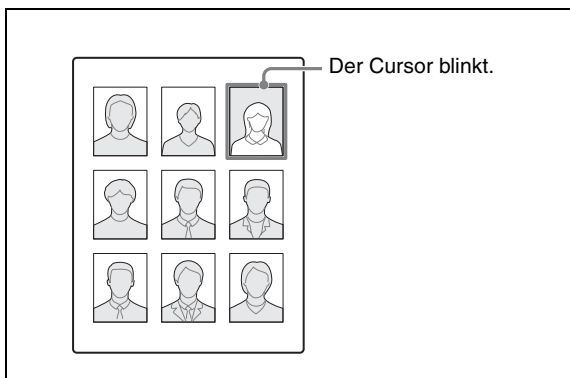
Verschieben eines Bilds auf der Neun-Bild-Anzeige (MOVE)

Sie können ein Bild auf der Neun-Bild-Anzeige zu einer anderen Position verschieben.



- 1** Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf PLAY.
- 2** Stellen Sie den Schalter POWER auf ON.
- 3** Drücken Sie eine beliebige Taste, um die Bluetooth-Anzeige abzuschalten.
- 4** Drücken Sie die Seite W der Zoomwippe.
Die Neun-Bild-Anzeige erscheint.
- 5** Drücken Sie die Taste MENU zweimal.
Die Anzeige „Menu“ erscheint.
- 6** Wählen Sie MOVE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Ein blinkender Cursor erscheint auf der Neun-Bild-Anzeige.

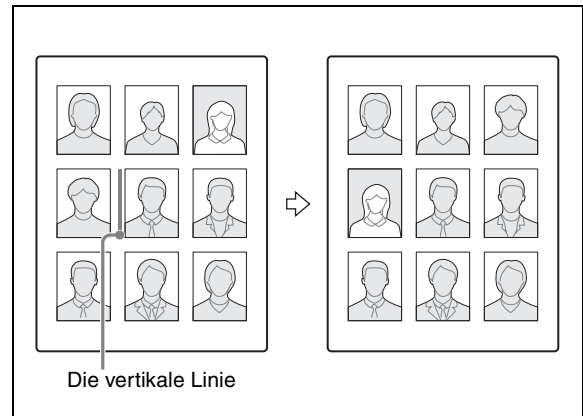


- 7** Wählen Sie das zu verschiebende Bild durch Drücken von ◀, ▶, ▲ oder ▼ der Steuertaste aus, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Der Cursor hört auf zu blinken.

- 8** Verschieben Sie die vertikale Linie zu der gewünschten Position, indem Sie ◀, ▶, ▲ oder ▼ der Steuertaste drücken, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Das Bild wird zu der angegebenen Position verschoben, und die Menu-Anzeige wird wieder aufgerufen.



Sperren des Menüs der Kamera

Das Menü kann gesperrt werden. Im gesperrten Zustand kann die Menu-Anzeige nicht mehr durch Drücken der Taste MENU im Modus CAMERA oder PLAY aufgerufen werden. Dadurch können unerwünschte Änderungen der Menüeinstellungen durch Bedienungsfehler verhütet werden. Die Belichtung kann jedoch noch durch ▲ oder ▼ von Drücken der Steuertaste verändert werden.

Sperren des Menüs

Halten Sie die Taste MENU länger als drei Sekunden gedrückt. Die Menu-Anzeige wird abgeschaltet, und das Schlosssymbol  erscheint. Wird nun die Taste MENU gedrückt, erscheint die Menu-Anzeige nicht, aber stattdessen erscheint das Schlosssymbol, um anzuzeigen, dass das Menü gesperrt ist.

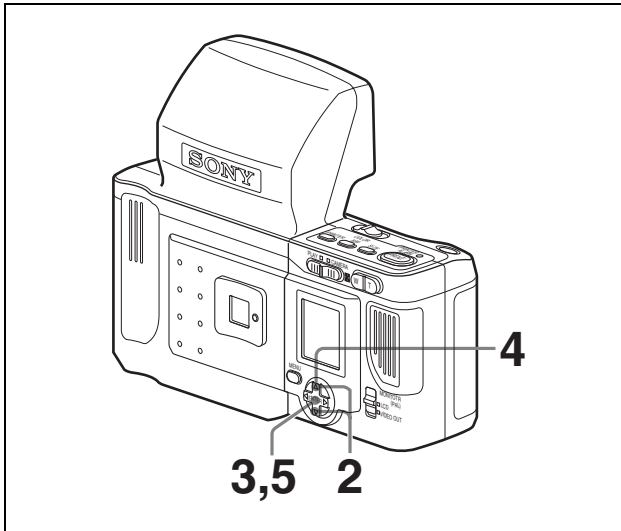
Das Menü bleibt gesperrt, selbst wenn der Modus zwischen CAMERA und PLAY umgeschaltet oder die Stromversorgung ausgeschaltet wird.

Aufheben der Menüsperre

Zeigen Sie das Schlosssymbol an. Halten Sie dann die Taste MENU mindestens drei Sekunden lang gedrückt, bis das Schlosssymbol verschwindet. Dann erscheint die Menu-Anzeige.

Einstellen des Objektivs für den Transport (TRANSPORT SETTING)

Das Objektiv kann zum Transportieren verriegelt werden.



- 1** Rufen Sie die Menu-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Menu-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Anzeige „Menu“ im Modus CAMERA“ auf Seite 111.
- 2** Wählen Sie TRANSPORT SETTING durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „Transport Setting“ erscheint.
- 4** Wählen Sie OK durch Drücken von ▲ der Steuertaste.
- 5** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Das Objektiv wird auf die Transportstellung gestellt.
Sobald das Objektiv in dieser Stellung gesichert worden ist, erscheint „LENS MOVING END. PLEASE POWER OFF.“ auf dem LCD-Monitor.
- 6** Stellen Sie den Schalter POWER auf OFF.

Hinweise

- Nachdem das Objektiv in seiner Transportstellung verriegelt worden ist, dürfen außer dem Schalter POWER keine anderen Tasten oder Schalter betätigt werden.
- Selbst in der Transportstellung ist das Objektiv nicht vollkommen geschützt. Transportieren Sie die

Kamera möglichst in ihrem Original-Verpackungsmaterial.

Entriegeln des Objektivs aus der Transportstellung

Stellen Sie den Schalter PLAY/CAMERA auf CAMERA, und nehmen Sie die Kamera in Betrieb. Das Objektiv wird auf seine Betriebsstellung zurückgestellt.

Unterbrechen der Objektivbewegung auf die Transportstellung

Wählen Sie RETURN anstelle von OK im obigen Schritt 4, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste. Die Menu-Anzeige wird aufgerufen.

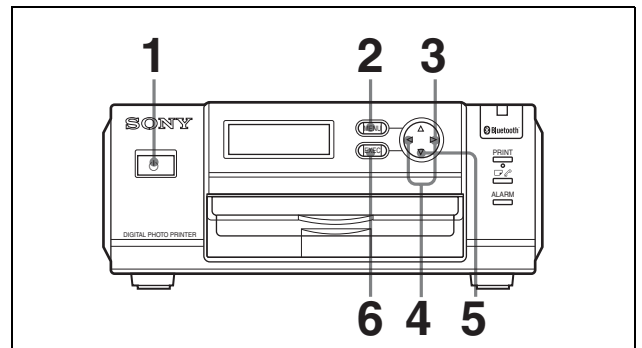
Einstellen der Druckqualität (COLOR ADJUST)

Mit Hilfe der MENU-Funktion des Druckers können Sie die Bildqualität einstellen. Sie können die Einstellungsergebnisse überprüfen, indem Sie ein Leitbild der Kamera ausdrucken. Drei Sätze von Einstellwerten für Farb- und Schwarzweißbilder können gespeichert und später abgerufen werden.

Hinweis

Die hier beschriebene Druckqualitätseinstellung ist nur dann verfügbar, wenn Kamera und Drucker über die Bluetooth-Funktion verbunden werden. Wenn der Drucker an einen Computer angeschlossen wird, kann die Druckqualität mit dem Druckertreiber eingestellt werden. Einzelheiten zur Installation und Funktion des Druckertreibers finden Sie in der Datei „Readme (English)“ auf der mitgelieferten CD-ROM.

Einstellen der Druckqualität für Farbbilder



- 1** Schalten Sie den Drucker ein.
- 2** Drücken Sie die Taste MENU.
„COLOR ADJUST COLOR [>>]“ erscheint.

3 Drücken Sie ► der Steuertaste.

„CYN-RED:“ erscheint.

4 Drücken Sie ◀ oder ► der Steuertaste zur Einstellung.

5 Drücken Sie ▼ der Steuertaste.

„MAG-GRN:“ erscheint.

Wiederholen Sie die Schritte 4 und 5, um nötige Einstellungen vorzunehmen. Die verfügbaren Einstellungen für jeden Posten sind wie folgt:

CYN-RED: Durch Drücken von ◀ erhält das Bild mehr Cyan, während es durch Drücken von ► mehr Rot erhält.

MAG-GRN: Durch Drücken von ◀ erhält das Bild mehr Magenta, während es durch Drücken von ► mehr Grün erhält.

YEL-BLU: Durch Drücken von ◀ erhält das Bild mehr Gelb, während es durch Drücken von ► mehr Blau erhält.

DARK: Der Kontrast der dunklen Bereiche wird eingestellt. Durch Drücken von ► wird das Bild dunkler.

LIGHT: Der Kontrast der hellen Bereiche wird eingestellt. Durch Drücken von ► wird das Bild heller.

SHARPNESS: Durch Drücken von ► werden die Konturen von Objekten im Bild schärfer.

GAMMA: Durch Drücken von ◀ wird der Farbton des ganzen Bilds blasser, während er durch Drücken von ► kräftiger wird.

6 Drücken Sie die Taste EXEC, wenn Sie mit der Einstellung fertig sind.

Das Display schaltet auf „COLOR ADJUST COLOR [>>]“ zurück.

Einstellen der Druckqualität für Schwarzweißbilder

Wenn Sie ▼ der Steuertaste drücken, nachdem Sie die Taste MENU in Schritt 2 unter „Einstellen der Druckqualität für Farbbilder“ gedrückt haben, erscheint COLOR ADJUST B/W [>>], und Sie können die Druckqualität für Schwarzweißbilder einstellen. Die Einstellmethode ist die gleiche wie die für ein Farbbild.

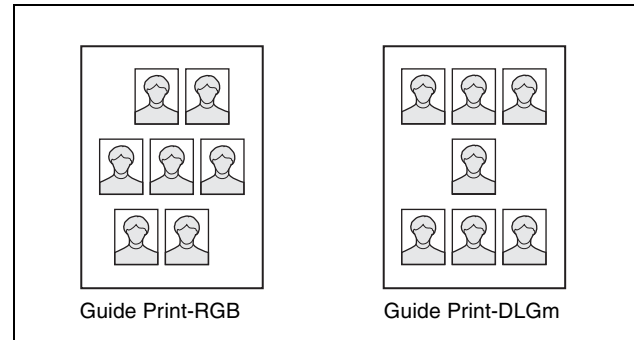
Ausdrucken eines Leitbilds

Um die Ergebnisse Ihrer Einstellungen zu überprüfen, drucken Sie den Farbführer der Kamera aus.

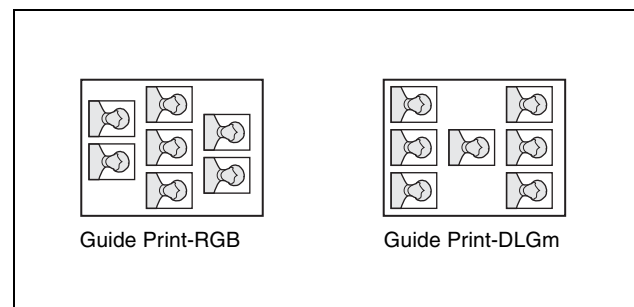
Drücken Sie die Taste SIZE der Kamera, um Guide Print-RGB oder Guide Print-DLGm zu wählen, und führen Sie dann den Druckvorgang aus.

Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).

Bei Verwendung der Serie UPC-X46/X45



Bei Verwendung der Serie UPC-X34



Speichern Ihrer Einstellungen

Nachdem die Farbeinstellung beendet ist, speichern Sie die Einstellwerte wie folgt:

- 1 Wenn die Anzeige COLOR ADJUST COLOR [>>] bzw. B/W [>>] erscheint, drücken Sie ► der Steuertaste.
- 2 Drücken Sie ▼ der Steuertaste mehrmals, bis „SAVE SETTING“ erscheint.
- 3 Drücken Sie ◀ oder ► der Steuertaste, um die Speicherplatznummer (1, 2 oder 3) zu wählen.
- 4 Drücken Sie die Taste EXEC.

Die Einstellwerte werden in dem Speicherplatz mit der in Schritt 3 gewählten Nummer gespeichert.

Laden der Einstellwerte

Die gespeicherten Einstellwerte können abgerufen werden.

- 1 Wenn die Anzeige COLOR ADJUST COLOR [>>] bzw. B/W [>>] erscheint, drücken Sie ► der Steuertaste.
- 2 Drücken Sie ▼ der Steuertaste mehrmals, bis „LOAD SETTING“ erscheint.
- 3 Drücken Sie ◀ oder ► der Steuertaste, um die Speicherplatznummer (1, 2 oder 3) zu wählen.
- 4 Drücken Sie die Taste EXEC.

Die Einstellwerte, die in dem Speicherplatz mit der in Schritt 3 gewählten Nummer gespeichert sind, werden abgerufen und aktiviert.

So beenden Sie COLOR ADJUST

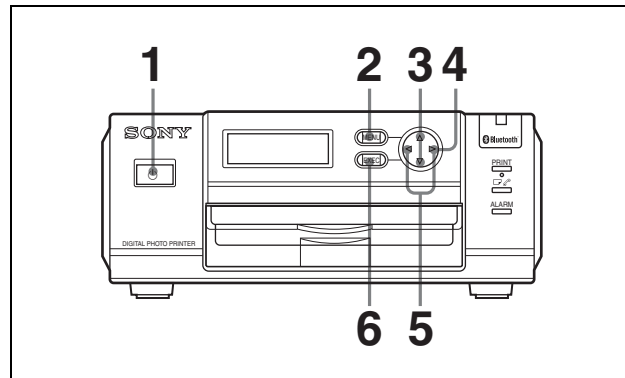
Nachdem die Menüoperation, wie z.B. die Einstellung von COLOR ADJUST, das Speichern der Einstellwerte oder das Abrufen der gespeicherten Werte, beendet ist, drücken Sie die Taste MENU. Das Display schaltet auf die Anzeige „Ready“ zurück.

Hinweis

Wenn Sie mit den Einstellungen fertig sind, drücken Sie die Taste MENU, um die Anzeige „Ready“ aufzurufen. Wird die Anzeige „Ready“ nicht aufgerufen, erscheint „COMMUNICATION ERROR“ auf dem LCD-Monitor der Kamera, so dass der Druckvorgang nicht ausgeführt werden kann.

Einstellen der Druckposition (PRINT SETTING)

Nehmen Sie die Einstellung so vor, dass das ausgedruckte Bild bei Verwendung der Serie UPC-X46 korrekt auf dem Druckpapier positioniert ist. Die Druckposition kann um 0,5 mm verschoben werden.



- 1 Schalten Sie den Drucker ein.
- 2 Drücken Sie die Taste MENU.
- 3 Drücken Sie ▲ oder ▼ der Steuertaste, so dass „PRINT SETTING [>>]“ erscheint.
- 4 Drücken Sie ► der Steuertaste.
„PRINT OFFSET:“ erscheint.
- 5 Drücken Sie ◀ oder ► der Steuertaste, um den Versatzwert auszuwählen.
- 6 Drücken Sie die Taste EXEC.

Der in Schritt 5 ausgewählte Versatzwert wird registriert, und das Display schaltet auf die Anzeige „PRINT SETTING [>>]“ zurück.

Machen Sie einen Probeausdruck und prüfen Sie, ob das Bild in der korrekten Position auf dem Druckpapier ausgedruckt wird. Falls eine weitere Einstellung erforderlich ist, wiederholen Sie die obigen Schritte.

Angaben zum Ausdrucken eines Bilds finden Sie unter „Ausdrucken eines Bilds“ auf Seite 96.

So beenden Sie PRINT SETTING

Drücken Sie die Taste MENU. Das Display schaltet auf die Anzeige „Ready“ zurück, und der Drucker ist druckbereit.

Hinweis

Wenn Sie mit den Einstellungen fertig sind, drücken Sie die Taste MENU, um die Anzeige „Ready“ aufzurufen.

Wird die Anzeige „Ready“ nicht aufgerufen, erscheint „COMMUNICATION ERROR“ auf dem LCD-Monitor der Kamera, so dass der Druckvorgang nicht ausgeführt werden kann.

Wenn die Bluetooth-Lampe der Kamera erloschen ist

Bei erloschener Bluetooth-Lampe ist die Bluetooth-Funktion deaktiviert, und die Bluetooth-Anzeige erscheint nicht, selbst wenn der Schalter POWER auf ON gestellt wird. Die Tasten SIZE, COLOR/B/W, PRINTER und PRINT sind funktionsfähig, aber der Druckvorgang kann nicht durch Drücken der Taste PRINT durchgeführt werden. Wenn die Taste PRINT gedrückt wird, erscheint die Anzeige „Demo Layout“ auf dem LCD-Monitor, so dass Sie das Layout des voraussichtlichen Ausdrucks überprüfen können.

Einzelheiten unter „Einschalten der Lampe Bluetooth“ (auf Seite 132) oder „Ausschalten der Lampe Bluetooth“ (auf Seite 133)

Bluetooth

Drahtlose Bluetooth-Technologie

Die drahtlose Bluetooth¹⁾-Technologie ermöglicht die Kommunikation zwischen verschiedenen Bluetooth-Geräten ohne Kabel. Zu den Geräten, die diese Technik verwenden können, gehören Computer, Computer-Peripheriegeräte, PDAs und Handys. Das ungerichtete Kommunikationssystem ermöglicht die Datenübertragung, selbst wenn sich das Bluetooth-Gerät in einer Tasche befindet oder Hindernisse zwischen den Geräten liegen.

Außerdem verfügt die drahtlose Bluetooth-Technologie über hochentwickelte Sicherheitsfunktionen, wie geschrämbte Frequenzen und Datenverschlüsselung.

- Zur Verwendung der Bluetooth-Funktion muss der Abstand zwischen Kamera und Drucker innerhalb von 10 m liegen und frei von Hindernissen sein.

1) Das  Bluetooth[®]-Warenzeichen ist Eigentum ihres Inhabers und werden unter Lizenz von der Firma Sony benutzt. Das Wort Bluetooth ist im ganzen Dokument in Normaltext gedruckt.

Das „Basic Imaging Profile“

Das „Basic Imaging Profile“ (BIP) stellt die Spezifikationen dar, die benutzt werden, wenn Standbilder zwischen Bluetooth-Geräten übertragen werden. Die Hauptfunktionen des BIP ermöglichen das Senden und Empfangen von Bildern sowie die Verwendung der Fernauslöserfunktion einer Digitalkamera.

Um eine Verbindung mit Ihrem Drucker herzustellen, muss das Bluetooth-Gerät mit dem „Image Push Feature“ des „Basic Imaging Profile“ (BIP) kompatibel sein.

Überprüfen Sie vor der Benutzung des Bluetooth-Geräts dessen Bluetooth- und BIP-Spezifikationen.

Kommunikation zwischen Kamera und Drucker mittels Bluetooth

Um eine Bluetooth-Kommunikation zwischen der Kamera und dem Drucker zu ermöglichen, müssen die folgenden Voraussetzungen erfüllt sein:

- Der gleiche Passkey muss an Kamera und Drucker eingestellt sein
- Die Lampe Bluetooth muss leuchten

Überprüfen der aktuellen Einstellungen

Sie können die aktuellen Passkey-Einstellungen an Kamera und Drucker überprüfen.

Einstellungen an der Kamera

- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie Bluetooth durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Bluetooth“ erscheint.

- 4 Wählen Sie PROPERTY durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „Property“ erscheint, und Sie können Passkey und Adresse überprüfen.

- 6 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Um die Menüoperation zu beenden, drücken Sie die Taste MENU.

Einstellungen am Drucker

- 1 Schalten Sie den Drucker ein.

- 2 Drücken Sie die Taste MENU.

- 3 Drücken Sie ▼ der Steuertaste, so dass „Bluetooth SETTING [>>]“ auf dem Betriebsdisplay erscheint.

- 4 Drücken Sie ► der Steuertaste.

Die Bluetooth-Adresse erscheint.

- 5 Drücken Sie ▼ der Steuertaste, um PASSKEY INPUT [>>] auf dem Betriebsdisplay anzuzeigen.

- 6 Drücken Sie ► der Steuertaste.

Der gegenwärtig eingestellte Passkey erscheint auf der Anzeige PASSKEY INPUT.

- 7 Drücken Sie die Taste EXEC.

Um die Menüoperation zu beenden, drücken Sie die Taste MENU.

Ändern der Passkey-Einstellungen

Der Passkey kann bei Bedarf geändert werden. Der gleiche Passkey wurde werksseitig am UPX-C200 und dem getrennt erhältlichen digitalen Fotodrucker UP-DX100 eingestellt. Aus Gründen der Kommunikationssicherheit wird empfohlen, den Passkey für Ihr System zu ändern.

Einzelheiten zur Änderung der Einstellungen finden Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).

Einschalten der Lampe Bluetooth

Wenn die Lampe Bluetooth erloschen ist, ist die Bluetooth-Funktion abgeschaltet. Die Funktion kann nach dem folgenden Verfahren aktiviert werden.

So schalten Sie die Lampe Bluetooth der Kamera ein

- 1 Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.

Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.

- 2 Wählen Sie Bluetooth durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 3 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

- 4 Wählen Sie MODULE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.

- 5 Drücken Sie ENTER der Steuertaste.

Die Anzeige „BT MODULE POWER“ erscheint.

- 6 Vergewissern Sie sich, dass ON gewählt ist, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.

Die Lampe Bluetooth leuchtet auf.

So schalten Sie die Lampe Bluetooth des Druckers ein

- 1 Drücken Sie die Taste MENU.

- 2** Drücken Sie ▼ der Steuertaste, so dass „Bluetooth SETTING [>>]“ erscheint.
- 3** Drücken Sie ► der Steuertaste.
„Bluetooth ADDR None“ erscheint.
- 4** Drücken Sie ▼ der Steuertaste, so dass „MODULE POWER [>>]“ erscheint.
- 5** Drücken Sie ► der Steuertaste.
- 6** Drücken Sie ◀ oder ► der Steuertaste, um POWER auf ON einzustellen.
- 7** Drücken Sie die Taste EXEC.
„REBOOTING“ erscheint. Der Drucker wird nun neu gestartet, und die Lampe Bluetooth leuchtet auf.

Ausschalten der Lampe Bluetooth

Funkwellen können medizinische Geräte und Flugzeuginstrumente mit möglichen ernsthaften Folgen beeinflussen. Es wird daher empfohlen, das Bluetooth-Modul auszuschalten, so dass die Lampe Bluetooth erlischt, um solche Probleme zu vermeiden.

So schalten Sie die Lampe Bluetooth der Kamera aus

- 1** Rufen Sie die Setup-Anzeige auf.
Einzelheiten über das Aufrufen der Setup-Anzeige finden Sie unter „Aufrufen der Setup-Anzeige“ auf Seite 111.
- 2** Wählen Sie Bluetooth durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 3** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
- 4** Wählen Sie MODULE durch Drücken von ▲ oder ▼ der Steuertaste.
- 5** Drücken Sie ENTER der Steuertaste.
Die Anzeige „BT MODULE POWER“ erscheint.
- 6** Vergewissern Sie sich, dass OFF gewählt ist, und drücken Sie dann ENTER der Steuertaste.
Die Lampe Bluetooth erlischt.

So schalten Sie die Lampe Bluetooth des Druckers aus

- 1** Drücken Sie die Taste MENU.

- 2** Drücken Sie ▼ der Steuertaste, so dass „Bluetooth SETTING [>>]“ erscheint.
- 3** Drücken Sie ► der Steuertaste.
„Bluetooth ADDR None“ erscheint.
- 4** Drücken Sie ▼ der Steuertaste, so dass „MODULE POWER [>>]“ erscheint.
- 5** Drücken Sie ► der Steuertaste.
- 6** Drücken Sie ◀ oder ► der Steuertaste, um POWER auf OFF einzustellen.
- 7** Drücken Sie die Taste EXEC.
„REBOOTING“ erscheint. Der Drucker wird nun neu gestartet, und die Lampe Bluetooth erlischt.

Hinzufügen von Druckern

Sie können bis zu drei Drucker mit der Kamera verwenden. Wenn Sie dem System weitere Drucker hinzufügen, können Sie den zu benutzenden Drucker mit der Taste PRINTER der Kamera auswählen. In diesem Fall ist es zweckmäßig, jedem Drucker eine Gerätenummer (von 1 bis 9) zuzuweisen.

Einzelheiten zum Hinzufügen von Druckern und Einstellen der Gerätenamen finden Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).

Entfernen von Druckern

Sie können Drucker vom System entfernen.

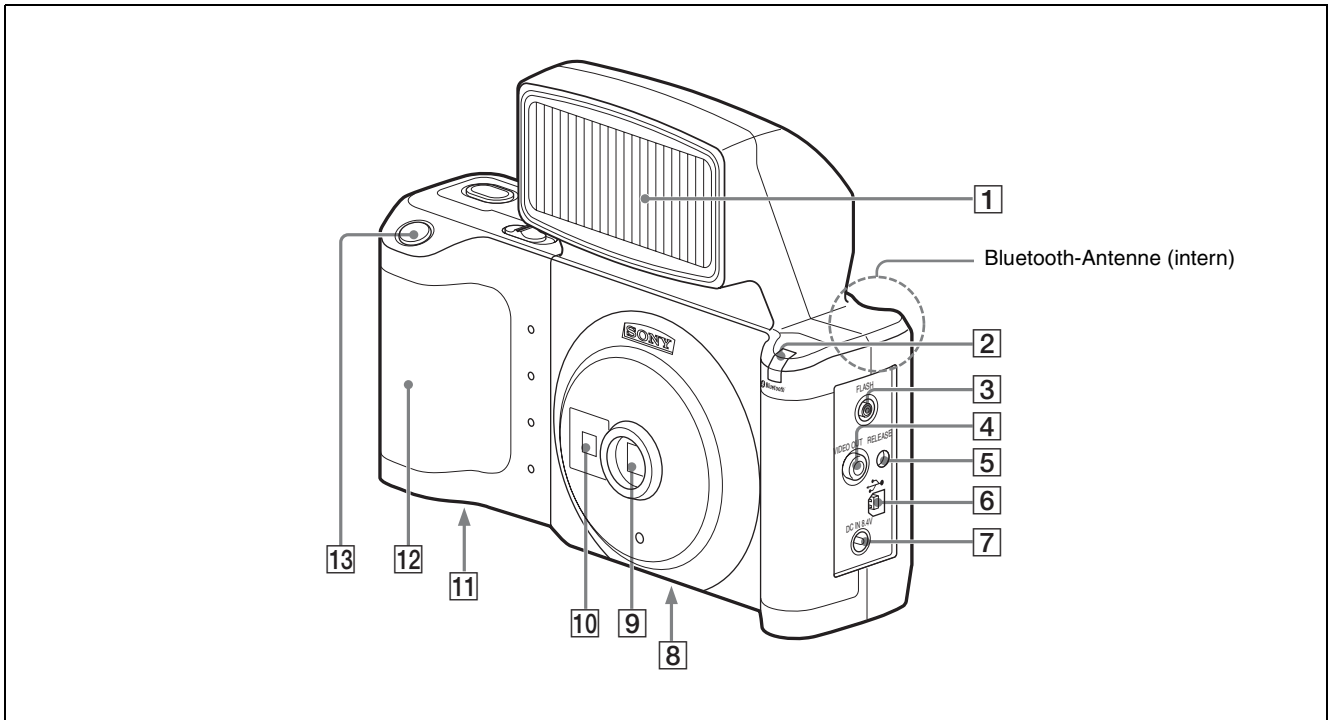
Einzelheiten zum Entfernen von Druckern finden Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).

Anordnung der Teile

Einzelheiten finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten.

Kamera

Vorderseite



1 Blitz (117)

Wird entsprechend der Wahl des Menüpostens FLASH MODE ausgelöst.

2 Lampe Bluetooth[®] (132)

Leuchtet auf, wenn MODULE des Menüpostens Bluetooth auf ON eingestellt wird, um anzuzeigen, dass die Bluetooth-Funktion aktiviert ist.

3 Buchse FLASH

Schließen Sie hier das Kabel eines externen Blitzgeräts an, das den X-Kontakt unterstützt.

Wenn ein externes Blitzgerät, das den X-Kontakt unterstützt, mit dem Synchronisierungskabel angeschlossen wird, wird der Blitz synchron mit dem Verschluss ausgelöst.

4 Buchse VIDEO OUT (Cinchbuchse) (125)

Wenn Sie einen Videomonitor mit einem Videokabel an diese Buchse anschließen, können Sie ein Bild gleichzeitig auf dem LCD-Monitor und dem Monitorbildschirm betrachten. Die Signale der Buchse VIDEO OUT können zur Überprüfung des Objekts verwendet werden. Um die Bildqualität des Monitors

einzustellen, verwenden Sie die Einstellfunktionen am Monitor.

Hinweis

Wenn Sie bei Einstellung des Menüpostens VIDEO OUT auf PAL einen Videomonitor an die Buchse VIDEO OUT anschließen, müssen Sie den Schalter MONITOR (PAL) auf VIDEO OUT stellen, um das Bild auf dem Videomonitor betrachten zu können.

5 Buchse RELEASE (Minibuchse)

Dient zum Anschluss eines Fernauslösers.

Sie erhalten den gleichen Effekt wie beim vollständigen Drücken des Auslösers.

6 USB-Buchse

Um die Kamera an einen Computer anzuschließen, verbinden Sie diese Buchse über ein handelsübliches USB-Kabel mit dem USB-Anschluss des Computers. Wenn Sie das mitgelieferte Dienstprogramm im Computer installiert haben, können Sie die in der Kamera gespeicherten Bilder zum Computer übertragen und ausdrucken.

7 Buchse DC IN 8.4V (88)

Hier wird das mitgelieferte Netzgerät angeschlossen, um die Kamera mit Netzstrom zu betreiben.

8 Stativgewinde (89)

Dient zur Befestigung der Kamera auf einem Stativ.

9 Objektiv (f = 7,5 bis 19,8 mm, F-2,8 bis F-4,8)

Autofokus-Objektiv mit optischem Zoom.

10 Sucher

Sie können das Objekt durch den Sucher betrachten und ohne Benutzung des LCD-Monitors fotografieren. Benutzen Sie den Sucher zur Überprüfung des Objekts. Das Sucherbild stimmt nicht genau mit dem Objektivbild überein.

11 Batteriefachdeckel (87)

Legen Sie vier NH-AA-Batterien und die Lithium-Knopfzelle ein, und schließen Sie den Deckel.

12 Griff

Der Griffteil der Kamera mit dem LCD-Monitor kann um 90° gedreht werden.

Wenn die Person sitzt, muss die Kameraposition niedrig sein, damit sich Objektiv und Augen der Person auf gleicher Höhe befinden. In einem solchen Fall ist es durch Drehen des Griffs zur LCD-Monitor-Seite möglich, die Kamera in einer natürlichen Haltung zu halten.

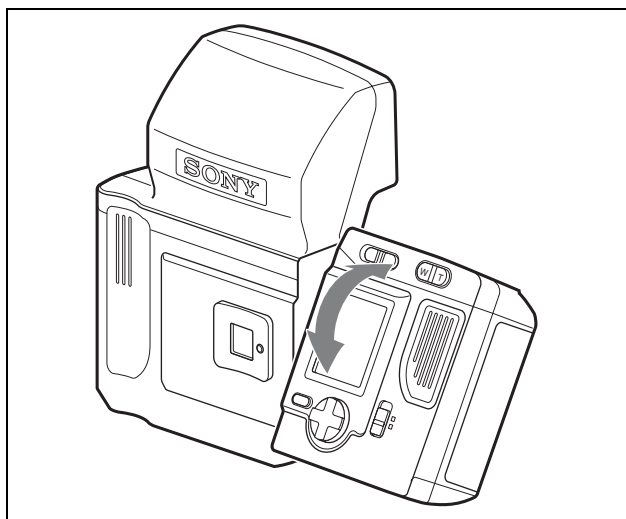
Hinweis

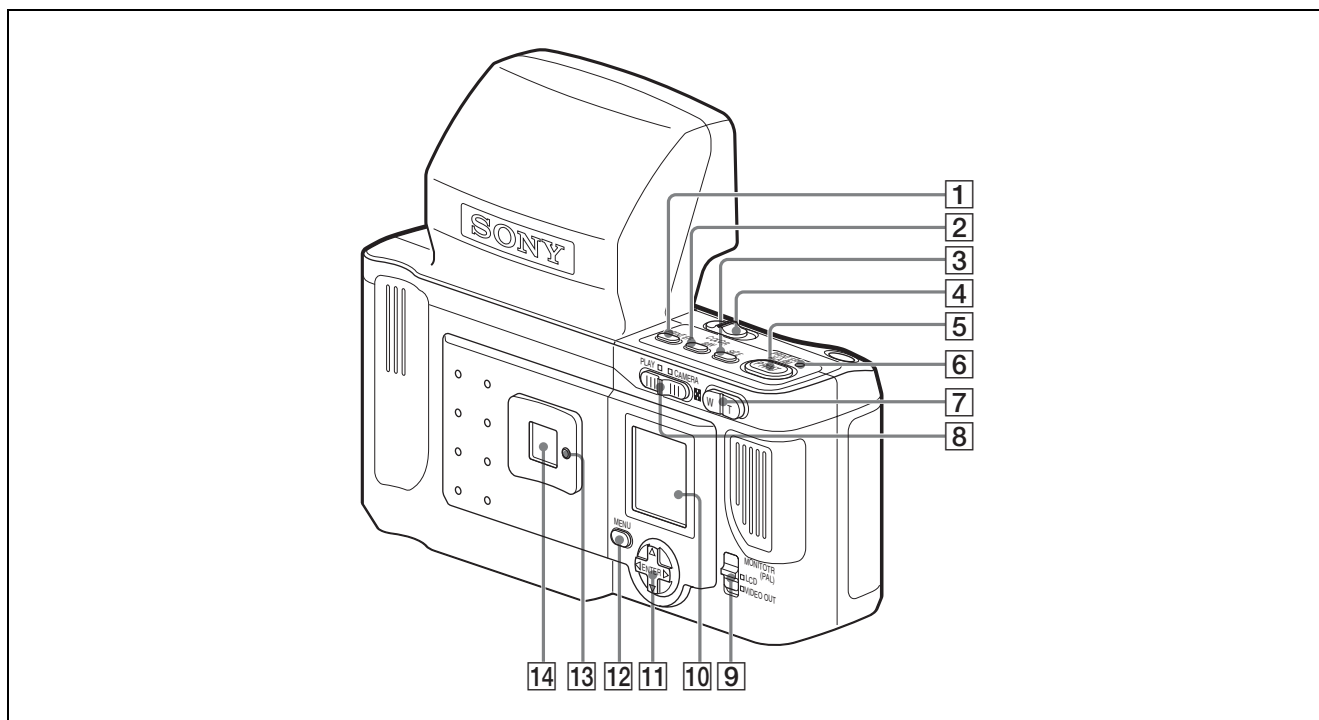
Drehen Sie den Griff nicht gewaltsam über den Anschlag hinaus. Drehen Sie den Griff behutsam. Insbesondere bei Batteriebetrieb kann sich die Kamera neu einschalten, falls die Stromversorgung durch Erschütterung unterbrochen wird. Vermeiden Sie häufiges Drehen des Griffs, um Verschleiß der beweglichen Teile zu minimieren.

13 Auslöser (94)

Drücken Sie diese Taste, um das auf dem LCD-Monitor angezeigte Bild aufzunehmen und zu speichern.

Im halb gedrückten Zustand wird die Autofokus-Funktion aktiviert. Durch vollständiges Durchdrücken wird der Verschluss ausgelöst. Das Bild wird im JPEG-Format komprimiert und gespeichert. Der Auslöser ist nur in der Stellung CAMERA des Schalters PLAY/CAMERA funktionsfähig.





1 Taste PRINTER

Dient zur Wahl des Druckers bei Verwendung mehrerer Drucker.

Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).

2 Taste COLOR/B/W (97)

Dient zur Wahl von COLOR oder B/W (schwarzweiß) für einen Ausdruck.

3 Taste SIZE (97)

Dient zur Wahl des Druckformats.

4 Schalter POWER (93, 102)

Dient zum Ein- und Ausschalten der Kamera.

Hinweis

Wenn der Schalter POWER auf OFF gestellt wird, erscheint die Uhr auf dem LCD-Monitor, und die neusten Einstellungsdaten werden gespeichert. Dann wird die Stromversorgung vollkommen ausgeschaltet, und die Anzeige auf dem LCD-Monitor sowie die Bereitschaftslampe erlöschen. Unterlassen Sie das Abtrennen des Netzgeräts oder das Herausnehmen der Batterien während der Datenübertragung zur Speicherung.

5 Taste PRINT (96)

Drücken Sie diese Taste, um das auf dem LCD-Monitor angezeigte Bild auszudrucken. Wenn Sie diese Taste einmal drücken, erscheint die Layout-Vorschauanzeige

für den Ausdruck auf dem LCD-Monitor, auf der Sie die Anzahl der auszudruckenden Blätter einstellen können. Wenn Sie die Taste ein zweites Mal drücken, werden die Bilddaten zum Drucker übertragen und ausgedruckt. Während der Datenübertragung erscheint TRANSMITTING auf dem LCD-Monitor.

Um die Layout-Vorschauanzeige abzuschalten, drücken Sie die Taste MENU.

Die Taste PRINT ist funktionsfähig, wenn ein Aufnahmekontrollbild oder ein Wiedergabebild auf dem LCD-Monitor angezeigt wird.

6 Lampe PRINTER ALARM

Leuchtet auf, wenn eine Störung im Drucker auftritt. Wenn mehrere Drucker verwendet werden, wird der Status des mit der Taste PRINTER ausgewählten Druckers angezeigt. Überprüfen Sie den Drucker.

7 Zoomwippe (94, 97)

In der Stellung CAMERA des Schalters PLAY/CAMERA

Dient zur Einstellung des Bildausschnitts. Für Passfotos ist die Größe des Gesichts auf dem Foto in den meisten Fällen festgelegt. Die Zoomfunktion ermöglicht die Einstellung der Gesichtsgröße, ohne die Kameraposition zu verändern. Diese Funktion gestattet reibungslosen Aufnahmebetrieb und minimiert die Zeit, während der die Person still sitzen muss. Der maximale Vergrößerungsfaktor ist 1,3× bzw. 2,6×.

T: Für Teleaufnahme

W: Für Weitwinkelaufnahme

In der Stellung PLAY des Schalters PLAY/CAMERA

Dient zum Umschalten zwischen der Neun-Bild-Anzeige und der Einzelbild-Anzeige.

T: Die Neun-Bild-Anzeige wird auf die Einzelbild-Anzeige umgeschaltet.

W: Das Display wird zwischen Einzelbild-Anzeige und Neun-Bild-Anzeige umgeschaltet.

[8] Schalter PLAY/CAMERA (93, 98)

Dieser Schalter dient zum Umschalten zwischen dem Wiedergabe- und Aufnahmemodus.

CAMERA: Stellen Sie den Schalter auf diese Stellung, um zu fotografieren.

PLAY: Stellen Sie den Schalter auf diese Stellung, um die gespeicherten Bilder zu betrachten.

[9] Schalter MONITOR (PAL) (125)

Dieser Schalter ist funktionsfähig, wenn ein Videokabel an die Buchse VIDEO OUT angeschlossen und der Menüposten VIDEO OUT auf PAL eingestellt wird. Sie können wählen, ob der LCD-Monitor oder der Videomonitor für die Bildüberwachung verwendet wird.

LCD: Zum Betrachten des Bilds auf dem LCD-Monitor

VIDEO OUT: Zum Betrachten des Bilds auf dem Videomonitor

Wenn Sie VIDEO OUT auf NTSC einstellen, können Sie das Bild sowohl auf dem LCD-Monitor als auch auf dem Videomonitor betrachten.

[10] Flüssigkristalldisplay (LCD)

In der Stellung CAMERA des Schalters PLAY/CAMERA wird das vom Objektiv eingefangene Bild angezeigt.

In der Stellung PLAY des Schalters PLAY/CAMERA wird das gespeicherte Bild angezeigt.

Wenn die Kamera über das USB-Kabel an einen Computer angeschlossen wird, verschwindet das Bild vom LCD-Monitor, und USB CONNECTED erscheint.

[11] Steuertaste (98, 111)

In der Stellung PLAY des Schalters PLAY/CAMERA dient diese Taste zum Auswählen eines Bilds.

Im MENU-Modus dient diese Taste zum Auswählen eines Menüpostens und zum Festlegen der Einstellung.

[12] Taste MENU (94, 111)

Dient zum Aufrufen der Menu-Anzeige. Durch erneutes Drücken wird die Menü- oder Layout-Anzeige ausgeblendet.

[13] Bereitschaftslampe (94)

Diese Lampe zeigt durch Leuchten oder Blinken die folgenden Zustände an.

In der Stellung CAMERA des Schalters PLAY/CAMERA

Blinken in Rot: Aufnahmevorbereitung, Blitzladung, Datenspeicherung (Aufnahmebetrieb ist gesperrt).

Schnelles Blinken in Rot: Batterien sind erschöpft.

Leuchten in Rot: Speicher voll (bei Einstellung von AUTO ERASE auf OFF)

Blinken in Grün: Aufnahmebereitschaft (manuelle Einstellung von Belichtung, Blende oder Weißabgleich)

Leuchten in Grün: Aufnahmebereitschaft (automatische Einstellungen)

In der Stellung PLAY des Schalters PLAY/CAMERA

Leuchten in Rot: Eine Störung ist aufgetreten. Wenden Sie sich an eine Sony-Kundendienststelle oder Ihren Sony-Händler.

Blinken in Grün: Speicher voll

Schnelles Blinken in Grün: Batterien sind erschöpft.

Leuchten in Grün: Normaler Betrieb

[14] Sucher

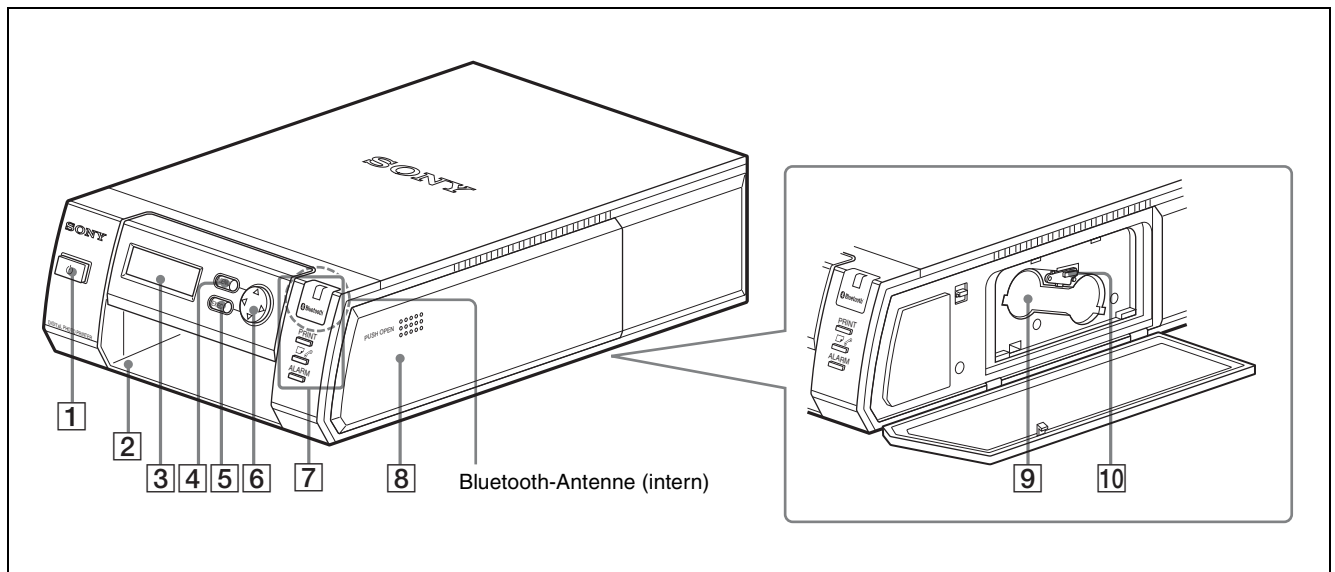
Sie können das Objekt durch den Sucher betrachten und ohne Benutzung des LCD-Monitors fotografieren.

Benutzen Sie den Sucher zur Überprüfung des Objekts.

Das Sucherbild stimmt nicht genau mit dem Objektivbild überein.

Drucker

Vorderseite



1 Taste und Lampe (Ein/Bereitschaft) (93, 128)

Drücken Sie diese Taste, um den Drucker einzuschalten und die Lampe zum Aufleuchten zu bringen. Bei erneutem Drücken erlischt die Lampe, und der Drucker wird in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

2 Papierkassettenschacht (92)

Hier wird die Papierkassette eingeschoben.

3 Betriebsdisplay

Wenn der Drucker eingeschaltet wird, wird hier der Betriebsmodus oder der Menüposten angezeigt.

4 Taste MENU (98, 128)

Drücken Sie diese Taste, um den Menüposten anzuzeigen oder an den Menüposten vorgenommene und noch nicht registrierte Änderungen zu annullieren.

5 Taste EXEC (98, 129)

Drücken Sie diese Taste, um die Einstellungen der einzelnen Menüposten festzulegen.

6 Steuertaste (98, 129)

Diese Taste dient zum Auswählen eines Menüpostens und zum Festlegen der Auswahl.

7 Lampen

Lampe  Bluetooth™: Leuchtet auf, wenn die Bluetooth-Funktion aktiviert ist.

Lampe PRINT: Leuchtet während des Druckvorgangs und blinkt, während der Drucker Bilddaten empfängt.

Lampe  : Leuchtet auf, wenn der Papiervorrat zur Neige geht, die Tintenpatrone leer wird, oder

Patronen und Papier unterschiedlicher Typen oder Formate gemischt werden.

Lampe ALARM: Leuchtet bei Auftreten einer Störung auf.

8 Patronenfachdeckel (90)

Öffnen Sie diesen Deckel, um die Druckpatrone einzusetzen und herauszunehmen.

9 Patronenfach (90)

Hier wird die Druckpatrone eingesetzt.

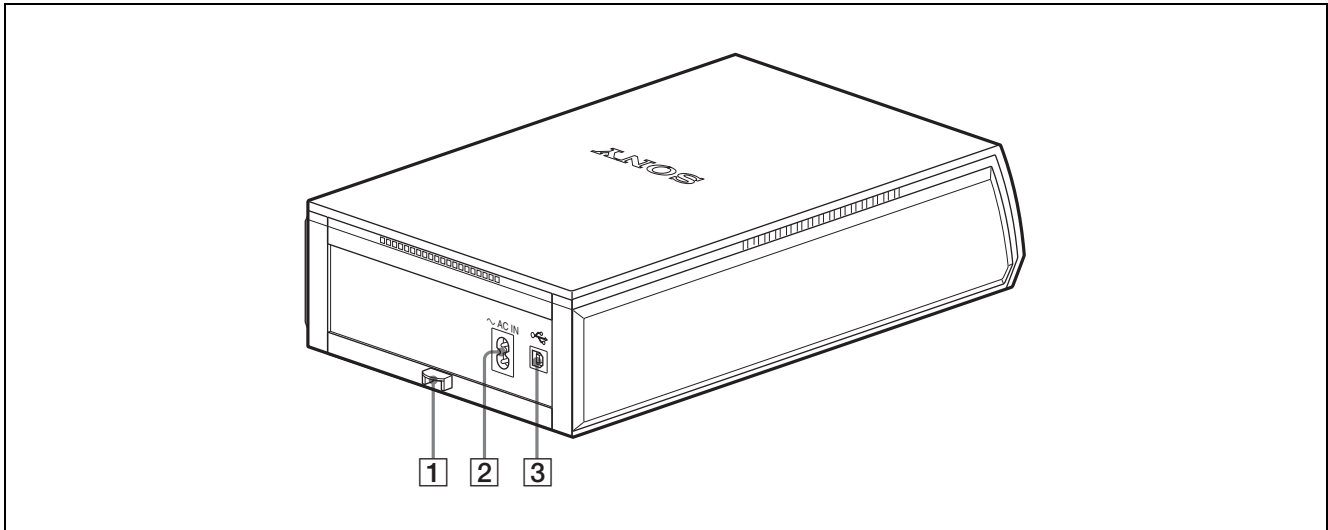
10 Patronenauswerfhebel (90)

Drücken Sie den Hebel nach oben, um die eingesetzte Patrone auszuwerfen.

Hinweis

Während des Druckvorgangs ist der Hebel funktionsunfähig.

Rückseite



1 Papierstau-Zugangsabdeckung (147)

Nehmen Sie diese Abdeckung im Falle eines Papierstaus ab, um das gestaute Papier zu entfernen.

2 Buchse ~AC IN (93)

Verbinden Sie diese Buchse über das mitgelieferte Netzkabel mit einer Netzsteckdose.

3 USB-Buchse

Verbinden Sie diese Buchse über das USB-Kabel mit dem USB-Anschluss eines Computers.

Hinweis

Bei manchen Computern, die über ein USB-Kabel angeschlossen werden, ist ein normaler Betrieb nicht möglich. Verwenden Sie in einem solchen Fall einen handelsüblichen USB-Hub.

Vorsichtsmaßnahmen

Sicherheit

- Betreiben Sie den Drucker und das Netzgerät an einer Stromquelle, die den Angaben unter „Technische Daten“ (Seite 142) entspricht.
- Achten Sie darauf, dass Sie das Netzkabel nicht beschädigen, indem Sie schwere Gegenstände darauf stellen oder fallen lassen, denn die Benutzung des Druckers oder Netzgeräts mit beschädigtem Netzkabel ist gefährlich.
- Wenn Sie beabsichtigen, den Drucker oder das Netzgerät längere Zeit nicht zu benutzen, trennen Sie das Netzkabel ab.
- Ziehen Sie zum Trennen des Netzkabels nur am Stecker, nicht am Kabel selbst.
- Solange das Netzgerät an die Netzsteckdose angeschlossen ist, fließt ein geringer Strombetrag in das Netzgerät.
- Das Netzgerät wird während des Betriebs warm. Das ist völlig normal.
- Achten Sie darauf, dass keine Metallgegenstände mit den Metallteilen des Netzgeräts oder der Anschlussplatte in Berührung kommen. Anderenfalls kann ein Kurzschluss auftreten und das Gerät beschädigt werden.
- Halten Sie die Metallkontakte des Netzgeräts stets sauber.
- Setzen Sie das Gerät keinen Erschütterungen aus, und lassen Sie es nicht fallen.
- Unterlassen Sie das Zerlegen oder Umwandeln des Geräts.
- Entfernen Sie nicht die Abdeckung. Es besteht Stromschlaggefahr von den Innenteilen.
- Achten Sie darauf, dass kein Wasser oder andere Flüssigkeiten über das Gerät verschüttet werden, und dass keine brennbaren oder metallischen Gegenstände in das Gehäuse eindringen. Wird das Gerät mit einem Fremdkörper im Gehäuse betrieben, besteht die Gefahr eines Ausfalls, eines Brands oder elektrischen Schlags.
- Der Drucker ist mit Lüftungsöffnungen versehen, um Überhitzen zu verhüten. Diese Öffnungen dürfen nicht durch andere Geräte oder Abdecken des Druckers mit einem Tuch usw. blockiert werden.
- Sollte eine Funktionsstörung des Druckers auftreten oder ein Fremdkörper in das Gehäuse fallen, trennen Sie den Drucker sofort von der Stromquelle, und konsultieren Sie die nächste Sony-Kundendienststelle oder Ihren Sony-Händler.

Aufstellung

- Vermeiden Sie die Aufstellung des Druckers oder der Kamera an Orten, die den folgenden Einflüssen ausgesetzt sind:
 - Vibrationen
 - hohe Luftfeuchtigkeit
 - starker Staubbiederschlag
 - Regennässe
 - direktes oder starkes Sonnenlicht
 - sehr hohe oder niedrige Temperaturen
 - in der Nähe starker Magnetfelder
 - in der Nähe von Quellen starker elektromagnetischer Strahlung, z.B. Radio- oder Fernsehsender
- Verwenden Sie keine anderen elektronischen Geräte in der Nähe des Druckers. In starken elektromagnetischen Feldern funktioniert der Drucker nicht einwandfrei.
- Stellen Sie keinen schweren Gegenstand, wie z.B. einen Monitor, auf den Drucker.
- Halten Sie das Netzgerät von MW-Radios fern, weil es den MW-Empfang stört.

Kondensation

- Wird der Drucker starken und abrupten Temperaturschwankungen ausgesetzt, z.B. wenn er von einem kalten in einen warmen Raum gebracht oder in einem Raum mit einer Heizung gelassen wird, die große Feuchtigkeitsmengen erzeugt, kann sich Kondensation im Inneren des Druckers bilden. In solchen Fällen besteht die Gefahr, dass der Drucker nicht einwandfrei funktioniert und bei fortgesetzter Benutzung sogar ein Defekt entsteht. Wenn sich Kondensation bildet, schalten Sie den Drucker aus, und lassen Sie ihn mindestens eine Stunde lang stehen.
- Wird das Printing Pack starken und abrupten Temperaturschwankungen ausgesetzt, kann sich Kondensation auf der Druckpatrone oder dem Papier bilden. Dies führt zu einer Funktionsstörung des Druckers. Wird das Printing Pack in diesem Zustand verwendet, können außerdem Flecken im Ausdruck erscheinen. Vermeiden Sie daher die Lagerung des Printing Packs an Orten, die starken und abrupten Temperaturschwankungen ausgesetzt sind.
- Lagern Sie ein angebrochenes Printing Pack luftdicht in seiner Originalverpackung. Bewahren Sie das versiegelte Printing Pack möglichst an einem kühlen und dunklen Ort auf. Um das Printing Pack erneut zu benutzen, lassen Sie es in der verschlossenen Verpackung mehrere Stunden lang in einem warmen Raum liegen. Dadurch wird verhindert, dass sich Kondensation bildet, wenn das Printing Pack aus seiner Verpackung genommen wird.

Lage

Um einen internen Wärmestau zu verhüten, lassen Sie genügend Freiraum um den Drucker, damit die Luft ungehindert durch die Lüftungsöffnungen auf der linken Seite des Gehäuses zirkulieren kann.

Zum Transport

- Transportieren Sie den Drucker nicht mit dem mitgelieferten Zubehör. Anderenfalls kann es zu einer Funktionsstörung kommen.
- Bewahren Sie den Original-Karton und das Verpackungsmaterial auf für den Fall, dass Sie den Drucker später einmal transportieren müssen.

Betrieb

Probeaufnahme

Vor der eigentlichen Aufnahme sollten Sie immer ein paar Probeaufnahmen machen und diese überprüfen, um sicherzustellen, dass die Kamera einwandfrei funktioniert.

Reinigung

- Drücken Sie die Einschalt-/Bereitschaftstaste des Druckers, so dass die Lampe erlischt, und ziehen Sie das Netzkabel ab, bevor Sie den Drucker reinigen.
- Reinigen Sie Gehäuse, Bedienungstafel und Bedienungselemente mit einem weichen, trockenen Tuch oder einem weichen Tuch, das Sie leicht mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet haben. Verwenden Sie keine Lösungsmittel, wie Alkohol oder Benzol, weil diese die Oberflächen angreifen.
- Verwenden Sie einen Blaspinsel, um Staub vom Objektiv zu entfernen.

Batterien

Beachten Sie die folgenden Punkte

- Um einen durch Kurzschluss verursachten Unfall zu verhüten, achten Sie darauf, dass keine Metallgegenstände mit den Batteriekontakten in Berührung kommen.
- Halten Sie die Batterien von Feuer fern.
- Setzen Sie die Batterien niemals Temperaturen über 60 °C aus, z.B. in einem in der Sonne geparkten Auto oder unter direktem Sonnenlicht.
- Halten Sie die Batterien trocken.
- Setzen Sie die Batterien keinen Erschütterungen aus.
- Unterlassen Sie Kurzschließen der Kontakte.
- Unterlassen Sie Zerlegen oder Modifizieren der Batterien.

- Setzen Sie die Batterien vorschriftsmäßig in Elektronikgeräte ein.
- Bitte schlagen Sie bezüglich weiterer Informationen in der Bedienungsanleitung des Elektronikgeräts nach.

Laden der Batterien

- Verwenden Sie nur das mitgelieferte Ladegerät.
- Um effizientes Laden zu ermöglichen, empfehlen wir, die Batterien bei einer Umgebungstemperatur zwischen 0 °C und 35 °C voll aufzuladen.

Verwendung der Batterien

- Laden Sie die Batterien vor Gebrauch auf.
- Die Batterieleistung nimmt bei niedrigen Temperaturen ab. Daher verkürzt sich die Nutzungsdauer der Batterien an kalten Orten. Um die Nutzungsdauer der Batterien zu verlängern, empfehlen wir Folgendes:
 - Bewahren Sie die Batterien in einer körpernahen Tasche auf, um sie zu erwärmen, und setzen Sie sie erst unmittelbar vor Aufnahmebeginn in das Elektronikgerät ein.
- Halten Sie Reservebatterien für das Zwei- bis Dreifache der voraussichtlichen Aufnahmedauer bereit, und machen Sie eine Probeaufnahme vor der eigentlichen Aufnahme.
- Falls sich die Kamera ausschaltet, obwohl die Batterie-Restzeitanzeige noch ausreichende Spannung für den Betrieb anzeigt, laden Sie die Batterien noch einmal voll auf, so dass die Batterie-Restzeitanzeige den korrekten Wert anzeigt. Beachten Sie jedoch, dass die korrekte Batterieanzeige manchmal nicht wiederhergestellt wird, wenn die Batterien längere Zeit bei hohen Temperaturen benutzt werden, in voll geladenem Zustand bleiben, oder häufig benutzt werden. Betrachten Sie den Wert der Batterie-Restzeitanzeige als die ungefähre Aufnahmedauer.

Korrekte Lagerung von Batterien

Wenn die Batterien längere Zeit nicht benutzt werden sollen, wenden Sie das folgende Verfahren einmal im Jahr an, um ihre Funktionstüchtigkeit aufrechtzuerhalten.

- 1** Laden Sie die Batterien voll auf.
- 2** Entladen Sie die Batterien in Ihrem Elektronikgerät.
- 3** Nehmen Sie die Batterien aus dem Gerät heraus, und lagern Sie sie an einem trockenen, kühlen Ort.

Batterielebensdauer

- Die Batterielebensdauer ist begrenzt. Im Laufe der Zeit nimmt die Batteriekapazität bei häufigem Gebrauch immer mehr ab. Wenn sich die Batterie-Nutzungsdauer beträchtlich verkürzt, haben die Batterien wahrscheinlich das Ende ihrer Lebensdauer erreicht. Sie müssen dann neue Batterien kaufen.
- Die Batterielebensdauer hängt von den jeweiligen Lagerungs- und Betriebsbedingungen sowie den Umgebungsfaktoren ab.

Garantie für Aufnahmeinhalt

Es besteht kein Anspruch auf Schadenersatz für den Aufnahmeinhalt, falls Aufnahme oder Wiedergabe wegen einer Funktionsstörung der Batterien usw. nicht durchführbar ist.

Sie müssen die Batterien vor dem Aufladen nicht entladen.
Laden einer noch nicht ganz leeren Batterie hat keinen Einfluss auf die ursprüngliche Batteriekapazität.

Technische Daten

Kamera

Allgemeines

Stromversorgung	Versorgung durch Sony NH-AA-Batterien oder Netzgerät (8,4 V Gleichstrom)
Eingangsstromstärke	max. 1,1 A (mit Netzgerät)
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C
Betriebsluftfeuchtigkeit	20 % bis 80 % (keine Kondensation)
Abmessungen (B/H/T)	230 × 190 × 74 mm
Gewicht	ca. 940 g

System

Kameratyp	Digitalkamera
Aufnahme-/Wiedergabesystem	Frame digital
Datenkomprimierung/-dekomprimierung	JPEG-Baseline-System
Speichermedium	Eingebauter 32-MB-Flashspeicher
Bildelemente	1/1,8-Zoll-4M-CCD-Festkörper-Bildelement
Aufnahmeauflösung	2288 × 1712 Pixel (HIGH) 1280 × 960 Pixel (MID) 832 × 624 Pixel (STD)
Aufnahmekapazität	ca. 20 oder mehr Bilder (Hohe Auflösung) ca. 80 oder mehr Bilder (Mittlere Auflösung) ca. 200 oder mehr Bilder (Standard-Auflösung)
Löschmethode	Einzelbildlöschung, Gesamtbildlöschung
Weißabgleich	AUTO, One Push, 3000K bis 7000K (500K-Stufen)
Belichtungsmessung	Mittenbetonung/Gesicht/Oberer Hintergrund
Belichtungsregelung	Programmierte Belichtung, Blendenvorrang, Shutter Range
Belichtungszeit	1/2 bis 1/1000 s
Lichtempfindlichkeit	Entspricht ISO 100
LCD-Monitor	1,8-Zoll-Kalt-Polysilikon-TFT-Farb-LCD-Sucher

Objektiv 110.000 Pixel
 f = 7,5 bis 19,8 mm, 2,6× (entspricht 36 bis 96-mm Brennweite bei einer 35-mm Kleinbildkamera), Autofokus
 Blendenwert: F2,8 (bei W) bis F4,8 (bei T)

Ein-/Ausgänge

VIDEO OUT 3,5 mm ø (Cinchbuchse)
 1,0 Vs-s, 75 Ohm unsymmetrisch, Sync negativ, FBAS-Signal
 NTSC-Farbfernsehsystem
 Burst-Pegel: 0,25 V ±0,03 V (10 %)
 Sync-Pegel: 0,29 V ±0,03 V (10 %)
 PAL-Farbfernsehsystem
 Burst-Pegel: 0,30 V ±0,03 V (10 %)
 Sync-Pegel: 0,30 V ±0,03 V (10 %)
 USB Entspricht Revision 1.1
 DC IN 8.4V 8,4 V Gleichstrom
 RELEASE 3,5 mm ø (Minibuchse)

Drucker

Stromversorgung 100 – 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
 Eingangsstromstärke max. 1,1 A
 Betriebstemperatur 5 °C bis 35 °C
 Lager-/Transporttemperatur –20 °C bis +60 °C
 Betriebsluftfeuchtigkeit 20 % bis 80 % (keine Kondensation)
 Maximalabmessungen (B/H/T) 203 × 85 × 305 mm
 Gewicht ca. 2,7 kg (nur Hauptgerät)
 Druckverfahren Sequentieller Vierflächen-Sublimations-Wärmetransferprozess (Gelb, Magenta, Cyan, Laminat)
 Druckauflösung 403 × 403 dpi
 Thermokopf 403 Punkte/Zoll
 Druckabstufungen 8 Bits für Gelb, Magenta, Cyan
 Druckzeit Serie UPC-X46: 100 Sek./Blatt
 Serie UPC-X34: 65 Sek./Blatt
 Papierzuführung Automatischer Einzug von Papierkassette
 Maximale Kapazität der Papierkassette Serie UPC-X46: 25 Blatt
 Serie UPC-X34: 30 Blatt
 Papierauswerfverfahren Frontauswurf
 Die Blätter werden der Reihe nach auf die Papierkassette ausgeworfen.
 Druckkapazität der Farbbandpatrone Serie UPC-X46: 25 Blatt
 Serie UPC-X34: 30 Blatt

Eingänge AC IN (Netzeingang)
 Maximales Druckformat Serie UPC-X46: 101,6 × 151,4 mm (ohne Rand)
 Serie UPC-X34: 70,1 × 95,3 mm (mit Rand)
 Pixelauflösung Serie UPC-X46: 1664 × 2440 Punkte
 Serie UPC-X34: 1112 × 1512 Punkte

USB-Schnittstelle

Datenübertragungssystem Entspricht den Universal Serial Bus-Spezifikationen Revision 1.1

Kontaktbelegung der USB-Buchse

E/A	Signal	Funktion
	V _{CC}	Kabelstrom, maximale Stromstärke: 100 mA
E/A	–Daten	Daten
E/A	+Daten	Daten, kann über 1,5-kOhm-Widerstand bis auf +3,3 V hochgezogen werden
	ERDE	Kabelerde

Bluetooth-Spezifikationen

Kommunikationstyp Bluetooth-Spezifikation, Ver. 1.1
 Maximale Übertragungsgeschwindigkeit¹⁾ ca. 723 Kbps
 Ausgang Bluetooth-Spezifikation, Power Class 2
 Kommunikationsentfernung²⁾ ca. 10 m ohne Hindernisse
 Kompatibles Bluetooth-Profil³⁾ Basic Imaging Profile (Image Push Feature)
 Frequenzband 2,4 GHz (2,400 GHz – 2,4835 GHz)

- 1) Maximale Datenübertragungsgeschwindigkeit auf Basis der Bluetooth-Spezifikation, Ver. 1.1. Diese Geschwindigkeit hängt von der Entfernung zwischen den Geräten, von Hindernissen, den Funkwellenbedingungen, der Anwendungssoftware oder dem Betriebssystem ab.
- 2) Diese Entfernung hängt von der Entfernung zwischen den Geräten, von Hindernissen, den Funkwellenbedingungen, der Anwendungssoftware oder dem Betriebssystem ab.
- 3) Diese Spezifikation entspricht dem Verwendungszweck zwischen zwei Bluetooth-Geräten. Sie wird durch die Bluetooth-Spezifikation definiert.

Netzgerät

Stromversorgung 100 – 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
 Leistungsaufnahme 18 W
 Eingangsstromstärke 0,35 – 0,18 A

Ausgangsspannung	8,4 V Gleichstrom, 1,5 A im Betriebsmodus
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Lagertemperatur	–20 °C bis +60 °C
Abmessungen (B/H/T)	ca. 100 × 31 × 56 mm einschließlich vorspringender Teile
Gewicht	ca. 190 g

Ladegerät

Stromversorgung	100 – 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme	10 W
Output	1,2 V Gleichstrom AA: 1280 mA × 2/640 mA × 4
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Abmessungen (B/H/T)	ca. 65 × 106 × 32 mm (ohne Stecker)
Gewicht	ca. 120 g (ohne Batterien)

Mitgeliefertes Zubehör

Papierkassette für die Serie UPC-X46 (1)
Papierkassette für die Serie UPC-X34 (1)
Kassettenabdeckung (1)
Papierhalter (2)
Netzkabel (2 oder 3)
Netzgerät PCS-AC08/1 (1)
NH-AA-Batterien (4)
Lithiumknopfzelle CR-2025 (1)
Ladegerät (1)
Reinigungskassette (1)
CD-ROM (1)
Bedienungsanleitung (1 oder 2)
Software-Lizenzvereinbarung (1)

Sonderzubehör

Digitaler Fotodrucker UP-DX100
Papierkassette UPA-DX100TR
Selbstlaminierendes Color Printing Pack der Serie 10UPC-X46 (250 Blatt)
Selbstlaminierendes Color Printing Pack der Serie 10UPC-X45 (250 Blatt)
Selbstlaminierendes Color Printing Pack der Serie 10UPC-X34 (300 Blatt)
Fernauslöser RM-91

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Fehlerbehebung

Sollte während der Benutzung des UPX-C200 ein Problem auftreten, nehmen Sie die folgende Tabelle als Leitfaden zu Hilfe, um das Problem zu beheben. Falls das Problem bestehen bleibt, wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler oder die nächste autorisierte Sony-Kundendienststelle.

Kamera

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Die Kamera schaltet sich nicht aus, obwohl der Schalter POWER auf OFF gestellt wird.	Die Kamera benötigt längere Zeit für die interne Datenverarbeitung. → Warten Sie eine Weile, und falls sie sich dann noch immer nicht ausschaltet, trennen Sie das Netzgerät von der Kamera, oder öffnen Sie den Batteriefachdeckel.
Der Schalter POWER der Kamera steht auf ON, aber Kamera und Drucker werden nicht verbunden.	- Der Drucker ist nicht eingeschaltet. → Schalten Sie den Drucker und dann die Kamera ein. - Die Bluetooth-Lampe der Kamera oder des Druckers ist erloschen. → Bringen Sie beide Lampen zum Aufleuchten. (Siehe „Einschalten der Lampe Bluetooth“ (auf Seite 132).) „NO PRINTER“ erscheint. → Die Registrierung des Druckers wird abgebrochen. Registrieren Sie den Drucker. (Siehe „Hinzufügen/Registrieren des Druckers“ in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung).)

Während der Aufnahme

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Trotz Betätigung des Auslösers erfolgt keine Aufnahme.	• Der Schalter PLAY/CAMERA steht nicht auf CAMERA. → Stellen Sie den Schalter auf CAMERA. • Die Kamera speichert gerade Daten oder lädt den Blitz auf (die Bereitschaftslampe blinkt in Rot). → Warten Sie, bis die Bereitschaftslampe leuchtet oder in Grün blinkt. • Der Speicher ist voll (die Bereitschaftslampe leuchtet in Rot). → Überprüfen Sie die Anzeige der noch verfügbaren Bildrestzahl. Ist diese Zahl Null, löschen Sie unnötige Bilder. → Setzen Sie AUTO ERASE auf ON. (Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung (Fortgeschrittene Bedienung) nach.)
Der Blitz wird nicht ausgelöst.	• Der Blitzmodus ist nicht richtig eingestellt. → Setzen Sie FLASH MODE im Menü auf A$\frac{1}{2}$, $\frac{1}{2}$ oder M$\frac{1}{2}$. • Das Kabel des externen Blitzgeräts ist nicht an die Kamera angeschlossen. → Schließen Sie das Kabel des externen Blitzgeräts an die Buchse FLASH der Kamera an. • Die Batterien sind entladen. → Laden Sie die Batterien auf, oder ersetzen Sie sie durch neue. • Der Blitz hat möglicherweise das Ende seiner Lebensdauer erreicht. → Wenden Sie sich an eine Sony-Kundendienststelle oder Ihren Sony-Händler.

Flüssigkristalldisplay der Kamera

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Kein Wiedergabebild.	• Der Schalter MONITOR (PAL) der Kamera wurde auf VIDEO OUT gestellt, nachdem ein Videokabel angeschlossen und der Menüposten VIDEO OUT auf PAL eingestellt wurde. → Stellen Sie den Schalter auf LCD. → Trennen Sie das Videokabel ab.

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Bei Wiedergabe unter niedrigen Temperaturen scheint das Bild gekrümmte Ränder aufzuweisen. Das Bild weist einige rote, blaue und grüne Punkte auf, oder schwarze Punkte sind sichtbar.	Dieses Phänomen ist auf die Flüssigkristalle zurückzuführen. → Normaler Zustand
Animation von Papier	• Der Drucker druckt gerade ein Bild aus. → Warten Sie, bis der Druckvorgang beendet ist. Wiederholen Sie dann den Vorgang.
Die Datenübertragung ist beendet, aber die Anzeige erstarrt.	• Der Drucker führt Druckpapier zu. → Warten Sie, bis die Papierzuführung beendet ist und der Druckvorgang beginnt. Dann ändert sich das angezeigte Bild.

Bildqualität

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Das Bild ist unscharf.	• Die Schärfe ist nicht richtig eingestellt. → Überprüfen Sie den Abstand zwischen dem Objektiv und dem Objekt, und bringen Sie das Objekt in den Scharfeinstellbereich. • Die Kamera wurde beim Drücken des Auslösers bewegt. → Halten Sie die Kamera ruhig, und drücken Sie den Auslöser sanfter. • FLASH MODE ist auf A$\frac{1}{2}$ oder $\frac{1}{2}$ eingestellt, und die Belichtungszeit ist zu lang. → Stellen Sie die geeigneten Aufnahmebedingungen ein. (Siehe „Einstellen der Aufnahmebedingungen“ auf Seite 116.) • Das Objektiv ist verschmutzt. → Reinigen Sie das Objektiv mit einem sauberen, weichen, trockenen Tuch.

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Das Bild ist zu dunkel.	• Der Blitz wurde durch einen Finger oder ein anderes Hindernis verdeckt. → Halten Sie die Kamera richtig, und achten Sie darauf, dass der Blitz durch nichts verdeckt wird. • Das Objekt war zu weit entfernt. → Fotografieren Sie innerhalb der Blitzreichweite. → Nehmen Sie eine Belichtungskorrektur vor. • Es war Gegenlicht vorhanden. → Verwenden Sie den Blitz.
Die Farben bei Innenaufnahme sind nicht korrekt.	Dies ist auf Leuchtstofflampenlicht zurückzuführen. → Stellen Sie den Weißabgleich korrekt ein. (Siehe „Einstellen des Weißabgleichs (W.B.)“ auf Seite 118.)
Ein Teil des Bilds fehlt.	Ein Finger hat das Objektiv verdeckt. → Halten Sie die Kamera richtig, und achten Sie darauf, dass das Objektiv nicht durch einen Finger verdeckt wird.
Die Bildumgebung ist dunkel.	• Der Zoomfaktor ist bei Blitzeinsatz höher als 1.3×. → Stellen Sie den Zoomfaktor auf 1.3× oder niedriger ein.

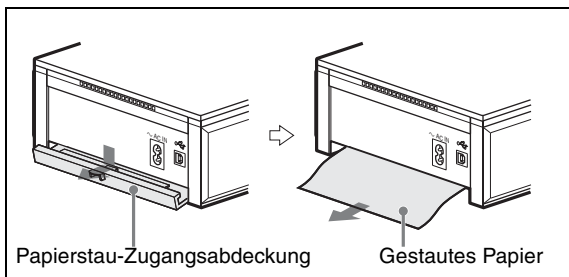
Drucker

Symptom	Mögliche Ursachen/ Abhilfemaßnahmen
Der Drucker funktioniert nach dem Einschalten nicht.	• Das Netzkabel ist nicht richtig angeschlossen. → Schließen Sie das Netzkabel einwandfrei an eine Netzsteckdose an.
Drucken nicht möglich.	• Druckpapier und Druckpatrone passen nicht zueinander. → Verwenden Sie das empfohlene Printing Pack sowie Druckpapier und eine Druckpatrone des gleichen Formats. • Der Thermokopf ist möglicherweise überhitzt. „Waiting“ erscheint auf dem Betriebsdisplay. → Warten Sie, bis der Thermokopf abgekühlt ist und der Drucker den Druckbetrieb fortsetzt. • Es liegt möglicherweise ein Papierstau vor. → Entfernen Sie das gestaute Papier. (Siehe „Im Falle eines Papierstaus“ auf Seite 147.)
Der Piepton ertönt.	→ Vergewissern Sie sich, dass Sie das korrekte Verfahren anwenden.
Die Druckpatrone lässt sich nicht herausnehmen.	→ Die Druckpatrone kann nicht während des Druckbetriebs herausgenommen werden. Warten Sie, bis der Druckvorgang beendet ist. Falls das Problem dadurch nicht gelöst wird, wenden Sie sich an eine Sony-Kundendienststelle oder Ihren Sony-Händler.
Die Anzeige ALARM leuchtet, oder eine Fehlermeldung wird angezeigt.	→ Folgen Sie den Anweisungen auf dem Bildschirm.
Die ausgedruckten Bilder weisen eine weiße Linie oder Punkte auf.	• Möglicherweise haftet Staub am Thermokopf. → Möglicherweise ist der Druckkopf oder der Papierweg verschmutzt. Verwenden Sie die mitgelieferte Reinigungskassette, um Druckkopf und Papierweg zu reinigen. (Siehe „Reinigen der Drucker-Innenseite“ auf Seite 147.) • Die Rolle im Drucker kann möglicherweise das Druckpapier beschädigen. → Verringern Sie die Anzahl der Blätter in der Papierkassette.

Im Falle eines Papierstaus

Falls ein Papierstau auftritt, leuchtet die Lampe ALARM auf, eine Fehlermeldung erscheint, und der Druckbetrieb wird gestoppt.

- 1 Drücken Sie die Einschalt-/Bereitschaftstaste, so dass die Lampe erlischt.
- 2 Nehmen Sie die Papierkassette heraus, und entfernen Sie das gestaute Papier vom Papierkassettenschacht.
- 3 Entfernen Sie die Papierstau-Zugangsabdeckung an der Rückwand, um sich zu vergewissern, dass sich kein Papier mehr im Drucker befindet. Falls sich noch gestautes Papier im Drucker befindet, entfernen Sie es.



- 4 Bringen Sie nach dem Entfernen des gestauten Papiers die Abdeckung wieder an.
- 5 Hier wird die Papierkassette eingeschoben.
- 6 Schalten Sie den Drucker ein.

Hinweis

Falls sich das gestaute Papier nicht entfernen lässt, wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler.

Reinigen der Drucker-Innenseite

Falls weiße Linien oder Punkte auf den ausgedruckten Bildern erscheinen, reinigen Sie die Innenseite des Druckers mit Hilfe der mitgelieferten Reinigungskassette und der im Printing Pack enthaltenen Schutzfolie.

Hinweise

- Nehmen Sie die Reinigung nur vor, wenn weiße Linien oder Punkte im Ausdruck erscheinen.
- Wenn Sie bereits eine einwandfreie Druckqualität erhalten, wird die Qualität der ausgedruckten Bilder durch eine Reinigung nicht zusätzlich verbessert.

- 1 Nehmen Sie die Papierkassette aus dem Drucker heraus. Falls sich Papier in der Kassette befindet, nehmen Sie das Papier aus der Kassette heraus.

- 2 Legen Sie die Schutzfolie mit der Druckseite nach unten so in die Kassette ein, dass der Pfeil in die gleiche Richtung wie der Pfeil in der Kassette zeigt.
- 3 Öffnen Sie den Patronenfachdeckel, und nehmen Sie die Druckpatrone heraus.

- 4 Setzen Sie die mitgelieferte Reinigungskassette in den Drucker ein, und schließen Sie den Patronenfachdeckel.

Ein Summer ertönt, und „HEAD CLEANING/PUSH [EXEC]“ erscheint auf dem Betriebsdisplay.

- 5 Drücken Sie die Taste EXEC.

Die Innenseite des Druckers wird nun durch die Reinigungskassette und die Schutzfolie gereinigt. Nach dem Abschluss der Reinigung wird die Schutzfolie automatisch ausgeworfen.

- 6 Nehmen Sie die Reinigungskassette aus dem Drucker heraus, und setzen Sie die Druckpatrone und die Papierkassette wieder ein.

Bluetooth-Funktion

Symptom	Mögliche Ursachen/Lösungen
Es werden keine Daten übertragen.	• Der Abstand zwischen dem Gerät und dem Drucker ist zu groß. → Halten Sie den Abstand zwischen den Geräten innerhalb des maximal zulässigen Bereichs. • Der Bluetooth-Antennenteil des Druckers und/oder der Kamera wird von einer Hand usw. verdeckt. → Verdecken Sie nicht den Antennenteil. • Das Gerät, das Sie mit dem Drucker verbinden wollen, ist bereits mit einem anderen Gerät verbunden. → Verbinden Sie das Gerät erneut mit dem Drucker, nachdem die Kommunikation des Geräts mit dem anderen Gerät beendet ist. • Die Authentifizierung ist misslungen. → Verbinden Sie den Drucker erneut mit dem Gerät, und geben Sie den gleichen Passkey an beiden Geräten korrekt ein. • Das verbundene Gerät hat die Übertragung unterbrochen. → Überprüfen Sie den Status des verbundenen Geräts, und stellen Sie dann die Verbindung erneut her. • Die Bluetooth-Verbindung wurde auf der Seite des verbundenen Geräts unterbrochen. → Überprüfen Sie den Status des verbundenen Geräts.
Die Verbindung wird unterbrochen.	• Es wurde nicht der gleiche Passkey eingegeben. → Geben Sie den gleichen Passkey korrekt an Drucker und Kamera ein. • Das Gerät hat die Verbindung unterbrochen oder beendet. → Überprüfen Sie den Status des Geräts, versuchen Sie, die Verbindung mit dem Gerät wieder herzustellen, und geben Sie den Passkey korrekt ein.
Die Authentifizierung ist misslungen.	• Es wurde nicht der gleiche Passkey eingegeben. → Geben Sie den gleichen Passkey korrekt an Drucker und Kamera ein. • Das Gerät hat die Verbindung unterbrochen oder beendet. → Überprüfen Sie den Status des Geräts, versuchen Sie, die Verbindung mit dem Gerät wieder herzustellen, und geben Sie den Passkey korrekt ein.

Symptom	Mögliche Ursachen/Lösungen
Die Datenübertragungsgeschwindigkeit ist zu niedrig.	• Der Bluetooth-Antennenteil des Druckers und/oder der Kamera wird von einer Hand usw. verdeckt. → Verdecken Sie nicht den Antennenteil. Die Datenübertragungsgeschwindigkeit hängt von der Entfernung zwischen Drucker und Kamera, von Hindernissen oder den Funkwellenbedingungen ab. Ändern Sie die Position des Druckers, oder stellen Sie den Drucker näher am Gerät auf.
Es wird keine Verbindung hergestellt, obwohl der Abstand zwischen dem Drucker und dem gewünschten Gerät innerhalb von 10 m liegt.	• Der Bluetooth-Antennenteil des Druckers und/oder der Kamera wird von einer Hand usw. verdeckt. → Verdecken Sie nicht den Antennenteil. Die Datenübertragungsgeschwindigkeit hängt von der Entfernung zwischen Drucker und Kamera, von Hindernissen oder den Funkwellenbedingungen ab. Ändern Sie die Position des Druckers, oder stellen Sie den Drucker näher am Gerät auf. • Das gewünschte Gerät ist gegenwärtig mit einem anderen Gerät verbunden. → Wenn das Gerät mit einem anderen Gerät verbunden ist, wird es eventuell nicht als verfügbares Gerät angezeigt oder ist zu dem Zeitpunkt nicht anschließbar. • Das Gerät kann nicht über die Bluetooth-Funktionen verbunden werden. → Stellen Sie das Gerät so ein, dass es anschließbar ist.

Ladegerät

Symptom	Mögliche Ursachen/Lösungen
Die Lampe CHARGE blinkt.	• Die Batterien sind erschöpft, oder es liegt eine andere Störung der Batterien vor. → Verwenden Sie neue NH-Batterien. • Es werden andere Batterien als NH-Batterien geladen. → Ersetzen Sie die Batterien durch NH-Batterien.

Symptom	Mögliche Ursachen/Lösungen
Die Lampe CHARGE leuchtet nicht auf.	• Die Batterien sind falsch eingelegt. → Legen Sie die Batterien richtig ein. • Schlechter Kontakt der Batterien → Reinigen Sie die Kontakte des Ladegeräts sowie die Pole ⊕ und ⊖ der Batterien. • Schlechter Kontakt mit der Stromquelle → Reinigen Sie den Stecker. → Schließen Sie das Ladegerät an eine andere Netzsteckdose an.

Fehlermeldungen

Fehlermeldungen		Mögliche Ursachen/Abhilfemaßnahmen
Kamera	Drucker	
SET MEDIA	RIBBON END SET CARTRIDGE	• Die Druckpatrone ist verbraucht. → Wechseln Sie dann die Druckpatrone aus.
	SET PAPER PUSH EXEC	• Das Druckpapier ist verbraucht. → Legen Sie Druckpapier in die Papierkassette ein, und drücken Sie die Taste EXEC. • Die Papierkassette ist nicht in den Drucker eingeschoben. → Schieben Sie die Papierkassette ein, und drücken Sie die Taste EXEC.
CHECK PRINTER	PAPER JAMMING REMOVE PRINTS	• Es liegt möglicherweise ein Papierstau vor. → Entfernen Sie das gestaute Papier, falls vorhanden. Siehe „Im Falle eines Papierstaus“ auf Seite 147.
	MEDIA MISMATCH PUSH EXEC	• Druckpapier und Druckpatrone passen nicht zueinander. → Legen Sie Druckpapier des für die Druckpatrone passenden Formats ein, und drücken Sie die Taste EXEC.
	REMOVE PRINTS PUSH EXEC	• Das Druckpapier verbleibt im Auswurfschlitz. → Nehmen Sie die Papierkassette und dann das Druckpapier heraus. Drücken Sie dann die Taste EXEC.
	PRINTER ERROR SERVICE CALL	• Es liegt eine Störung im Drucker vor. → Wenden Sie sich an eine Sony-Kundendienststelle oder Ihren Sony-Händler.
	Bluetooth ERROR SERVICE CALL	• Es liegt eine Störung in der Bluetooth-Funktion vor. → Wenden Sie sich an eine Sony-Kundendienststelle oder Ihren Sony-Händler.
COMMUNICATION ERROR	—	• Das Menü erscheint auf dem Betriebsdisplay des Druckers. → Drücken Sie die Taste MENU am Drucker, um die Anzeige „Ready“ wieder aufzurufen. • Der Drucker überträgt Daten über USB. → Warten Sie, bis die Datenübertragung beendet ist. Wiederholen Sie dann den Vorgang.
PAPER SIZE MISMATCH	—	• Es wurde ein Druckformat gewählt, das nur bei Installation der Serie UPC-X46 verfügbar ist, obwohl die Serie UPC-X34 im Drucker installiert ist. → Ersetzen Sie das Printing Pack im Drucker durch die Serie UPC-X46. → Wählen Sie mit der Taste SIZE der Kamera ein Druckformat, das mit der Serie UPC-X34 gedruckt werden kann.

Drücken Sie die Taste MENU, um die Fehlermeldung der Kamera nach dem erwähnten Vorgang auszuschalten.

Index

A

AE AREA 107
Aktuelle Bildnummer 99
Anzahl der auszudruckenden Blätter 96, 98
Anzahl der speicherbaren Bilder 95, 99, 114, 145
Anzeige „Demo Layout“ 131
Anzeige der Funkwellenstärke 96
APERTURE 106, 117
Auflösung 95, 99
 Empfohlene Bildauflösungen 115
Aufnahmebedingungen 85, 95, 116
 Werksseitig einstellen 94
Aufnahmekapazität 142
Aufnahmekontrollbild 136
Ausblenden der Führungslinien 124
Ausdrucken 96
 Ein in der Kamera gespeicherten Bild 97
 Mehrere Bilder auf ein einzelnes Blatt Papier 97
 Soeben aufgenommene Bild 96
Ausdruckgrößen 121, 122, 123
Ausgangssignalformat 125
Auslöser 135
AUTO ERASE 106
Autofokus-Funktion 95, 135

B

Basic Imaging Profile (BIP) 131
Batteriefachdeckel 135
Batterien 87, 112
 Auffrischen 113
 Laden 112
Batteriespannungsanzeige 113
BATTERY REFRESH 109
Belichtung 85, 117
 Automatik 85
 Korrektur 95, 117
 manuelle 85, 86
Belichtungskorrekturanzeige 95
Belichtungszeit 95, 117
Bereitschaftslampe 137
Bereitschaftsmodus 102
Betriebsdisplay 138
Bild
 Anzeigen 98
 Ausdrucken 96
 Fotografieren 94
 Löschen 95, 99

Schützen 100
Bildauflösung 94, 114, 115
Bildrestzahl 95, 99, 145
Bildschutzfunktion 100
BIP 131
Blende 95, 117
Blitz 134
Blitzmodus 85, 117
 Blitzautomatik 85
 Blitzsperre 85, 86
 Zwangsblitz 85
Bluetooth 109
Bluetooth SETTING 110
Bluetooth-Anzeige 131
 erloschen 131
Buchse ~AC IN 139
Buchse DC IN 8.4V 135
Buchse FLASH 134
Buchse RELEASE 134
Buchse VIDEO OUT 134

C

CD-ROM-Anleitung 86, 87
CLOCK 108, 114
COLOR ADJUST 110, 128
COPY PRINT 98, 110

D

Datenübertragung 96
 Abbrechen 96
Datum 99, 114
DELETE 107
DELETE ALL 107
Dienstprogramm 87
Drahtlose Bluetooth-Technologie
 Aktuelle Einstellungen 132
 Einstellungen am Drucker 132
 Einstellungen an der Kamera 132
Drucker 90, 110
 Entfernen 133
 Hinzufügen 133
 Reinigen 147
 Vorbereiten 90
Druckformat 96, 114, 115, 118
 Wahl 97
Druckpapier 92
Druckpatrone 90
 Auswechseln 90
 Einsetzen 90
Druckposition 130
Druckqualität 128
 Einstellen 128
Druckzeit 143

E

Einstellungen
 Laden 130
 Speichern 129
EXIT 106, 107
EXPOSURE 106, 117
Exposure Mode 106, 116
 Belichtungsautomatik 85
 Manuelle Belichtung 85, 86

F

Farbe (COLOR/B/W)
 Wahl 96, 97
Feststehende Führungslinien 120
Firmware Ver. 109
FLASH MODE 106, 117
Flüssigkristalldisplay 137
Fokusanzeige
 scharf (grün)/unscharf (rot) 95
FRAME 108, 119
FRAME-[1] 119
FRAME-[2] 119
FRAME-[3] 120
FRAME-[4] 120
FRAME-[5] 122
FRAME-[6] 123
Führungslinie 122
 Einstellen der Breite der Führungslinien 123
 Einstellen der oberen und unteren Führungslinie 122
 Feststehenden Führungslinien 120

G

Gesamtzahl der gespeicherten Bilder 99
Geschützten Bild 102
Griff 135
Größeneinheit 125

I

Image Push Feature 131

K

Kassettenkappe 92
Knopfzelle 87, 88

L

Laden der Batterien 112
Lampe  138
Lampe ALARM 138
Lampe Bluetooth 134, 138
 Ausschalten 133

Einschalten 132
Lampe PRINT 138
Lampe PRINTER ALARM 136
Layout-Ansicht 96
LCD-Monitor-Anzeigen
 Modus CAMERA 95
 Modus PLAY 99
Leitbild 129
LOAD/SAVE SETTING 107
Löschen
 Alle Bilder 100
 Beenden 100
 Brechen 100
 Einzel 99
 Neun-Bild-Anzeige 100
 Soeben aufgenommenen Bild 95

M

MEMORY FORMAT 109
Menü 103
 Drucker 105
 Funktionen der einzelnen
 Menüposten 106
 Kamera 103
 Modus CAMERA 103, 106
 Modus PLAY 103, 107
 SETUP-Menü 104, 108
 Sperren 127
 Struktur 103
MOVE 107, 127

N

Netz 88, 93
 Druckers 93
 Kamera 88
Neun-Bild-Anzeige 98

O

Objektiv 128, 135
 aus Transportstellung lösen 128
 in Transportstellung bringen 128

P

Papierhalter 91
 Abnehmen 91
 Anbringen 91
Papierkassettenschacht 138
Papierstau 147
Papierstau-Zugangsabdeckung 139
Passkey 109, 132, 148
 Einstellungen ändern 132
PASSKEY INPUT 132
Patronenauswerfhebel 138
Patronenfach 138
Patronenfachdeckel 138

POWER SAVE 108, 124
PRINT SETTING 110, 130
PRINT SIZE LIST 108, 118
Printing Pack 90
PROPERTY 107
PROTECT 100, 107
PROTECT ALL 107

Q

Qualität eines Schwarzweißbilds 97

R

Rahmen 89, 119
RESOLUTION 106, 114
RETURN 108

S

Schalter MONITOR (PAL) 137
Schalter PLAY/CAMERA 137
Schalter POWER 136
Schützen
 Alle Bilder 101
 Einzel 100
 Geschütztes Bild löschen 102
 Neun-Bild-Anzeige 101
Schutzsymbol 99
SETUP-Menü 104, 108
SHUTTER 106, 117
SIZE UNIT 108, 125
SOUND 108, 126
Speicher 94, 95
 Bilder aus dem Speicher löschen
 95, 99, 100
Speichereffekt 113
Stativ 89
Stativgewinde 135
Steuertaste 137, 138
Stromquelle 95, 99
Stromsparmodus 89, 124
Stromversorgung 88
 Ausschalten der Kamera 102
Sucher 135, 137
Systemkonfiguration 82
 Anschließen an einen Computer
 82
 Verwendung der Bluetooth-
 Funktion 82

T

Taste COLOR/B/W 136
Taste EXEC 138
Taste MENU 137, 138
Taste PRINT 136
Taste PRINTER 136
Taste SIZE 136

Taste und Lampe  (Ein/
Bereitschaft) 138
Ton 126
TRANSPORT SETTING 107, 128
Transportstellung des Objektivs 128

U

Übersichtsformate 84, 129
Uhr 89, 114
USB 109, 126
USB-Buchse 134, 139
USB-Klasse 126
Utility Software 82

V

Verschieben 127
 Neun-Bild-Anzeige 127
VIDEO OUT 108, 125
Vorbeleuchtung 116
Vorlichtmessung 116

W

W.B. 106, 118
Weißabgleich 118
Wiederausdruck 98

Z

ZOOM 106, 115
Zoombereich 115
Zoomleiste 95
Zoomwippe 136

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

per la DKC-C200X Digital Still Camera ATTENZIONE

Pericolo di esplosione se la batteria non è sostituita correttamente. Sostituire solo con una batteria dello stesso tipo o di un tipo consigliato dal fabbricante. Smaltire le batterie usate secondo le istruzioni del fabbricante.

per la stampante UP-DX100, alimentatore AC e caricabatteria AVVERTENZA

Questo apparecchio non è dotato di un interruttore di alimentazione.

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare il cavo di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare il cavo di alimentazione.



Per clienti in Europa

Sony Corporation dichiara con la presente che questi DKC-C200X e UP-DX100 sono conformi ai requisiti essenziali e altre clausole pertinenti della direttiva 1999/5/EC.

Per i dettagli, consultare l'URL che segue:

<http://www.compliance.sony.de/>

Questi prodotti sono destinati all'uso nei seguenti paesi: Austria, Belgio, Danimarca, Finlandia, Francia, Germania, Grecia, Irlanda, Islanda, Italia, Liechtenstein, Lussemburgo, Norvegia, Paesi Bassi, Polonia, Portogallo, Regno Unito, Repubblica Ceca, Spagna, Svezia, Svizzera e Ungheria.

Per clienti in Europa

Il produttore di questo prodotto è Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.

Il rappresentante autorizzato per la compatibilità elettromagnetica e la sicurezza del prodotto è Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germania. Per gli aspetti riguardanti l'assistenza o la garanzia, utilizzare i dati di contatto forniti nei documenti relativi all'assistenza o alla garanzia.

- Windows® è un marchio commerciale di Microsoft Corporation registrato negli Stati Uniti d'America e in altri paesi.
- Tutte le altre aziende e nomi di prodotto citati qui possono essere marchi commerciali o marchi commerciali registrati dalle rispettive aziende. Inoltre, in questo manuale non sono riportati ogni volta i simboli "TM" e "®".

Duplicazione, montaggio o masterizzazione di CD, di programmi TV, di materiali protetti da diritto d'autore quali immagini o pubblicazioni o di qualsiasi altro materiale eccetto che per registrazione e creazione personale sono limitati unicamente all'uso privato e domestico. A meno che non siate il detentore del diritto d'autore o abbiate l'autorizzazione dei detentori del diritto d'autore dei materiali da duplicare, l'uso di tali materiali senza rispettare questi limiti potrebbe violare i termini della legge sul diritto d'autore ed essere soggetto a richieste di indennizzazione da parte del detentore del diritto d'autore.

Se la stampante viene usata per immagini fotografiche, prestare particolare attenzione a non violare i termini della legge sul diritto d'autore. Anche l'uso non autorizzato o la modifica di fotografie della persona potrebbero violare i diritti dei soggetti. Per alcune dimostrazioni, spettacoli o mostre le fotografie potrebbero essere proibite.

Indice

Descrizione del sistema	155
Configurazione del sistema	155
Stampe effettuabili con questo sistema	156
Modi flash e esempi di condizioni di scatto ...	158
Accessori forniti	159
Disimballo	159
Lettura del manuale su CD-ROM fornito	159
Preparativi	160
Preparazione dell'apparecchio fotografico	160
Preparazione della stampante	162
Funzionamento	166
Preparativi	166
Scattare una fotografia	167
Stampa di un'immagine	168
Ristampa di un'immagine salvata nella memoria della stampante (COPY PRINT)	170
Visualizzazione di un'immagine	171
Eliminare un'immagine	172
Proteggere un'immagine (PROTECT)	173
Spegnimento dell'alimentazione	174
Menu	175
Struttura Menu	175
Funzioni delle voci di Menu	178
Visualizzare Setup	183
Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA	183
Altre funzioni	184
Uso dell'apparecchio fotografico a batterie ...	184
Impostazione dell'orologio (CLOCK)	186
Impostazione della risoluzione di registrazione (RESOLUTION)	186
Impostazione dell'intervallo dello zoom (ZOOM)	187
Impostazione delle condizioni di scatto	188
Impostazione del formato di stampa da visualizzare (PRINT SIZE LIST)	191
Impostazione dell'inquadratura (FRAME)	191
Impostazione del modo di risparmio energetico (POWER SAVE)	196
Impostazioni delle unità del formato (SIZE UNIT)	197
Selezione del formato del segnale di uscita (VIDEO OUT)	197
Selezione dei segnali acustici durante il funzionamento (SOUND)	198
Selezione della voce USB Class (USB)	198
Spostamento di un'immagine di una visualizzazione multipla di nove immagini (MOVE)	199
Blocco del Menu dell'apparecchio fotografico	200
Posizionamento dell'obiettivo per il trasporto (TRANSPORT SETTING)	200

Regolazione della qualità di stampa (COLOR ADJUST)	201
Regolazione della posizione di stampa (PRINT SETTING)	203
Se la spia Bluetooth dell'apparecchio fotografico è spenta	204
Bluetooth	204
Tecnologia wireless Bluetooth	204
"Basic Imaging Profile"	204
Comunicazione fra l'apparecchio fotografico e la stampante con Bluetooth	205
Posizione dei componenti	207
Apparecchio fotografico	207
Stampante	211
Precauzioni	213
Sicurezza	213
Installazione	213
Funzionamento	214
Pulizia	214
Batterie	214
Caratteristiche tecniche	215
Risoluzione dei problemi	218
Apparecchio fotografico	218
Durante lo scatto delle fotografie	218
Display a cristalli liquidi dell'apparecchio fotografico	218
Qualità dell'immagine	219
Stampante	220
Funzione Bluetooth	221
Caricabatterie	222
Messaggi di errore	223
Indice	224

Descrizione del sistema

Il sistema di stampa digitale Sony UPX-C200 è stato progettato per permettervi di scattare delle fotografie con un apparecchio fotografico digitale e stamparle su carta di due tipi : serie UPC-X46 o serie UPC-X34.

Inserendo nella stampante il vassoio della carta opzionale UPA-DX100TR, è possibile usare anche la carta da stampa della serie UPC-X45.

Il sistema usa la tecnologia senza filo Bluetooth, che permette la comunicazione fra l'apparecchio fotografico e la stampante senza usare cavi.

Nota relativa agli accessori opzionali

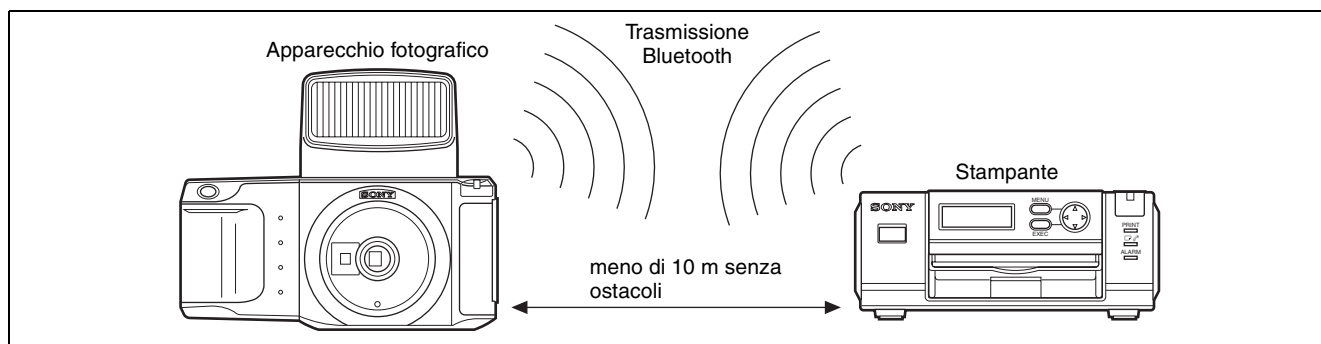
I seguenti accessori opzionali potrebbero non essere in commercio in determinati paesi/regioni.

- Vassoio della carta UPA-DX100TR
- Self-laminating Color Printing Pack della serie 10UPC-X45

Per ulteriori informazioni, rivolgersi ad un rivenditore Sony.

Configurazione del sistema

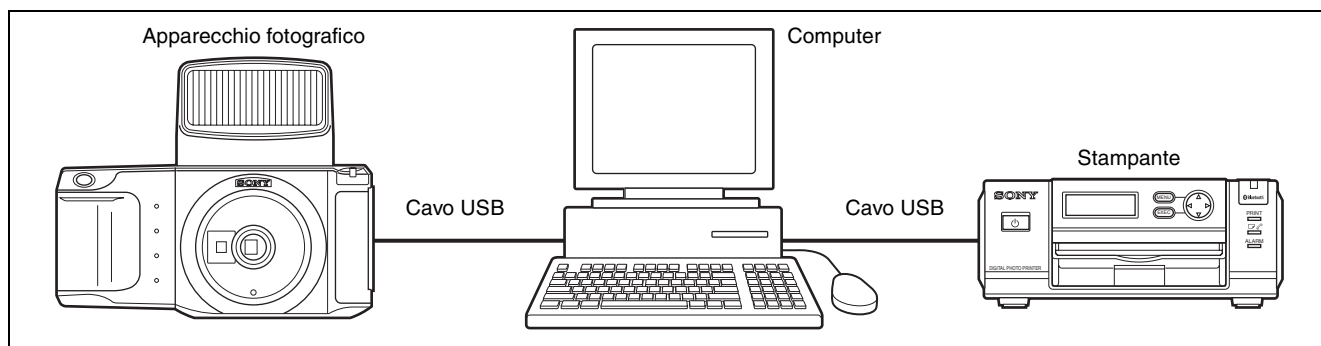
Uso della funzione Bluetooth



È possibile inviare immagini dall'apparecchio fotografico alla stampante senza usare un cavo.

Per dettagli sulla funzione Bluetooth, vedere "Bluetooth" a pagina 204.

Collegamento a un computer



Utilizzando il software di utilità sul CD-ROM, è possibile salvare sul computer le immagini dell'apparecchio fotografico, leggere e stampare i dati delle immagini memorizzate sul computer. È anche possibile stampare varie immagini, a colori e in bianco e nero, o immagini di formati diversi sullo stesso foglio di carta da stampa.

Quando questo sistema è usato con un computer, fare riferimento a "Guida per l'utente di Utility Software" sul CD-ROM fornito.

Per utilizzare il sistema con un computer, installare sul quest'ultimo il driver della stampante fornito. Per dettagli sul driver della stampante, fare riferimento a "Readme (English)" sul CD-ROM fornito.

Nota

In base al tipo di computer, è possibile che effettuando il collegamento mediante un cavo USB non sia possibile utilizzare normalmente il computer. In tal caso, utilizzare un hub USB disponibile in commercio.

Stampe effettuabili con questo sistema

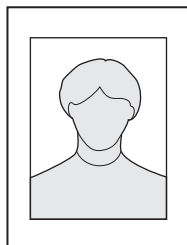
Il sistema può effettuare 22 tipi di stampe e due tipi di stampe di guida. Quando è utilizzata la serie UPC-X46, sono disponibili tutti i tipi di stampa, mentre con la serie UPC-X34 non tutti i tipi di stampa sono disponibili. Le figure che seguono mostrano il numero di immagini su un unico foglio di carta da stampa, l'orientamento e il

tipo delle immagini. Non mostrano i formati di stampa precisi. Sotto ciascuna immagine sono riportati, il numero identificativo del formato e le dimensioni. D2, D4, D6 e D8 indicano che ci sono tipi diversi di stampe per lo stesso formato e X46 mostra che il formato è disponibile solo quando è usata la serie UPC-X46.

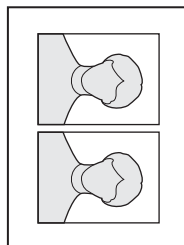
Quando è usata la serie UPC-X46



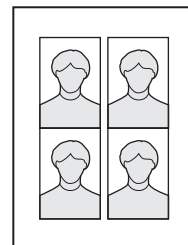
1. 151 × 101.6 mm X46
(Numero formato) (Dimensioni)



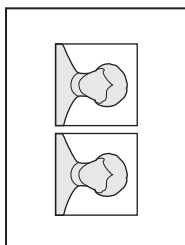
2. 120 × 90 mm X46
3. 95 × 70 mm



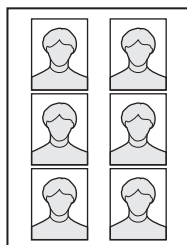
4. 80 × 60 mm
5. 70 × 53 mm
6. 70 × 50 mm



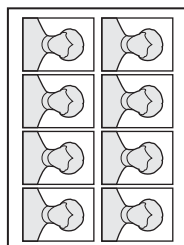
7. 60 × 40 mm
9. 50 × 48.5 mm



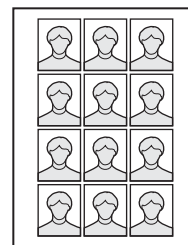
8. 54 × 54 mm 2×2inch



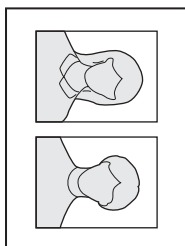
10. 47 × 37 mm
12. 45 × 45 mm



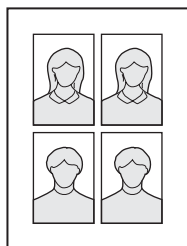
11. 45 × 35 mm
13. 43 × 33 mm
14. 38 × 32 mm



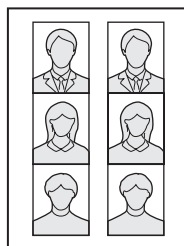
15. 34 × 28 mm
16. 23 × 23 mm



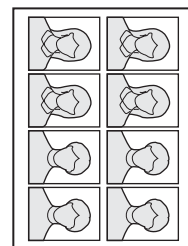
17. 80 × 60 mm D2 X46



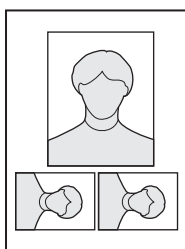
18. 60 × 40 mm D4 X46



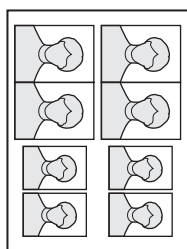
19. 47 × 37 mm D6 X46



20. 45 × 35 mm D8

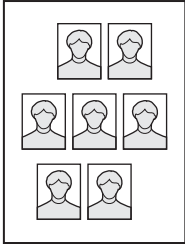


21. Special-1
(108 × 81 mm/
47 × 37 mm)

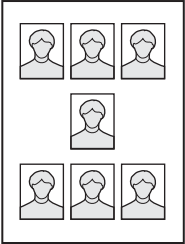


22. Special-2
(47 × 37 mm/
43 × 33 mm)

Guida stampa

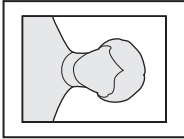


Guide Print-RGB

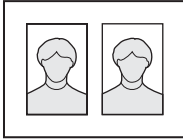


Guide Print-DLGm

Quando è usata la serie UPC-X34



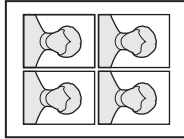
3. 95 × 70 mm
4. 80 × 60 mm
5. 70 × 53 mm
6. 70 × 50 mm



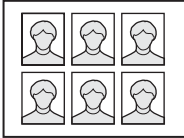
7. 60 × 40 mm
10. 47 × 37 mm
12. 45 × 45 mm



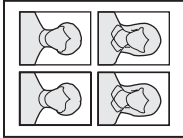
8. 54 × 54 mm 2×2inch
9. 50 × 48.5 mm



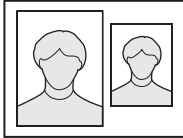
11. 45 × 35 mm
13. 43 × 33 mm
14. 38 × 32 mm



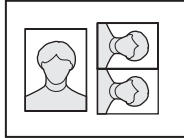
15. 34 × 28 mm
16. 23 × 23 mm



20. 45 × 35 mm D4

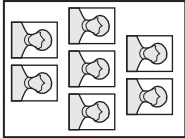


21. Special-1
(70 × 53 mm/
47 × 37 mm)

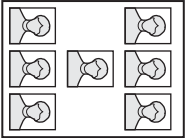


22. Special-2
(47 × 37 mm/
43 × 33 mm)

Guida stampa



Guide Print-RGB



Guide Print-DLGm

Modi flash e esempi di condizioni di scatto

Il sistema dispone di cinque tipi di modi flash. In seguito sono illustrati alcuni esempi di fotografie scattate in ciascun modo.

La distanza fra l'apparecchio fotografico e il soggetto (L) dovrebbe essere fissata in modo che le dimensioni apparenti del viso rientrino nell'inquadratura (linee di riferimento).

Per dettagli sulla selezione di un'inquadratura, vedere "Impostazione dell'inquadratura (FRAME)" a pagina 191.

Per dettagli sulle condizioni di scatto e le relative procedure di impostazione, vedere "Impostazione delle condizioni di scatto" a pagina 188.

Per dettagli sulle condizioni di scatto e sul funzionamento dell'apparecchio fotografico, fare riferimento a "Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate)".

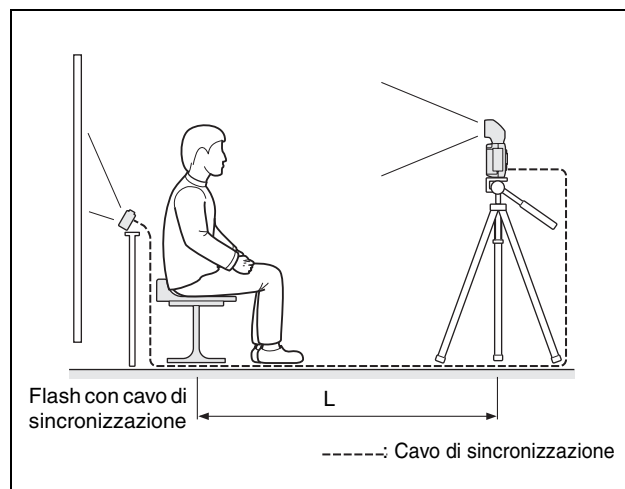
Modo flash automatico ed esposizione automatica (A $\frac{1}{2}$)

È il modo predefinito dell'apparecchio fotografico, adatto ai primi piani all'esterno e all'interno. Se il soggetto non è abbastanza illuminato, il flash si accende automaticamente.

Modo flash acceso ed esposizione automatica (1/2)

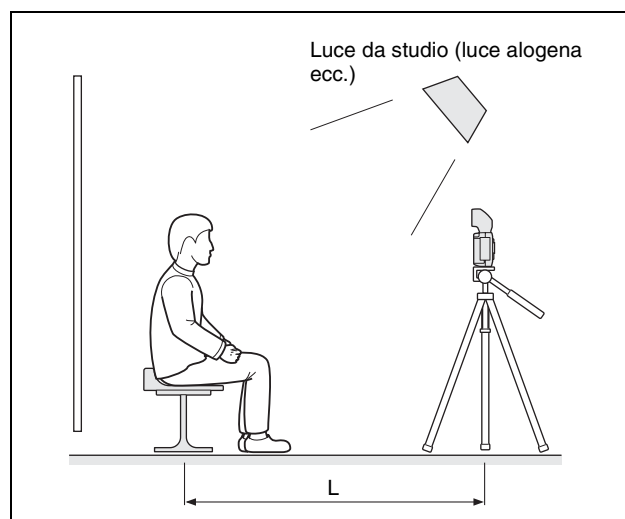
Il flash incorporato si accende sempre. L'apparecchio fotografico misura la luminosità del soggetto con la preilluminazione, quindi il flash si accende con la luminosità ottimale. L'esposizione e la velocità dell'otturatore sono regolate automaticamente. Questo modo è adatto ai primi piani interni e foto tessera, usando il flash incorporato come sorgente principale di luce e il flash di eliminazione dell'ombra collegato

all'apparecchio fotografico con un cavo di sincronizzazione.



Modo flash spento ed esposizione automatica (1/2)

Il flash incorporato non si accende. Questo modo è adatto per scattare con sorgenti di luce stabili quale luci da studio, luci video, luci fluorescenti ecc.

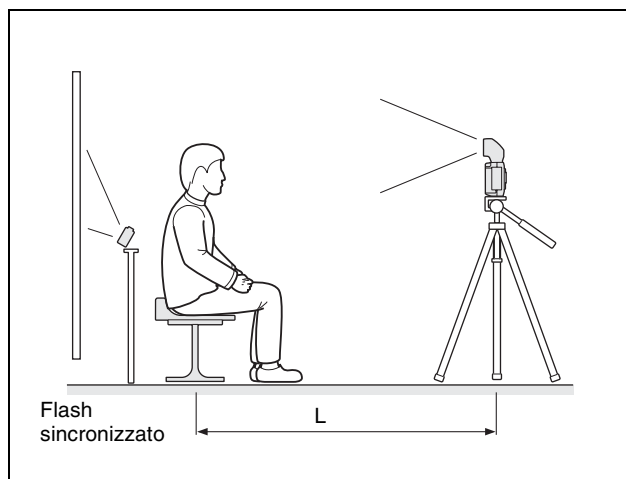


Modo flash acceso ed esposizione manuale (M $\frac{1}{2}$)

Il flash incorporato si accende per illuminare in modo ottimale un soggetto a circa 1,5 metri di distanza. È possibile scattare una fotografia con le impostazioni predefinite di apertura e velocità dell'otturatore e, se necessario, è possibile impostarle manualmente. Se la distanza L è inferiore a 1,5 metri, impostare EV su valori negativi; se è maggiore di 1,5 metri, su valori positivi. Scattare una fotografia di prova per verificare i risultati.

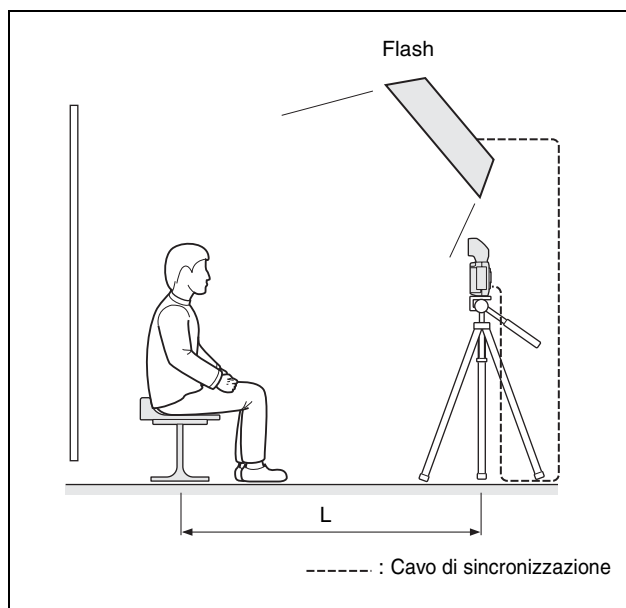
Questo modo è adatto ai primi piani interni e foto tessera, usando il flash incorporato come sorgente principale di luce e il flash di eliminazione dell'ombra

collegato all'apparecchio fotografico con un cavo di sincronizzazione.



Modo flash spento ed esposizione manuale (M)

Questo modo non usa il flash incorporato, ma usa un flash esterno collegato tramite il cavo di sincronizzazione, oppure è adatto all'uso con sorgenti di luce continua quale luci da studio, luci video, luci fluorescenti ecc.



Accessori forniti

Disimballo

Verificare che con il sistema siano forniti gli accessori che seguono.

- Vassoio della carta per la serie UPC-X46 (1)
- Vassoio della carta per la serie UPC-X34 (1)
- Coperchio del vassoio (1)
- Supporti della carta (2)
- Cavi di alimentazione c.a. (2 o 3)
- Adattatore di alimentazione c.a. PCS-AC08/1 (1)
- Batterie NH-AA (4)
- Batteria al litio a bottone CR-2025 (1)
- Caricabatterie (1)
- Cassetta di pulizia (1)
- CD-ROM (1)
- Istruzioni per l'uso (operazioni preliminari) (1 o 2)
- Software License Agreement (1)

Lettura del manuale su CD-ROM fornito

Il CD-ROM fornito comprende i manuali (per le funzioni di base e avanzate) e istruzioni di utilità per l'UPX-C200 (in giapponese, inglese, francese, tedesco, spagnolo, italiano, portoghese, cinese e coreano) e anche il software di utilità.

Le copie di questi manuali sono nei file PDF (Portable Document Format).

Questo manuale descrive le funzioni di base. Per conoscere le funzioni avanzate e per usare il software di utilità fornito, leggere il CD-ROM fornito.

Preparazione

Per leggere i manuali compresi sul CD-ROM fornito, è necessario disporre di Adobe Reader.

Se necessario, è possibile scaricare gratuitamente Adobe Reader dal sito di web di Adobe.

Attenzione

Non riprodurre questo CD-ROM con un lettore CD audio. Diversamente potrebbero verificarsi lesioni uditive o guasti all'apparecchiatura audio a causa di suoni di volume alto.

Requisiti di sistema per il CD-ROM

Per utilizzare il CD-ROM fornito è necessario quando segue.

Computer:

- Microprocessore Intel® Pentium® o personal computer dotato di un microprocessore compatibile al 100%.
- Unità CD-ROM esterna o incorporata

Sistema operativo:

- Microsoft® Windows® 95
- Microsoft® Windows® 98
- Microsoft® Windows® 98 Second Edition
- Microsoft® Windows® Millennium Edition
- Microsoft® Windows® NT 4.0
- Microsoft® Windows® 2000 Professional
- Microsoft® Windows® XP Home Edition
- Microsoft® Windows® XP Professional

Lettura del manuale su CD-ROM

Per leggere il manuale su CD-ROM procedere come segue.

- 1 Inserire il disco CD-ROM nell'unità CD-ROM.
- 2 Aprire la cartella indicata in seguito e selezionare il manuale che si desidera leggere.
 - Basic Instructions
 - Advanced Instructions
 - Utility Instructions

Nota

Per usare il software di utilità, è necessario quanto segue:

Microsoft® Windows® 98 Second Edition
Microsoft® Windows® Millennium Edition
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional

Per i dettagli, fare riferimento a Guida per l'utente di Utility Software.

Marchi commerciali

Intel e Pentium sono marchi commerciali registrati di Intel Corporation o delle sue filiali negli Stati Uniti d'America e in altri paesi.

Microsoft, Windows e Windows NT sono marchi commerciali registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.

Adobe è un marchio commerciale registrato di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.

Preparativi

Preparazione dell'apparecchio fotografico

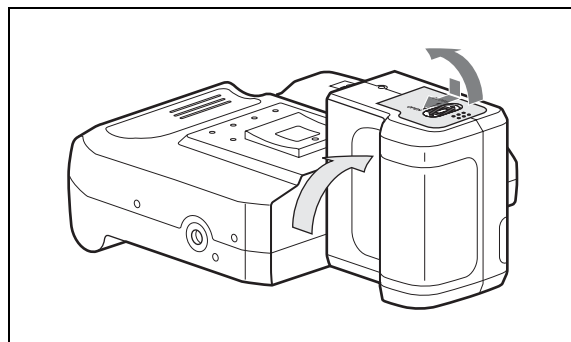
Inserire le batterie

Sono fornite quattro batterie NH-AA e una batteria al litio a bottone CR-2025. Inserirle come descritto in seguito.

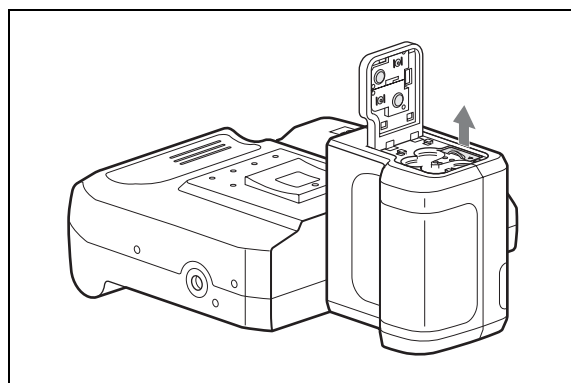
Se l'apparecchio fotografico viene utilizzato a batterie, caricarle prima dell'uso.

Per dettagli su caricare le batterie, vedere "Carica delle batterie" a pagina 184.

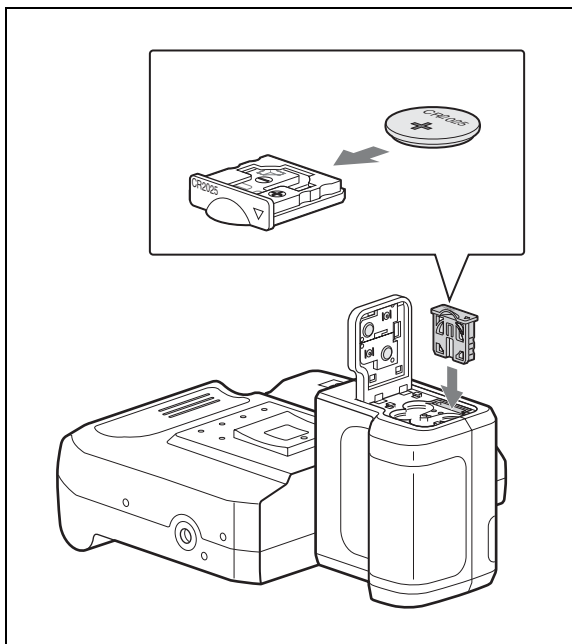
- 1 Aprire il coperchio del vano delle batterie nella parte inferiore dell'apparecchio fotografico facendo scorrere il pulsante verso OPEN premendone la parte centrale sporgente.



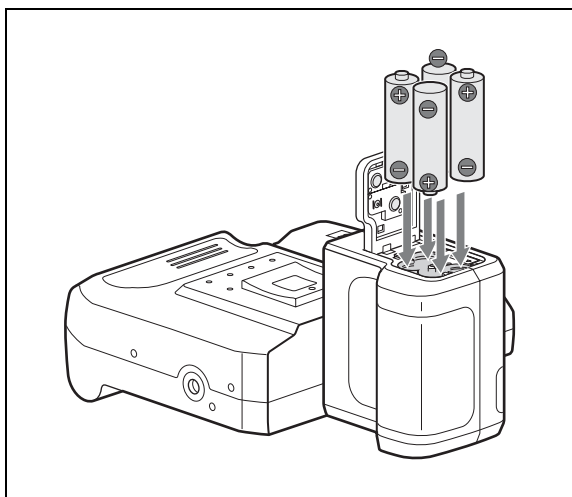
- 2 Estrarre il contenitore della batteria a bottone.



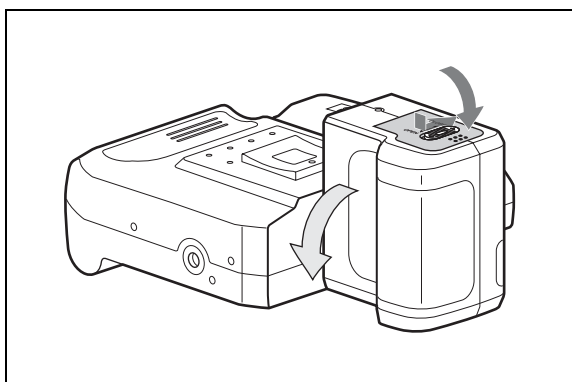
- 3** Inserire la batteria a bottone CR-2025 nel relativo contenitore e inserire quest'ultimo nell'apparecchio.



- 4** Inserire quattro batterie NH-AA.



- 5** Chiudere il coperchio e bloccarlo facendo scorrere il pulsante su CLOSE spingendo il coperchio. Chiudere il coperchio con attenzione.



Nota sulla sostituzione delle batterie

Quando vengono sostituite le batterie, queste potrebbero cadere se il coperchio del vano delle batterie fosse in basso. Per evitare che ciò accada, girare l'impugnatura in modo che il coperchio sia in alto.

Funzione della batteria a bottone

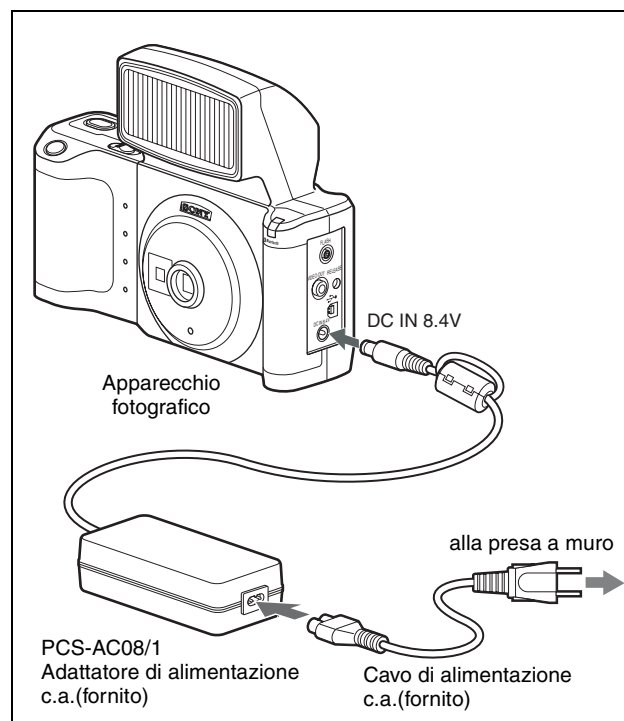
La batteria a bottone alimenta l'orologio incorporato. Non dimenticare di inserire la batteria.

La vita utile della batteria al litio a bottone dell'orologio incorporato è generalmente da due a tre anni, ma dipende dalle condizioni di funzionamento. Quando la vita utile della batteria è terminata, l'ora dell'orologio torna all'1 gennaio 2003. Quando data e ora sono reimpostate in tal modo, sostituire la batteria con una nuova. Quando l'apparecchio fotografico viene alimentato, inizia il conteggio di data e ora da questo punto.

È possibile verificare data e ora di un'immagine nel modo PLAY oppure nella visualizzazione delle proprietà.

Collegamento dell'apparecchio fotografico a una presa a muro

Collegare il cavo c.c. dell'adattatore di alimentazione c.a. PCS-AC08/1 (fornito) alla presa a spinotto DC IN 8,4V dell'apparecchio fotografico. Quindi collegare l'adattatore di alimentazione c.a. a una presa a muro. Ora è possibile usare l'apparecchio fotografico con l'alimentazione c.a. Usando l'adattatore di alimentazione c.a., non è necessario preoccuparsi dello stato di carica delle batterie.



Note

- Mettere l'adattatore di alimentazione c.a. vicino a una presa a muro. Se si verifica qualche problema di funzionamento, interrompere l'alimentazione scollegando immediatamente l'adattatore di alimentazione c.a. dalla presa a muro.
- Non è possibile caricare le batterie NH-AA con l'adattatore di alimentazione c.a. collegato all'apparecchio fotografico. Per caricarle, vedere "Carica delle batterie" a pagina 184.

Impostazione dell'orologio, inquadratura, risparmio energetico

È possibile impostare data e ora, inquadratura e modo di risparmio energetico sulla visualizzazione Setup che appare sull'LCD dell'apparecchio fotografico.

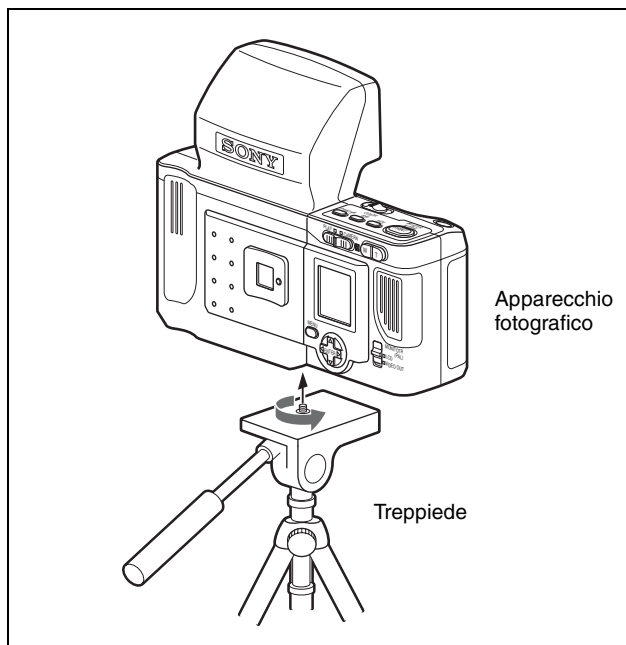
Per dettagli sulle procedure di impostazione, vedere "Altre funzioni" a pagina 184.

Montaggio su un treppiede

Montare l'apparecchio fotografico su un treppiede usando il foro a vite per treppiede nella parte inferiore dell'apparecchio fotografico.

Nota

Inserire la vite del treppiede e serrare saldamente, ma senza applicare una forza eccessiva. Se la vite non è stata serrata saldamente, l'apparecchio fotografico potrebbe cadere. Se viene serrata eccessivamente, potrebbe venire danneggiato il filetto. Prestare attenzione che la vite giri con facilità, quindi stringere saldamente.



Preparazione della stampante

Prima di usare la stampante per la prima volta è necessario inserire una cartuccia di stampa e il vassoio della carta, come indicato più avanti. Questi preparativi non sono necessari per le funzioni di stampa di tutti i giorni, ma devono essere effettuati quando necessari.

Preparazione della confezione di stampa

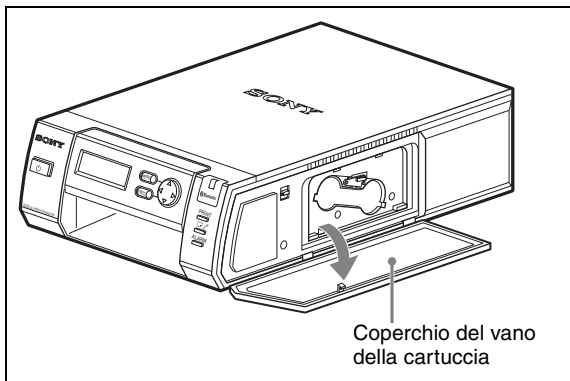
È necessario utilizzare una confezione di stampa opzionale (serie UPC-X46 o serie UPC-X34) realizzata per la stampante. La confezione contiene un blocco di carta da stampa e una cartuccia.

Note

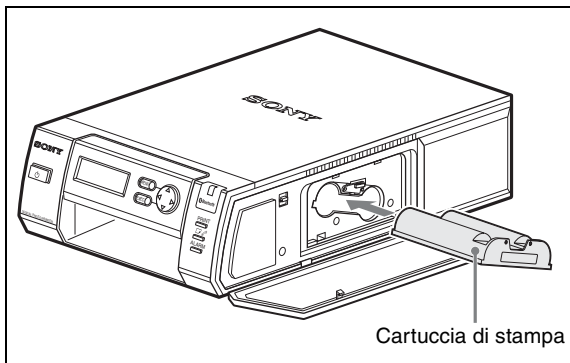
- Non riavvolgere il nastro inchiostrato e non usare la cartuccia riavvolta per stampare. La stampa non sarebbe effettuata correttamente o potrebbe verificarsi un guasto.
- Usare unicamente la confezione di stampa per questa stampante.
- Usare sempre la cartuccia di stampa realizzata per le dimensioni della carta utilizzata. Usando contemporaneamente cartucce e carta di tipi o dimensioni diverse, potrebbe essere impossibile stampare, oppure potrebbe incepparsi la carta o presentarsi un altro problema.
- Non stampare su carta da stampa usata. Stampando due volte un'immagine sulla stessa carta non si otterrà un'immagine più intensa. Potrebbe anche causare un malfunzionamento o un guasto.
- Non toccare il nastro inchiostrato della cartuccia di stampa o la superficie di stampa della carta. Delle ditate o della polvere sulla superficie di stampa o sul nastro inchiostrato potrebbero degradare la qualità della stampa.
- Per stampe di alta qualità, non mettere la confezione di stampa in luoghi soggetti a temperatura e umidità elevata, molto polverosi o esposti alla luce solare diretta.
- Quando una confezione di cartuccia e carta parzialmente usata deve essere riposta, usare la busta originale o un contenitore simile.

Caricare la cartuccia di stampa

- 1 Spingere su PUSH OPEN per aprire il coperchio del vano della cartuccia.



- 2 Inserire con decisione la cartuccia di stampa nell'apposito vano finché scatta in posizione.



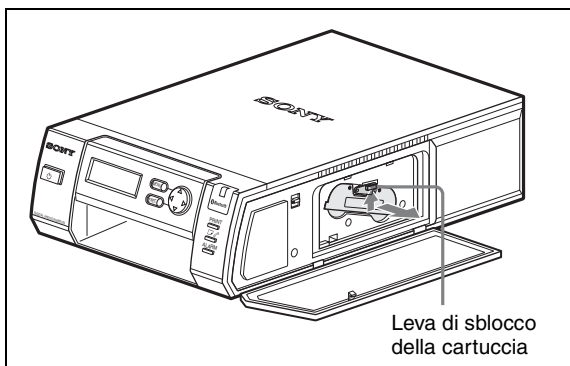
- 3 Chiudere il coperchio del vano della cartuccia.

Sostituzione della cartuccia di stampa

Quando la cartuccia di stampa è esaurita, la spia si illumina e appare un messaggio di errore sul display operativo. Sostituire la cartuccia di stampa.

- 1 Spingere PUSH OPEN per aprire il coperchio del vano della cartuccia.

- 2 Premere verso l'alto la leva di sblocco della cartuccia.

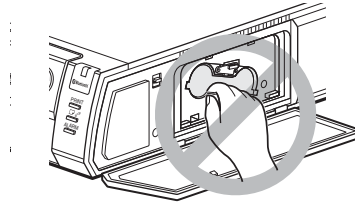


La cartuccia scatta fuori. Rimuovere la cartuccia.

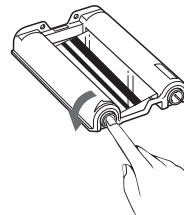
- 3 Inserire una nuova cartuccia di stampa e chiudere il coperchio.

Note

- Non mettere mai la mano nel vano della cartuccia. La testina termica raggiunge temperature elevate, specialmente dopo molte stampe.



- Non riavvolgere il nastro inchiostrato e non usare la cartuccia riavvolta per stampare. La stampa non sarebbe effettuata correttamente o potrebbe verificarsi un guasto.
- Se la cartuccia di stampa non scatta in posizione, rimuoverla e inserirla di nuovo. Se il nastro inchiostrato è troppo lasco per essere caricato, avvolgerlo nella direzione indicata dalla freccia per recuperare l'imbandito.



- Se la stampante viene accesa senza cartuccia di stampa caricata, si illumina la spia .
- Non toccare il nastro inchiostrato o mettere la cartuccia di stampa in un luogo polveroso. Delle ditate o della polvere sul nastro inchiostrato possono causare dei difetti di stampa.
- Non sostituire la cartuccia di stampa durante la stampa.

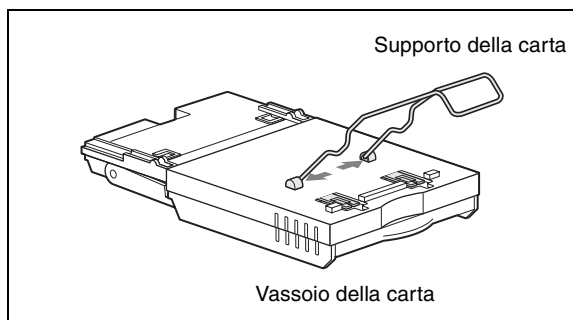
Note sulla conservazione della cartuccia di stampa

- Non mettere la cartuccia di stampa in un luogo soggetto a temperatura o umidità elevata, polvere eccessiva o luce solare diretta.
- Quando una cartuccia parzialmente usata deve essere riposta, usare la busta originale.

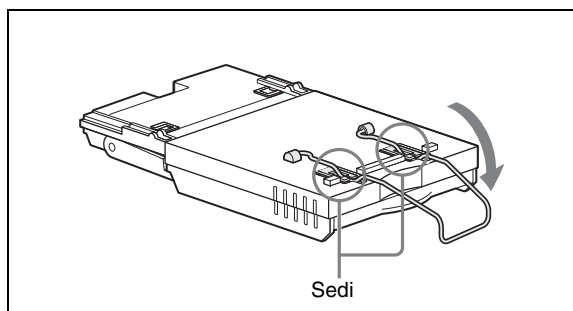
Montaggio del supporto della carta

Montare il supporto della carta fornito sul vassoio della carta procedendo come segue:

- 1 Inserire le due estremità del supporto nei fori che si trovano sul fondo del vassoio della carta, premendo sui lati che corrispondono alle due estremità.

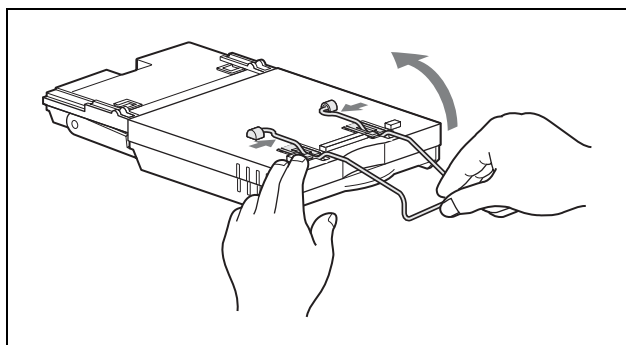


- 2** Spingere con decisione il supporto della carta nelle sedi finché scatta in posizione, con un rumore di schiocco.



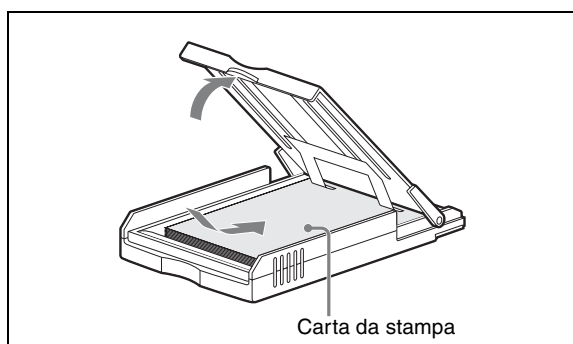
Smontaggio del supporto della carta

Spingere fuori con cautela dalle sedi il supporto della carta e rimuoverlo, premendo i lati che corrispondono alle due estremità.



Inserimento della carta da stampa

- 1** Posare la carta da stampa nel vassoio.



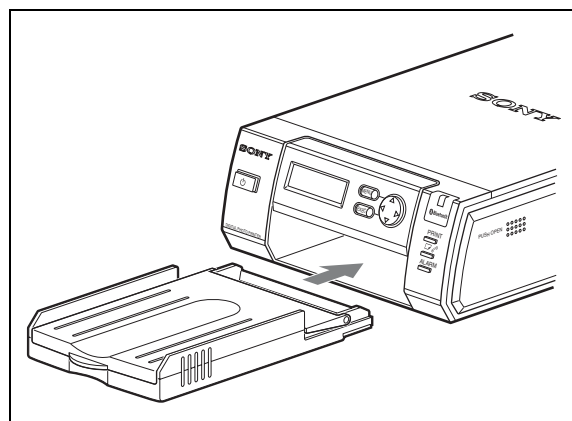
Sfogliare la carta da stampa. Quindi inserire la carta da stampa con la superficie di stampa (il lato senza indicazioni) verso l'alto e con la freccia che punta nella stessa direzione della freccia nel vassoio. Con la serie UPC-X46 è possibile inserire 25 fogli e 30 fogli con la serie UPC-X34.

- 2** Togliere il foglio di protezione dalla carta da stampa.

Nota

Conservare il foglio di protezione, che servirà per pulire l'interno della stampante.

- 3** Inserire il vassoio nella stampante.



Nota

Non toccare la superficie di stampa. Delle ditte sulla superficie di stampa possono causare dei difetti di stampa.

Note

- Mettere la carta della serie UPC-X46 nel vassoio della carta grande e quella della serie UPC-X34 nel vassoio della carta piccolo. Se le dimensioni della carta non corrispondono a quelle del vassoio, la carta potrebbe incepparsi.
- Non togliere o inserire il vassoio della carta durante la stampa.
- Se la carta non avanza automaticamente si illumina la spia . Tirare fuori il vassoio della carta e verificare che la carta non sia inceppata.
- Quando si aggiunge della carta da stampa a un vassoio parzialmente pieno, verificare che il numero totale di fogli non sia superiore a 25 per la serie UPC-X46 o 30 per la serie UPC-X34. Non mettere nel vassoio della carta di tipo o dimensioni diverse. Potrebbe causare un inceppamento o un malfunzionamento.
- Non scrivere o stampare sulla superficie di stampa della carta prima di stampare. Potrebbe essere impossibile eseguire la stampa. Se si desidera scrivere dei saluti o disegnare sulla superficie stampata dopo la stampa, usare una penna con inchiostro a base di olio.

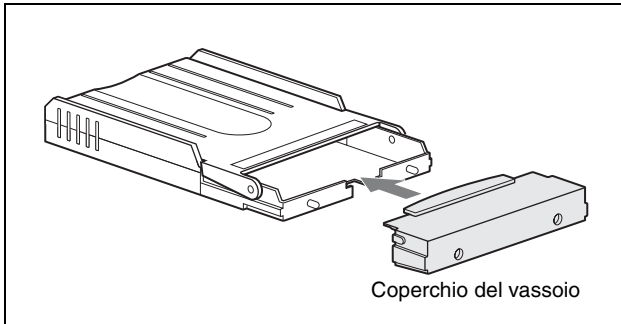
- Non incollare etichette o altro sulla superficie di stampa prima di stampare.
- Non stampare su carta da stampa usata. Stampando due volte un'immagine sulla stessa carta non si otterrà un'immagine più intensa. Potrebbe anche causare un malfunzionamento o un guasto.
- Prima di stampare, non piegare o incurvare la carta da stampa.
- Non lasciare più di cinque fogli di carta stampata espulsa nel vassoio della carta.

Note sulla conservazione della carta da stampa

- Non mettere la carta da stampa in luoghi soggetti a temperatura e umidità elevata, molto polverosi o esposti alla luce solare diretta.
- Non conservare la carta con i lati stampati appoggiati uno sull'altro o in contatto con prodotti di gomma o di plastica compreso il cloruro di vinile e plastificanti per molto tempo, poiché potrebbero verificarsi delle alterazioni del colore o deterioramenti dell'immagine stampata.
- Per conservare la carta da stampa parzialmente usata, riporla nella sua busta originale.

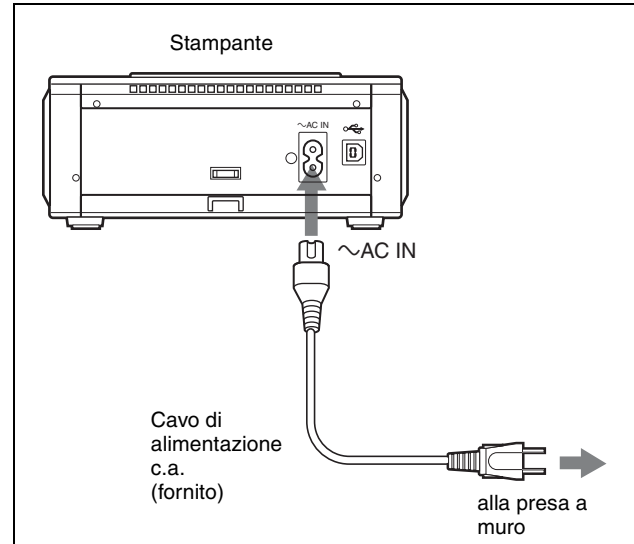
Montaggio del coperchio del vassoio

Quando la stampante non è usata, montare il coperchio del vassoio fornito sul vassoio della carta per proteggere dalla polvere la carta da stampa che contiene. Il coperchio del vassoio può essere montato sia sul vassoio della carta della serie UPC-X46, sia su quello della serie UPC-X34.



Collegamento della stampante a una presa a muro

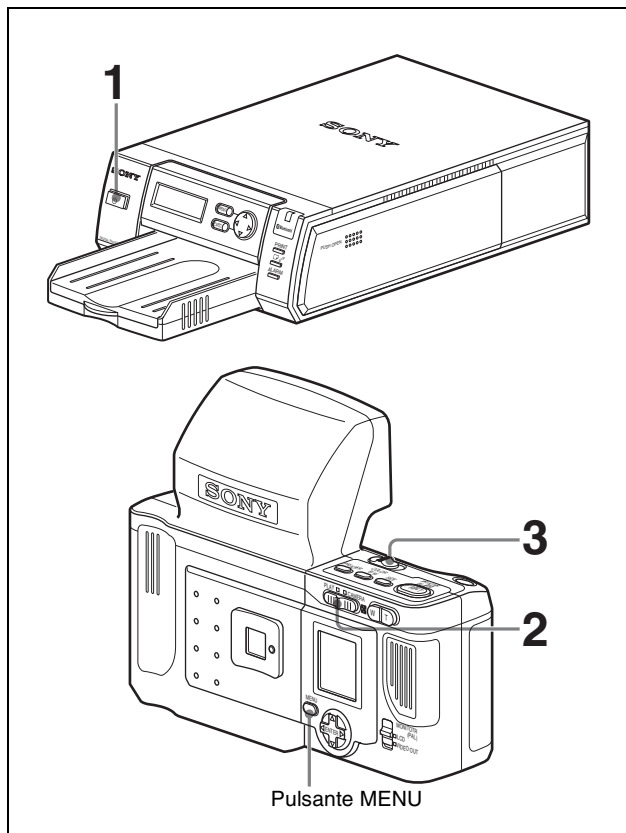
Collegare il cavo di alimentazione c.a. fornito al connettore AC IN della stampante e quindi a una presa a muro.



Funzionamento

Questa funzione descrive le procedure di base di scatto e di stampa di una fotografia e anche di visualizzazione. Il sistema dispone di funzioni aggiuntive, descritte in “Altre funzioni” a pagina 184 oppure in Istruzioni per l’uso (operazioni avanzate) contenuto nel CD-ROM fornito.

Preparativi



- 1 Accendere la stampante.
Verificare che sul display operativo appaia Ready BT RSSI [- - - -].
- 2 Impostare l’interruttore PLAY/CAMERA su CAMERA .
- 3 Impostare l’interruttore POWER dell’apparecchio fotografico su ON.

L’apparecchio fotografico inizia la ricerca della stampante e sull’LCD appare “DISCOVERING”. Quando l’apparecchio fotografico trova la stampante, appare “DISCOVERED” e sul display LCD vengono visualizzati il nome della stampante e l’indirizzo Bluetooth. Se il nome della stampante e l’indirizzo Bluetooth non diventano di colore nero

ma rimangono grigi, spegnere la stampante e l’apparecchio fotografico e ripetere i passi da 1 a 3.

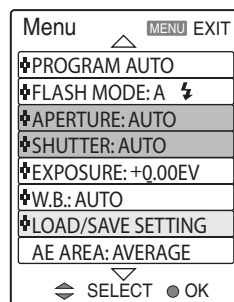
- 4 Premere un pulsante qualsiasi sull’apparecchio fotografico.

La visualizzazione Bluetooth viene spenta ed è possibile iniziare a scattare fotografie.

Se il nome della stampante e l’indirizzo Bluetooth sono ancora visualizzati in grigio e non appare “DISCOVERED”, oppure viene visualizzato “NO PRINTER”, vedere “Risoluzione dei problemi” a pagina 218 e adottare i provvedimenti del caso. Se il problema permane, vedere Istruzioni per l’uso (operazioni avanzate) oppure rivolgersi al rivenditore Sony o centro di assistenza locale Sony.

Condizioni di scatto impostate in stabilimento

Le condizioni di scatto sono impostate in stabilimento per il controllo automatico. Se non sono state cambiate, è possibile verificare le impostazioni di stabilimento premendo il pulsante MENU, quindi ▼ del pulsante di controllo. Dopo la verifica, premere il pulsante MENU per disattivare la visualizzazione Menu.

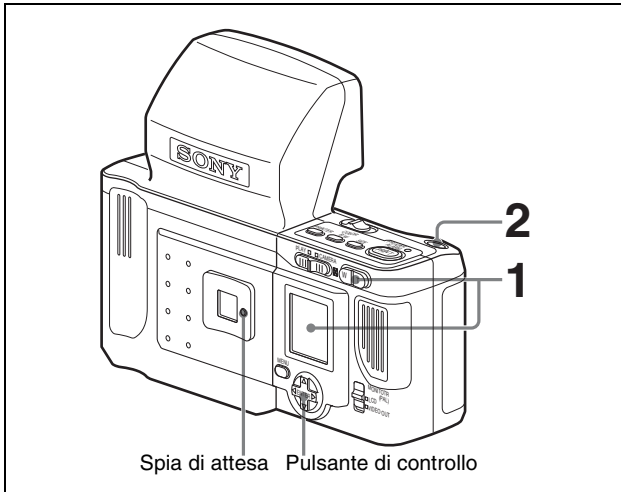


Impostazione della risoluzione di registrazione

Prima di iniziare a scattare, è necessario impostare la risoluzione di registrazione adatta al formato della stampa.

Per dettagli sulla risoluzione di registrazione, vedere “Impostazione della risoluzione di registrazione (RESOLUTION)” a pagina 186.

Scattare una fotografia



- 1 Puntare l'apparecchio fotografico verso il soggetto e regolare l'inquadratura usando l'LCD dell'apparecchio fotografico.

È possibile regolare facilmente l'inquadratura con lo zoom, premendo la leva dello zoom.

Per i dettagli, vedere "Impostazione dell'intervallo dello zoom (ZOOM)" a pagina 187.

È possibile visualizzare le linee di riferimento per regolare l'inquadratura.

Per dettagli sulle linee di riferimento, vedere "Impostazione dell'inquadratura (FRAME)" a pagina 191.

- 2 Premere a metà corsa il pulsante di scatto finché appare il punto verde nella parte superiore dell'LCD, quindi premere il pulsante per il resto della corsa.

La fotografia viene scattata e appare sull'LCD. Questa è la visualizzazione rapida dell'anteprima. L'immagine è contemporaneamente salvata in memoria. Durante il trasferimento dei dati in memoria, la spia di attesa è rossa e lampeggia. Quando i dati sono stati salvati in memoria e il flash incorporato è carico per la fotografia successiva, la spia di attesa è verde.

È possibile stampare la fotografia appena scattata tramite la visualizzazione rapida dell'anteprima, senza usare l'interruttore PLAY/CAMERA.

Per i dettagli, vedere "Stampa di un'immagine" a pagina 168.

Se premendo a metà corsa il pulsante di scatto appare un punto rosso, l'immagine non è a fuoco, oppure il

controllo dell'esposizione automatica non ha funzionato correttamente. Premere di nuovo lentamente a metà corsa il pulsante di scatto.

Per scattare una nuova fotografia, premere il pulsante di scatto o la leva dello zoom per cancellare la visualizzazione rapida di anteprima, quindi ripetere i passi 1 e 2.

Eliminare la fotografia appena scattata

È possibile eliminare dalla memoria la fotografia appena scattata (Visualizzazione rapida dell'anteprima). Procedere come segue.

- 1 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

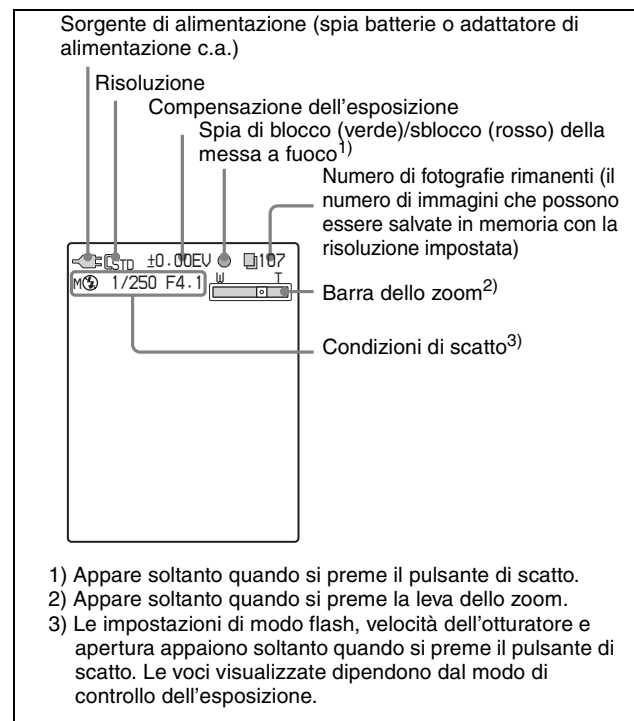
Appare "Delete?".

- 2 Selezionare OK premendo ▲ sul pulsante di controllo e premere ENTER sul pulsante di controllo.

L'immagine sull'LCD sarà eliminata e l'apparecchio fotografico può scattare una fotografia.

Visualizzazione sull'LCD nel modo CAMERA

Segue un esempio della visualizzazione quando l'interruttore PLAY/CAMERA è impostato su CAMERA.



Funzione di messa a fuoco automatica

Premendo il pulsante di scatto a metà corsa, viene attivata la funzione di messa a fuoco automatica e il soggetto viene automaticamente messo a fuoco. Quando il soggetto è a fuoco, appare un punto verde sull'LCD. Premendo il pulsante per il resto della corsa, l'otturatore si sgancia e l'immagine è salvata nella memoria dell'apparecchio fotografico.

Se un soggetto non è a fuoco, sull'LCD appare un punto rosso. Lasciare il pulsante di rilascio, quindi premerlo nuovamente a metà corsa. Anche se appare il punto rosso, è possibile premere il pulsante di scatto per il rimanente della corsa e l'otturatore scatterà.

Anche se il pulsante di scatto viene premuto completamente invece che a metà corsa, la funzione di messa a fuoco automatica sarà attivata ed è possibile scattare una fotografia.

Se SOUND del menu SETUP è impostato su SHUTTER o su ON, viene emesso un segnale acustico quando il pulsante di scatto è premuto a metà corsa e quando è di nuovo premuto per il resto della corsa.

Nota

La funzione di messa a fuoco automatica potrebbe non funzionare correttamente nelle condizioni che seguono:

- Il contrasto del soggetto è insufficiente.
- Il soggetto comprende un oggetto molto luminoso.
- Il soggetto non comprende una linea orizzontale.
- Lo sfondo è eccessivamente scuro.

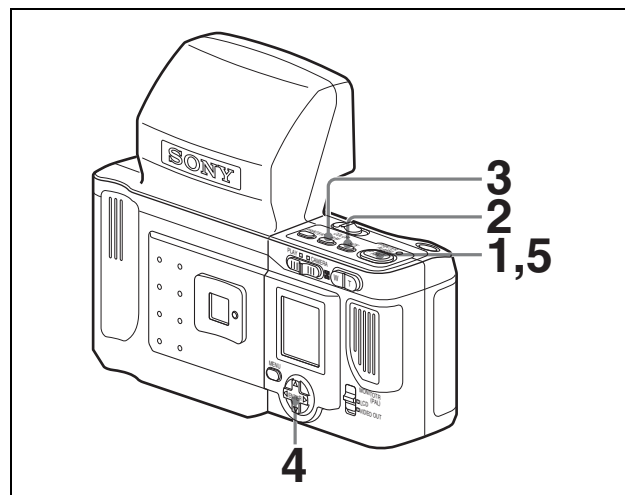
Compensazione dell'esposizione

La regolazione dell'esposizione può essere realizzata facilmente premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo. Ogni volta che si preme il pulsante, il valore di regolazione dell'esposizione visualizzato sull'LCD cambia.

Per dettagli sulla regolazione dell'esposizione, vedere "Compensazione dell'esposizione (EXPOSURE)" a pagina 189.

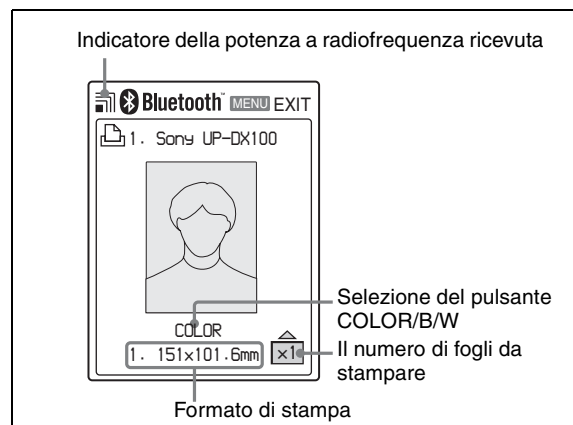
Stampa di un'immagine

La fotografia appena scattata può essere stampata procedendo come segue.



1 Premere il pulsante PRINT.

Appare una visualizzazione del layout.



Verifica della potenza a radiofrequenza ricevuta.

- ■ : Segnale radio di potenza adeguata.
- ■ : Il segnale radio è debole e la trasmissione dati potrebbe richiedere molto tempo.

Non spostare l'apparecchio fotografico e la stampante finché la trasmissione dati non è terminata.

Se non appare la visualizzazione del layout, il segnale radio ricevuto è troppo debole per la trasmissione dei dati dell'immagine. Avvicinare l'apparecchio fotografico e la stampante, quindi premere di nuovo il pulsante PRINT.

2 Selezionare il formato di stampa usando il pulsante SIZE.

1) Premere il pulsante SIZE.

Appare la visualizzazione del layout del formato selezionato.

- 2) Premere il pulsante SIZE più volte finché appare il formato desiderato.

Per dettagli sul formato delle stampe, vedere "Impostazione dell'inquadratura (FRAME)" a pagina 191.

- 3 Selezionare COLOR o B/W premendo il pulsante COLOR/B/W.

Ogni volta che si preme il pulsante, la selezione cambia.

COLOR: per stampare un'immagine a colori

B/W: per stampare un'immagine in bianco e nero

- 4 Premere ▲ o ▼ sul pulsante di controllo per impostare il numero di fogli da stampare.

- 5 Premere di nuovo il pulsante PRINT.

I dati dell'immagine vengono trasmessi alla stampante e sull'LCD appaiono "TRANSMITTING" e la barra di avanzamento.

Mentre il pulsante CANCEL è arancione, è possibile annullare la trasmissione dati premendo il pulsante ENTER.

Quando la trasmissione dati è terminata, il pulsante CANCEL diventa grigio. La stampante verifica la confezione di stampa, quindi inizia a stampare.

Note

- Quando il pulsante CANCEL è diventato grigio, non è possibile annullare l'operazione di stampa.
- Non toccare alcun pulsante sull'apparecchio fotografico quando il pulsante CANCEL è grigio.

Quando è iniziata la stampa, sull'LCD dell'apparecchio fotografico appare "TRANSMISSION END. PUSH MENU KEY TO CONTINUE". Per cancellare il messaggio, premere il pulsante MENU o il pulsante di controllo.

Se l'interruttore PLAY/CAMERA è nella posizione CAMERA, viene presentata la visualizzazione rapida dell'anteprima. Quando la stampa è terminata, è possibile stampare la stessa immagine un'altra volta. Se sono usate più stampanti, è possibile inviare i dati a un'altra stampante prima che la stampa sia terminata. Durante la stampa è possibile scattare un'altra fotografia. Per scattare un'altra fotografia, premere il pulsante di scatto a metà corsa oppure la leva dello zoom per annullare la visualizzazione rapida dell'anteprima.

Se l'interruttore è nella posizione PLAY, viene riprodotta un'immagine.

Selezione del formato di stampa e di COLOR/B/W

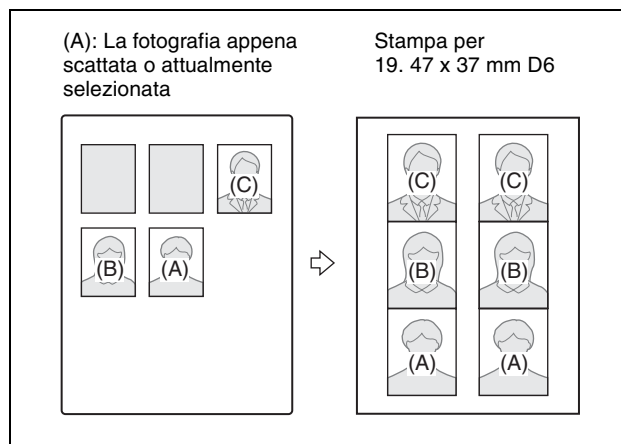
È possibile selezionare il formato di stampa e COLOR o B/W prima di premere il pulsante PRINT per visualizzare il layout. Premere il pulsante SIZE o COLOR/B/W e premerlo di nuovo quando il formato di stampa oppure COLOR o B/W è visualizzato sull' LCD. Quindi premere il pulsante PRINT per stampare l'immagine.

Stampa di più immagini su un solo foglio di carta

È possibile stampare due o tre immagini diverse su un solo foglio di carta. Selezionare il formato di stampa fra 17, 18, 19 e 20. Se è selezionato il formato di stampa 17, 18 o 20, vengono stampate due immagini; se è selezionato il formato di stampa 19, vengono stampate tre immagini. Se è usata la serie UPC-X34, è possibile selezionare solo il formato di stampa 20.

Nel modo CAMERA vengono stampate la fotografia appena scattata e quella precedente (oppure le due precedenti fotografie di formato 19) e nel modo PLAY vengono stampate la fotografia attualmente selezionata e la precedente (oppure le due precedenti fotografie di formato 19).

Per stampare delle immagini che non sono nell'ordine desiderato, su carta da stampa, cambiare l'ordine delle immagini facendo riferimento a "Spostamento di un'immagine di una visualizzazione multipla di nove immagini (MOVE)" (pagina 199).



Nota

Non è possibile annullare la stampa di più immagini e il pulsante CANCEL appare in grigio durante la trasmissione dati. Mentre il pulsante CANCEL è visualizzato in grigio, non toccare alcun pulsante sull'apparecchio fotografico.

Regolazione della qualità di stampa

È possibile regolare separatamente sulla stampante la qualità di stampa delle immagini a colori e delle immagini in bianco e nero e memorizzare i valori regolati. Per la stampa delle immagini a colori, la stampante seleziona automaticamente il valore regolato per le immagini a colori; per le immagini in bianco e nero seleziona il valore regolato per le immagini in bianco e nero.

Per dettagli sulla regolazione della qualità di stampa, vedere “Regolazione della qualità di stampa (COLOR ADJUST)” a pagina 201.

Regolazione della qualità di un'immagine in bianco e nero

Quando viene stampata un'immagine scegliendo B/W con il pulsante COLOR/B/W, l'immagine viene stampata sovrapponendo giallo, magenta e ciano, conseguentemente potrebbe non essere ottenuta un'immagine perfettamente acromatica. È possibile regolare la tonalità del nero usando la funzione di regolazione del colore della stampante.

Per dettagli sulla regolazione, fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).

Stampa di un'immagine salvata nella memoria dell'apparecchio fotografico

Quando si scattano delle fotografie, i dati corrispondenti sono salvati nella memoria dell'apparecchio fotografico. Per stamparle, visualizzare e selezionare un'immagine da stampare quindi eseguire le procedure di stampa.

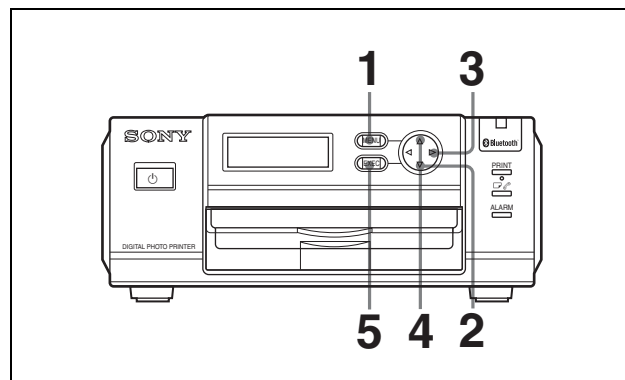
Per visualizzare un'immagine salvata in memoria, vedere “Visualizzazione di un'immagine” a pagina 171.

Ristampa di un'immagine salvata nella memoria della stampante (COPY PRINT)

I dati dell'ultima immagine stampata sono salvati nella memoria della stampante. È possibile ripetere la stampa dell'immagine.

Nota

Premendo il pulsante di accensione/attesa, la spia si spegne, i dati salvati in memoria sono eliminati e non è possibile ristampare l'immagine.



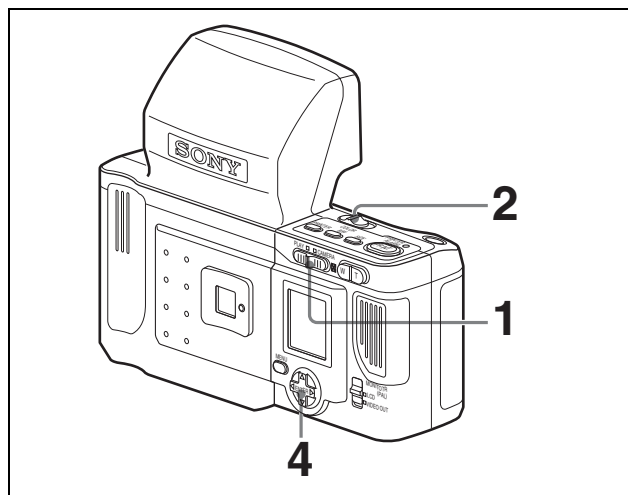
- 1 Premere il pulsante MENU.
- 2 Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare “COPY PRINT [>>].”
- 3 Premere ► sul pulsante di controllo.
Appare “COPY PRINT 1 [1-9 PRINT: EXEC]”.
- 4 Premere ▲ o ▼ sul pulsante di controllo per impostare il numero di fogli da stampare.
È possibile impostare un valore da 1 a 9.
- 5 Premere il pulsante EXEC.

Viene stampato il numero di immagini impostato al passo 4.

Quando la stampa è terminata, viene ripresentata la visualizzazione Ready.

Visualizzazione di un'immagine

È possibile visualizzare sull'LCD immagini salvate in memoria.



- 1 Portare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.
- 2 Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3 Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.

Sull'LCD viene visualizzata un'immagine in memoria.

- 4 Selezionare un'immagine visualizzata sull'LCD premendo ◀ o ▶ sul pulsante di controllo.

Visualizzazione multipla di nove immagini

È possibile visualizzare contemporaneamente sull' LCD nove immagini salvate nella memoria dell'apparecchio fotografico. Ciò permette di cercare rapidamente un'immagine particolare.

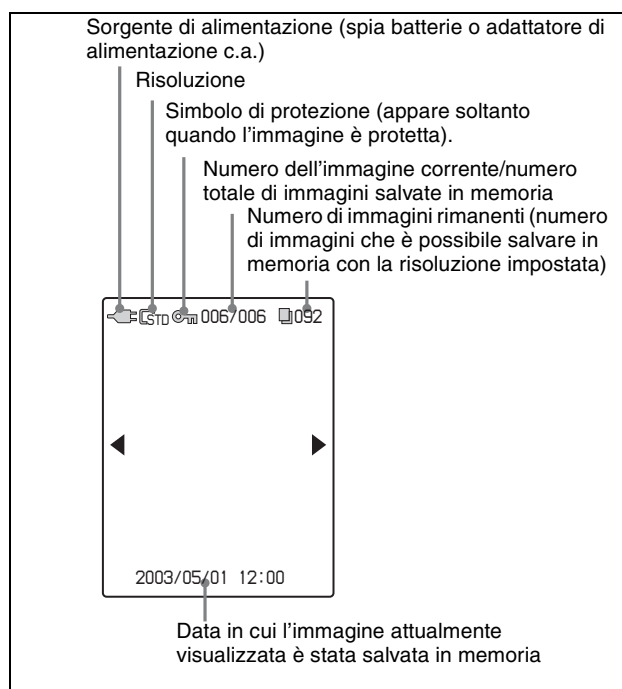
- 1 Premere il lato W della leva dello zoom.

Sull'LCD sono visualizzate nove immagini salvate nella memoria dell'apparecchio fotografico.

- 2 Selezionare un'immagine premendo ◀, ▶, ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Visualizzare un'immagine premendo ENTER sul pulsante di controllo o con il lato T della leva dello zoom.

Visualizzazione sull'LCD nel modo PLAY

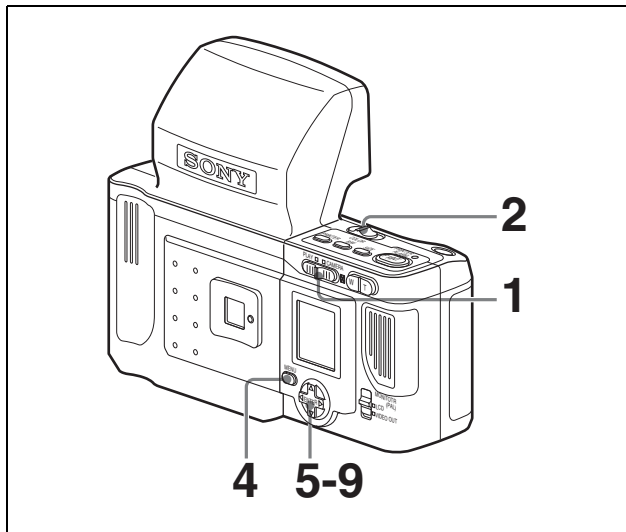
Segue un'illustrazione di quando l'interruttore PLAY/CAMERA è impostato su PLAY.



Eliminare un'immagine

Le immagini salvate nella memoria dell'apparecchio fotografico possono essere eliminate una alla volta o tutte contemporaneamente.

Eliminazione delle immagini una alla volta



- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.
- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 4** Premere il pulsante MENU.
Appare la visualizzazione Menu.
- 5** Selezionare un'immagine da eliminare premendo ◀ o ▶ sul pulsante di controllo.
- 6** Selezionare DELETE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 7** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Delete.
- 8** Selezionare OK premendo ▲ sul pulsante di controllo.
- 9** Per eliminare l'immagine, premere ENTER sul pulsante di controllo.
L'immagine selezionata viene eliminata dalla memoria.

Eliminazione di un'altra immagine

Ripetere i passi **5**, **8** e **9**.

Eliminazione di tutte le immagini

- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.
- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 4** Premere il pulsante MENU.
Appare la visualizzazione Menu.
- 5** Selezionare DELETE ALL premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 6** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Delete All?.
- 7** Selezionare OK premendo ▲ sul pulsante di controllo.
- 8** Per eliminare tutte le immagini, premere ENTER sul pulsante di controllo.

Tutte le immagini che non sono protette vengono eliminate dalla memoria.

Eliminazione di un'immagine nella visualizzazione multipla di nove immagini

- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.
- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 4** Premere il lato W della leva dello zoom.
Appare la visualizzazione multipla di nove immagini.
- 5** Premere il pulsante MENU.
Appare la visualizzazione Menu.
- 6** Selezionare DELETE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione multipla di nove immagini e il cursore lampeggia in corrispondenza dell'immagine attualmente selezionata.

- 7** Selezionare un'immagine da eliminare premendo ◀, ▶, ▲ o ▼ sul pulsante di controllo e premere ENTER su quest'ultimo.

Appare la visualizzazione Delete.

- 8** Selezionare OK premendo ◀ sul pulsante di controllo.

- 9** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

L'immagine selezionata al passo **7** viene eliminata ed è ripresentata la visualizzazione Menu.

Annullare l'eliminazione di un'immagine

Selezionare RETURN premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo invece di OK sulla visualizzazione Delete o Delete All? e premere ENTER sul pulsante di controllo. Riappare la visualizzazione Menu.

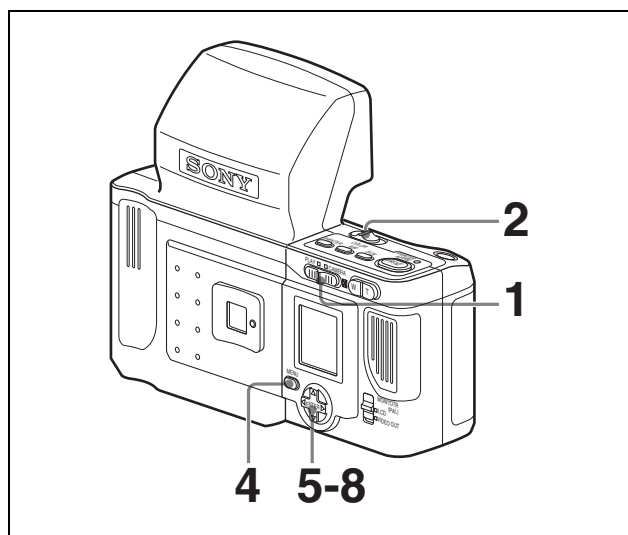
Per completare l'eliminazione

Premere il pulsante MENU.

Proteggere un'immagine (PROTECT)

Per evitare di eliminare accidentalmente un'immagine, è disponibile una funzione di protezione dell'immagine. È possibile proteggere le immagini una alla volta o tutte contemporaneamente.

Protezione delle immagini una alla volta



- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.

- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.

- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.

- 4** Premere il pulsante MENU.

Appare la visualizzazione Menu.

- 5** Selezionare PROTECT premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 6** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Protect.

- 7** Selezionare un'immagine da proteggere premendo ◀ o ▶ sul pulsante di controllo.

- 8** Verificare che sia selezionato ON e premere ENTER sul pulsante di controllo.
Se non è selezionato, selezionare ON premendo ▲ sul pulsante di controllo e premere ENTER sul quest'ultimo.

Appare il simbolo ☹ di protezione.

Quando l'immagine selezionata è stata protetta, appare il simbolo di protezione e sull'LCD viene visualizzato il pulsante OFF o RETURN.

Per proteggere le altre immagini

Ripetere i passi precedenti **7** e **8**.

Proteggere tutte le immagini

- 1** Portare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.

- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.

- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.

- 4** Premere il pulsante MENU.

Appare la visualizzazione Menu.

- 5** Selezionare PROTECT ALL premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 6** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Protect All.

- 7** Selezionare ON premendo ▲ sul pulsante di controllo.

- 8** Premere ENTER sul pulsante di controllo per proteggere tutte le immagini.

Appare il simbolo di protezione.

Protezione di un'immagine nella visualizzazione multipla di nove immagini

- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.
- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 4** Premere il lato W della leva dello zoom.

Appare la visualizzazione multipla di nove immagini.
- 5** Premere il pulsante MENU.

Appare la visualizzazione Menu.
- 6** Selezionare PROTECT premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione multipla di nove immagini e il cursore lampeggia in corrispondenza dell'immagine attualmente selezionata.
- 7** Selezionare un'immagine da proteggere premendo ◀, ▶, ▲ o ▼ sul pulsante di controllo e premere ENTER su quest'ultimo.

Appare la visualizzazione Protect.
- 8** Verificare che sia selezionato ON e premere ENTER sul pulsante di controllo.

Se ON non è selezionato, selezionarlo premendo ◀ sul pulsante di controllo, quindi premere ENTER su quest'ultimo.

Sull'immagine selezionata appare il simbolo di protezione nel passo 7 e viene ripresentata la visualizzazione Menu.

Ripresentare la visualizzazione Menu

Selezionare RETURN premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo sulla visualizzazione Protect o Protect All e premere ENTER sul pulsante di controllo.

Per completare l'impostazione della protezione

Premere il pulsante MENU.

Eliminare un'immagine protetta

Se si desidera eliminare una o più immagini protette, togliere la protezione.

- 1** Visualizzare Protect e selezionare un'immagine a cui togliere la protezione premendo ◀ o ▶ sul pulsante di controllo, oppure usare la visualizzazione Protect All.

Per dettagli sulla visualizzazione Protect o Protect All, vedere "Protezione delle immagini una alla volta" a pagina 173, "Proteggere tutte le immagini" a pagina 173 o "Protezione di un'immagine nella visualizzazione multipla di nove immagini" a pagina 174.

- 2** Verificare che sia selezionato OFF e premere ENTER sul pulsante di controllo.

Il simbolo di protezione sparisce e la protezione è tolta.

Spegnimento dell'alimentazione

Al termine dell'uso, mettere la stampante nel modo di attesa e spegnere l'apparecchio fotografico.

Impostazione del modo di attesa sulla stampante

Premere il pulsante di accensione/attesa. La spia si spegne e la stampante passa nel modo di attesa.

Spegnimento dell'apparecchio fotografico

Mettere l'interruttore POWER su OFF.
L'apparecchio fotografico salva gli ultimi dati impostati in memoria e spegne completamente l'alimentazione. Mentre l'apparecchio fotografico salva i dati, sull'LCD viene visualizzato l'orologio e la spia di attesa è accesa. Durante il trasferimento dei dati in memoria, non scollegare l'adattatore di alimentazione c.a., né rimuovere le batterie.

Nota

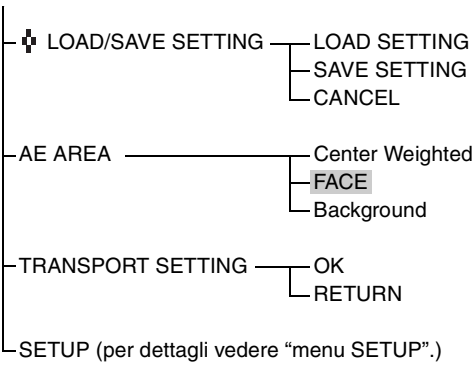
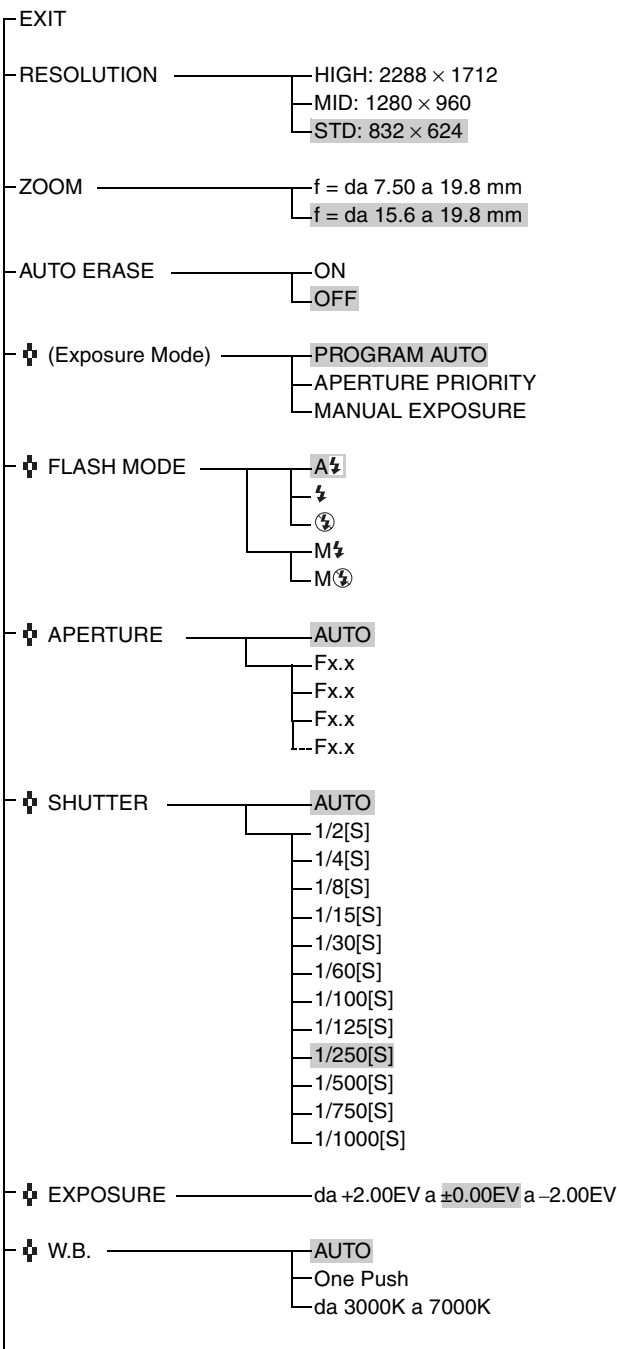
Se l'alimentazione viene interrotta scollegando l'adattatore di alimentazione c.a. o rimuovendo le batterie durante il trasferimento dei dati in memoria, i dati di impostazione potrebbero non essere salvati e venire ripristinate le impostazioni precedenti. Se l'alimentazione viene accesa o spenta collegando o scollegando l'adattatore di alimentazione c.a., gli ultimi dati di impostazione non sono salvati in memoria.

Menu

Struttura Menu

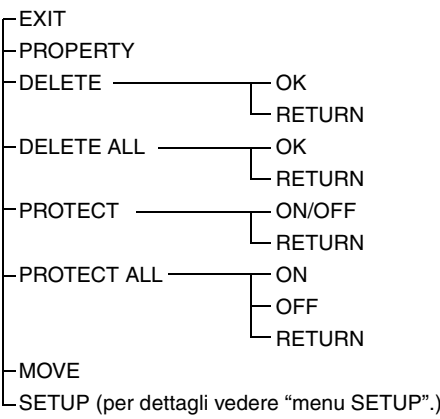
Apparecchio fotografico

Modo CAMERA



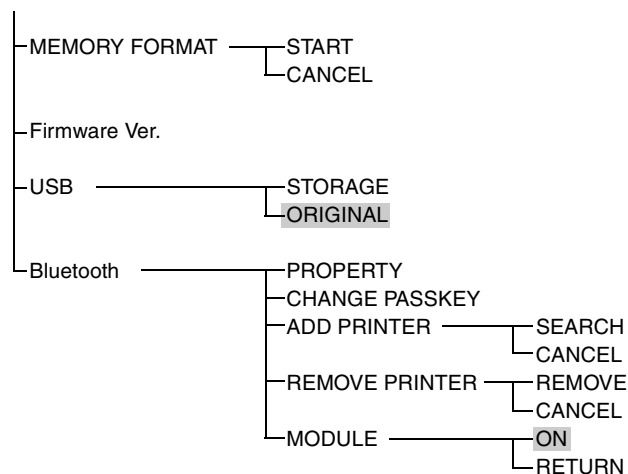
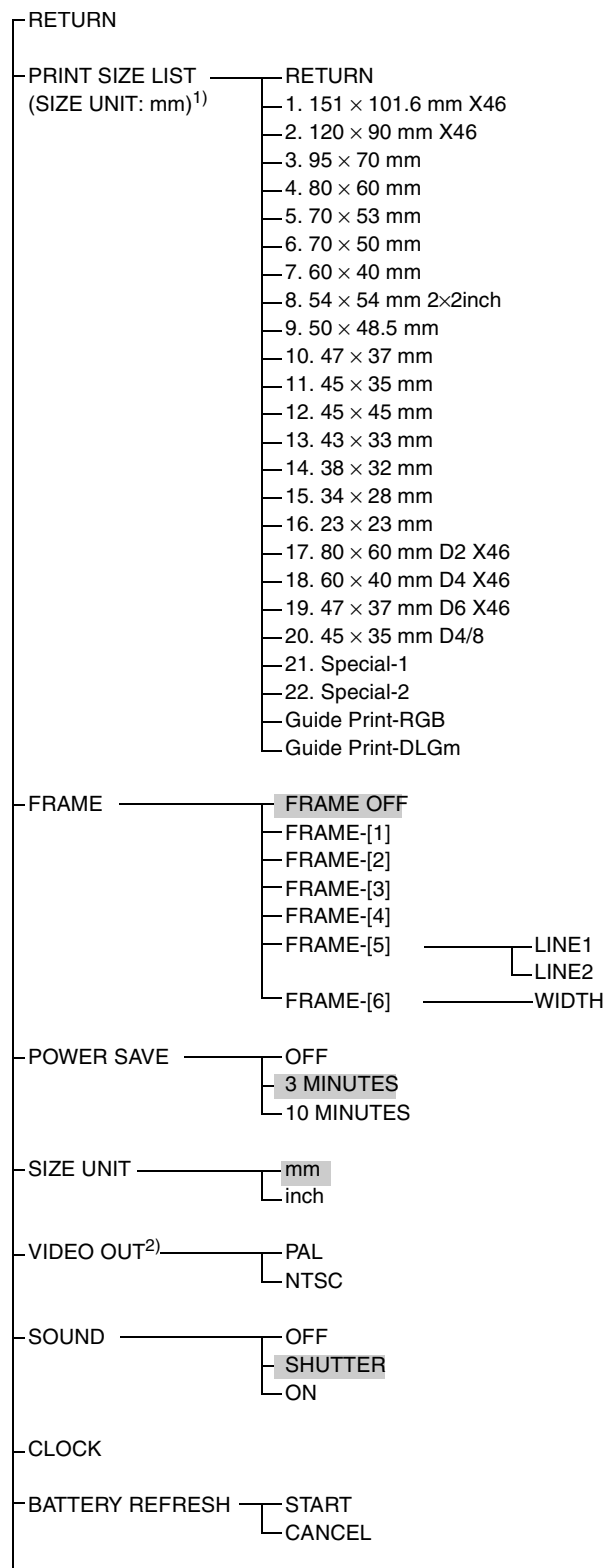
⚡ : Impostazione di stabilimento
⚡ : voci salvate da LOAD/SAVE SETTING

Modo PLAY

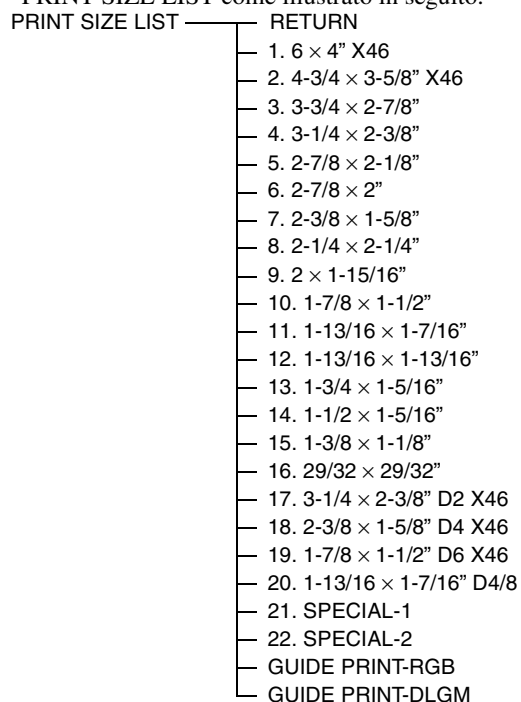


Menu SETUP

Menu SETUP è comune ai modi CAMERA e PLAY.



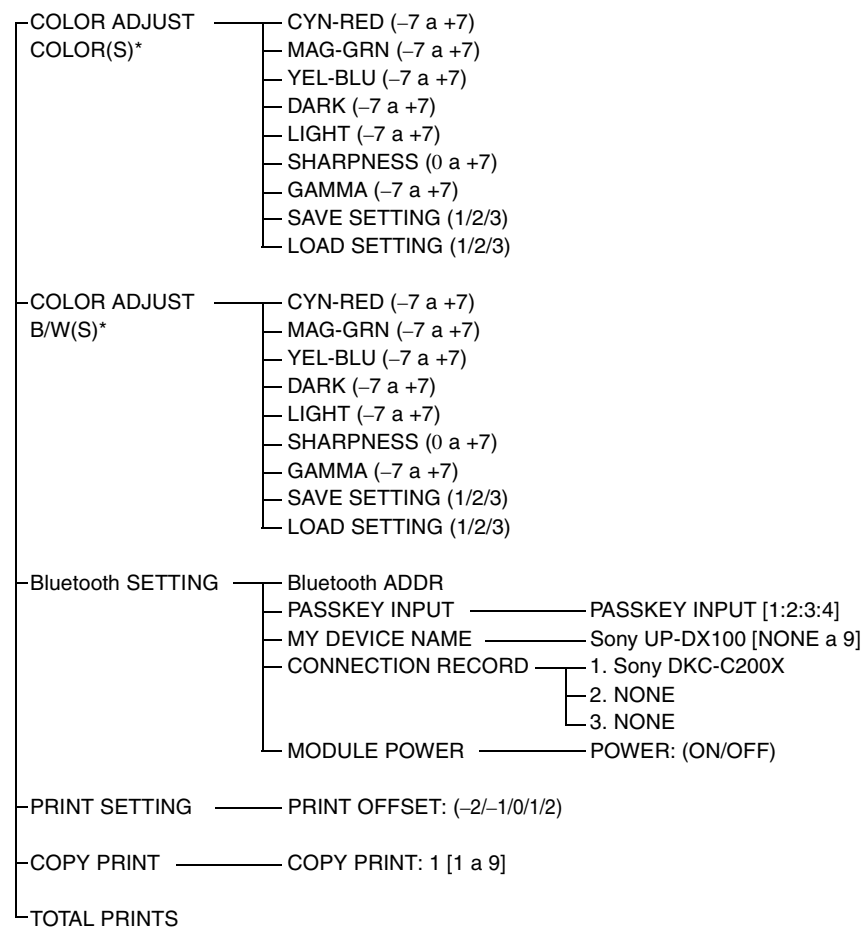
1) Se SIZE UNIT è impostato su "inch" viene visualizzato PRINT SIZE LIST come illustrato in seguito.



2) L'impostazione di stabilimento dipende dall'area in cui è stato acquistato il sistema.

 : Impostazione di stabilimento

Stampante



* Quando è usata la carta da stampa della serie UPC-X45, viene visualizzato (S).

Funzioni delle voci di Menu

Modo CAMERA

Il simbolo  indica le voci la cui impostazione può essere salvata con SAVE SETTING.

Voce di menu	Funzione	Impostazione
EXIT	Uscita dal modo Menu.	—
RESOLUTION	Selezione della risoluzione di registrazione.	Record Resolution HIGH: 2288 × 1712 MID: 1280 × 960 STD: 832 × 624
ZOOM	Selezione dell'intervallo dello zoom.	Zoom Range f=da 7,50 a 19,8 mm: equivalente a un obiettivo da 36 a 96 mm con un apparecchio fotografico per pellicola da 35 mm f=da 15,6 a 19,8 mm: equivalente a un obiettivo da 75 a 96 mm con un apparecchio fotografico per pellicola da 35 mm
AUTO ERASE	Impostazione del modo di eliminazione automatica.	Auto Erase ON: Quando la memoria è piena l'immagine più vecchia è eliminata e viene salvata in memoria una immagine nuova. OFF: Quando la memoria è piena, la registrazione si arresta. (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
 (Exposure Mode)	Selezione del metodo di controllo dell'esposizione.	Exposure Mode PROGRAM AUTO: l'esposizione viene controllata automaticamente. APERTURE PRIORITY: l'impostazione dell'apertura ha la priorità sul controllo dell'esposizione. MANUAL EXPOSURE: l'esposizione è controllata manualmente.
 FLASH MODE	Selezione del modo flash.	Flash Mode A  : esposizione automatica, flash automatico ⚡: esposizione automatica, flash acceso Ⓢ: esposizione automatica, flash spento M  : Esposizione manuale, flash acceso MⓈ: Esposizione manuale, flash spento
 APERTURE	Selezione delle impostazioni dell'apertura. Questa selezione è disponibile solo quando Exposure Mode è impostato su APERTURE PRIORITY o MANUAL EXPOSURE.	Aperture Setting Il numero delle opzioni disponibili (tre o quattro) e i rispettivi valori dipendono dalla posizione dello zoom.
 SHUTTER	Selezione della velocità dell'otturatore. Questa selezione è disponibile solo quando Exposure Mode è impostato su MANUAL EXPOSURE.	Shutter Speed 1/2[S], 1/4[S], 1/8[S], 1/15[S], 1/30[S], 1/60[S], 1/100[S], 1/125[S], 1/250[S], 1/500[S], 1/750[S], 1/1000[S]
 EXPOSURE	Modifica dell'impostazione di esposizione.	EV Compensation +2.00EV, +1.75EV, +1.50EV, +1.25EV, +1.00EV, +0.75EV, +0.50EV, +0.25EV, ±0.00EV, -0.25EV, -0.50EV, -0.75EV, -1.00EV, -1.25EV, -1.50EV, -1.75EV, -2.00EV
 W.B.	Regolazione del bilanciamento del bianco.	White Balance AUTO: il bilanciamento del bianco è regolato automaticamente. One Push: quando è selezionato One Push viene regolato il bilanciamento del bianco in funzione delle condizioni di illuminazione. 3000K, 3500K, 4000K, 4500K, 5000K, 5500K, 6000K, 6500K, 7000K: il bilanciamento del bianco viene regolato in funzione della temperatura di colore selezionata.

Voce di menu	Funzione	Impostazione
⚡ LOAD/SAVE SETTING	Salvataggio delle condizioni di scatto (FLASH MODE, APERTURE, SHUTTER, EXPOSURE e W.B.) per ciascuna esposizione.	LOAD SETTING: vengono reimpostate le condizioni di scatto salvate. All'inizio non è possibile selezionare questa opzione poiché non ci sono condizioni di scatto salvate. SAVE SETTING: salvataggio delle condizioni di scatto. CANCEL: riappare la visualizzazione Menu. (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
AE AREA	Selezione dell'area di fotometria automatica. L'impostazione AE Area è attivata soltanto quando Exposure Mode è impostato su PROGRAM AUTO o APERTURE PRIORITY.	AE Area Center Weighted: pesatura centrale FACE: area del viso Background: metà superiore dello sfondo (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
TRANSPORT SETTING	Spostamento dell'obiettivo nella posizione bloccata verso il basso per il trasporto.	ON: obiettivo bloccato verso il basso per il trasporto. Dopo aver bloccato l'obiettivo, portare l'interruttore POWER su OFF. RETURN: obiettivo sbloccato.

SETUP (Vedere "menu SETUP").

Modo PLAY

Voce di menu	Funzione	Impostazione
EXIT	Uscita dal modo Menu.	—
PROPERTY	Visualizzazione delle informazioni relative all'immagine selezionata.	—
DELETE	Eliminazione di un'immagine salvata in memoria.	Delete OK/RETURN
DELETE ALL	Eliminazione di tutte le immagini in memoria, eccetto quelle protette.	Delete All? OK/RETURN
PROTECT	Impostazione o annullamento della protezione delle immagini.	Protect ON/RETURN, OFF/RETURN
PROTECT ALL	Impostazione o annullamento della protezione di tutte le immagini salvate in memoria.	Protect All ON/OFF/RETURN
MOVE	Spostamento dell'immagine nella visualizzazione multipla.	—

SETUP (Vedere "menu SETUP").

Menu SETUP

Menu SETUP è comune ai modi CAMERA e PLAY.

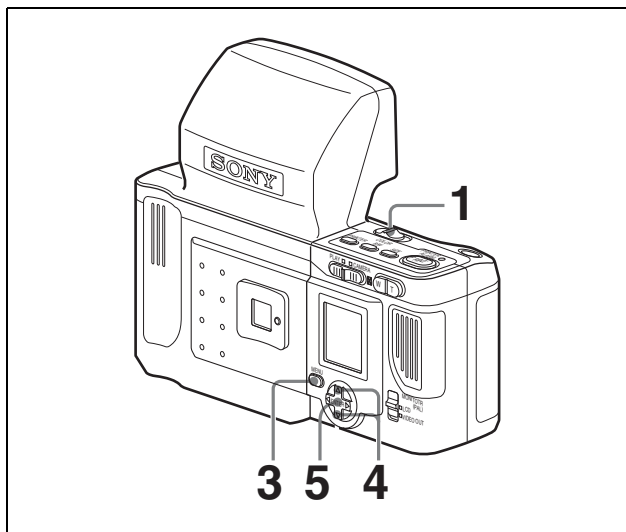
Voce di menu	Funzione	Impostazione	
RETURN	Uscita dal modo SETUP e ritorno alla visualizzazione Menu.	—	
PRINT SIZE LIST	Selezione del formato presentato sull’LCD quando viene premuto il pulsante SIZE. L’impostazione di stabilimento permette di selezionare qualsiasi formato. “Guide Print-RGB” e “Guide Print-DLGm” sono visualizzati sempre.	Print Size (SIZE UNIT: mm) RETURN 1. 151 × 101.6 mm X46 2. 120 × 90 mm X46 3. 95 × 70 mm 4. 80 × 60 mm 5. 70 × 53 mm 6. 70 × 50 mm 7. 60 × 40 mm 8. 54 × 54 mm 2×2inch 9. 50 × 48.5 mm 10. 47 × 37 mm 11. 45 × 35 mm 12. 45 × 45 mm 13. 43 × 33 mm 14. 38 × 32 mm 15. 34 × 28 mm 16. 23 × 23 mm 17. 80 × 60 mm D2 X46 18. 60 × 40 mm D4 X46 19. 47 × 37 mm D6 X46 20. 45 × 35 mm D4/8 21. Special-1 22. Special-2 Guide Print-RGB Guide Print-DLGm	Print Size (SIZE UNIT: inch) RETURN 1. 6 × 4” X46 2. 4-3/4 × 3-5/8” X46 3. 3-3/4 × 2-7/8” 4. 3-1/4 × 2-3/8” 5. 2-7/8 × 2-1/8” 6. 2-7/8 × 2” 7. 2-3/8 × 1-5/8” 8. 2-1/4 × 2-1/4” 9. 2 × 1-15/16” 10. 1-7/8 × 1-1/2” 11. 1-13/16 × 1-7/16” 12. 1-13/16 × 1-13/16” 13. 1-3/4 × 1-5/16” 14. 1-1/2 × 1-5/16” 15. 1-3/8 × 1-1/8” 16. 29/32 × 29/32” 17. 3-1/4 × 2-3/8” D2 X46 18. 2-3/8 × 1-5/8” D4 X46 19. 1-7/8 × 1-1/2” D6 X46 20. 1-13/16 × 1-7/16” D4/8 21. SPECIAL-1 22. SPECIAL-2 GUIDE PRINT-RGB GUIDE PRINT-DLGm
FRAME	Selezione del tipo di linee di riferimento mostrate sull’LCD.	FRAME OFF: nessuna linea di riferimento visualizzata FRAME-[1]: visualizzazione dell’inquadratura 1 FRAME-[2]: visualizzazione dell’inquadratura 2 FRAME-[3]: visualizzazione dell’inquadratura 3 FRAME-[4]: visualizzazione dell’inquadratura 4 FRAME-[5] (LINE1/LINE2): le posizioni delle due linee orizzontali sono regolabili. FRAME-[6] (WIDTH): la larghezza delle due linee verticali è regolabile.	
POWER SAVE	Attivazione e disattivazione del modo di risparmio energetico.	Power Save OFF: risparmio energetico non operativo 3 MINUTES: spegnimento automatico dell’alimentazione dopo tre minuti 10 MINUTES: spegnimento automatico dell’alimentazione dopo dieci minuti	
SIZE UNIT	Selezione delle unità del formato.	Size Unit mm/inch	
VIDEO OUT	Selezione del formato del segnale di uscita sulla presa a spinotto VIDEO OUT.	Video Out PAL: fornisce un segnale PAL (interruttore MONITOR (PAL) attivato). NTSC: fornisce un segnale NTSC	
SOUND	Attivazione e disattivazione dei segnali acustici associati alle funzioni.	Sound OFF: segnali acustici disattivati. SHUTTER: viene emesso un segnale acustico quando è premuto il pulsante di scatto o pulsante PRINT. ON: vengono emessi segnali acustici per tutte le funzioni (escluso premere la leva dello zoom, l’interruttore PLAY/CAMERA e l’interruttore MONITOR (PAL)).	
CLOCK	Impostazione di data e ora.	Clock Y/M/D, Date, Time (anno/mese/giorno, data, ora) OK/RETURN	

Voce di menu	Funzione	Impostazione
BATTERY REFRESH	Ripristino delle batterie NH.	Battery Refresh START: inizia il ripristino delle batterie CANCEL: il ripristino delle batterie è annullato
MEMORY FORMAT	Formattazione della memoria incorporata per i dati delle immagini. Nota Quando viene formattata la memoria, tutti i dati delle immagini, comprese quelle protette, sono eliminati.	Memory Format (CAUTION! ALL IMAGES WILL BE DELETED.) START: inizia la formattazione della memoria CANCEL: la formattazione della memoria è annullata (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
Firmware Ver.	Visualizzazione della versione del firmware.	(Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
USB	Selezione della classe USB.	USB Class STORAGE: Accesso alla memoria incorporata per i dati delle immagini come supporto rimovibile della classe di memorizzazione Nota La classe di memorizzazione è attivata solo se il sistema operativo del computer collegato la supporta. ORIGINAL: per controllare l'apparecchio fotografico usando il driver e il software di utilità fornito
Bluetooth	Impostazione delle funzioni Bluetooth.	PROPERTY: mostra l'indirizzo e la chiave di accesso dell'apparecchio fotografico e l'elenco delle stampanti registrate. CHANGE PASSKEY: modifica della chiave di accesso, da 0000 a 9999. ADD PRINTER: for per registrare un massimo di tre stampanti opzionali. REMOVE PRINTER: rimozione di una stampante registrata per volta. MODULE: accensione e spegnimento dell'alimentazione del circuito Bluetooth. (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)

Stampante

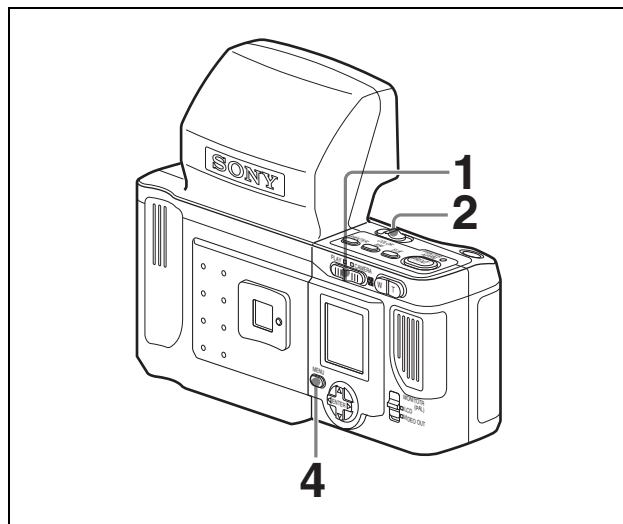
Voce di menu	Funzione	Impostazione
COLOR ADJUST COLOR	Permette di regolare la qualità di stampa per immagini a colori.	CYN-RED: regola ciano e rosso. MAG-GRN: regola magenta e verde. YEL-BLU: regola giallo e blu. DARK: regola la luminosità di un'area scura. LIGHT: regola la luminosità di un'area chiara. SHARPNESS: regola la nitidezza dei bordi degli oggetti in un'immagine.
COLOR ADJUST B/W	Permette di regolare la qualità di stampa per immagini in bianco e nero.	GAMMA: regola il tono di un'immagine. SAVE SETTING (1/2/3): il valori regolati sono salvati nella memoria incorporata. LOAD SETTING (1/2/3): i valori regolati salvati nella memoria vengono caricati. (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
Bluetooth SETTING	Permette di effettuare le impostazioni Bluetooth.	Bluetooth ADDR: visualizza l'indirizzo Bluetooth. PASSKEY INPUT: imposta o cambia una chiave di accesso. MY DEVICE NAME: permette di assegnare un numero alla stampante. CONNECTION RECORD: visualizza il record di collegamento. MODULE POWER: accende o spegne l'alimentazione dei circuiti Bluetooth. (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
PRINT SETTING	Regolazione fine della posizione di stampa sulla carta della serie UPC-X46.	PRINT OFFSET (-2/-1/0/1/2) La posizione di stampa può essere spostata di 0,5 mm.
COPY PRINT	Ristampa dell'immagine più recente salvata in memoria.	[1 - 9] Impostazione del numero di fogli da stampare.
TOTAL PRINTS	Mostra il numero totale di fogli stampati.	—

Visualizzare Setup



- 1** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 2** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 3** Premere il pulsante MENU.
Appare la visualizzazione Menu.
- 4** Selezionare SETUP premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Setup.

Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA



- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su CAMERA.
- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 4** Premere il pulsante MENU.
Appare la visualizzazione Menu.

Altre funzioni

Uso dell'apparecchio fotografico a batterie

L'apparecchio fotografico può essere usato con le batterie NH-AA inserite. Per usare l'apparecchio fotografico con le batterie, caricarle usando il caricabatterie fornito.

Quando le batterie sono usate per la prima volta o dopo un periodo lungo di inattività, potrebbero non essere completamente cariche. In tal caso, effettuare alcuni cicli di carica e scarica.

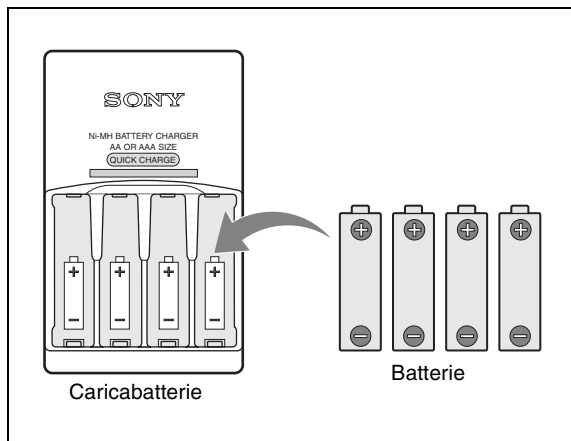
Per dettagli sulla scarica delle batterie, vedere "Ripristino delle batterie" a pagina 185.

Note

- La durata del funzionamento a batterie dipende dalla temperatura e dalle condizioni di funzionamento. Per scattare correttamente le fotografie, si consiglia di usare batterie completamente cariche, oppure un adattatore di alimentazione c.a.
- Quando viene utilizzato il flash incorporato, l'energia delle batterie si consuma rapidamente. La ricarica del flash con le batterie richiede più tempo che la carica con l'adattatore di alimentazione c.a.
- Per il funzionamento a batterie, non usare forza eccessiva a fine corsa della rotazione dell'impugnatura. L'urto potrebbe interrompere momentaneamente l'alimentazione. In tal caso il funzionamento dell'apparecchio fotografico si interrompe, quindi l'alimentazione riprende.

Carica delle batterie

- 1 Inserire le batterie nel caricabatterie rispettando la polarità corretta.



- 2 Collegare il caricabatterie alla presa a muro.



La spia CHARGE si illumina e la carica inizia. Per caricare quattro batterie sono necessari circa 180 minuti.

Quando le batterie sono completamente cariche la spia CHARGE si spegne.

- 3 Scollegare il caricabatterie dalla presa a muro e rimuovere le batterie.

Note

- Non caricare batterie di tipo diverso da quelle NH. Diversamente le batterie potrebbero guastarsi.
- Inserire saldamente le batterie.
- Quando vengono caricate delle batterie che non sono state usate per molto tempo, la carica potrebbe arrestarsi prima che siano completamente cariche. In tal caso, scollegare il caricabatterie dalla presa a muro e ricollegarlo per ricominciare la carica. Così facendo potrebbe essere possibile ricaricare completamente le batterie.
- Ricaricare le batterie scariche.
- Caricare le batterie in un luogo la cui temperatura ambiente sia fra 10°C e 30°C.
- Prestare attenzione a collegare correttamente il caricabatterie.
- Non inserire o rimuovere batterie quando il caricabatterie è collegato alla presa a muro.
- Il caricabatterie e le batterie potrebbero scaldarsi durante la carica, ma ciò non costituisce un guasto.
- Dopo la carica, le batterie diventano molto calde. Prestare attenzione nel toccarle.
- Durante la carica, potrebbe essere generata interferenza a TV, radio o sintonizzatore. In tal caso, usare una presa a muro distante da TV, radio o sintonizzatore.

Ripristino delle batterie

Le batterie installate nell'apparecchio fotografico possono essere ripristinate con le procedure che seguono.

- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2 Selezionare BATTERY REFRESH premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Battery Refresh.
- 4 Selezionare START premendo ▲ sul pulsante di controllo.
- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Il ripristino delle batterie inizia.

Interruzione del ripristino delle batterie

Selezionare CANCEL invece di START nel passo 4 e premere ENTER sul pulsante di controllo.
È possibile interrompere il ripristino premendo il pulsante MENU dopo che il ripristino è stato avviato premendo ENTER sul pulsante di controllo al passo 5.

Funzione di ripristino delle batterie

La funzione di ripristino delle batterie può eliminare l'effetto di memoria delle batterie¹⁾ scaricando le batterie che non sono completamente scariche. Si rimedia così alla riduzione del tempo di funzionamento delle batterie. Si consiglia di effettuare il ripristino quando il tempo di funzionamento delle batterie diminuisce.

- 1) Effetti di memoria: se una batteria ricaricabile è scaricata e caricata ripetutamente senza essere scaricata completamente, l'energia immagazzinata diminuisce temporaneamente e per alcune apparecchiature il tempo di funzionamento potrebbe essere ridotto. Si tratta di un fenomeno temporaneo; scaricando completamente la batteria il tempo di funzionamento può essere ripristinato. Il modo in cui l'effetto di memoria agisce sul funzionamento varia secondo le apparecchiature.

Nota

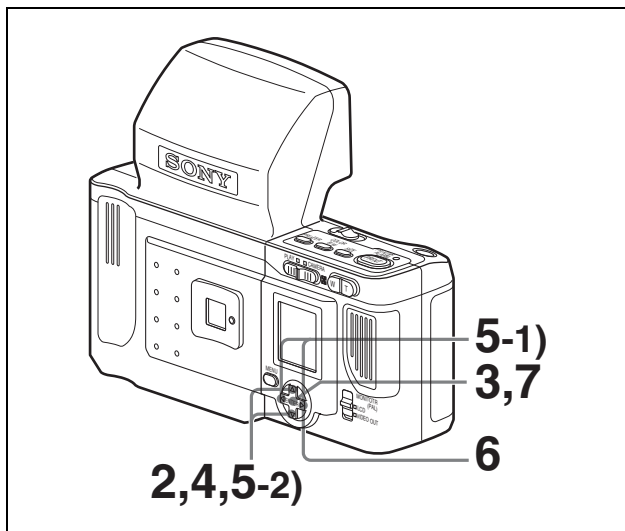
Non ripristinare mai batterie di tipi diversi da NH-AA o equivalente. Diversamente potrebbero verificarsi perdite, scoppi o temperature estremamente elevate, che potrebbero causare un incidente.

Indicatore dell'alimentazione a batterie

L'alimentazione a batterie è indicata sull'LCD dell'apparecchio fotografico. Il livello di carica residuo è indicato da quattro divisioni. Controllare l'indicatore e caricare le batterie quando necessario.

Indicatore	Significato
	L'energia residua è superiore a 1/3.
	L'energia residua è fra 1/3 e 1/10. Preparare delle batterie di riserva cariche o l'adattatore di alimentazione c.a.
	L'energia residua è inferiore a 1/10. Sostituire le batterie con batterie cariche o usare l'adattatore di alimentazione c.a.
	Le batterie sono scariche. L'apparecchio fotografico non funzionerà. Sostituire le batterie con batterie cariche o usare l'adattatore di alimentazione c.a. Premendo il pulsante di scatto, la spia lampeggia per indicare che lo scatto è disattivato.

Impostazione dell'orologio (CLOCK)



- 1** Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2** Selezionare CLOCK premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Clock.
- 4** Selezionare il modo di rappresentazione della data (Y/M/D, M/D/Y o D/M/Y) premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 5** Impostazione di data e ora.
 - 1)** Selezionare una voce da impostare premendo ◀ o ▶ sul pulsante di controllo.
 - 2)** Impostare il valore premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 6** Quando le impostazioni sono state effettuate, selezionare OK premendo ► sul pulsante di controllo.
- 7** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Data e ora sono impostate e viene ripresentata la visualizzazione Setup.

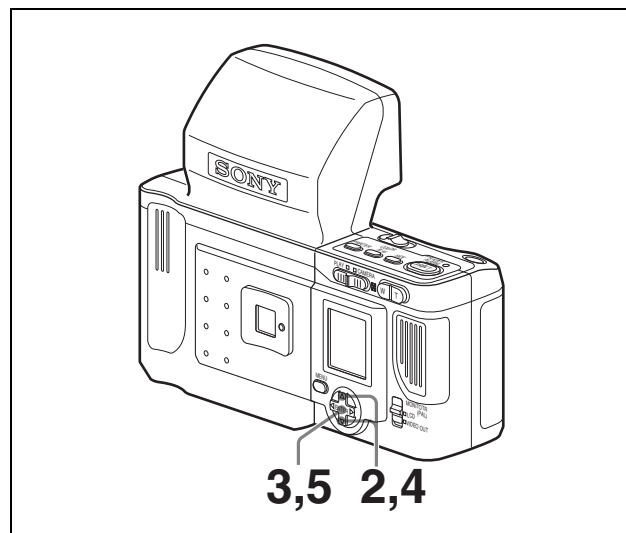
Annulare l'impostazione di data e ora

Selezionare CANCEL nel passo **6** e premere ENTER sul pulsante di controllo.

Impostazione della risoluzione di registrazione (RESOLUTION)

Impostare la risoluzione di registrazione adatta al formato da stampare.

Per la risoluzione adatta a ciascun formato di stampa, vedere "Risoluzioni di registrazione consigliate" a pagina 187.



- 1** Visualizzare il Menu.
Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.
- 2** Selezionare RESOLUTION premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Record Resolution.
- 4** Selezionare la risoluzione premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
HIGH: 2288 × 1712 (numero di immagini che è possibile memorizzare: 20 o più)
MID: 1280 × 960 (numero di immagini che è possibile memorizzare: 80 o più)
STD: 832 × 624 (numero di immagini che è possibile memorizzare: 200 o più)
Il numero di immagini che è possibile salvare in memoria varia secondo le immagini effettivamente salvate. Fare riferimento al valore indicato in alto a destra sull'LCD.
- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Riappare la visualizzazione Menu.

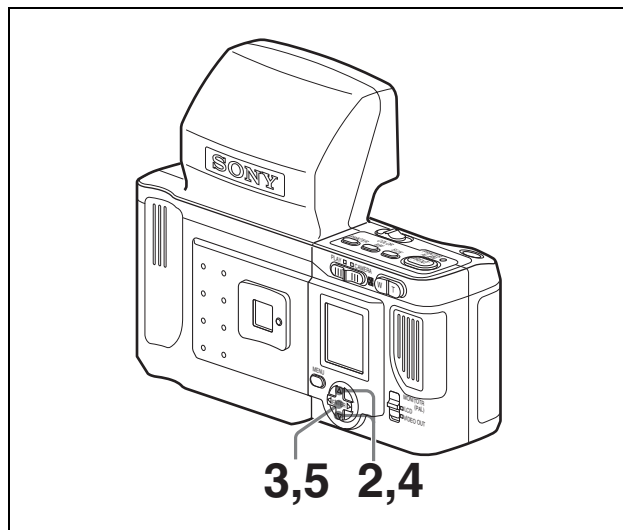
Risoluzioni di registrazione consigliate

Formato di stampa			Risoluzione consigliata		
N. formato	Altezza mm	Larghezza mm	HIGH	MID	STD
1	151	101,6	⊙	△	×
2	120	90	⊙	△	×
3	95	70	⊙	△	×
4, 17 (D2)	80	60	○	⊙	△
5	70	53	○	⊙	△
6	70	50	○	⊙	△
7, 18 (D4)	60	40	○	⊙	△
8	54	54	○	⊙	△
9	50	48,5	○	⊙	△
10, 19 (D6)	47	37	○	○	⊙
11, 20 (D4/8)	45	35	○	○	⊙
12	45	45	○	⊙	△
13	43	33	○	○	⊙
14	38	32	○	○	⊙
15	34	28	○	○	⊙
16	23	23	○	○	⊙

- ⊙: la coppia migliore di risoluzione e formato di stampa. Usare questa risoluzione se il formato di stampa è noto.
- : la risoluzione è eccessiva per il formato di stampa. Si consiglia di usare la risoluzione indicata da ⊙, per memorizzare il massimo numero di immagini.
- △: la risoluzione è relativamente bassa per il formato di stampa, ma la qualità di stampa può essere regolata a un livello accettabile.
- ×: la risoluzione è troppo bassa per il formato di stampa. Ciò non è consigliato.

Impostazione dell'intervallo dello zoom (ZOOM)

L'intervallo dello zoom è impostato su 1.3× (f = da 15,6 a 19,8 mm) in stabilimento. Questo intervallo può essere modificato a 2.6× (f = da 7,50 a 19,8 mm) procedendo come segue.



- 1 Visualizzare il Menu.
Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.
- 2 Selezionare ZOOM premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Zoom Range.
- 4 Selezionare f = da 7,50 a 19,8 mm premendo ▲ sul pulsante di controllo.
- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Riappare la visualizzazione Menu.

Nota

Se come illuminazione principale è usato il flash incorporato, si consiglia di usare l'intervallo dello zoom impostato in stabilimento (f = da 15,6 a 19,8). Se viene usato un intervallo dello zoom con f = da 7,50 a 19,8, prestare attenzione a impostare lo zoom all'interno della zona blu della barra dello zoom visualizzata sull'LCD. Se viene ripreso un soggetto nella zona arancione, l'illuminazione intorno al soggetto potrebbe non essere sufficiente.

Impostazione delle condizioni di scatto

Le condizioni di scatto sono impostate in stabilimento in modo che sia possibile scattare fotografie automaticamente. Se necessario, è possibile impostare le condizioni in modo manuale.

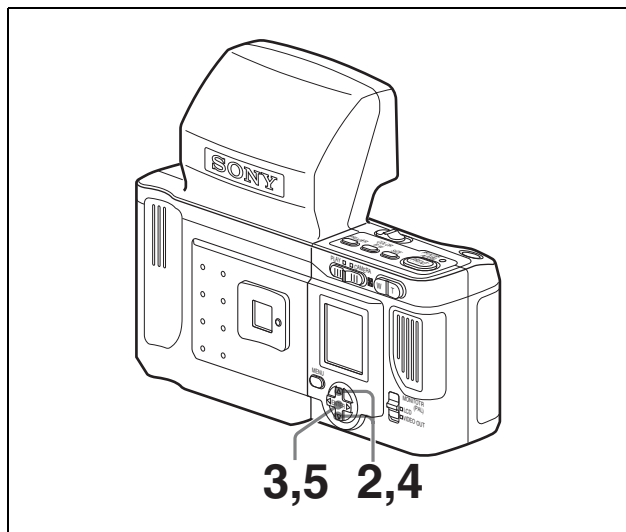
Le condizioni di scatto che possono essere controllate manualmente dipendono dal modo di controllo dell'esposizione. La tabella che segue mostra le condizioni di scatto disponibili per ciascun modo di controllo dell'esposizione.

Modo di controllo dell'esposizione	Modo flash (FLASH MODE)	Preilluminazione /prefotometria	Velocità dell'otturatore (SHUTTER)	Apertura (APERTURE)	Bilanciamento del bianco (W.B.)	Compensazione dell'esposizione (EXPOSURE)
PROGRAM AUTO	A	Preilluminazione/prefotometria	da 1/30 a 1/1000	AUTO	AUTO/---/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
		Preilluminazione	1/250	AUTO	AUTO/One Push/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
		Prefotometria	da 1/2 a 1/1000	AUTO	AUTO/One Push/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
APERTURE PRIORITY	A	Preilluminazione/prefotometria	da 1/30 a 1/1000	Manuale	AUTO/---/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
		Preilluminazione	1/250	Manuale	AUTO/One Push/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
		Prefotometria	da 1/2 a 1/1000	Manuale	AUTO/One Push/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
MANUAL EXPOSURE	M	No	da 1/2 a 1/1000	Manuale	AUTO/One Push/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV
	M	No	da 1/2 a 1/1000	Manuale	AUTO/One Push/da 3000K a 7000K	da +2.00 EV a -2.00 EV

: impostazione automatica

Selezione del modo di controllo dell'esposizione (Exposure Mode)

Sono disponibili tre modi di controllo dell'esposizione: PROGRAM AUTO, APERTURE PRIORITY e MANUAL EXPOSURE.



1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.

2 Selezionare PROGRAM AUTO, APERTURE PRIORITY, o MANUAL EXPOSURE premendo o sul pulsante di controllo.

3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Exposure Mode.

4 Selezionare PROGRAM AUTO, APERTURE PRIORITY, o MANUAL EXPOSURE premendo o sul pulsante di controllo.

PROGRAM AUTO: l'apertura e la velocità dell'otturatore sono regolate automaticamente.

APERTURE PRIORITY: l'apertura è regolata manualmente, mentre la velocità dell'otturatore è regolata automaticamente.

MANUAL EXPOSURE: l'apertura e la velocità dell'otturatore sono regolate manualmente.

5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Riappare la visualizzazione Menu.

Impostazione del modo flash (FLASH MODE)

Quando il modo di esposizione è impostato su PROGRAM AUTO o APERTURE PRIORITY, l'esposizione è regolata automaticamente e sono disponibili tre modi flash. Quando il controllo dell'esposizione è impostato su MANUAL EXPOSURE, l'esposizione è regolata manualmente e sono disponibili due modi flash.

- 1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.

- 2 Selezionare FLASH MODE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Flash Mode.

- 4 Selezionare il modo flash premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

Controllo automatico dell'esposizione

A⚡: Flash automatico

⚡: Flash acceso

Ⓜ: Flash spento

Controllo manuale dell'esposizione

M⚡: Flash acceso

MⓂ: Flash spento

- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Il modo del flash selezionato è impostato e viene ripresentata la visualizzazione Menu.

Impostazione dell'apertura (APERTURE)

Quando il modo di esposizione è impostato su APERTURE PRIORITY o MANUAL EXPOSURE, l'impostazione dell'apertura può essere effettuata manualmente. I valori di apertura variano secondo la posizione dello zoom.

- 1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.

- 2 Selezionare APERTURE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Aperture Setting.

- 4 Selezionare un valore di apertura adatto premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Il valore di apertura selezionato è impostato e viene ripresentata la visualizzazione Menu.

Selezione della velocità dell'otturatore (SHUTTER)

Quando il modo di esposizione è impostato su MANUAL EXPOSURE, è possibile selezionare la velocità dell'otturatore.

- 1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.

- 2 Selezionare SHUTTER premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Shutter Speed.

- 4 Selezionare una velocità dell'otturatore adeguata premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

La velocità dell'otturatore selezionata viene impostata ed è ripresentata la visualizzazione Menu.

Compensazione dell'esposizione (EXPOSURE)

- 1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.

- 2 Selezionare EXPOSURE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione EV Compensation.

- 4 Selezionare un valore adeguato premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Il valore selezionato è impostato e viene rappresentata la visualizzazione Menu.

Per eseguire la compensazione dell'esposizione facilmente

È possibile modificare facilmente l'esposizione premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo. Quando viene premuto il pulsante, il valore visualizzato sull'LCD cambia.

Con questo metodo è possibile cambiare l'esposizione anche quando il menu è stato bloccato.

Per dettagli sul blocco del Menu, vedere "Blocco del Menu dell'apparecchio fotografico" a pagina 200.

Regolazione del bilanciamento del bianco (W.B.)

1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere "Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA" a pagina 183.

2 Selezionare W.B. premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione White Balance.

4 Impostare il metodo di regolazione del bilanciamento del bianco premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

AUTO: il bilanciamento del bianco è regolato automaticamente.

One Push: quando è selezionata questa opzione, il bilanciamento del bianco è regolato in funzione delle condizioni di illuminazione. Nelle stesse condizioni di illuminazione in cui sarà scattata una fotografia, visualizzare un soggetto bianco nel centro dell'LCD. Quindi premere il pulsante di scatto oppure ENTER sul pulsante di controllo. Il bilanciamento del bianco sarà automaticamente regolato in funzione delle condizioni di illuminazione.

Da 3000K a 7000K: selezionare la temperatura di colore in funzione delle condizioni di illuminazione e il bilanciamento del bianco sarà regolato in funzione della temperatura selezionata.

5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Il bilanciamento del bianco viene regolato ed è rappresentata la visualizzazione Menu.

Annullamento della modifica

Se si desidera annullare l'impostazione effettuata in una qualsiasi visualizzazione e tornare alla visualizzazione Menu, premere ◀ sul pulsante di controllo.

L'impostazione è annullata e viene rappresentata la visualizzazione Menu.

Impostazione del formato di stampa da visualizzare (PRINT SIZE LIST)

Il formato di stampa selezionabile con il pulsante SIZE può essere impostato con il menu SETUP. Impostando i formati usati più frequentemente, è possibile scegliere facilmente il formato desiderato.

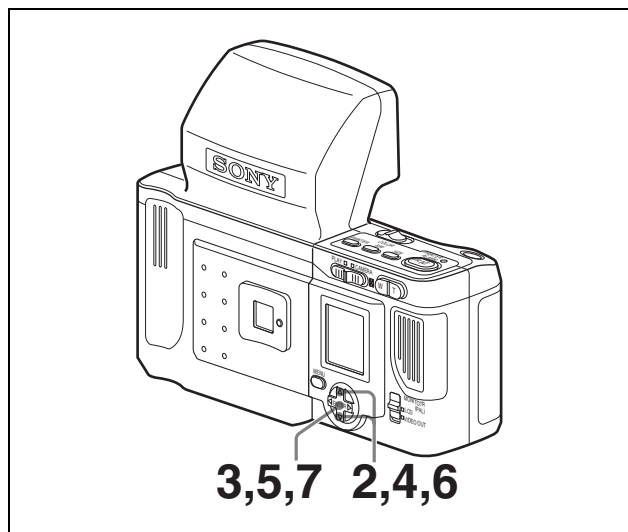
In stabilimento è selezionabile qualsiasi formato.

Impostare con il pulsante SIZE i formati che si desidera selezionare procedendo come segue.

Per quanto riguarda le stampe del formato selezionato, vedere “Stampe effettuabili con questo sistema” a pagina 156.

È possibile selezionare le unità del formato in mm o pollici.

Per i dettagli, vedere “Impostazioni delle unità del formato (SIZE UNIT)” a pagina 197.



- 1** Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere “Visualizzare Setup” a pagina 183.
- 2** Selezionare PRINT SIZE LIST premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Print Size.
- 4** Selezionare il formato da non visualizzare premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

La visualizzazione del formato selezionato al passo 4 da nera diventa grigia.

Ripetere i passi 4 e 5 per rendere grigia la visualizzazione dei formati che non devono essere selezionati con il pulsante SIZE.

La visualizzazione del formato commuta fra nera e grigia ogni volta che si preme ENTER.

Nota

Guide Print-RGB e Guide Print-DLGm sono sempre visualizzate sull’LCD. Non è possibile fare in modo che non siano visualizzate.

- 6** Quando l’impostazione è terminata, selezionare RETURN premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 7** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Impostazione dell’inquadratura (FRAME)

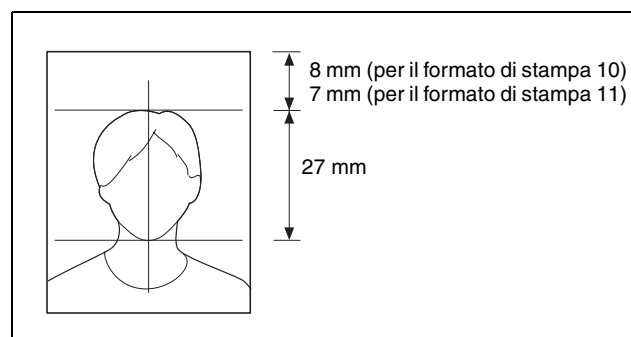
Le linee di riferimento per la regolazione delle dimensioni e della posizione del soggetto sono utili per decidere dell’inquadratura. Questo sistema dispone di sei inquadrature di riferimento, quattro di tipo fisso, una con linee superiore e inferiore regolabili e una con due linee verticali di larghezza regolabile.

Tipi fissi

Sono disponibili i quattro tipi fissi di inquadrature che seguono.

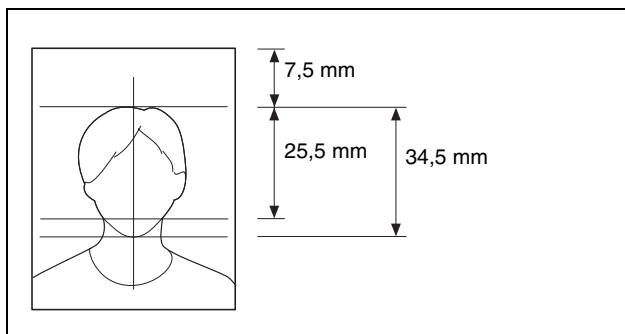
FRAME-[1]

La distanza fra la linea della testa e del mento è 27 mm quando è selezionato il formato di stampa 10. 47 × 37 mm o 11. 45 × 35 mm.



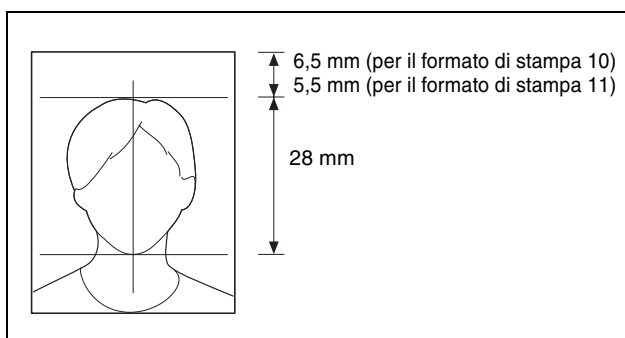
FRAME-[2]

Sono visualizzate due linee del mento. La distanza fra le linee della testa e del mento è 25,5 mm o 34,5 mm quando è selezionato il formato di stampa 8. 54 × 54 mm 2×2inch.



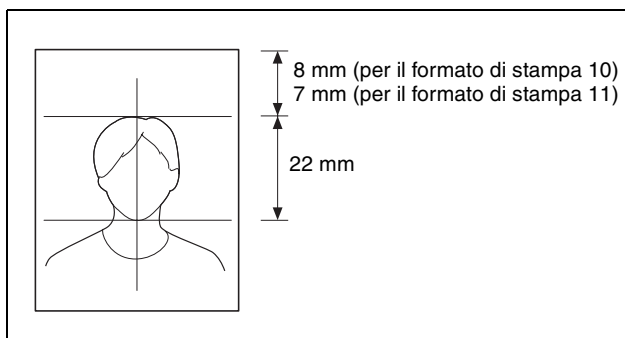
FRAME-[3]

La distanza fra la linea della testa e del mento è 28 mm quando è selezionato il formato di stampa 10. 47 × 37 mm o 11. 45 × 35 mm.



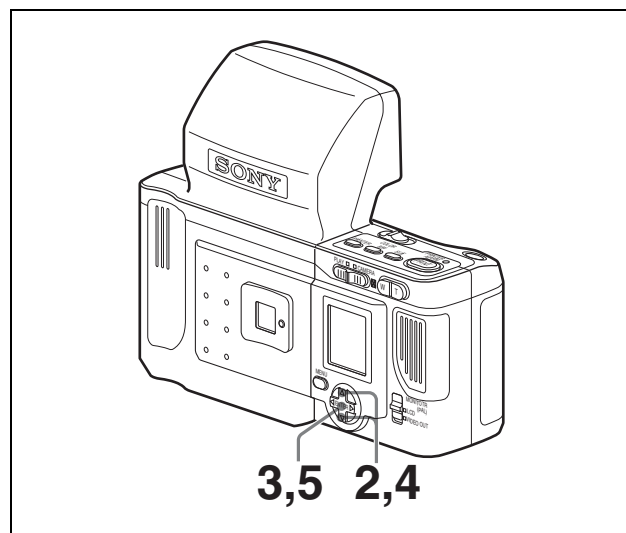
FRAME-[4]

La distanza fra la linea della testa e del mento è 22 mm quando è selezionato il formato di stampa 10. 47 × 37 mm o 11. 45 × 35 mm.



Per quanto riguarda gli altri formati di stampa, vedere “Formato delle stampe di FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3], FRAME-[4]” a pagina 193.

Selezione delle inquadrature fisse (FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3], FRAME-[4])



- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere “Visualizzare Setup” a pagina 183.
- 2 Selezionare FRAME premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione di selezione dell'inquadratura.
- 4 Selezionare FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3] o FRAME-[4] premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

Sull'LCD appaiono le linee di riferimento per l'inquadratura selezionata.
- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

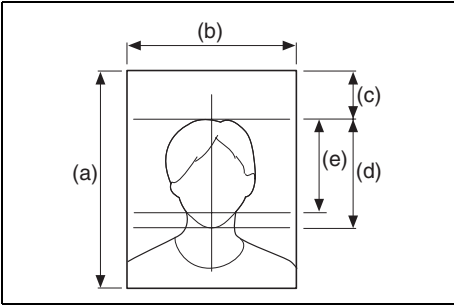
Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Formato delle stampe di FRAME-[1], FRAME-[2], FRAME-[3], FRAME-[4]

Quando vengono scattate delle fotografie usando le linee seguito, in funzione del formato di stampa selezionato di riferimento, il formato delle stampe è indicato in con il pulsante SIZE.

Tolleranza: $\pm 3\%$

Formato di stampa			FRAME-[1]		FRAME-[2]			FRAME-[3]		FRAME-[4]	
N. formato	(a) mm	(b) mm	(c) mm	(d) mm	(c) mm	(d) mm	(e) mm	(c) mm	(d) mm	(c) mm	(d) mm
1	151	101,6	31,5	79,0	36,5	73,0	54,0	26,5	81,5	31,5	64,5
2	120	90	23,0	64,5	27,0	59,5	44,0	19,5	66,5	23,0	52,5
3	95	70	19,5	49,5	22,5	45,0	34,0	16,5	50,5	19,5	40,0
4, 17 (D2)	80	60	16,0	41,5	19,0	38,0	28,5	14,0	43,0	16,0	34,0
5	70	53	13,5	37,5	15,5	34,5	25,5	11,5	38,5	13,5	30,5
6	70	50	13,5	37,5	15,5	34,5	25,5	11,5	38,5	13,5	30,5
7, 18 (D4)	60	40	11,0	33,0	13,0	30,5	22,5	9,0	34,5	11,0	27,0
8	54	54	5,5	37,5	7,5	34,5	25,5	3,5	38,5	5,5	30,5
9	50	48,5	6,0	33,0	8,0	30,5	22,5	4,0	34,5	6,0	27,0
10, 19 (D6)	47	37	8,0	27,0	9,5	25,0	18,5	6,5	28,0	8,0	22,0
11, 20 (D4/8)	45	35	7,0	27,0	8,5	25,0	18,5	5,5	28,0	7,0	22,0
12	45	45	3,5	33,0	5,5	30,5	22,5	1,5	34,5	3,5	27,0
13	43	33	8,5	23,0	9,5	21,0	15,5	7,0	23,5	8,5	18,5
14	38	32	6,0	23,0	7,0	21,0	15,5	4,5	23,5	6,0	18,5
15	34	28	5,0	21,0	6,0	19,0	14,0	4,0	21,5	5,0	17,0
16	23	23	2,0	16,5	3,0	15,5	11,5	1,0	17,0	2,0	13,5



Regolazione delle linee di riferimento superiore e inferiore (FRAME-[5])

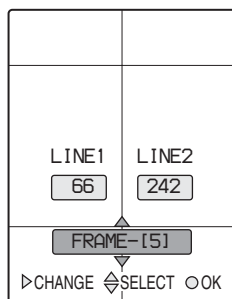
Le linee di riferimento superiore e inferiore di FRAME-[5] sono impostate in stabilimento nelle stesse posizioni di FRAME-[1]. È possibile modificare la posizione delle due linee di riferimento procedendo come segue.

Per quanto riguarda il formato delle stampe dopo aver regolato la posizione, vedere "Formato delle stampe di FRAME-[5]" a pagina 194.

- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2 Selezionare FRAME premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione di selezione dell'inquadratura.
- 4 Selezionare FRAME-[5] premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

Sull'LCD vengono visualizzate le linee di riferimento di FRAME-[5].



- 5 Regolare la posizione delle linee di riferimento superiore e inferiore.

LINE1 regola la linea di riferimento superiore e LINE2 regola la linea di riferimento inferiore.
 - 1) Selezionare LINE1 premendo ► sul pulsante di controllo.
 - 2) Regolare la posizione di LINE1 premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
 - 3) Selezionare LINE2 premendo ◀ o ► sul pulsante di controllo.
 - 4) Regolare la posizione di LINE2 premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
 - 5) Premere ENTER sul pulsante di controllo.
- 6 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Formato delle stampe di FRAME-[5]

In stabilimento, LINE1 è impostata su 66 e LINE2 è impostata su 242. I valori ottenuti per (c) e (d) sono ricavati moltiplicando il valore di F con i valori di LINE1 e LINE2, come illustrato in seguito.

$$(c) = \text{LINE1} \times F$$

$$(d) = (\text{LINE2} - \text{LINE1}) \times F$$

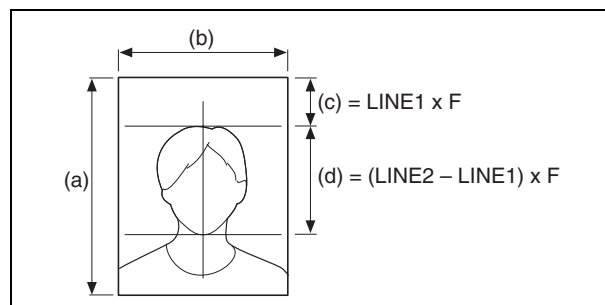
Se è selezionato il formato n. 10 e le linee di riferimento sono nella posizione impostata in stabilimento, le dimensioni della stampa sono le seguenti:

$$(c) = 66 \times 0,15 = 9,9 \text{ mm}$$

$$(d) = (242 - 66) \times 0,15 = 26,4 \text{ mm}$$

Nota

Il valore di F è arrotondato, quindi i valori calcolati potrebbero non essere esatti. Per conoscere il valore esatto si consiglia di misurare le dimensioni delle stampe.



Tolleranza: $\pm 3\%$

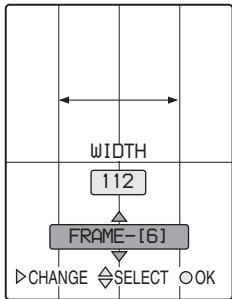
Formato di stampa			Impostazione di stabilimento		F
N. formato	(a) mm	(b) mm	(c) mm	(d) mm	
1	151	101,6	31,5	79,0	0,48
2	120	90	23,0	64,5	0,37
3	95	70	19,5	49,5	0,29
4, 17 (D2)	80	60	16,0	41,5	0,24
5	70	53	13,5	37,5	0,21
6	70	50	13,5	37,5	0,21
7, 18 (D4)	60	40	11,0	33,0	0,19
8	54	54	5,5	37,5	0,21
9	50	48,5	6,0	33,0	0,19
10, 19 (D6)	47	37	8,0	27,0	0,15
11, 20 (D4/8)	45	35	7,0	27,0	0,15
12	45	45	3,5	33,0	0,19
13	43	33	8,5	23,0	0,13
14	38	32	6,0	23,0	0,13
15	34	28	5,0	21,0	0,12
16	23	23	2,0	16,5	0,1

Regolazione della larghezza delle linee di riferimento (FRAME-[6])

- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere “Visualizzare Setup” a pagina 183.
- 2 Selezionare FRAME premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione di selezione dell'inquadratura.
- 4 Selezionare FRAME-[6] premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

Sull’LCD vengono visualizzate le linee di riferimento di FRAME-[6].



- 5 Regolare la larghezza delle linee di riferimento.

1) Selezionare WIDTH premendo ► sul pulsante di controllo.

2) Regolare la larghezza delle linee di riferimento premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

3) Premere ENTER sul pulsante di controllo.
- 6 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Viene ripresentata la visualizzazione Setup.
- Formato delle stampe di FRAME-[6]
- In stabilimento, WIDTH è impostato su 112. La dimensione di stampa è ottenuta moltiplicando il valore di G per i valori di WIDTH come illustrato in seguito.
 $(g) = \text{WIDTH} \times G$
- Se viene selezionato il formato “10” con la posizione impostata in stabilimento, la dimensione di stampa è la seguente:
 $(g) = 112 \times 0,18 = 20,2 \text{ mm}$
- Nota**
Il valore di G è arrotondato, quindi i valori calcolati potrebbero non essere esatti. Per conoscere il valore esatto si consiglia di misurare le dimensioni delle stampe.
-
- Tolleranza: ±3%
- | Formato di stampa | | | Imposta-
zione di
stabili-
mento | G |
|-------------------|--------|--------|---|------|
| N. formato | (a) mm | (b) mm | | |
| 1 | 151 | 101,6 | 59,4 | 0,53 |
| 2 | 120 | 90 | 48,2 | 0,43 |
| 3 | 95 | 70 | 38,9 | 0,34 |
| 4, 17 (D2) | 80 | 60 | 31,1 | 0,27 |
| 5 | 70 | 53 | 28 | 0,25 |
| 6 | 70 | 50 | 28 | 0,25 |
| 7, 18 (D4) | 60 | 40 | 24,9 | 0,22 |
| 8 | 54 | 54 | 28 | 0,25 |
| 9 | 50 | 48,5 | 24,9 | 0,22 |
| 10, 19 (D6) | 47 | 37 | 20,0 | 0,18 |
| 11, 20 (D4/8) | 45 | 35 | 20,0 | 0,18 |
| 12 | 45 | 45 | 24,9 | 0,22 |
| 13 | 43 | 33 | 17,1 | 0,15 |
| 14 | 38 | 32 | 17,1 | 0,15 |
| 15 | 34 | 28 | 15,6 | 0,14 |
| 16 | 23 | 23 | 12,4 | 0,11 |
- Cancellare le linee di riferimento
- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere “Visualizzare Setup” a pagina 183.

2 Selezionare FRAME premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- Altre funzioni 195

- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione di selezione dell'inquadratura.

- 4** Selezionare FRAME OFF premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

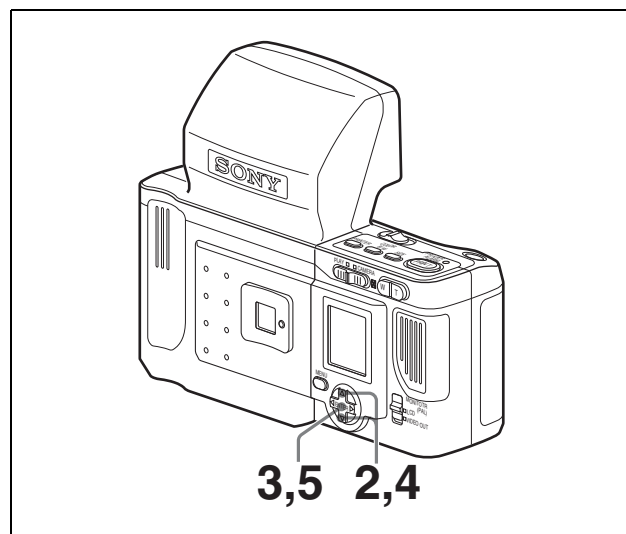
Le linee di riferimento spariscono e viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Impostazione del modo di risparmio energetico (POWER SAVE)

Quando è impostato il modo di risparmio energetico (3 MINUTES o 10 MINUTES), l'apparecchio fotografico viene automaticamente spento dopo che è trascorso l'intervallo prefissato senza che l'apparecchio sia stato usato.

Per accendere l'alimentazione, eseguire una delle operazioni che seguono.

- Portare l'interruttore POWER su OFF, quindi nuovamente su ON.
- Premere a metà corsa il pulsante di rilascio.
- Premere il pulsante MENU.



- 1** Visualizzare Setup.

Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.

- 2** Selezionare POWER SAVE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Power Save.

- 4** Selezionare l'intervallo di attivazione del modo di risparmio energetico premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

OFF: non è impostato il modo di risparmio energetico.

3 MINUTES: l'alimentazione dell'apparecchio fotografico si spegne dopo tre minuti.

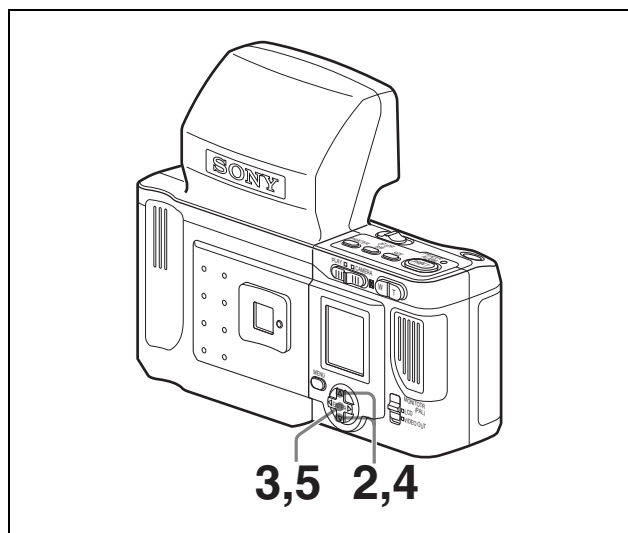
10 MINUTES: l'alimentazione dell'apparecchio fotografico si spegne dopo dieci minuti.

- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Viene impostato l'intervallo di attivazione selezionato del modo di risparmio energetico ed è rappresentata la visualizzazione Setup.

Impostazioni delle unità del formato (SIZE UNIT)

Premendo il pulsante SIZE è possibile selezionare le unità del formato di stampa da presentare sull'LCD, o presentate nella PRINT SIZE LIST nel menu Setup in mm o pollici.



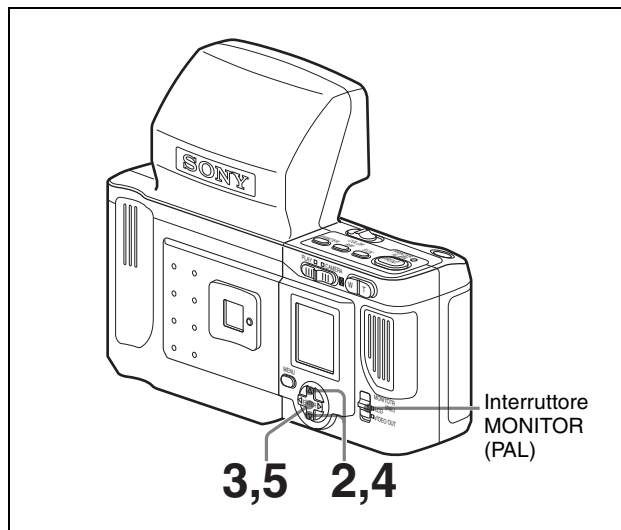
- 1** Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2** Selezionare SIZE UNIT premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Size Unit.
- 4** Selezionare mm o pollici premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Nota

Non sono disponibili i pollici come unità di misura dell'impostazione dello zoom del menu Setup o come distanza della messa a fuoco nella visualizzazione delle proprietà nel modo PLAY.

Selezione del formato del segnale di uscita (VIDEO OUT)

Quando un monitor video è collegato alla presa a spinotto VIDEO OUT per visualizzare le immagini, selezionare il formato del segnale di uscita: NTSC o PAL.



- 1** Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2** Selezionare VIDEO OUT premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Video Out.
- 4** Selezionare PAL o NTSC premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Quando è selezionato PAL

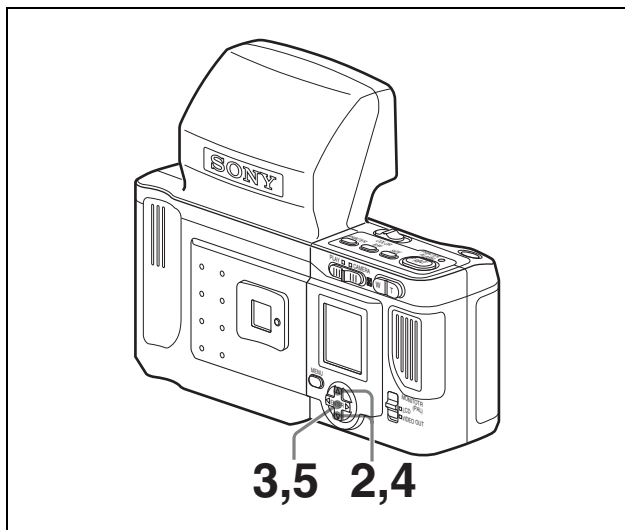
Se è selezionato NTSC, è possibile visualizzare le immagini sia sull'LCD, sia sul monitor video. Se è selezionato PAL, è necessario selezionare con l'interruttore MONITOR (PAL) il dispositivo di visualizzazione: LCD o il monitor video.

LCD: visualizzazione sull'LCD

VIDEO OUT: visualizzazione sul monitor video collegato

Selezione dei segnali acustici durante il funzionamento (SOUND)

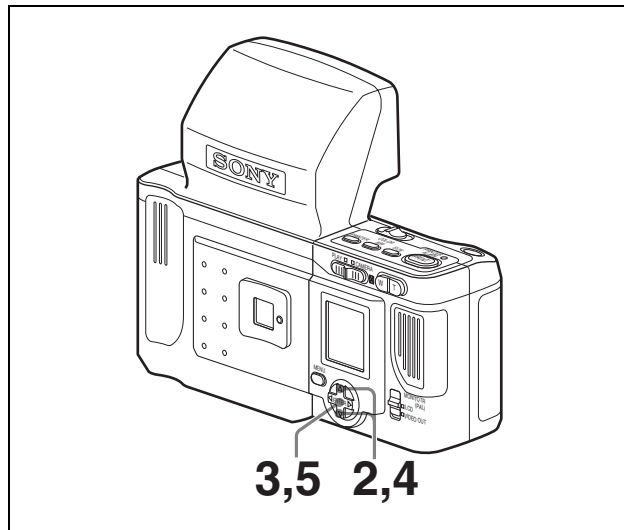
Se lo si desidera, l'apparecchio fotografico può richiedere o segnalare degli eventi con dei segnali acustici durante il funzionamento.



- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2 Selezionare SOUND premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione Sound.
- 4 Selezionare l'impostazione dei segnali acustici premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
OFF: non viene emesso alcun segnale acustico.
SHUTTER: viene emesso un segnale acustico solo quando è premuto il pulsante di scatto o PRINT.
ON: vengono emessi segnali acustici per tutte le funzioni (esclusa la leva dello zoom, l'interruttore PLAY/CAMERA e l'interruttore MONITOR (PAL)).
- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Selezione della voce USB Class (USB)

Quando l'UPX-C200 è collegato a un computer e si desidera utilizzare il software di utilità fornito, oppure è necessario accedere alla memoria dell'apparecchio fotografico come supporto rimovibile, potrebbe essere necessario impostare la classe USB.



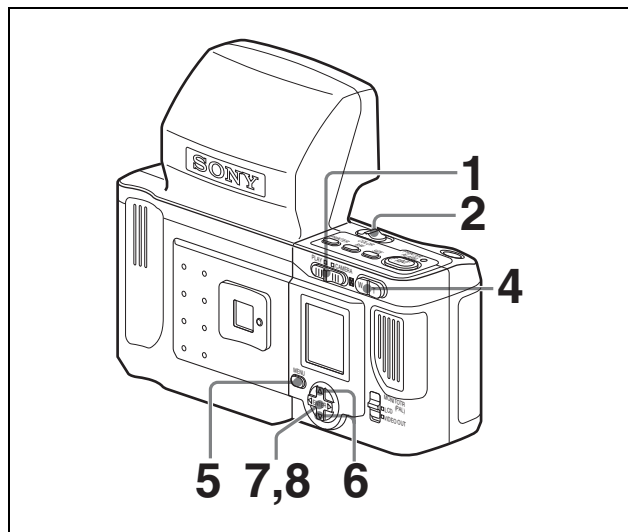
- 1 Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.
- 2 Selezionare USB premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Appare la visualizzazione USB Class.
- 4 Selezionare la classe USB premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
STORAGE: per accedere alla memoria dell'apparecchio fotografico come supporto rimovibile della classe di memorizzazione
ORIGINAL: per utilizzare il software di utilità fornito
- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.
Viene ripresentata la visualizzazione Setup.

Nota

Se nella memoria dell'apparecchio fotografico sono salvati dei file diversi dai file JPEG delle fotografie scattate, oppure se cartelle o file salvati nell'apparecchio fotografico sono eliminati o rinominati quando l'apparecchio fotografico è collegato come classe di memorizzazione, potrebbe essere impossibile scattare o riprodurre delle immagini o trasmettere i dati normalmente. Non eseguire mai tali operazioni.

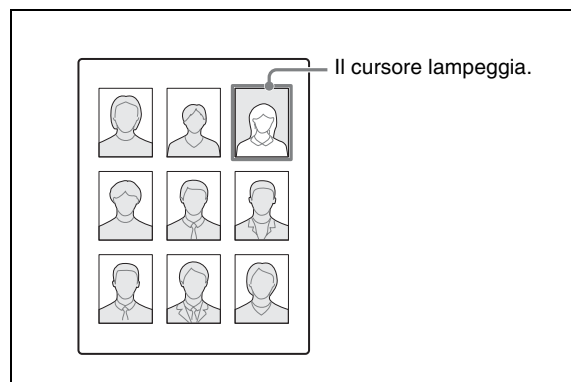
Spostamento di un'immagine di una visualizzazione multipla di nove immagini (MOVE)

È possibile spostare in una posizione diversa un'immagine di una visualizzazione multipla di nove immagini.



- 1** Impostare l'interruttore PLAY/CAMERA su PLAY.
- 2** Portare l'interruttore POWER su ON.
- 3** Premere un pulsante qualsiasi per disattivare la visualizzazione Bluetooth.
- 4** Premere il lato W della leva dello zoom.
Appare una visualizzazione multipla di nove immagini.
- 5** Premere il pulsante MENU due volte.
Appare la visualizzazione Menu.
- 6** Selezionare MOVE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo, quindi premere ENTER su quest'ultimo.

Sulla visualizzazione multipla di nove immagini lampeggia un cursore.

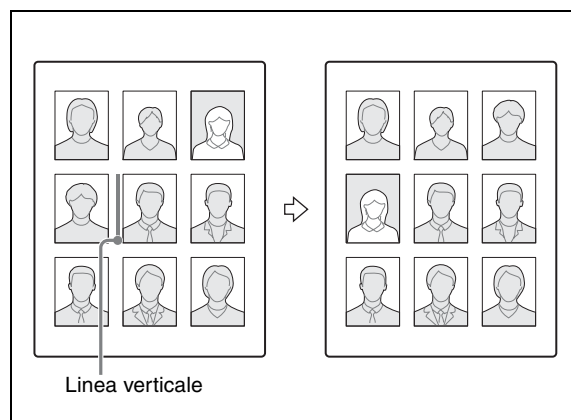


- 7** Selezionare un'immagine da spostare premendo ◀, ▶, ▲ o ▼ sul pulsante di controllo, quindi premere ENTER su quest'ultimo.

Il cursore smette di lampeggiare.

- 8** Portare la linea verticale nella posizione in cui spostare l'immagine premendo ◀, ▶, ▲ o ▼ sul pulsante di controllo, quindi premere ENTER su quest'ultimo.

L'immagine è spostata nella posizione indicata e viene ripresentata la visualizzazione Menu.



Blocco del Menu dell'apparecchio fotografico

Il menu può essere bloccato. Quando è bloccato, la visualizzazione del Menu non appare nemmeno se viene premuto il pulsante MENU nel modo CAMERA o PLAY. Così facendo, si può evitare che siano apportate delle modifiche accidentali indesiderate alle impostazioni del menu. Tuttavia, è ancora possibile modificare l'esposizione premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

Blocco del menu

Premere e mantenere premuto il pulsante MENU per più di tre secondi. La visualizzazione Menu viene spenta, e appare il simbolo  di blocco. Quando si preme il pulsante MENU, la visualizzazione Menu non appare, ma appare il simbolo di blocco per indicare che il menu è bloccato.

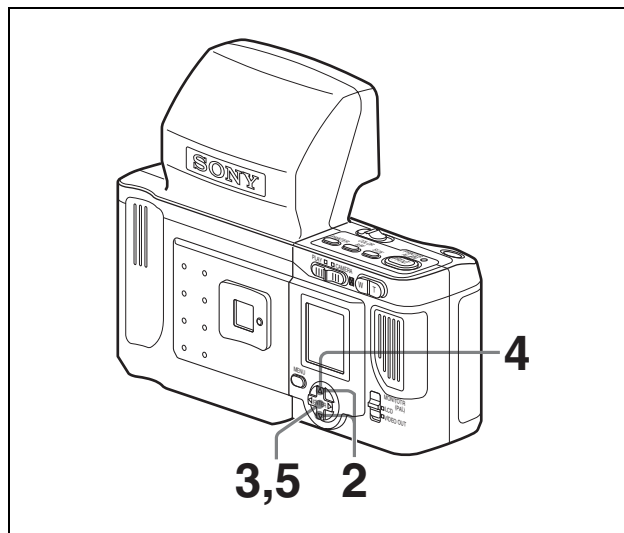
Il menu rimane bloccato anche se il modo CAMERA viene modificato in modo PLAY o viceversa, oppure se l'alimentazione viene spenta.

Sblocco del menu

Visualizzare il simbolo di blocco. Quindi premere e mantenere premuto il pulsante MENU per più di tre secondi finché il simbolo di blocco si spegne. Poi apparirà la visualizzazione Menu.

Posizionamento dell'obiettivo per il trasporto (TRANSPORT SETTING)

L'obiettivo può essere bloccato verso il basso per il trasporto.



1 Visualizzare il Menu.

Per dettagli sulla visualizzazione Menu, vedere “Visualizzazione del Menu nel modo CAMERA” a pagina 183.

2 Selezionare TRANSPORT SETTING premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Transport Setting.

4 Selezionare OK premendo ▲ sul pulsante di controllo.

5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

L'obiettivo si blocca verso il basso per il trasporto. Quando l'obiettivo è bloccato in posizione, sull'LCD appare “LENS MOVING END. PLEASE POWER OFF”.

6 Portare l'interruttore POWER su OFF.

Note

- Quando l'obiettivo è stato bloccato verso il basso nella posizione di trasporto, non azionare alcun pulsante o interruttore che non sia l'interruttore POWER.
- La posizione di trasporto non protegge totalmente l'obiettivo. Per trasportare l'apparecchio fotografico, imballarlo nella confezione originale.

Ripristino dell'obiettivo dalla posizione di trasporto

Portare l'interruttore PLAY/CAMERA su CAMERA e avviare il funzionamento dell'apparecchio fotografico. L'apparecchio fotografico riporterà l'obiettivo nella posizione di funzionamento.

Interruzione del movimento dell'obiettivo verso la posizione di trasporto

Selezionare RETURN invece di OK nel precedente passo **4**, quindi premere ENTER sul pulsante di controllo. Sarà ripresentata la visualizzazione Menu.

Regolazione della qualità di stampa (COLOR ADJUST)

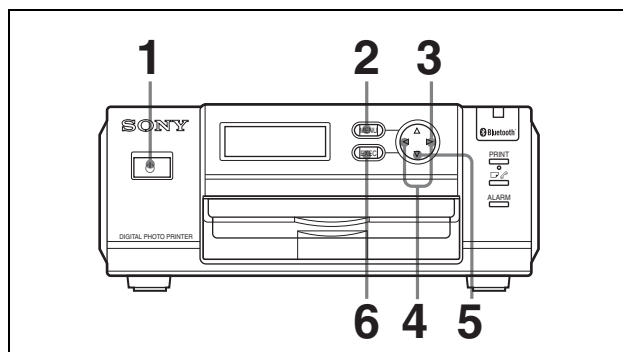
La funzione MENU della stampante permette di regolare la qualità dell'immagine. È possibile verificare i risultati della regolazione stampando un'immagine della guida dell'apparecchio fotografico.

È possibile salvare in memoria e richiamare in un secondo tempo tre serie di valori regolati per immagini a colori e per immagini in bianco e nero.

Nota

La regolazione della qualità di stampa descritta qui è attivata solo quando l'apparecchio fotografico e la stampante sono collegati con le funzioni Bluetooth. Se la stampante è collegata a un computer, la regolazione della qualità dell'immagine avviene tramite il driver della stampante. Per dettagli sull'installazione e sul funzionamento del driver della stampante, fare riferimento a "Readme (English)" contenuto nel CD-ROM fornito.

Regolazione della qualità di stampa per immagini a colori



- 1** Accendere la stampante.
- 2** Premere il pulsante MENU.
Appare "COLOR ADJUST COLOR [>>]".
- 3** Premere ► sul pulsante di controllo.
Appare "CYN-RED:".
- 4** Premere ◀ o ► sul pulsante di controllo per effettuare la regolazione.
- 5** Premere ▼ sul pulsante di controllo.
Appare "MAG-GRN:".

Ripetere i passi **4** e **5** per effettuare le regolazioni necessarie. Il contenuto regolabile di ciascuna voce è come segue:

CYN-RED: premendo ◀ aumenta il ciano nell'immagine, mentre premendo ▶ l'immagine diventa più rossastra.

MAG-GRN: premendo ◀ aumenta il magenta nell'immagine, mentre premendo ▶ l'immagine diventa più verdastra.

YEL-BLU: premendo ◀ l'immagine diventa più giallastra, mentre premendo ▶ l'immagine diventa più bluastra.

DARK: regolazione del contrasto nelle aree scure. Premendo ▶ aumenta l'oscurità.

LIGHT: regolazione del contrasto nelle aree luminose. Premendo ▶ aumenta la luminosità.

SHARPNESS: premendo ▶ i bordi degli oggetti in un'immagine diventano più nitidi.

GAMMA: premendo ◀ il tono del colore di tutta l'immagine diventa più leggero, mentre premendo ▶ diventa più intenso.

- 6** Quando la regolazione è terminata, premere il pulsante EXEC.

Viene ripresentata la visualizzazione COLOR ADJUST COLOR [>>].

Regolazione della qualità di stampa per immagini in bianco e nero

Premendo ▼ sul pulsante di controllo dopo aver premuto il pulsante MENU nel passo **2** di “Regolazione della qualità di stampa per immagini a colori”, appare COLOR ADJUST B/W [>>], ed è possibile regolare la qualità di stampa per immagini in bianco e nero. Il metodo di regolazione è lo stesso delle immagini a colori.

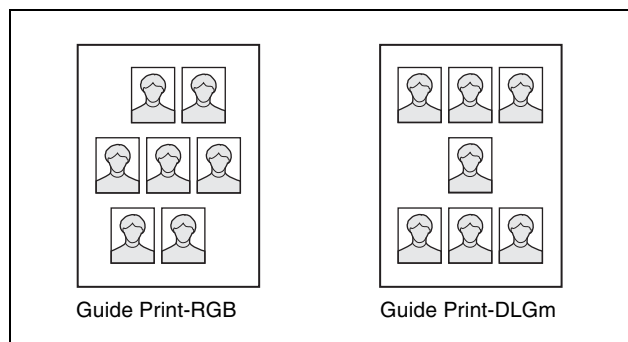
Stampa di un'immagine della guida

Per verificare i risultati delle regolazioni effettuate, stampare delle immagini della guida dell'apparecchio fotografico.

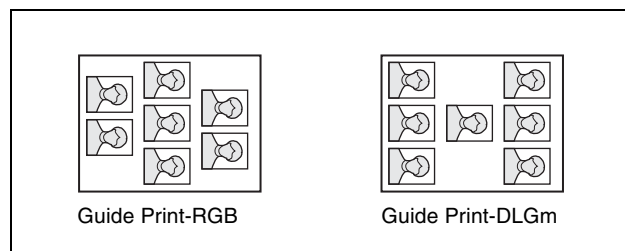
Premere il pulsante SIZE dell'apparecchio fotografico per selezionare Guide Print-RGB o Guide Print-DLGm, quindi effettuare la stampa.

Per i dettagli, fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).

Quando è usata la serie UPC-X46/X45



Quando è usata la serie UPC-X34



Salvataggio delle regolazioni

Quando le regolazioni del colore sono state eseguite, salvare i valori regolati procedendo come segue:

- 1** Nella visualizzazione COLOR ADJUST COLOR [>>] o B/W [>>], premere ▶ sul pulsante di controllo.
- 2** Premere ripetutamente ▼ sul pulsante di controllo finché appare “SAVE SETTING”.
- 3** Premere ◀ o ▶ sul pulsante di controllo per selezionare il numero della cella di memoria (1, 2 o 3).
- 4** Premere il pulsante EXEC.

I valori regolati sono salvati nella cella di memoria con il numero selezionato al passo **3**.

Caricamento dei valori regolati

È possibile richiamare i valori regolati salvati in memoria.

- 1** Nella visualizzazione COLOR ADJUST COLOR [>>] o B/W [>>], premere ▶ sul pulsante di controllo.
- 2** Premere ripetutamente ▼ sul pulsante di controllo finché appare “LOAD SETTING”.
- 3** Premere ◀ o ▶ sul pulsante di controllo per selezionare il numero della cella di memoria (1, 2 o 3).
- 4** Premere il pulsante EXEC.

I valori regolati salvati nella cella di memoria con il numero selezionato al passo **3** sono richiamati e applicati.

Uscita da COLOR ADJUST

Dopo che sono completate delle funzioni di menu, quale l'impostazione, il salvataggio di valori regolati, o il richiamo di valori salvati COLOR ADJUST, premere il pulsante MENU. Viene ripresentata la visualizzazione Ready.

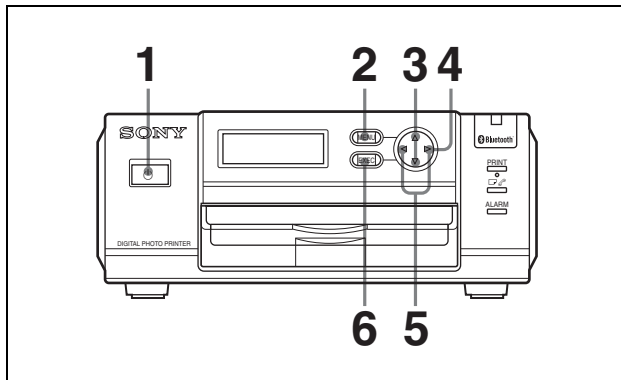
Nota

Quando le regolazioni sono terminate, non dimenticare di premere il pulsante MENU per ripresentare la visualizzazione Ready. Se non riappare la visualizzazione Ready, quando deve essere eseguita la stampa sull’LCD dell’apparecchio fotografico appare “COMMUNICATION ERROR” e la stampa non può essere eseguita.

Regolazione della posizione di stampa (PRINT SETTING)

Regolare in modo che un’immagine stampata sia posizionata correttamente sulla carta da stampa quando è usata la serie UPC-X46.

La posizione di stampa può essere spostata di 0,5 mm.



- 1** Accendere la stampante.
 - 2** Premere il pulsante MENU.
 - 3** Premere ▲ o ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare “PRINT SETTING [>>]”.
 - 4** Premere ► sul pulsante di controllo.
- Appare “PRINT OFFSET:”.
- 5** Premere ◀ o ▶ sul pulsante di controllo per selezionare il valore di spostamento.
 - 6** Premere il pulsante EXEC.

Il valore di spostamento selezionato al passo **5** è registrato e viene ripresentata la visualizzazione PRINT SETTING [>>].

Effettuare una stampa di prova e verificare che l’immagine sia stampata nella posizione giusta sulla carta da stampa. Se sono necessarie altre regolazioni, ripetere i passi precedenti.

Per stampare un’immagine, vedere “Stampa di un’immagine” a pagina 168.

Uscita da PRINT SETTING

Premere il pulsante MENU. Viene ripresentata la visualizzazione Ready, e la stampante è pronta a stampare.

Nota

Quando le regolazioni sono terminate, non dimenticare di premere il pulsante MENU per ripresentare la

visualizzazione Ready. Se non riappare la visualizzazione Ready, quando deve essere eseguita la stampa sull'LCD dell'apparecchio fotografico appare "COMMUNICATION ERROR" e la stampa non può essere eseguita.

Se la spia Bluetooth dell'apparecchio fotografico è spenta

Quando la spia Bluetooth è spenta, la relativa funzione è disattivata e la visualizzazione Bluetooth non appare nemmeno portando l'interruttore POWER su ON.

I pulsanti SIZE, COLOR/B/W, PRINTER e PRINT sono attivati, ma non è possibile effettuare la stampa premendo il pulsante PRINT. Quando è premuto il pulsante PRINT, sull'LCD appare la visualizzazione Demo Layout, che permette di verificare il layout della stampa che si intende fare.

Per i dettagli, vedere "Accensione della spia Bluetooth" (a pagina 205) o "Spegnerla la spia Bluetooth" (a pagina 206)

Bluetooth

Tecnologia wireless Bluetooth

La tecnologia wireless Bluetooth¹⁾ permette la comunicazione fra vari dispositivi Bluetooth senza usare dei cavi. Fra i dispositivi che usano questa tecnologia ci sono computer, periferiche di computer, PDAs e telefoni portatili. Questo sistema di comunicazioni omnidirezionali permette la comunicazione anche se il dispositivo Bluetooth è in una borsa o se ci sono ostacoli fra i dispositivi.

Inoltre, la tecnologia wireless Bluetooth comprende delle funzioni avanzate di sicurezza, quali lo scramble delle frequenze e la crittografia dei dati.

- Quando viene usata la funzione Bluetooth, la distanza fra l'apparecchio fotografico e la stampante che si desidera collegare deve essere entro 10 m (33 piedi) senza ostacoli.

1) Il marchio commerciale  Bluetooth è di proprietà dei rispettivi detentori e è usato da Sony Corporation su licenza. In questo documento il termine Bluetooth è stampato tal quale, senza altre indicazioni.

"Basic Imaging Profile"

Il "Basic Imaging Profile" (BIP) è la specifica usata per inviare o ricevere immagini statiche fra dispositivi Bluetooth. Le caratteristiche principali del BIP permettono di inviare o ricevere immagini e di usare la funzionalità otturatore telecomandato di un apparecchio fotografico digitale.

Per essere collegato alla stampante, il dispositivo Bluetooth deve essere compatibile con la funzione "Image Push Feature" del "Basic Imaging Profile" (BIP).

Prima di usare il dispositivo Bluetooth, verificare le specifiche Bluetooth e BIP del dispositivo.

Comunicazione fra l'apparecchio fotografico e la stampante con Bluetooth

La comunicazione Bluetooth fra l'apparecchio fotografico e la stampante richiede quanto segue:

- Sulla stampante e sull'apparecchio fotografico deve essere impostata la stessa chiave di accesso
- La spia Bluetooth deve essere accesa

Verifica delle impostazioni correnti

È possibile verificare le impostazioni correnti della chiave di accesso sull'apparecchio fotografico e sulla stampante procedendo come segue.

Impostazioni sull'apparecchio fotografico

- 1 Visualizzare Setup.

Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.

- 2 Selezionare Bluetooth premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Bluetooth.

- 4 Selezionare PROPERTY premendo ▲ o ▼ of sul pulsante di controllo.

- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione Property ed è possibile verificare la chiave di accesso e l'indirizzo.

- 6 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Per uscire dalla funzione di menu, premere il pulsante MENU.

Impostazioni della stampante

- 1 Accendere la stampante.

- 2 Premere il pulsante MENU.

- 3 Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare Bluetooth SETTING [>>] sul display operativo.

- 4 Premere ► sul pulsante di controllo.

Appare l'indirizzo Bluetooth.

- 5 Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare PASKEY INPUT [>>] sul display operativo.

- 6 Premere ► sul pulsante di controllo.

La chiave di accesso attualmente impostata appare nella visualizzazione PASKEY INPUT.

- 7 Premere il pulsante EXEC.

Per uscire dalla funzione di menu, premere il pulsante MENU.

Modifica delle impostazioni della chiave di accesso

È possibile modificare la chiave di accesso a piacere. Sull'UPX-C200 e sulla stampante fotografica digitale UP-DX100 è stata impostata in stabilimento la stessa chiave di accesso. Per la sicurezza delle comunicazioni, si consiglia di cambiare la chiave di accesso del sistema utilizzato.

Per dettagli sulla modifica delle impostazioni, fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).

Accensione della spia Bluetooth

Se la spia Bluetooth è spenta, la funzione Bluetooth è disattivata. È possibile attivare la funzione procedendo come segue.

Per accendere la spia Bluetooth dell'apparecchio fotografico

- 1 Visualizzare Setup.

Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere "Visualizzare Setup" a pagina 183.

- 2 Selezionare Bluetooth premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 3 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

- 4 Selezionare MODULE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.

- 5 Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione BT MODULE POWER.

- 6 Verificare che sia selezionato ON, quindi premere ENTER sul pulsante di controllo.

La spia Bluetooth si accende.

Per accendere la spia Bluetooth della stampante

- 1 Premere il pulsante MENU.

- 2** Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare “Bluetooth SETTING [>>].”
- 3** Premere ► sul pulsante di controllo.

Viene visualizzato “Bluetooth ADDR None”.
- 4** Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare “MODULE POWER [>>].”
- 5** Premere ► sul pulsante di controllo.
- 6** Premere ◀ o ► sul pulsante di controllo per impostare POWER su ON.
- 7** Premere il pulsante EXEC.

Viene visualizzato “REBOOTING”. La stampante viene riavviata e la spia Bluetooth si illumina.

Spegnere la spia Bluetooth

Le onde radio potrebbero influire su apparecchiature medicali e strumentazione avionica, potenzialmente con gravi conseguenze. Si consiglia di spegnere l'alimentazione del modulo Bluetooth, verificando che la spia Bluetooth si spenga, in modo da evitare problemi di questo genere.

Per spegnere la spia Bluetooth dell'apparecchio fotografico

- 1** Visualizzare Setup.
Per dettagli sulla visualizzazione Setup, vedere “Visualizzare Setup” a pagina 183.
- 2** Selezionare Bluetooth premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 3** Premere ENTER sul pulsante di controllo.
- 4** Selezionare MODULE premendo ▲ o ▼ sul pulsante di controllo.
- 5** Premere ENTER sul pulsante di controllo.

Appare la visualizzazione BT MODULE POWER.
- 6** Verificare che sia selezionato OFF, quindi premere ENTER sul pulsante di controllo.

La spia Bluetooth si spegne.

Per spegnere la spia Bluetooth della stampante

- 1** Premere il pulsante MENU.

- 2** Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare “Bluetooth SETTING [>>].”
- 3** Premere ► sul pulsante di controllo.

Viene visualizzato “Bluetooth ADDR None”.
- 4** Premere ▼ sul pulsante di controllo per visualizzare “MODULE POWER [>>].”
- 5** Premere ► sul pulsante di controllo.
- 6** Premere ◀ o ► sul pulsante di controllo per impostare POWER su OFF.
- 7** Premere il pulsante EXEC.

Viene visualizzato “REBOOTING”. La stampante viene riavviata e la spia Bluetooth si illumina.

Aggiungere stampanti

È possibile usare al massimo tre stampanti con l'apparecchio fotografico. Quando vengono aggiunte delle stampanti al sistema, è possibile selezionare la stampante da usare con il pulsante PRINTER dell'apparecchio fotografico. È comodo che ciascuna stampante abbia un numero di periferica (da 1 a 9).

Per dettagli a proposito di aggiungere stampanti e impostare nomi di periferiche, fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).

Rimuovere stampanti

È possibile rimuovere delle stampanti dal sistema.

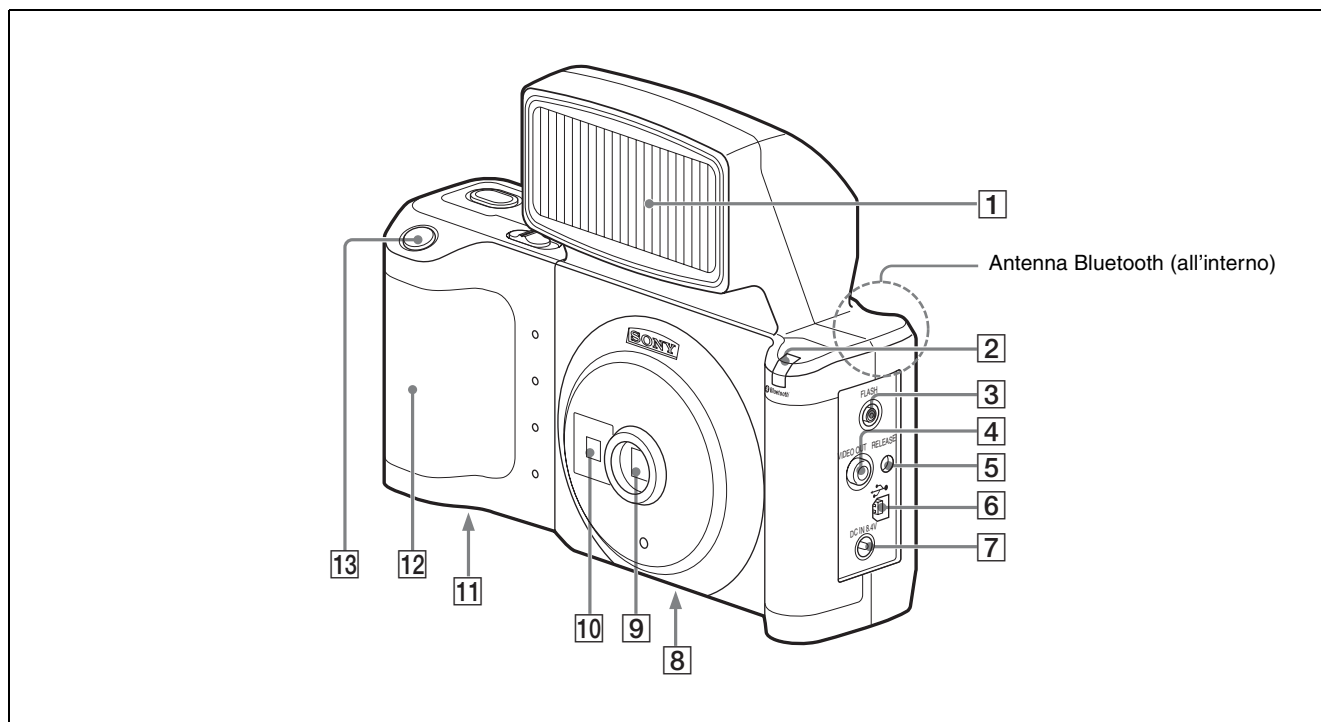
Per dettagli a proposito della rimozione di stampanti, fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).

Posizione dei componenti

Per i dettagli, vedere le pagine indicate fra parentesi.

Apparecchio fotografico

Parte anteriore



1 Flash (189)

Si accende in funzione della selezione FLASH MODE del menu.

2 Spia Bluetooth (205)

Si illumina quando MODULE del menu Bluetooth è impostato su ON, per indicare che la funzione Bluetooth è attivata.

3 Presa a spinotto FLASH

Collegare un cavo da un flash esterno che supporti un contatto X.

Quando viene collegato un flash esterno che supporta il contatto X con il cavo di sincronizzazione, il flash si accende in sincronia con l'otturatore.

4 Presa a spinotto (RCA fono) VIDEO OUT (197)

Collegare un monitor video usando un cavo video e sarà possibile visualizzare anche sullo schermo del monitor l'immagine che appare sull'LCD. I segnali dalla presa VIDEO OUT servono per controllare più comodamente il soggetto. Per regolare la qualità dell'immagine del monitor, usare i relativi comandi a pannello.

Nota

Quando viene collegato un monitor video alla presa VIDEO OUT con VIDEO OUT del menu impostato su PAL, per visualizzare un'immagine sul monitor video è necessario impostare l'interruttore MONITOR (PAL) su VIDEO OUT.

5 Presa a spinotto (mini) RELEASE

Per il collegamento di un telecomando.

Ha lo stesso effetto ottenuto quando il pulsante di scatto è premuto completamente.

6 Presa USB

Per usare l'apparecchio fotografico con un computer, collegarlo alla presa USB del computer usando un cavo USB disponibile in commercio.

Le immagini salvate nella memoria dell'apparecchio fotografico possono essere salvate su un computer e stampate con un computer sul quale è installato il software di utilità fornito.

7 Presa a spinotto DC IN 8.4V(161)

Collegare l'adattatore di alimentazione c.a. fornito per usare l'apparecchio fotografico con l'alimentazione c.a.

8 Foro della vite del treppiede (162)

Per montare l'apparecchio fotografico sul treppiede.

9 Obiettivo (f = da 7,5 a 19,8 mm, da F-2,8 a F-4,8)

Obiettivo con messa a fuoco automatica e zoom ottico.

10 Mirino

Si può osservare il soggetto attraverso il mirino e scattare una fotografia senza usare il monitor LCD. Usare il mirino per controllare il soggetto. L'immagine osservata attraverso il mirino non corrisponde perfettamente all'inquadratura.

11 Coperchio del vano delle batterie (160)

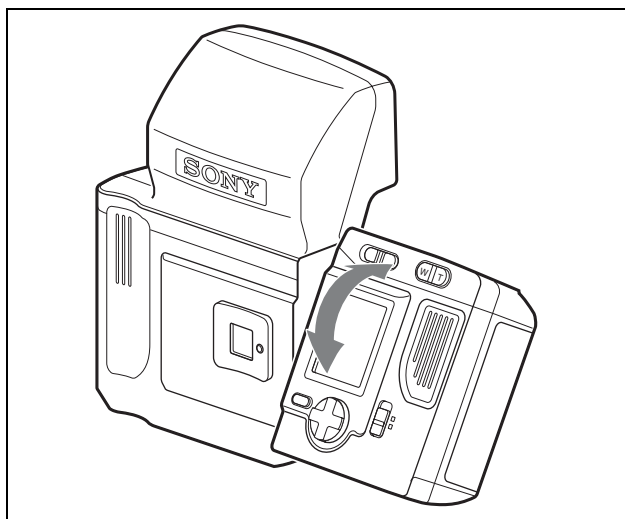
Inserire quattro batterie NH-AA e la batteria al litio a bottone, quindi chiudere il coperchio.

12 Impugnatura

L'apparecchio fotografico è dotato di una impugnatura che può ruotare di 90 gradi sul lato dell'LCD. Quando il soggetto è seduto, la posizione dell'apparecchio fotografico deve essere bassa, in modo che l'obiettivo e gli occhi del soggetto siano allo stesso livello. In questo caso, ruotando l'impugnatura sul lato dell' LCD è possibile tenere l'apparecchio fotografico in una posizione naturale.

Nota

Nel ruotare l'impugnatura, non esercitare una forza eccessiva al termine della rotazione. Ruotare l'impugnatura con garbo. Se un urto dovesse interrompere l'alimentazione, l'apparecchio fotografico potrebbe riavviarsi, specialmente durante il funzionamento a batterie. Non ruotare l'impugnatura spesso, al fine di evitare di consumare le parti rotanti.



13 Pulsante di scatto (167)

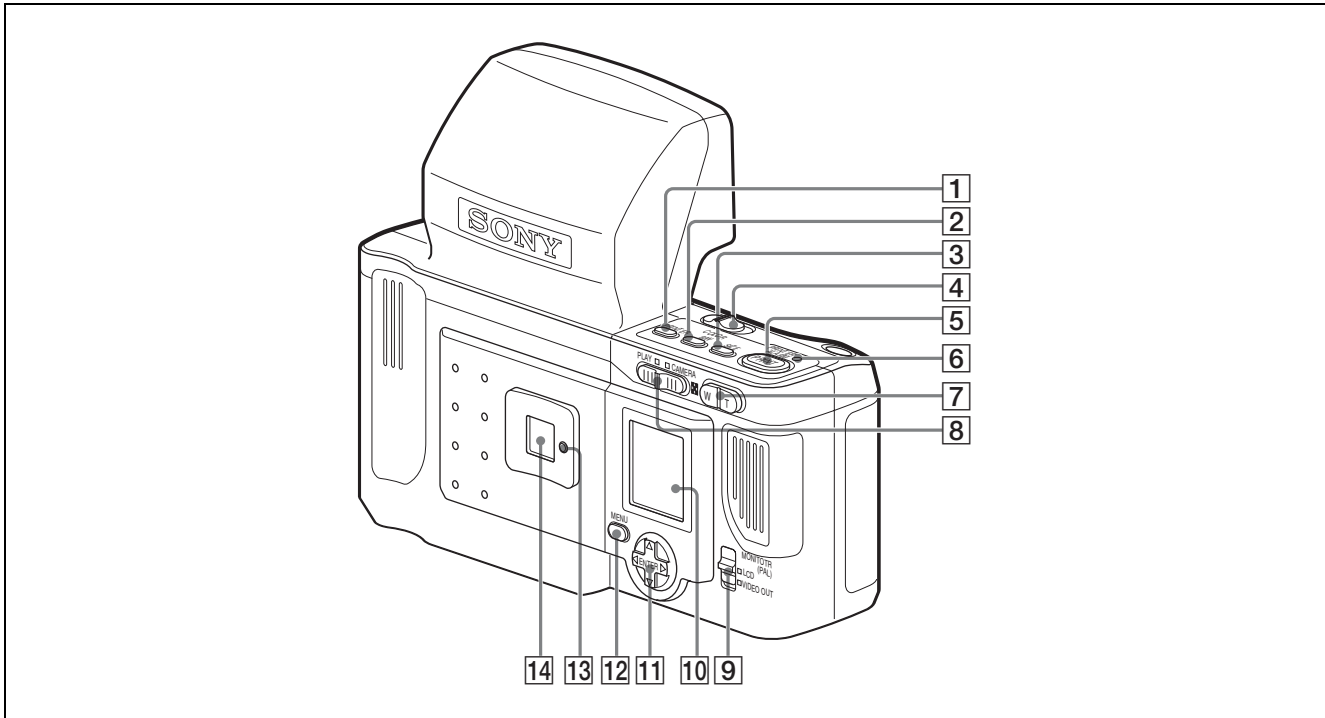
Premere per scattare la fotografia visualizzata sull'LCD e registrarla in memoria.

Premendo questo pulsante a metà corsa viene attivata la funzione di messa a fuoco automatica. Premendo ancora questo pulsante viene sganciato l'otturatore.

L'immagine viene compressa in formato JPEG e registrata in memoria.

Questo pulsante è attivato quando l'interruttore PLAY/CAMERA è impostato su CAMERA.

Parte posteriore



1 Pulsante PRINTER

Seleziona una stampante quando ne è usata più di una.

Per i dettagli, fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).

2 Pulsante COLOR/B/W (169)

Seleziona COLOR o B/W (black and white) per una stampa.

3 Pulsante SIZE (169)

Seleziona il formato di una stampa.

4 Interruttore POWER (166, 174)

Commuta su ON o OFF l'alimentazione dell'apparecchio fotografico.

Nota

Se l'interruttore POWER è su OFF, sull'LCD viene visualizzato l'orologio e gli ultimi dati di impostazione sono salvati in memoria. Quindi l'alimentazione viene spenta completamente; l'LCD e la spia di attesa si spengono. Durante il trasferimento dei dati in memoria, non scollegare l'adattatore di alimentazione c.a. o rimuovere le batterie.

5 Pulsante PRINT (168)

Premere per stampare un'immagine visualizzata sull'LCD. La prima volta che è premuto questo pulsante, appare sull'LCD un'anteprima del layout di una stampa ed è possibile impostare il numero di fogli da stampare. Quando si preme di nuovo questo pulsante, i dati

dell'immagine sono trasmessi alla stampante e stampati. Durante la trasmissione dati, sull'LCD viene visualizzato TRANSMITTING.

Per cancellare la visualizzazione dell'anteprima del layout, premere il pulsante MENU.

Quando sull'LCD è visualizzata un'immagine di anteprima o di riproduzione il pulsante PRINT è attivato.

6 Spia PRINTER ALARM

Si accende in presenza di un problema relativo alla stampante.

Quando sono usate più stampanti, viene indicato lo stato della stampante selezionata con il pulsante PRINTER. Controllare la stampante.

7 Leva dello zoom (167, 169)

Quando l'interruttore PLAY/CAMERA è su CAMERA

Regola l'inquadratura dell'immagine. Per foto tessera, in genere è richiesta una particolare misura del viso sulla fotografia. La funzione zoom permette di regolare le dimensioni del viso senza spostare l'apparecchio fotografico. Questa funzione facilita lo scatto della fotografia, minimizzando il tempo che il soggetto deve restare immobile. Il massimo ingrandimento è di 1,3 o 2,6 volte.

T: per fotografia tipo teleobiettivo

W: per fotografia a campo largo

Se l'interruttore PLAY/CAMERA è su PLAY

Commuta fra la visualizzazione multipla di nove immagini e quella di una sola immagine.

T: la visualizzazione multipla di nove immagini viene commutata nella visualizzazione di una sola immagine.

W: la visualizzazione commuta fra la presentazione di una sola immagine e la presentazione multipla di nove immagini.

[8] Interruttore PLAY/CAMERA (166, 171)

Usare questo interruttore per commutare fra il modo di riproduzione e quello di registrazione.

CAMERA: portare l'interruttore in questa posizione per scattare una fotografia.

PLAY: portare l'interruttore in questa posizione per visualizzare le immagini salvate in memoria.

[9] Interruttore MONITOR (PAL) (197)

Questo interruttore è attivato quando è collegato un cavo alla presa a spinotto VIDEO OUT e VIDEO OUT del MENU è impostato su PAL. Selezionare come viene visualizzata l'immagine, con l'LCD o con un monitor video.

LCD: visualizzazione dell'immagine sull'LCD

VIDEO OUT: visualizzazione dell'immagine sul monitor video

Quando VIDEO OUT è impostato su NTSC, è possibile visualizzare un'immagine sia sull'LCD, sia su un monitor video.

[10] Display a cristalli liquidi (LCD)

Quando l'interruttore PLAY/CAMERA è su CAMERA, viene visualizzata la scena ripresa dall'obiettivo.

Quando l'interruttore PLAY/CAMERA è su PLAY viene visualizzata l'immagine salvata in memoria.

Quando l'apparecchio fotografico è collegato a un computer con il cavo USB, l'immagine sparisce sull'LCD e appare USB CONNECTED.

[11] Pulsante di controllo (171, 183)

Quando l'interruttore PLAY/CAMERA è su PLAY, premere per selezionare un'immagine.

Utilizzando il MENU, premere per selezionare una voce di MENU e confermare la selezione.

[12] Pulsante MENU (166, 183)

Premere per visualizzare il Menu. Premere di nuovo per cancellare la visualizzazione Menu o layout.

[13] Spia di attesa (167)

La spia è accesa o lampeggiante per segnalare le condizioni che seguono.

Quando l'interruttore PLAY/CAMERA è su CAMERA

Rosso lampeggiante: preparazione per lo scatto, carica del flash, salvataggio dei dati (scatto disattivato).

Lampeggio veloce in rosso: batterie scariche.

Accesa in rosso: memoria piena (quando AUTO ERASE è impostato su OFF)

Lampeggiante in verde: attesa per scattare (impostazione manuale dell'esposizione, apertura o bilanciamento del bianco)

Accesa in verde: Attesa per scattare (impostazioni automatiche)

Se l'interruttore PLAY/CAMERA è su PLAY

Accesa in rosso: si è verificato un problema. Rivolgersi al centro di assistenza Sony o al rivenditore Sony di zona.

Lampeggiante in verde: memoria piena

Lampeggio veloce in verde: batterie scariche.

Accesa in verde: funzionamento normale

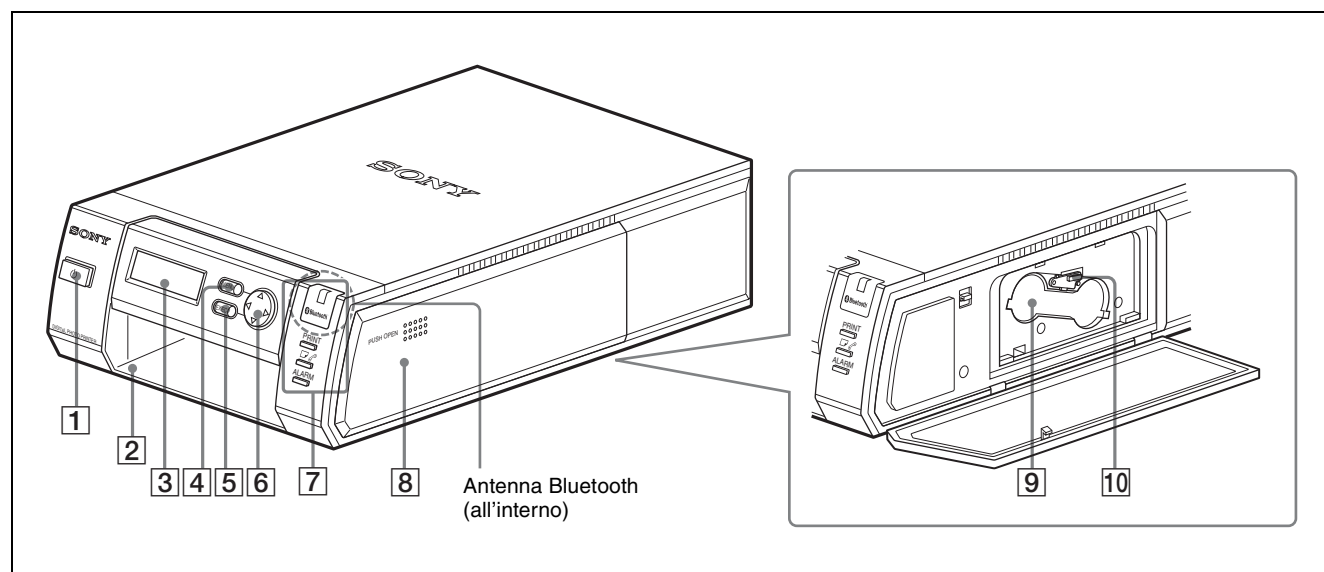
[14] Mirino

Si può osservare il soggetto attraverso il mirino e scattare una fotografia senza usare il monitor LCD.

Usare il mirino per controllare il soggetto. L'immagine osservata attraverso il mirino non corrisponde perfettamente all'inquadratura.

Stampante

Parte anteriore



1 Pulsante e spia (accensione/attesa) (166, 201)

Premere per accendere la stampante e la spia si illuminerà. Premendo una seconda volta, la spia si spegne e la stampante passa nel modo di attesa.

2 Sede del vassoio della carta (164)

Per inserire il vassoio della carta.

3 Display operativo

Quando viene accesa l'alimentazione, appare il modo di funzionamento o la voce di menu.

4 Pulsante MENU (170, 201)

Premere per visualizzare la voce di menu o per annullare eventuali modifiche apportate alle voci di menu che non sono state confermate.

5 Pulsante EXEC (170, 202)

Premere per selezionare ciascuna voce di menu.

6 Pulsante di controllo (170, 201)

Premere per selezionare una voce di menu e confermarla.

7 Spie

Spia  Bluetooth: si illumina quando è attivata la funzione Bluetooth.

Spia PRINT: si illumina quando la stampa è in corso e lampeggia quando la stampante riceve i dati dell'immagine.

Spia  : si illumina se non c'è più carta, se la cartuccia di stampa non contiene più inchiostro, oppure se sono utilizzate contemporaneamente cartucce e carta di tipo o formato diverso.

Spia ALARM: si illumina se si verifica un problema.

8 Coperchio del vano della cartuccia (163)

Aprire il coperchio per inserire e per rimuovere la cartuccia di stampa.

9 Vano della cartuccia (163)

Per inserire la cartuccia di stampa.

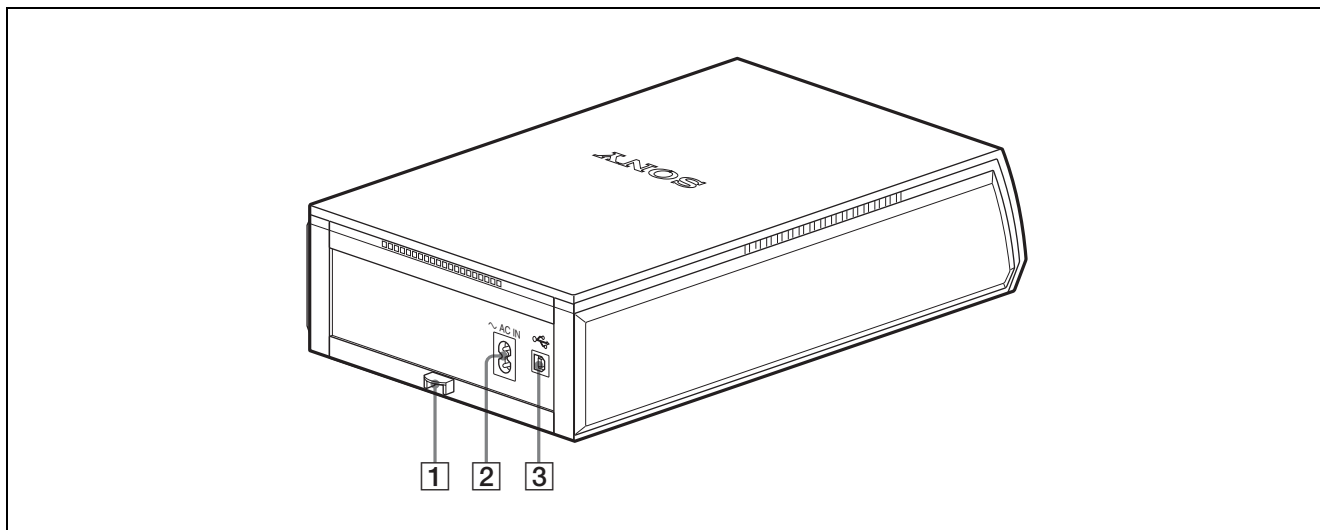
10 Leva di espulsione della cartuccia (163)

Spingere la leva verso l'alto per espellere la cartuccia inserita.

Nota

Durante la stampa la funzione della leva è disattivata.

Parte posteriore



1 Coperchio per rimuovere la carta inceppata (220)

Se si inceppa la carta, togliere questo coperchio e rimuovere la carta inceppata.

2 Connettore ~ AC IN (165)

Collegare a una presa a muro usando il cavo di alimentazione c.a. fornito.

3 Presa USB

Si collega alla presa USB del computer tramite il cavetto USB.

Nota

In base al tipo di computer, è possibile che effettuando il collegamento mediante un cavo USB non sia possibile utilizzare normalmente il computer. In tal caso, utilizzare un hub USB disponibile in commercio.

Precauzioni

Sicurezza

- Usare la stampante e l'adattatore di alimentazione c.a. con un'alimentazione di rete come specificato in "Caratteristiche tecniche" (pagina 215).
- Prestare attenzione a non danneggiare il cavo di alimentazione posando o facendo cadere su di esso oggetti pesanti; è pericoloso usare la stampante o l'adattatore di alimentazione c.a. con un cavo di alimentazione danneggiato.
- Se la stampante o l'adattatore di alimentazione c.a. non saranno usati per molto tempo, scollegare il cavo di alimentazione.
- Scollegare il cavo di alimentazione afferrando la spina, non il cavo stesso.
- Quando l'adattatore di alimentazione c.a. è collegato a una presa a muro, assorbe sempre una quantità minima di corrente elettrica.
- Durante l'uso l'adattatore di alimentazione c.a. si scalda. Ciò è normale.
- Prestare attenzione che nessun componente metallico entri in contatto con le parti metalliche dell'adattatore di alimentazione c.a. o del connettore. Diversamente potrebbe verificarsi un corto circuito che potrebbe guastare l'unità.
- Tenere sempre puliti i contatti elettrici dell'adattatore di alimentazione c.a.
- Non urtare o far cadere l'unità.
- Non smontare o modificare l'unità.
- Non smontare il coperchio. Le parti interne presentano il rischio di scossa elettrica.
- Prestare attenzione a non rovesciare sull'unità acqua o altri liquidi e che non entrino nell'involucro materiali infiammabili o metallici. Se l'unità viene usata con materiale estraneo all'interno dell'involucro, potrebbe guastarsi o presentare il rischio di incendio o scossa elettrica.
- I fori di ventilazione sono stati realizzati per evitare che la stampante si surriscaldi. Prestare attenzione a non ostruirli con altre unità o coprendo la stampante con un panno ecc.
- Se la stampante non funziona correttamente o se un corpo estraneo cade dentro l'involucro, scollegare immediatamente l'alimentazione e rivolgersi al centro di assistenza Sony o al rivenditore Sony di zona.

Installazione

- Non mettere la stampante o l'apparecchio fotografico in un luogo soggetto a quanto segue:
 - vibrazioni meccaniche
 - elevata umidità
 - molta polvere
 - esposta alla pioggia
 - esposta a luce solare diretta o eccessiva
 - temperature molto alte o molto basse
 - in prossimità di forti sorgenti magnetiche
 - in prossimità di sorgenti di potenti radiazioni elettromagnetiche, quali trasmettitori radio o TV
- Non usare vicino alla stampante altre apparecchiature elettroniche. Non funzionerà correttamente in prossimità di forti campi elettromagnetici.
- Non posare sulla stampante oggetti pesanti, quali un monitor.
- Mettere l'adattatore di alimentazione c.a. lontano dai ricevitori AM, in quanto disturberebbe la ricezione AM.

Condensazione

- Se la stampante è sottoposta a forti e improvvise variazioni di temperatura, spostandola per esempio da una stanza fredda a una stanza calda, oppure se viene lasciata in un ambiente con un riscaldatore che produce molta umidità, all'interno della stampante potrebbe formarsi della condensazione. In questi casi probabilmente la stampante non funzionerà correttamente e insistendo a usarla, potrebbe anche guastarsi. Se si forma della condensazione, spegnere l'alimentazione e non usare la stampante per almeno un'ora.
- Se la confezione di stampa è sottoposta a forti e improvvise variazioni di temperatura, potrebbe formarsi della condensazione sulla cartuccia di stampa o sulla carta da stampa. Ciò causerà un funzionamento irregolare della stampante. Inoltre, se la confezione di stampa viene usata in queste condizioni, è probabile che sulla stampa saranno presenti delle macchie. Conseguentemente, non conservare la confezione di stampa in luoghi soggetti a forti e improvvise variazioni di temperatura.
- Per conservare una confezione di stampa usata a metà, riporla nell'imballo originale e risigillarlo. Se possibile conservare la confezione sigillata in un luogo fresco e buio. Per usare successivamente la confezione di stampa metterla, nel suo imballo sigillato, in una stanza calda per diverse ore. Così facendo si eviterà che si formi della condensazione quando la confezione di stampa sarà estratta dall'imballo.

Posizione

Per evitare il surriscaldamento interno, lasciare abbastanza spazio intorno alla stampante in modo che l'aria possa circolare attraverso le aperture sul lato sinistro dell'involucro.

Trasporto

- Non trasportare la stampante con gli accessori montati. Potrebbe causare un guasto.
- Conservare la scatola originale e i materiali dell'imballaggio in previsione di un eventuale trasporto dell'unità in futuro.

Funzionamento

Fotografie di prova

Prima di scattare delle fotografie, si dovrebbero fare alcune fotografie di prova e verificarle, per accertare che l'apparecchio fotografico funzioni normalmente.

Pulizia

- Prima di pulire la stampante, premere il relativo pulsante di accensione/attesa, in modo che la spia si spenga, quindi scollegare il cavo di alimentazione.
- Pulire involucro, pannello e controlli con un panno morbido e asciutto, oppure con un panno morbido appena inumidito con una soluzione leggermente detergente. Non usare alcun tipo di solvente, quale alcol o benzene, che potrebbe danneggiare la finitura.
- Usare una pompetta per togliere la polvere dall'obiettivo.

Batterie

Osservare quanto segue

- Per evitare incidenti dovuti a cortocircuito, fare in modo che nessun oggetto metallico entri in contatto con i poli delle batterie.
- Tenere le batterie lontano dal fuoco.
- Non sottoporre mai le batterie a temperature superiori ai 60°C, come per esempio in un'automobile posteggiata al sole o esposte alla luce solare diretta.
- Tenere le batterie all'asciutto.
- Non sottoporre le batterie a urti.
- Non cortocircuitare i poli.
- Non smontare o modificare le batterie.
- Montare saldamente le batterie nelle apparecchiature elettroniche.
- Per maggiori informazioni, fare riferimento al manuale d'uso dell'apparecchiatura elettronica.

Carica delle batterie

- Usare soltanto il caricabatterie fornito.
- Affinché le batterie siano caricate efficientemente, si consiglia di caricarle completamente in un ambiente di temperatura fra 0°C e 35°C.

Uso delle batterie

- Caricare prima dell'uso.
- Le prestazioni delle batterie diminuiscono in ambienti a temperatura bassa. Conseguentemente le batterie potranno essere usate per tempi inferiori in ambienti freddi. Per aumentare la durata delle batterie si consiglia quanto segue:
 - Mettere le batterie in tasca per scaldarle e inserirle nell'apparecchiatura elettronica immediatamente prima di scattare le fotografie.
- Disporre di batterie di riserva per il doppio o per il triplo del tempo di registrazione previsto ed effettuare una registrazione di prova prima di quella effettiva.
- Se l'alimentazione si interrompe anche se l'indicatore della durata residua delle batterie segnala che esse hanno abbastanza energia per essere utilizzate, ricaricare completamente le batterie in modo che la segnalazione dell'indicatore della durata residua delle batterie sia corretta. Notare tuttavia che non si otterrà l'indicazione corretta dello stato delle batterie se sono state usate per molto tempo a temperatura elevata, se sono state lasciate completamente cariche, oppure se sono usate spesso. Considerare l'indicazione della durata residua delle batterie come un tempo di uso approssimativo.

Conservazione delle batterie

Se le batterie non saranno usate per molto tempo, effettuare quanto segue una volta all'anno, in modo da mantenerle efficienti.

- 1 Caricare completamente le batterie.
- 2 Scaricarle usandole nell'apparecchiatura elettronica.
- 3 Smontare le batterie dall'apparecchiatura elettronica e conservarle in un luogo fresco e asciutto.

Durata delle batterie

- La durata delle batterie è limitata. La capacità delle batterie diminuisce gradualmente con l'uso, al passare del tempo. Quando la durata delle batterie si è accorciata notevolmente, la causa più probabile è che abbiano raggiunto il limite della loro vita utile. Acquistare delle batterie nuove.
- La durata delle batterie varia in funzione di come sono conservate, delle condizioni di funzionamento e dell'ambiente per ciascuna di esse.

Garanzia per il contenuto registrato

Non è possibile fornire risarcimenti se la registrazione o riproduzione non è stata effettuata a causa di un guasto delle batterie ecc.

Non è necessario scaricare le batterie prima di ricaricarle.

La carica effettuata quando esiste ancora della capacità residua non influisce sulla capacità originale delle batterie.

Caratteristiche tecniche

Apparecchio fotografico

Generali

Alimentazione	fornita da batterie NH-AA o da un adattatore di alimentazione c.a. (8,4 V c.c.)
Corrente assorbita	1,1 A massimo (con un adattatore di alimentazione c.a.)
Temperatura di funzionamento	da 5°C a 35°C
Temperatura di immagazzinamento	da -20°C a +60°C
Umidità di funzionamento	da 20% a 80% (senza condensazione)
Dimensioni (l/a/p)	230 × 190 × 74 mm
Peso	circa. 940 g

Sistema

Tipo di apparecchio fotografico	apparecchio fotografico digitale
Sistema di registrazione/riproduzione	inquadrature digitali
Sistema di compressione/decompressione dati	sistema basato su JPEG
Supporto di registrazione	memoria flash incorporata da 32 MB
Pixel	pixel allo stato solido CCD 4M 1/1,8 pollici
Risoluzione di registrazione	2288 × 1712 pixel (HIGH) 1280 × 960 pixel (MID) 832 × 624 pixel (STD)
Capacità di registrazione	circa 20 o più immagini (risoluzione alta) circa 80 o più immagini (risoluzione media) circa 200 o più immagini (risoluzione standard)
Metodo di eliminazione	eliminazione di un'immagine, eliminazione di tutte le immagini
Bilanciamento del bianco	AUTO, One Push, da 3000K a 7000K (intervalli di 500K)
Sistema fotometrico	sistema di misura a pesatura centrale/ viso/parte superiore dello sfondo
Tipo di controllo dell'esposizione	esposizione programmata con intervallo dell'otturatore a priorità iride

Velocità dell'otturatore
da 1/2 a 1/1000 s

Sensibilità fotografica
Equivalente a ISO 100

Monitor LCD
LCD a colori TFT al polisilicio
freddo da 1,8 pollici
110.000 pixel

Obiettivo
f = da 7,5 a 19,8 mm, 2,6
ingrandimenti (equivalente a un
obiettivo da 36 a 96 mm su un
apparecchio fotografico per
pellicola da 35 mm), messa a fuoco
automatica
Valore F: da F2,8 (W) a F4,8 (T)

Connettori di ingresso/uscita

VIDEO OUT 3,5 mm ø (presa fono)
1,0 Vp-p, 75 ohm sbilanciata,
sincronismo negativo, video
composito
Sistema TV a colori NTSC
Livello di burst: 0,25 V $\pm$ 0,03 V
(10%)
Livello di sincronismo: 0,29 V
 $\pm$ 0,03 V (10%)
Sistema TV a colori PAL
Livello di burst: 0,30 V $\pm$ 0,03 V
(10%)
Livello di sincronismo: 0,30 V
 $\pm$ 0,03 V (10%)

USB Conforme a Revision 1.1

DC IN 8.4V 8,4 V c.c.

RELEASE 3,5 mm ø (minijack)

Stampante

Alimentazione 100 – 240 V c.a., 50/60 Hz

Corrente assorbita
1,1 A massimo.

Temperatura di funzionamento
da 5°C a 35°C

Temperatura di immagazzinamento/trasporto
da -20°C a +60°C

Umidità di funzionamento
da 20% a 80% (senza condensazione)

Dimensioni massime (l/a/p)
203 × 85 × 305 mm

Peso circa 2,7 kg (solo unità principale)

Metodo di stampa
processo di trasferimento termico a
sublimazione sequenziale di quattro
strati
(giallo, magenta, ciano, laminato)

Risoluzione di stampa
403 × 403 dpi

Testina termica 403 dot/pollice

Gradazioni di stampa
8 bit per giallo, magenta, ciano

Velocità di stampa
Serie UPC-X46: 100 s./foglio
Serie UPC-X34: 65 s./foglio

Metodo di alimentazione della carta
Alimentazione automatica dal
vassoio della carta

Capacità massima del vassoio della carta
Serie UPC-X46: 25 fogli
Serie UPC-X34: 30 fogli

Metodo di espulsione della carta
Espulsione anteriore
I fogli sono espulsi in ordine dall'alto
sul vassoio della carta

Capacità di stampa della cartuccia a nastro
Serie UPC-X46: 25 fogli
Serie UPC-X34: 30 fogli

Ingressi AC IN (ingresso dell'alimentazione)

Massime dimensioni di stampa
Serie UPC-X46: 101,6 × 151,4 mm
(senza bordo)
Serie UPC-X34: 70,1 × 95,3 mm
(con bordo)

Pixel di stampa Serie UPC-X46: 1664 × 2440 punti
Serie UPC-X34: 1112 × 1512 punti

Interfaccia USB

Sistema di-trasmissione dati
Conforme a Universal Serial Bus
Specification Revision 1.1

Assegnazione dei pin del presa USB

I/O	Segnale	Funzione
	V _{CC}	Alimentazione del cavo, corrente massima: 100 mA
I/O	-Dati	Dati
I/O	+Dati	Dati, può essere effettuato il pull up a +3,3 V con un resistore da 1,5 kohm
	GROUND	Massa del cavo

Specifiche Bluetooth

Tipo di comunicazione	specifica Bluetooth, ver.1.1
Velocità massima di trasmissione ¹⁾	circa 723 kbps
Uscita	specifica Bluetooth, Power Class 2
Distanza di comunicazione ²⁾	circa 10 m senza ostacoli
Profilo Bluetooth compatibile ³⁾	Basic Imaging Profile (Image Push Feature)
Banda di frequenza	2,4 GHz (2,400 GHz – 2,4835 GHz)

- 1) Massima velocità di trasmissione dei dati basata sulla specifica Bluetooth ver.1.1. Questa velocità dipende dalla distanza fra i dispositivi, ostacoli, condizioni delle onde radio, software applicativo o sistema operativo.
- 2) Questa distanza dipende dalla distanza fra i dispositivi, ostacoli, condizioni delle onde radio, software applicativo o sistema operativo.
- 3) Questa specifica è conforme all'uso previsto fra due dispositivi Bluetooth. Ciò è definito dalla specifica Bluetooth.

Adattatore di alimentazione c.a.

Caratteristiche dell'alimentazione	100 – 240 V c.a., 50/60 Hz
Potenza assorbita	18 W
Corrente assorbita	0,35 – 0,18 A
Tensione di uscita	8,4 V c.c., 1,5 A in funzionamento
Temperatura di funzionamento	da 5°C a 35°C
Temperatura di immagazzinamento	da -20°C a +60°C
Dimensioni (l/a/p)	circa. 100 × 31 × 56 mm comprese parti sporgenti
Peso	circa. 190 g

Caricabatterie

Caratteristiche dell'alimentazione	100 – 240 V c.a., 50/60 Hz
Potenza assorbita	10 W
Uscita	1,2 V c.c. AA: 1280 mA × 2/640 mA × 4
Temperatura di funzionamento	da 5°C a 35°C
Dimensioni (l/a/p)	circa. 65 × 106 × 32 mm (esclusa la spina)
Peso	circa. 120 g (batterie escluse)

Accessori forniti

Vassoio della carta per la serie UPC-X46	(1)
Vassoio della carta per la serie UPC-X34	(1)
Coperchio del vassoio	(1)
Supporto della carta	(2)
Cavi di alimentazione c.a.	(2 o 3)
Adattatore di alimentazione c.a. PCS-AC08/1	(1)
Batterie NH-AA	(4)
Batteria al litio a bottone CR-2025	(1)
Caricabatterie	(1)
Cassetta di pulizia	(1)
CD-ROM	(1)
Istruzioni d'uso	(1 o 2)
Contratto di licenza del software	(1)

Accessori opzionali

Stampante digitale fotografica UP-DX100
Vassoio della carta UPA-DX100TR
Self-laminating Color Printing Pack della serie 10UPC-X46 (250 fogli)
Self-laminating Color Printing Pack della serie 10UPC-X45 (250 fogli)
Self-laminating Color Printing Pack della serie 10UPC-X34 (300 fogli)
Telecomando RM-91

Progetto e caratteristiche tecniche soggetti a modifica senza preavviso.

Risoluzione dei problemi

Se si verificano dei problemi nell'uso dell'UPX-C200, usare la tabella che segue come guida per risolvere il problema. Se il problema permane, rivolgersi al rivenditore Sony o al centro di assistenza locale autorizzato Sony.

Apparecchio fotografico

Sintomo	Cause possibili/azione
L'alimentazione non è spenta anche se l'interruttore POWER è su OFF.	- L'apparecchio fotografico richiede molto tempo per l'elaborazione interna. → Attendere un momento e se l'alimentazione non si spegne, scollegare l'adattatore di alimentazione c.a. dall'apparecchio fotografico, oppure aprire il coperchio del vano delle batterie.
L'interruttore POWER dell'apparecchio fotografico è su ON, ma l'apparecchio fotografico e la stampante non sono collegati.	- La stampante non è accesa. → Accendere la stampante, quindi accendere l'apparecchio fotografico. - La spia Bluetooth dell'apparecchio fotografico o della stampante è spenta. → Accendere ambedue le spie. (Vedere "Accensione della spia Bluetooth" (a pagina 205).) - Viene visualizzato "NO PRINTER". → La registrazione della stampante è annullata. Registrare la stampante. (Vedere "Aggiunta/registrazione di una stampante" in Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)

Durante lo scatto delle fotografie

Sintomo	Cause possibili/azione
Premendo il tasto di scatto non viene ripresa la fotografia.	- L'interruttore PLAY/CAMERA non è impostato su CAMERA. → Impostare l'interruttore su CAMERA. - L'apparecchio fotografico sta salvando dei dati in memoria o caricando il flash (la spia di attesa è rossa e lampeggia). → Attendere finché la spia di attesa è permanentemente accesa o lampeggia in verde. - La memoria è piena (la spia di attesa è accesa in rosso). → Verificare il numero rimanente di fotografie che è possibile scattare. Se è zero, cancellare eventuali fotografie inutili. → Impostare AUTO ERASE su ON. (Fare riferimento a Istruzioni per l'uso (operazioni avanzate).)
Il flash non si accende.	- Flash Mode non è impostato correttamente. → Impostare FLASH MODE nel menu su A$\frac{1}{2}$, $\frac{1}{2}$ o M$\frac{1}{2}$. - Il cavo del flash esterno non è collegato all'apparecchio fotografico. → Collegare il cavo del flash esterno alla presa a spinotto FLASH dell'apparecchio fotografico. - Le batterie sono scariche. → Caricare le batterie o sostituirle con batterie nuove. - Il flash potrebbe essere esaurito. → Rivolgersi al rivenditore Sony o centro di assistenza locale Sony.

Display a cristalli liquidi dell'apparecchio fotografico

Sintomo	Cause possibili/azione
Non viene riprodotta alcuna immagine.	- L'interruttore MONITOR (PAL) dell'apparecchio fotografico è impostato su VIDEO OUT quando è collegato un cavo video e VIDEO OUT del menu è impostato su PAL. → Portare l'interruttore su LCD. → Scollegare il cavo video.

Sintomo	Cause possibili/azione
Se la riproduzione avviene in una giornata fredda, l'immagine potrebbe apparire con i lati curvi. L'immagine contiene dei punti rossi, blu e verdi, oppure sono visibili delle macchie nere.	Condizione dovuta ai cristalli liquidi. → Condizione normale
Animazione della carta	Stampa di un'immagine in corso. → Attendere che la stampa sia terminata. Quindi riprovare.
La trasmissione dati termina, ma il display si blocca.	La stampante sta alimentando la carta da stampa. → Attendere finché l'alimentazione termina e la stampa riprende. Quindi l'immagine visualizzata cambierà.

Sintomo	Cause possibili/azione
I colori dell'immagine scattata in un interno non sono corretti.	Ciò è dovuto all'illuminazione fluorescente. → Impostare correttamente il bilanciamento del bianco. (Vedere "Regolazione del bilanciamento del bianco (W.B.)" a pagina 190).
Manca una parte dell'immagine.	L'obiettivo era coperto da un dito. → Afferrare correttamente l'apparecchio fotografico e controllare che l'obiettivo non sia coperto dalle dita.
I bordi dell'immagine sono scuri.	Lo zoom è impostato a un valore superiore a 1,3x quando viene usato il flash interno. → Impostare la posizione dello zoom su 1,3x o inferiore.

Qualità dell'immagine

Sintomo	Cause possibili/azione
L'immagine non è a fuoco.	- La messa a fuoco è disattivata. → Controllare la distanza fra l'obiettivo e il soggetto e mettere il soggetto alla distanza della messa a fuoco. - L'apparecchio fotografico è stato spostato nel momento dello scatto. → Tenere saldamente l'apparecchio fotografico e premere lentamente il pulsante di scatto. - FLASH MODE è impostato su A$\frac{1}{2}$ o $\frac{1}{4}$ e la velocità dell'otturatore è troppo bassa. → Impostare le condizioni di scatto corrette. (Vedere "Impostazione delle condizioni di scatto" a pagina 188.) - L'obiettivo è sporco. → Pulire l'obiettivo con un panno pulito, morbido e asciutto.
L'immagine è troppo scura.	- Il flash era coperto da un dito o da un altro ostacolo. → Afferrare correttamente l'apparecchio fotografico e accertarsi che il flash non sia nascosto. - Il soggetto era troppo distante. → Scattare la fotografia all'interno del campo del flash. → Regolare l'esposizione. - Il soggetto era controluce. → Usare il flash.

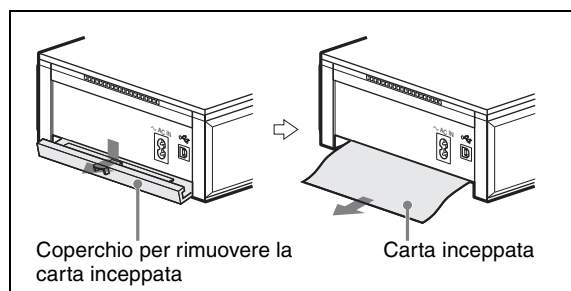
Stampante

Sintomo	Cause possibili/azione
La stampante non funziona anche se è accesa.	- Il cavo di alimentazione c.a. non è collegato correttamente. → Collegare correttamente il cavo di alimentazione c.a. a una presa c.a.
Impossibile stampare.	- La carta da stampa e la testina di stampa non corrispondono. → Usare una confezione di stampa consigliata, con carta da stampa e cartuccia di stampa della stessa dimensione. - La testina termica potrebbe essere surriscaldata. Sul display operativo appare "Waiting". → Attendere che la testina si raffreddi e che la stampante riprenda a stampare. - Potrebbe essere inceppata la carta. → Togliere la carta inceppata. (Vedere "Se si inceppa la carta" a pagina 220.)
Segnalazione acustica.	→ Verificare di avere seguito le procedure corrette.
Impossibile rimuovere la cartuccia di stampa.	→ Non è possibile rimuovere la cartuccia di stampa durante la stampa. Attendere che la stampa sia terminata. Se ciò non risolve il problema, rivolgersi al rivenditore Sony o centro di assistenza locale Sony.
La spia ALARM è accesa o appare un messaggio di errore.	→ Seguire le istruzioni sullo schermo.
C'è una riga o dei punti bianchi sulle immagini stampate.	- Potrebbe esserci della polvere sulla testina termica. → La testina di stampa o il percorso della carta potrebbero essere sporchi. Usare la cassetta di pulizia fornita per pulire la testina e il percorso. (Vedere "Pulizia dell'interno della stampante" a pagina 220.) - Il rullo all'interno della stampante potrebbe danneggiare la carta da stampa. → Ridurre il numero di fogli nel vassoio della carta.

Se si inceppa la carta

Se si inceppa la carta, la spia ALARM si accende, appare un messaggio di errore e la stampa si arresta.

- 1 Premere il pulsante di accensione/attesa per spegnere la spia.
- 2 Togliere il vassoio della carta e rimuovere la carta inceppata dal vano del vassoio della carta.
- 3 Smontare il coperchio per rimuovere la carta inceppata sul pannello posteriore e verificare che non rimanga della carta nella stampante. Se la carta inceppata è ancora nella stampante, toglierla.



- 4 Dopo aver tolto la carta inceppata, non dimenticare di rimontare il coperchio.
- 5 Per inserire il vassoio della carta.
- 6 Accendere la stampante.

Nota

Se non è possibile togliere la carta inceppata, rivolgersi al rivenditore Sony di zona.

Pulizia dell'interno della stampante

Se sulle immagini stampate sono presenti righe o punti bianchi, pulire l'interno della stampante usando la cassetta di pulizia fornita e il foglio di protezione contenuto nella confezione di stampa.

Note

- Effettuare la pulizia solo quando sulle stampe appaiono delle righe o punti bianchi.
- Quando non è possibile ottenere delle prestazioni di stampa soddisfacenti, la pulizia non migliorerà la qualità dell'immagine stampata.

- 1 Togliere il vassoio della carta dalla stampante. Se c'è carta da stampa nel vassoio, toglierla.
- 2 Mettere il foglio di protezione con il lato delle indicazioni verso il basso e con la freccia che punta nella stessa direzione della freccia nel vassoio.

- 3** Aprire il coperchio del vano della cartuccia e rimuovere la cartuccia di stampa.
- 4** Inserire nella stampante la cassetta di pulizia fornita e chiudere il coperchio del vano della cartuccia.

Suona un cicalino e sul display operativo appare "HEAD CLEANING/PUSH [EXEC]".
- 5** Premere il pulsante EXEC.

La cassetta di pulizia e il foglio di protezione puliscono l'interno della stampante. Quando la pulizia è terminata il foglio di protezione è espulso automaticamente.
- 6** Rimuovere la cassetta di pulizia dalla stampante e inserire la cartuccia di stampa e la carta da stampa.

Funzione Bluetooth

Sintomo	Possibili cause/soluzione
Impossibile trasmettere i dati.	• La distanza fra il dispositivo e la stampante è eccessiva. → Posizionare i dispositivi entro la massima distanza di comunicazione. • La parte dell'antenna Bluetooth della stampante e/o dell'apparecchio fotografico è coperta da una mano, ecc. → Non coprire la parte dell'antenna. • Il dispositivo che si desidera collegare alla stampante è stato già collegato a un dispositivo diverso. → Ricollegare il dispositivo alla stampante dopo che ha terminato la funzione con un dispositivo diverso. • Autenticazione non effettuata correttamente. → Ricollegare la stampante con il dispositivo e immettere correttamente su ambedue i dispositivi la stessa chiave di accesso. • Il dispositivo collegato ha interrotto la trasmissione. → Verificare lo stato del dispositivo collegato, quindi ricollegare. • Il collegamento Bluetooth è interrotto dal lato del dispositivo collegato. → Verificare lo stato del dispositivo collegato.
Il collegamento è interrotto.	• Non è stata immessa la stessa chiave di accesso. → Immettere correttamente la stessa chiave di accesso sia sulla stampante, sia sull'apparecchio fotografico. • Il dispositivo è scollegato o ha terminato il collegamento. → Verificare lo stato del dispositivo, riprovare a collegarsi al dispositivo e immettere correttamente la chiave di accesso.
Autenticazione non effettuata correttamente.	• Non è stata immessa la stessa chiave di accesso. → Immettere correttamente la stessa chiave di accesso sia sulla stampante, sia sull'apparecchio fotografico. • Il dispositivo è scollegato o ha terminato il collegamento. → Verificare lo stato del dispositivo, riprovare a collegarsi al dispositivo e immettere correttamente la chiave di accesso.

Sintomo	Possibili cause/soluzione
La velocità di trasmissione dati è troppo bassa.	• La parte dell'antenna Bluetooth della stampante e/o dell'apparecchio fotografico è coperta da una mano, ecc. → Non coprire la parte dell'antenna. La velocità di trasmissione dei dati varia in funzione della distanza fra la stampante e l'apparecchio fotografico, ostacoli o condizioni delle onde radio. Spostare la stampante o portarla più vicino al dispositivo.
Anche se la distanza fra la stampante e il dispositivo desiderato è inferiore a 10 m, non è possibile stabilire un collegamento.	• La parte dell'antenna Bluetooth della stampante e/o dell'apparecchio fotografico è coperta da una mano, ecc. → Non coprire la parte dell'antenna. La velocità di trasmissione dei dati varia in funzione della distanza fra la stampante e l'apparecchio fotografico, ostacoli o condizioni delle onde radio. Spostare la stampante o portarla più vicino al dispositivo. • Il dispositivo desiderato si sta collegando a un dispositivo diverso. → Quando il dispositivo è collegato a un dispositivo diverso, esso potrebbe non essere visualizzato come dispositivo disponibile o collegabile in quel momento. • Non è possibile collegare il dispositivo con le funzioni Bluetooth. → Impostare il dispositivo in modo che sia collegabile.

Caricabatterie

Sintomo	Possibili cause/soluzione
La spia CHARGE lampeggia.	• Le batterie sono scariche o c'è un guasto relativo alle batterie. → Usare batterie NH nuove. • Sono in carica delle batterie diverse dal tipo NH. → Sostituirle con batterie NH.
La spia CHARGE non si accende.	• Le batterie non sono inserite correttamente. → Inserire correttamente le batterie. • Le batterie non fanno bene contatto → Pulire i contatti del caricabatterie e i poli ⊕ e ⊖ delle batterie. • Il contatto con l'alimentazione non è perfetto → Pulire la spina. → Collegare il caricabatterie a una presa a muro diversa.

Messaggi di errore

Messaggi di errore		Cause possibili/azione
Apparecchio fotografico	Stampante	
SET MEDIA	RIBBON END SET CARTRIDGE	- La cartuccia di stampa è esaurita. → Sostituire la cartuccia di stampa.
	SET PAPER PUSH EXEC	- La carta è esaurita. → Mettere della carta nell'apposito vassoio e premere il pulsante EXEC. - Il vassoio della carta non è inserito nella stampante. → Inserire il vassoio della carta e premere il pulsante EXEC.
CHECK PRINTER	PAPER JAMMING REMOVE PRINTS	- La carta da stampa potrebbe essere inceppata. → Eventualmente togliere la carta inceppata. Vedere "Se si inceppa la carta" a pagina 220.
	MEDIA MISMATCH PUSH EXEC	- La carta da stampa e la testina di stampa non corrispondono. → Impostare il formato corretto dalla carta da stampa per la cartuccia e premere il pulsante EXEC.
	REMOVE PRINTS PUSH EXEC	- La carta da stampa rimane nel vano di espulsione. → Rimuovere il vassoio della carta e poi la carta da stampa. Quindi premere il pulsante EXEC.
	PRINTER ERROR SERVICE CALL	- Si è verificato un problema sulla stampante. → Rivolgersi al rivenditore Sony o centro di assistenza locale Sony.
	Bluetooth ERROR SERVICE CALL	- Si è verificato un problema relativo alla funzione Bluetooth. → Rivolgersi al centro di assistenza Sony o al rivenditore Sony di zona.
COMMUNICATION ERROR	—	- Sul display operativo e sulla stampante appare il menu. → Premere il pulsante MENU sulla stampante per ripresentare la visualizzazione Ready. - La stampante sta comunicando tramite USB. → Attendere che la comunicazione sia terminata. Quindi riprovare.
PAPER SIZE MISMATCH	—	- È possibile selezionare un formato di stampa solo quando è selezionata la serie UPC-X46 installata, ma sulla stampante è installata la serie UPC-X34. → Sostituire la confezione di stampa nella stampante con la serie UPC-X46. → Selezionare con il pulsante SIZE dell'apparecchio fotografico un formato di stampa stampabile con la serie UPC-X34.

Dopo aver effettuato l'operazione consigliata, premere il pulsante MENU per cancellare il messaggio di errore.

Indice

A

AE AREA 179
Alimentazione
 Spegnimento dell'apparecchio fotografico 174
Alimentazione c.a. 161, 165
 Apparecchio fotografico 161
 Stampante 165
Apertura 167, 189
APERTURE 178, 189
AUTO ERASE 178

B

Barra dello zoom 167
Basic Imaging Profile (BIP) 204
Batteria a bottone 160, 161
Batterie 160, 184
 Carica 184
 Ripristino 185
BATTERY REFRESH 181
Bilanciamento del bianco 190
BIP 204
Bluetooth 181
Bluetooth SETTING 182

C

Capacità di registrazione 215
Carta da stampa 164
Cartuccia di stampa 163
 Caricare 163
 Sostituzione 163
Chiave di accesso 181, 205, 221
 Modifica delle impostazioni 205
CLOCK 180, 186
COLOR ADJUST 182, 201
COLOR/B/W
 Selezione 169
Condizioni di scatto 158, 167, 188
 Impostate in stabilimento 166
Confezione di stampa 162
Configurazione del sistema 155
 Collegamento a un computer 155
 Uso della funzione Bluetooth 155
Connettore ~ AC IN 212
Coperchio del vano della cartuccia 211
Coperchio del vano delle batterie 208
Coperchio del vassoio 165

Coperchio per rimuovere la carta inceppata 212
COPY PRINT 170, 182

D

Data 171, 186
DELETE 179
DELETE ALL 179
Display a cristalli liquidi (LCD) 210
Display operativo 211

E

Effetti di memoria 185
Eliminare 172
 Annullare l'eliminazione 173
 Completare l'eliminazione 173
 Fotografia appena scattata 167
 Tutte le immagini 172
 Una alla volta 172
 Visualizzazione multipla di nove immagini 172
Esposizione 158
 Compensazione 168, 189
 Modo automatico 158
 Modo manuale 158, 159
EXIT 178, 179
EXPOSURE 178
Exposure Mode 178, 188

F

Firmware Ver. 181
Flash 207
FLASH MODE 178, 189
Formato del segnale di uscita 197
Formato delle stampe 193, 194, 195
Formato di stampa 168, 186, 187, 191
 Selezione 169
Foro della vite del treppiede 208
Fotografia
 Eliminare 167, 172
 Proteggere 173
 Scattare 167
 Stampa 168
 Visualizzazione 171
FRAME 180, 191
FRAME-[1] 191
FRAME-[2] 192
FRAME-[3] 192
FRAME-[4] 192
FRAME-[5] 194
FRAME-[6] 195
Funzione di messa a fuoco automatica 168, 208
Funzione di protezione dell'immagine 173

G

Guida stampa 157, 202

I

Image Push Feature 204
Immagine della guida 202
Immagine di anteprima 209
Immagine protetta 174
Impugnatura 208
Inceppamenti carta 220
Indicatore dell'alimentazione a batterie 185
Indicatore della potenza a radiofrequenza ricevuta 168
Indicatore di compensazione esposizione 167
Inquadratura 162, 191
Interruttore MONITOR (PAL) 210
Interruttore PLAY/CAMERA 210
Interruttore POWER 209
Intervallo dello zoom 187

L

Leva dello zoom 209
Leva di espulsione della cartuccia 211
Linee di riferimento
 Cancellare le linee di riferimento 195
 Inquadrature fisse 192
 Regolazione della larghezza delle linee di riferimento 195
 Regolazione delle linee di riferimento superiore e inferiore 194
LOAD/SAVE SETTING 179

M

Manuale su CD-ROM 159, 160
Memoria 167
 Eliminare la fotografia appena scattata 167
MEMORY FORMAT 181
Menu 175
 Apparecchio fotografico 175
 Blocco 200
 Funzioni delle voci di Menu 178
 Menu SETUP 176, 180
 Modo CAMERA 175, 178
 Modo PLAY 175, 179
 Stampante 177
 Struttura 175
Menu SETUP 176, 180
Mirino 208, 210
Modo di attesa 174

Modo di risparmio energetico 196
Modo flash 158, 189
Flash acceso 158
Flash automatico 158
Flash spento 158, 159
MOVE 179, 199

N

Numero dell'immagine corrente 171
Numero di fogli da stampare 168, 170
Numero di fotografie rimanenti 167
Numero di immagini che è possibile memorizzare 167, 171, 186, 218
Numero di immagini rimanenti 171
Numero rimanente di fotografie 218
Numero totale di immagini salvate in memoria 171

O

Obiettivo 200, 208
Posizione di trasporto 200
Ripristino dalla posizione di trasporto 201
Orologio 162, 186

P

PASSKEY INPUT 205
Posizione di stampa 203
POWER SAVE 180, 196
Prefotometria 188
Preilluminazione 188
Presa a spinotto DC IN 8.4V 208
Presa a spinotto RELEASE 207
Presa a spinotto VIDEO OUT 207
Presa USB 207, 212
PRINT SETTING 182, 203
PRINT SIZE LIST 180, 191
PROPERTY 179
PROTECT 173, 179
PROTECT ALL 179
Protezione 173
Eliminare un'immagine protetta 174
Tutte le immagini 173
Una alla volta 173
Visualizzazione multipla di nove immagini 174
Pulsante COLOR/B/W 209
Pulsante di controllo 210, 211
Pulsante di scatto 208
Pulsante e spia  (accensione/attesa) 211
Pulsante EXEC 211
Pulsante MENU 210, 211
Pulsante PRINT 209

Pulsante PRINTER 209
Pulsante SIZE 209

Q

Qualità di stampa 201
Regolazione 201
Qualità di un'immagine in bianco e nero 170

R

Registrazione consigliate 187
Regolazione della qualità di stampa 170, 201
Immagini in bianco e nero 170
Regolazioni
Caricamento 202
Salvataggio 202
RESOLUTION 178, 186
RETURN 180
Risoluzione 167, 171
Risoluzione di registrazione 166, 186, 187
Risparmio energetico 162
Ristampa 170

S

Sede del vassoio della carta 211
Segnali acustici 198
SHUTTER 178, 189
Simbolo di protezione 171
SIZE UNIT 180, 197
Software di utilità 155, 160, 198
Sorgente di alimentazione 167, 171
SOUND 180, 198
Spia  211
Spia ALARM 211
Spia Bluetooth 207, 211
Accendere 205
Spegnerne 206
spenta 204
Spia di attesa 210
Spia di blocco (verde)/sblocco (rosso) della messa a fuoco 167
Spia PRINT 211
Spia PRINTER ALARM 209
Spinotto FLASH 207
Spostamento
Visualizzazione multipla di nove immagini 199
Stampa 168
Fotografia appena scattata 168
Immagine salvata nella memoria dell'apparecchio fotografico 170
Più immagini su un solo foglio di carta 169

Stampante 182
Aggiungere 206
Preparazione 162
Pulizia 220
Rimuovere 206
Supporto della carta 163
Montaggio 163
Smontaggio 164

T

Tecnologia wireless Bluetooth
Impostazioni correnti 205
Impostazioni della stampante 205
Impostazioni sull'apparecchio fotografico 205
TRANSPORT SETTING 179, 200
Trasmissione dati 169
Annulla 169
Treppiede 162

U

Unità formato 197
USB 181, 198
USB Class 198
Utility software 155

V

Vano della cartuccia 211
Velocità dell'otturatore 167, 189
Velocità di stampa 216
VIDEO OUT 180, 197
Visualizzazione del layout 168
Visualizzazione del Menu 183
Visualizzazione Demo Layout 204
Visualizzazione multipla di nove immagini 171
Visualizzazione rapida anteprima 167
Visualizzazione Setup 183
Visualizzazione sull'LCD
Modo CAMERA 167
Modo PLAY 171

W

W.B. 178, 190

Z

ZOOM 178, 187



この説明書は、古紙 70% 以上の再生紙を使用しています。
Printed on 70% or more recycled paper.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.net/>

Printed in Japan



3207403070